男女共同参画に関するアンケート
結 果 報 告 書

京 都 市

は　じ　め　に

本市では，平成 14 年 3 月に「きょうと男女共同参画推進プラン」を策定し，「男女が，等しく個人として尊重され，性別によらない多様な生き方が保障されるとともに，あらゆる場において，共に責任を担いつつ個性と能力を発揮することができる社会」の実現に向けたさまざまな施策を積極的に推進してまいりました。

この間，配偶者暴力防止法や育児・介護休業法の改正，次世代育成支援対策推進法の制定など，法律や制度上の男女平等は達成されつつありますが，人々の意識の中には男女の能力や役割に対する固定的な考え方が残っているなど，現在も課題が残されています。

一方では，少子長寿化の進展，国内経済活動の成熟化など社会経済情勢の急速な変化に直面しており，男女が互いに人権を尊重しつつ責任を分かち合い，性別にかかわりなく個性と能力を十分に発揮できる社会を実現することは，ますます重要となっています。

こうした状況を踏まえ，本市では，男女共同参画を一層推進するため，平成 18 年度において「きょうと男女共同参画推進プラン」の中間見直しを行うこととしました。そのためには，男女共同参画に関する市民の皆さまの日常生活の状況等を的確に把握することが不可欠であることから，このたび「男女共同参画に関するアンケート」を実施致しました。

この調査報告書は，本市における今後の施策展開の基礎資料となるものですが，関係機関，団体等をはじめ市民の皆さまにも広く御活用いただき，男女共同参画社会の実現への一助となれば幸いに存じます。

最後になりましたが，この調査の実施に当たり御協力をいただきました多くの皆さまに厚くお礼申し上げます。

― 目 次 ―

Ⅰ　調査の概要

1　調査の目的 ――――――――――――――――――――――――――――――――1
2　調査方法 ――――――――――――――――――――――――――――――――1
3　調査内容 ――――――――――――――――――――――――――――――――1
4　回収結果 ――――――――――――――――――――――――――――――――1
5　信頼区間の推定 ――――――――――――――――――――――――――――――1
6　報告書の見方 ――――――――――――――――――――――――――――――2

Ⅱ　調査結果の概要

1　家庭生活や地域活動について ――――――――――――――――――――――――3
2　仕事について ――――――――――――――――――――――――――――――4
3　男女共同参画に関わる社会の動きについて ――――――――――――――――5
4　京都市の取組について ――――――――――――――――――――――――――7

Ⅲ　調査結果の分析

1　回答者の属性について

（1）性別（問A） ――――――――――――――――――――――――――――――9
（2）年齢（問B） ――――――――――――――――――――――――――――――9
（3）居住行政区（問C）――――――――――――――――――――――――――10
（4）世帯構成（問D）――――――――――――――――――――――――――11
（5）配偶者の就労状況（問E）――――――――――――――――――――――12
（6）子どもの有無（問F）――――――――――――――――――――――――13
（7）一番下の子どもの年齢（問G）――――――――――――――――――――14
（8）現在の居住年数（問H）――――――――――――――――――――――15
（9）昨年の世帯収入（問Ⅰ）――――――――――――――――――――――16

2　家庭生活や地域活動について

（1）家庭での役割分担（問1）――――――――――――――――――――――17
（2）家庭生活において負担になる事柄（問2）――――――――――――――27
（3）地域活動の参加の有無（問3）――――――――――――――――――――32
（4）参加した地域活動の場での状況（問4）――――――――――――――36
（5）地域活動に参加していない理由（問5）――――――――――――――37
（6）自治会や町内会以外の活動への参加状況（問6）――――――――――38

3　仕事について
（1）現在の職業（問７）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－42
（2）１週間の平均労働時間と労働日数（問８）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－44
（3）昨年度の個人収入（問９）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－46
（4）現在の仕事に対する不満や悩み（問10）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－49
（5）今後の就労意向（問11）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－53
（6）希望の就労形態（問12）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－54
（7）今後の就労にあたり困っていること（問13）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－55

4　男女共同参画に関わる社会の動きについて
（1）男女共同参画を推進すること（問14）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－57
（2）各分野での平等感（問15）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－58
（3）「男は仕事，女は家事・育児」という考え方（問16）－－－－－－－－－－－－－－－61
（4）「男子」，「女子」のそれぞれに身に付けさせたい能力等（問17）－－－－－－－－64
（5）「女性の人権が尊重されていない」と思うことがら（問18）－－－－－－－－－－－70
（6）政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこと（問19）－73
（7）各制度改正などの雇用分野への影響（問20）－－－－－－－－－－－－－－－－－－78
（8）「男女共同参画社会基本法」の認知度（問21）　－－－－－－－－－－－－－－－－81
（9）男女共同参画社会への期待（問22）－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－83

5　京都市の取組について
（1）「ウィングス京都」の利用状況（問23）　－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－88
（2）「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業（問24）　－－－－－－－－－－－－90
（3）「京都市男女共同参画推進条例」の認知度（問25）　－－－－－－－－－－－－－－93
（4）今後京都市が「男女共同参画社会」に向けて取り組むべきことがら（問26）－－－95

Ⅳ　自由記載意見 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－101

Ⅴ　集計結果一覧 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－117

Ⅵ　調査票 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－139

1　調査目的

「きょうと男女共同参画推進プラン（平成 14～22 年度）」の中間見直し（平成 18 年度予定）に当たり，プラン前半期における取組が市民生活や社会経済に与えた変化や影響を検証するとともに，男女共同参画に関する市民の意識や日常生活の状況等を把握し，京都市が取り組むべき課題と今後の施策の方向性を明らかにする。

2　調査方法

（1）標 本 数　　市内居住の満 20 歳以上の男女 3,000 人（男性 1,416 人　女性 1,584 人）
（2）抽出方法　　住民基本台帳登録者及び外国人登録者から行政区別・年齢階層別の人口割合に応じた無作為抽出（平成 17 年 6 月 1 日現在）
（3）調査方法　　郵送法（調査票送付，はがきによる督促礼状 1 回）
（4）調査期間　　平成 17 年（2005 年）7 月 1 日（金）～7 月 12 日（火）
（5）調査分析　　株式会社 サーベイリサーチセンター

3　調査内容

（1）回答者の属性について（A～I）
（2）家庭生活や地域活動について（問 1～6）
（3）仕事について（問 7～13）
（4）男女共同参画に関わる社会の動きについて（問 14～22）
（5）京都市の取組について（問 23～26）
（6）自由記載意見

4　回収結果

標本数	回収数（率）	有効回答数（率）
3,000	1,038（34.6%）	1,023（34.1%）

※　白票数（白票に準じるものを含む。）15

5　信頼区間の推定

信頼区間の 1/2 幅（信頼度 95%）

回答比率 / 標本数	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	
全体（1,023）	1.3%	1.9%	2.2%	2.5%	2.7%	2.9%	3.0%	3.1%	3.1%	3.1%
男性　（431）	2.1%	2.9%	3.4%	3.9%	4.2%	4.4%	4.6%	4.7%	4.8%	4.8%
女性　（575）	1.8%	2.5%	3.0%	3.3%	3.6%	3.8%	4.0%	4.1%	4.1%	4.2%

この票は，本調査と同じ調査を 100 回行ったときに出現する比率のうち，95 回まで入る区間の幅を統計的手法で求めたものである。例えば，「全体」の場合，ある真の値が 30%ならば，30%を中心に±2.9%，つまり 27.1%から 32.9%の間に 100 回の調査のうち 95 回は入る精度を持つ調査であることを示す。

6　報告書の見方

（1）　回答は各質問の回答者数（N=Number of case）を基数とした百分率（%）で示している。小数点第２位を四捨五入しているため，比率の合計が 100.0%を上下する場合がある。回答者数の少ない設問に関しては，比率の数字が動きやすく厳密な比較をすることは難しいため，回答者の傾向をみる程度になる。

（2）　図表ではコンピューター入力の都合上,回答の選択肢を短縮している場合がある。

（3）　図表に次のような表示がある場合は，複数回答を依頼した設問である。なお複数回答を依頼した質問では，回答比率の合計が 100%を超える場合がある。

- **2LA%（2 Limited Answer）=**回答選択肢の中からあてはまるものを 2 つ以内で選択する場合
- **3LA%（3 Limited Answer）=**回答選択肢の中からあてはまるものを 3 つ以内で選択する場合
- **MA%（Multiple Answer）　=**回答選択肢の中からあてはまるものすべて選択する場合

（4）　本調査では，「全国調査」及び「前回調査」との比較を行っている部分がある。（調査の詳細は以下の通りである。）

【全国調査】

・「男女共同参画社会に関する世論調査」
　調査実施：内閣府
　標本数：全国の 20 歳以上の男女 5,000 人
　調査時期：平成 16 年（2004 年）11 月 25 日～12 月 5 日
　有効回答数：3,502 人
　有効回答率：70.0%
　調査方法：調査員による個別面接聴取

【前回調査】

・「男女共同参画に関する市民意識実態調査」
　調査実施：京都市
　標本数：市内に居住する満 20 歳以上の男女 5,000 人
　調査時期：平成 12 年（2000 年）7 月 28 日～8 月 8 日
　有効回答数：2,349 票
　有効回答率：47.0%
　調査方法：郵送法

1　家庭生活や地域活動について

（1）女性に偏る家事・育児（問 1）

・　食事のしたくやあとかたづけ，食料品や日用品の買物，そうじ，洗濯といった家事や育児（乳幼児の世話）は，男女とも「主に妻の担当（「妻」＋「7～8 割が妻」）」とする回答が 6 割を超えている。特に，育児（乳幼児の世話）では，男女ともに 8 割を超えている。大半の家事や育児は，女性によって担われている状況がわかる。

・　一方，「高額な家財道具の購入」「住宅の購入」では「自分と配偶者が同じくらい」ないし「主に夫が決定」とする割合が高くなっている。日常の家事・育児は妻の仕事であり，家庭生活の中でも高額な資金を要する場合等にはその決定に夫が参画してくるといった構図がうかがえる。

（2）男女間の認識の差（問 1）

・　「食料品や日用品の買物」，「そうじ」，「洗濯」，「ごみ出し」について，男性の「自分」の回答割合に比べて女性の「配偶者」の回答割合はかなり低くなっている。男性自身が考えているほど女性は「男性が担っている」とは考えていない傾向があるといえる。

・　「育児（乳幼児の世話）」，「子どもの日常的なしつけ」，「子どもの教育方針」，「高齢者の介護」について，「自分と配偶者が同じくらい」と考えている割合は，女性より男性の方が高く，男女で認識に差があることがわかる。

（3）家事・育児に求められる男性の意識の向上（問 2）

・　家庭内の仕事のうち負担になるものは何かを聞いた設問では，「やっていないのでわからない」と回答した男性が 4 人に 1 人であり，女性の 20 人に 1 人を大きく上回っている。家事や育児の大部分を担う女性の方が男性に比べて負担感が大きいのは当然の結果だといえる。

・　30 歳代では，女性の「育児（乳幼児の世話）」を負担だとする割合が 33.7%で 3 人に 1 人であるのに対して，男性は 16.7%であり，「特に必要ない」「やっていないのでわからない」もそれぞれ 3 割強となっている。

（4）地域活動への男女共同参画を阻むもの（問 3～6）

・　自治会や町内会などの地域活動では，男女とも約 4 割の人がここ 5～6 年の間に「役員や世話役を引き受けた（引き受けている）」としており，前回調査と比べて男性で約 7 ポイント，女性で約 10 ポイント増加している。（問 3）

・　一方，前回調査と比べて「参加したことはない」との回答が，女性では 6.5 ポイント減少している。また，年代別では，男女ともに若年層で「参加したことがない」との回答割合が高くなっている。（問 3）

・　自治会や町内会などの地域活動では，「名簿上は男性が会員になっているが実際は女性が活動している」を挙げた人が男女とも約 4 割と最も多い一方で，4 人に 1 人

が「代表者は男性から選ばれる慣例がある」を挙げている。（問 4）

・　自治会や町内会などの地域活動に参加していない理由では，男性は「関心がない」と「仕事が忙しい」，女性は「参加するきっかけがない」と「仕事が忙しい」を挙げた人が多くなっている。（問 5）

・　自治会や町内会以外の地域活動への参加状況では，「地域における趣味・スポーツ・学習」「ＮＰＯやボランティア」について「今後参加してみたい」とする割合が男女とも 2 割弱となっている。一方，「ＰＴＡや子ども会」「民生委員など公的な立場での活動」では，その割合が 1 ケタ台にとどまっている。（問 6）

2　仕事について

（1）女性の不安定就労と男性の長時間労働（問 7，8，10）

・　現在の職業について，男性では「正社員・正職員」が 35.5%で最も多くなっている。一方，女性では専業主婦が 31.0%で最も多く，次いで「パート・アルバイト・契約社員」の 18.6%となっている。（問 7）

・　「正社員・正職員」では，男性の方が女性に比べて約 21 ポイント高くなっているのに対して，「パート・アルバイト・契約社員」では，女性の方が約 10 ポイント高くなっている。（問 7）

・　1 週間の平均労働時間では，60 時間以上が男性で 21.2%，女性で 3.9%となっており，（就労形態を反映しているためか）女性に比べて男性の労働時間が長くなっている。また，20 歳代及び 30 歳代の男性ではその割合が 3 割を超えている。（問 8）

・　現在の仕事に対する不満や悩みとして，男女とも正規雇用者の約 5 割が「休暇が取りにくい」を選択し，女性の正規雇用者の 4 割，男性の正規雇用者の 3 割が「労働時間が長い」を選択している。（問 10）

（2）男女の就労収入に格差（問 9）

・　男女による就業形態の差は，収入の格差にも影響している。昨年 1 年間の収入（税込み）を見ると，女性の場合は「103 万円未満」「103～200 万円未満」で約 5 割となっている。一方，男性は「103～200 万円未満」から「1，000 万円以上」まで同程度の割合で分布している。

・　就業形態別での男女の収入格差も顕著であり，特に「自営・自由業」「正規雇用」での男性の収入の高さが際立っている。

・　女性の正規雇用者の 3 人に 1 人が収入 300 万円未満となっている。また，男性の正規雇用者の 5 割近くが収入 500 万円以上であるのに対して，女性の正規雇用者のその割合は 2 割強にとどまっている。

（3）希望する就業形態の男女での違い（問 12）

・　仕事をしていない人に今後仕事に就くとしたら「どのような働き方」を希望するかを聞いた設問では，女性の 3 人に 1 人が「パート・アルバイト・契約社員」と回

答しているのに対して，男性は約 3 割が「正社員・正職員」と回答しており，男女各々で最も多い回答となっている。

（4）雇用条件の壁と仕事と子育てとの両立の困難さ（問 13）

・　仕事をしていない人に，今後仕事に就くうえで困っていることを聞いた設問では，女性の約 6 割が「求人募集で年齢や資格などの制限がある」を選択している。また，女性の 4～5 人に 1 人が「子どもの面倒をみてくれる場（保育所など）や人がない」「自分の資格，能力，適性などにあった仕事の募集・採用が少ない」「自分の能力や健康に不安がある」を選択している。

・　これらは，回答者の属性から見て，結婚や出産でいったん仕事をやめて再び就職する「再就職」希望者の声と推察できる。また，子育て中又は子育て後の女性の再チャレンジに係る課題と見ることができる。

・　再就職を希望する女性にとっては，「雇用の受け皿である企業のあり方」や「仕事と子育ての両立」，「自分の適性やキャリア形成を含む将来についての不安」など様々な課題が存在しているといえる。

3　男女共同参画に関わる社会の動きについて

（1）男女共同参画を推進していくことには多数が賛成（問 14）

・　男女共同参画を推進していくことに「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人の割合は男女とも約 7 割となっている。また，その割合は 20 歳代～40 歳代では女性の方が高いのに対して，50 歳代以上では男性の方が高くなっている。

（2）男性優遇感及び男女間の認識の差（問 15）

・　社会の各分野における男女の平等感については，「学校教育」以外のいずれの分野も男性優遇感が強くなっている。しかし，前回調査と比較すると，すべての分野で「平等である」との回答割合が高くなっている。

・　「家庭生活」「法律や制度」「政治・経済活動への参加」では，「男性の方が優遇」及び「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた割合が男性に比べて女性の方がかなり高くなっており，男女で認識の差があることがわかる。

（3）固定的な性別役割分担に対する意識の差（問 16）

・　「男は仕事，女は家事・育児」という考え方について，男女ともに前回調査に比べて，「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した人の割合は減少し，「反対」又は「どちらかといえば反対」と回答した人の割合は増加している。

・　男性では，「賛成」と「どちらかといえば賛成」を合わせた割合（59.7%）が「反対」と「どちらかといえば反対」を合わせた割合（38.7%）を 21 ポイント上回っている。一方，女性では，逆に後者（53.2%）が前者（44.6%）を約 9 ポイント上回っている。

・　「賛成」又は「どちらかといえば賛成」と回答した男性は全体で約 6 割であるが，年代が高くなるほどその割合が高くなる傾向がある。一方，20 歳代及び 30 歳代の男性では，前回調査と比べてその割合が大きく減少している。

（4）男子と女子で異なる親が身につけてほしい能力（問 17）

・　親の立場から男子と女子では身につけてほしい能力に違いがあることがわかる。割合の高い順に見ると，男子，女子ともに「礼儀作法」と「おもいやり」であるが，女子に対しての方が 10 ポイント以上高くなっている。また，「家事能力」や「やさしさ」は女子，「職業能力」「リーダーシップ」「実行力」「自立心」「忍耐力」は男子に，より多く身につけさせたいという結果になっている。
・　男子，女子それぞれに身につけさせたい能力については，いずれも男女間の回答傾向に大きな差は見られない。男女ともに，男子に比べて女子には，思いやりや優しさ，家庭重視，情緒性を期待していることがわかる。

（5）女性に対する暴力や雇用の場における差別待遇に対する認識（問 18）

・　ドメスティック・バイオレンスやセクシュアル・ハラスメントを「女性の人権が尊重されていないこと」であると回答した人の割合は，前回調査と比べてほとんど変わっていない。
・　ストーカー行為を「女性の人権が尊重されていない」ことであると回答した人の割合は，前回調査と比較して約 6 ポイント減少しているのに対して，買春（売春）・援助交際では約 12 ポイント増加している。
・　「募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取扱い」については，女性の 6 割弱，男性の約 5 割が「女性の人権が尊重されていないこと」であるとしており，男女とも「痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪」に次いで高い割合となっている。
・　「女性の人権が尊重されていない」との認識は，ほとんどの項目において女性の方が男性に比べて高くなっている。

（6）政策・方針を決定する場への女性の参画に必要なこと（問 19）

・　政策や方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なことを聞いた設問では，「女性みずからが政策・方針を決定する場に参画することに関心や積極性を持つ」及び「男女の意見を等しく政策・方針に反映していくことの大切さを広く啓発する」との回答が男女とも約 4 割で多くなっている。
・　「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」との回答割合は，女性の方が男性より13.5ポイントも高くなっており，男女で認識の差が見られる。

（7）雇用における制度改正等の影響（問 20）

・　「男女雇用機会均等法」「労働基準法」「育児・介護休業法」「次世代育成支援対策推進法」などが雇用の分野に与えた影響については，女性の社会進出が進んだとの認識が男女とも大勢を占めている。

・　一方，「男性の育児や介護への参画が進んだ」という点については，男女とも否定的な回答が最も多くなっている。また，「男性が仕事をしやすくなった」との設問に対しての肯定的な回答割合は，男女とも 1 ケタで非常に低くなっており，特に男性では 2 人に 1 人が否定的な見方をしている。

（8）「男女共同参画社会基本法」の認知度（問 21）

・　「男女共同参画社会基本法」の認知度について，「内容をよく知っている」「少しは内容を知っている」「法律の名前を聞いたことがある」を合わせた割合は，全体で約 5 割となっている。

・　男女別では男性 54.3%，女性 42.9%と 10 ポイント以上の差がある。また，「知らない」と回答した割合についても，男性 43.6%，女性 54.8%と同様に 10 ポイント以上の差があり，「男女共同参画社会基本法」の認知度は女性に比べて男性の方が高くなっている。

・　年代別では，男女とも 20 歳代の 6 割以上，30 歳代の 4 人に 3 人が「知らない」と回答しており，「男女共同参画社会基本法」の認知度は特に若年層で低くなっている。

（9）「男女共同参画社会」に期待すること（問 22）

・　「男女共同参画社会」に期待することとしては，「男女が互いに理解し，尊重しあう関係になる」が約 4 割で最も多くなっており，次いで「性別による差別や不利益がなくなる」が 3 割強となっている。また，いずれも女性に比べて男性の方が高い割合になっている。

・　男性に比べて女性の回答割合が高い項目は，「家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける」「職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる」「男女が支え合うことで高齢期を安心して過ごせる」となっており，女性は男性に比べて具体的な生活に結びついたイメージを持っていることがうかがえる。

4　京都市の取組について

（1）男女共同参画センター「ウィングス京都」の利用状況（問 23）

・　ウィングス京都の利用状況については，男女ともに「知っているが利用したことはない」が 4 割を超えており，男性では「知らなかった」が45.7%で最も多くなっている。

・　利用状況のうち「毎週 1 回以上」「月に1～3 回程度」「年に数回」の定期利用の割合は，男性で1.4%，女性で2.9%にとどまっている。

・　30歳代以上の女性，40歳～60歳代の男性で「今まで何回か利用したことがある」の割合が１割を超えている。特に40歳代の女性では 2 割を超えている。

（２）「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業（問 24）

・　「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業の上位 3 位は，男性が「就業支援」「市民向け講座」「こころとからだの健康づくり」，女性が「就業支援」「こころとからだの健康づくり」「相談」となっている。

・　男性では，「就業支援」への要望は 50 歳代が最も高くなっている。また，女性の場合，「就業支援」については 40 歳代以下，「こころとからだの健康づくり」については 50 歳代以上の要望が高くなっている。

（３）「京都市男女共同参画推進条例」の認知度（問 25）

・　「京都市男女共同参画推進条例」の認知度について，「内容をよく知っている」「少しは内容を知っている」「条例の名前を聞いたことがある」を合わせた割合は，全体で約 3 割となっている。

・　「内容をよく知っている」と「少しは内容を知っている」を合わせた割合は，女性 7.5%に対して男性 12.3%となっており，内容面についての認知度は男性の方が高くなっている。

・　男女とも 20 歳代及び 30 歳代の 8～9 割が「知らない」と回答しており，条例の認知度は特に若年層で低くなっている。

（４）京都市が今後力を入れて取り組むべきこと（問 26）

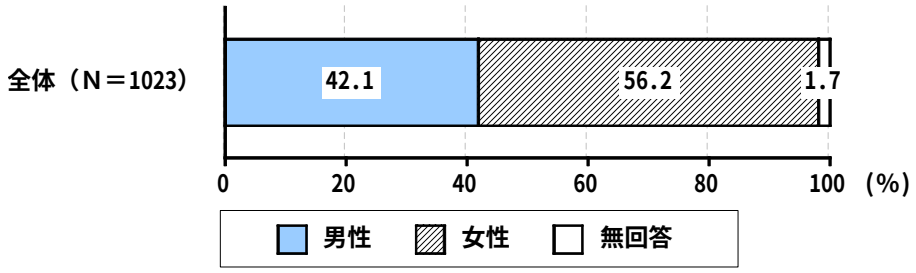
・　今後，京都市が「男女共同参画社会」の実現に向けて取り組むことについては，男女ともに「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実する」が最も多く，次いで「企業や事業主に雇用の機会や条件の男女格差を解消するよう働きかける」，「学校や生涯学習施設などで男女共同参画の理解を深める教育・学習を充実する」となっている。

・　「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実する」との回答は，女性の方が男性に比べて 16.6 ポイントも高くなっており，子育てや介護の負担が女性に偏っている状況がうかがえる。また同時に，女性の社会参画を促していくうえでも積極的な対応が求められている分野といえる。

1　回答者の属性について

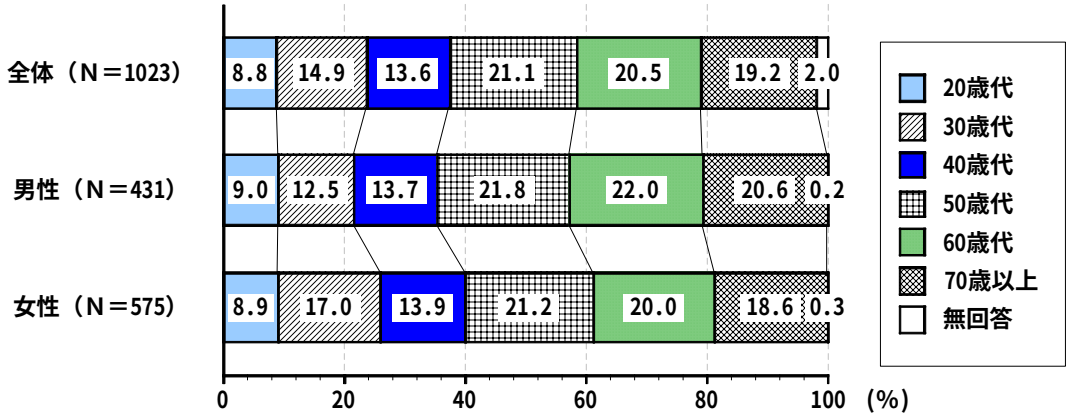
A　あなたの性別はどちらですか。

【図A　性別】



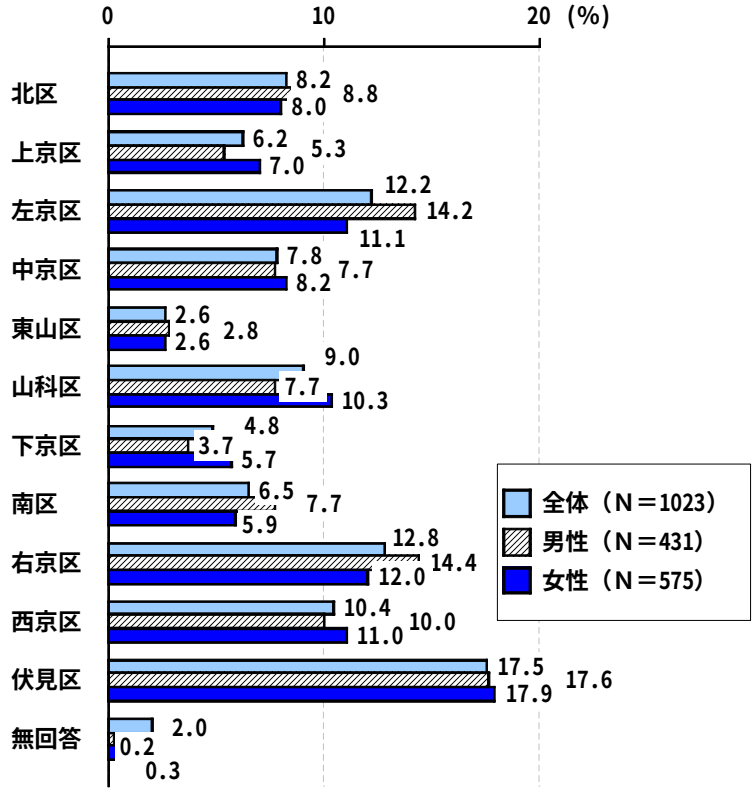
B　あなたの年齢（満年齢）はいくつですか。

【図B　年齢】



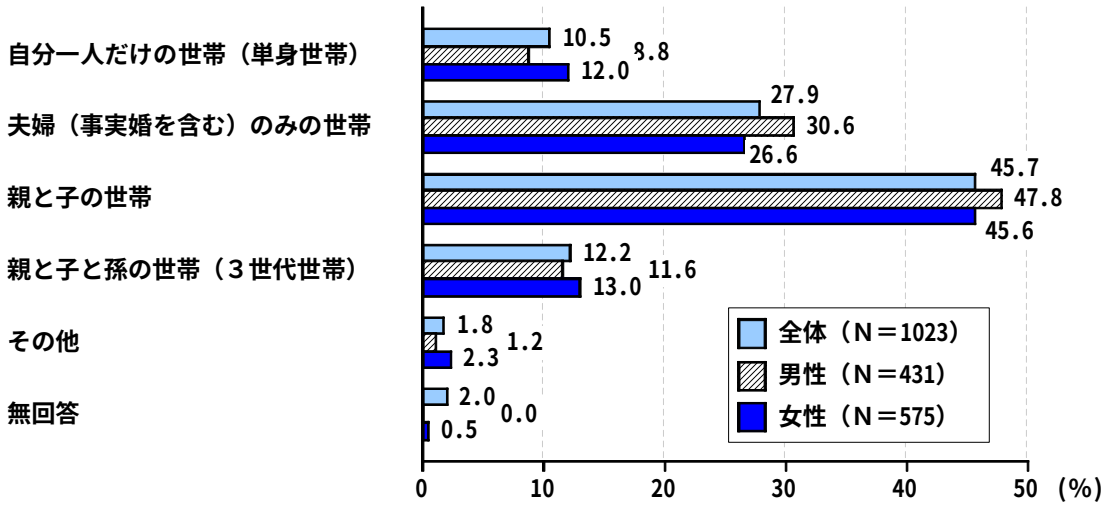
C　あなたのお住まいの地域（行政区）はどちらですか。

【図Ｃ　居住行政区】



D　あなたの世帯構成は，次のうちどれにあたりますか。

【図Ｄ　世帯構成】



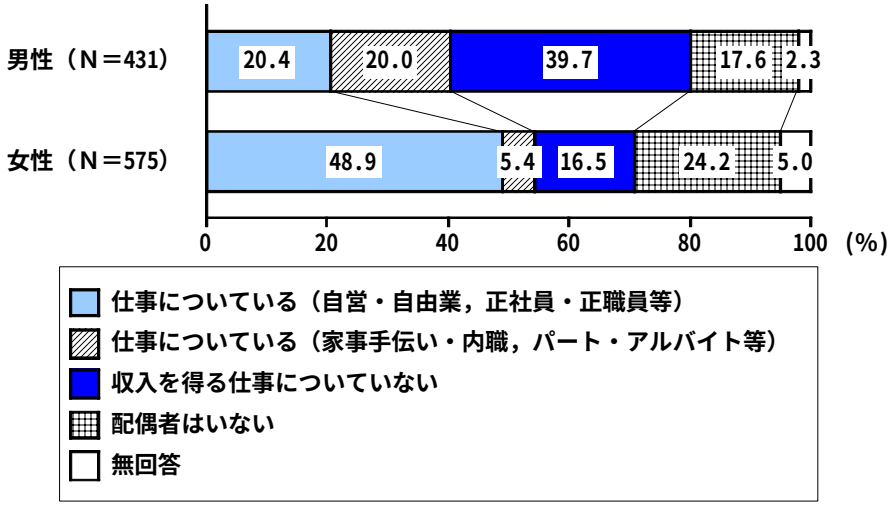
【表Ｄ　世帯構成（年齢別）】

（%）

	自分一人だけの世帯（単身世帯）	夫婦（事実婚を含む）のみの世帯	親と子の世帯	親と子と孫の世帯（３世代世帯）	その他	無回答
全　体（N=1023）	10.5	27.9	45.7	12.2	1.8	2.0
20歳代（N=90）	21.1	10.0	54.4	13.3	1.1	-
30歳代（N=152）	8.6	13.2	69.7	8.6	-	-
40歳代（N=139）	7.2	10.8	68.3	12.9	-	0.7
50歳代（N=216）	6.0	19.4	57.9	14.4	1.9	0.5
60歳代（N=210）	10.0	49.5	27.1	11.9	1.0	0.5
70歳以上（N=196）	15.8	48.5	17.3	12.8	5.6	-

E　あなたの配偶者（夫または妻，あるいはそれに相当する人を含む）は，収入を得る仕事についていますか。

【図Ｅ　配偶者の就労状況】



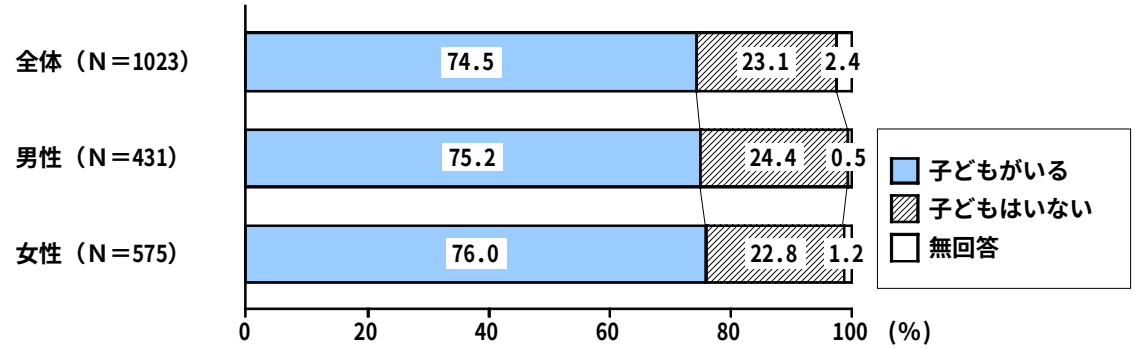
【表Ｅ　配偶者の就労状況（年齢別）】

（%）

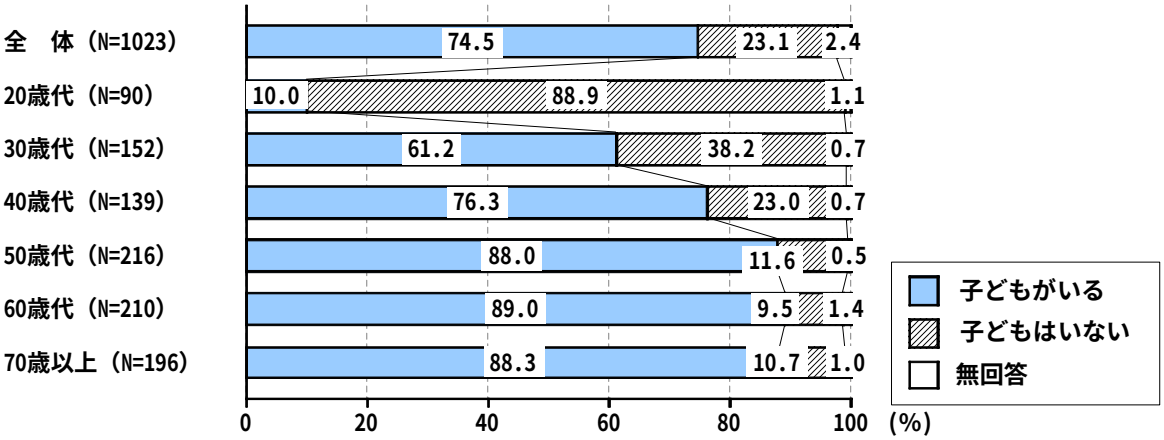
	仕事についている（自営・自由業、正社員・正職員等）	仕事についている（家事手伝い・内職、パート・アルバイト等）	収入を得る仕事についていない	配偶者はいない	無回答
全　体（N=1023）	36.1	11.4	26.0	21.0	5.5
20歳代（N=90）	21.1	3.3	3.3	67.8	4.4
30歳代（N=152）	50.7	5.9	13.2	25.0	5.3
40歳代（N=139）	48.2	20.1	13.7	16.5	1.4
50歳代（N=216）	50.9	16.7	19.9	11.1	1.4
60歳代（N=210）	31.0	15.2	39.0	12.4	2.4
70歳以上（N=196）	14.8	4.6	50.0	21.9	8.7

F　あなたには，お子さん（同居していないお子さんを含む）がいますか。

【図Ｆ－１　子どもの有無】

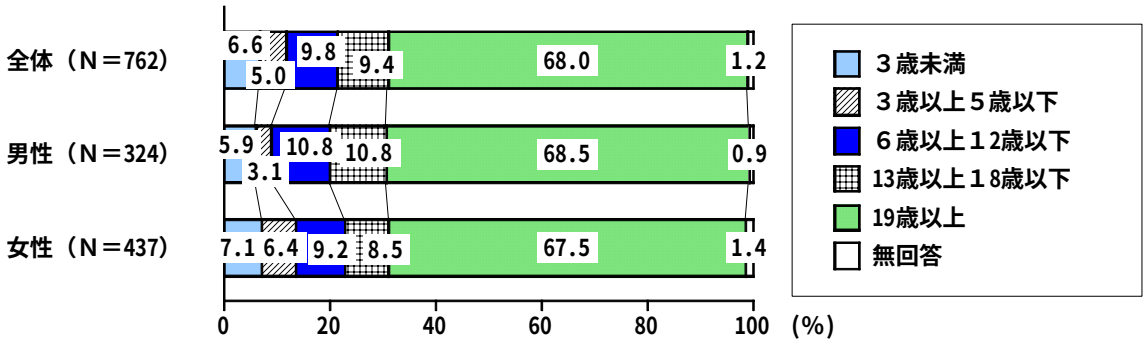


【図Ｆ－２　子どもの有無（年齢別）】



G　あなたの一番下のお子さん（同居していないお子さんを含む）は，現在，おいくつですか。

【図Ｇ　一番下の子どもの年齢】



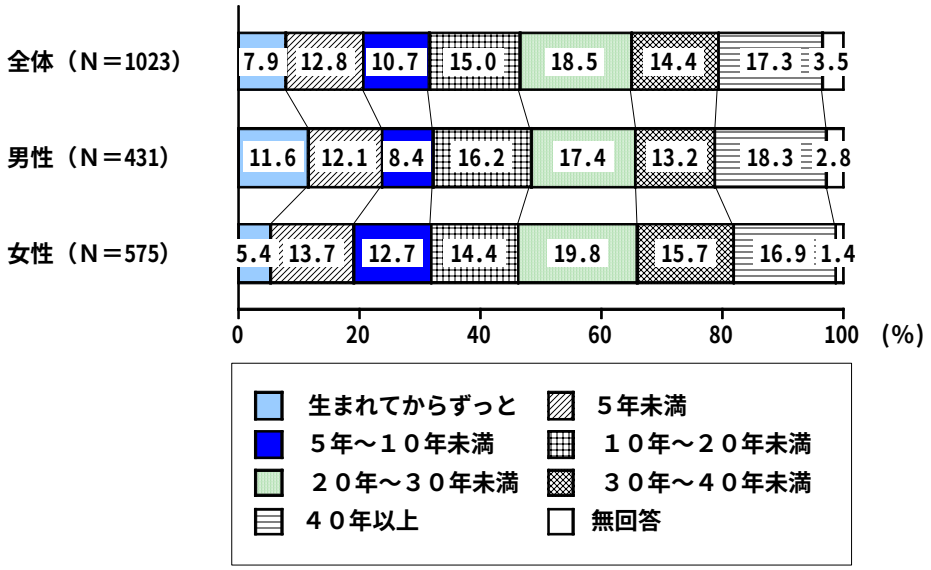
【表Ｇ　一番下の子どもの年齢（年齢別）】

（%）

	３歳未満	３歳以上６歳未満	６歳以上１３歳未満	１３歳以上１９歳未満	１９歳以上	無回答
全　体（N=762）	6.6	5.0	9.8	9.4	68.0	1.2
20歳代（N=９）	88.9	11.1	-	-	-	-
30歳代（N=93）	39.8	29.0	24.7	3.2	-	3.2
40歳代（N=106）	3.8	8.5	35.8	39.6	12.3	-
50歳代（N=190）	0.5	0.5	5.8	12.1	80.5	0.5
60歳代（N=187）	-	-	1.1	1.1	96.8	1.1
70歳以上（N=173）	-	-	0.6	0.6	98.3	0.6

H　あなたは，現在お住まいのところ（小学校区程度の範囲）に，通算して何年間お住まいですか。

【図H　現在住んでいる所の居住年数】



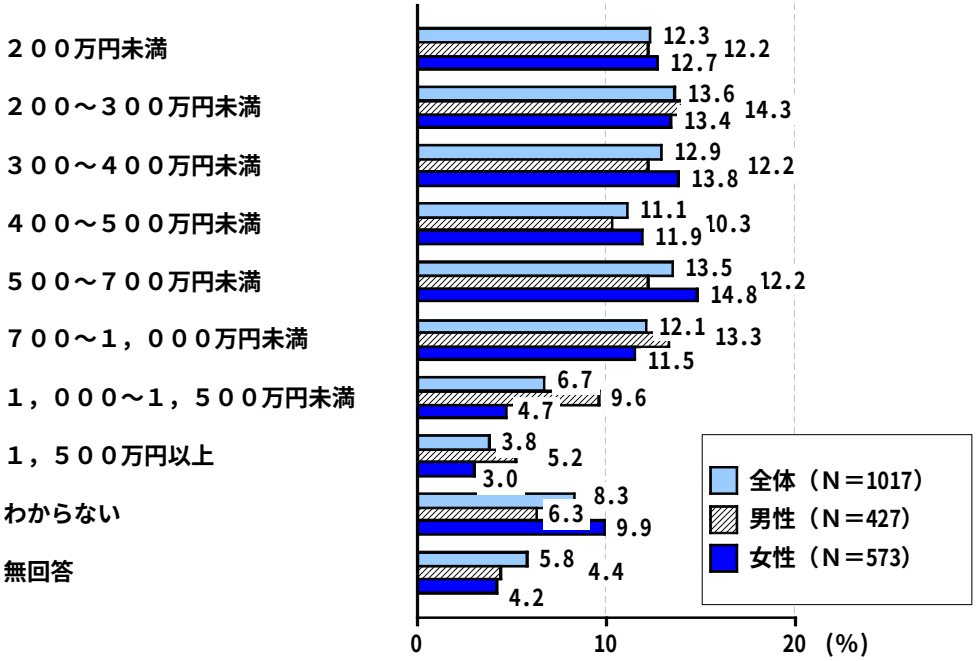
【表H　現在住んでいる所の居住年数（年齢別）】

（%）

	生まれてからずっと	5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年～40年未満	40年以上	無回答
全　体（N=1023）	7.9	12.8	10.7	15.0	18.5	14.4	17.3	3.5
20歳代（N=90）	18.9	27.8	12.2	8.9	20.0	-	-	12.2
30歳代（N=152）	5.3	32.9	27.0	12.5	10.5	10.5	-	1.3
40歳代（N=139）	5.0	10.8	15.1	37.4	18.0	3.6	9.4	0.7
50歳代（N=216）	7.4	8.3	7.9	17.6	29.6	18.1	9.3	1.9
60歳代（N=210）	6.7	6.2	4.8	9.5	22.4	24.8	25.7	-
70歳以上（N=196）	9.7	5.1	4.1	8.2	9.2	17.9	44.9	1.0

Ｉ　あなたが生計を共にしている世帯の昨年１年間の総収入（税込み）は，おおよそいくらでしたか。

【図Ｉ　世帯の昨年１年間の総収入】



【表Ｉ　世帯の昨年１年間の総収入（年齢別）】

(%)

	２００万円未満	２００～３００万円未満	３００～４００万円未満	４００～５００万円未満	５００～７００万円未満	７００～１，０００万円未満	１，０００～１，５００万円未満	１，５００万円以上	わからない	無回答
全　体（N=1017）	12.3	13.6	12.9	11.1	13.5	12.1	6.7	3.8	8.3	5.8
20歳代（N=88）	5.7	9.1	12.5	8.0	12.5	8.0	8.0	3.4	21.6	11.4
30歳代（N=150）	6.7	6.7	12.7	14.7	28.0	12.0	3.3	0.7	12.7	2.7
40歳代（N=138）	6.5	7.2	15.2	9.4	17.4	18.8	13.0	2.9	6.5	2.9
50歳代（N=215）	8.8	13.0	8.8	12.6	14.4	18.1	9.3	9.3	3.7	1.9
60歳代（N=210）	14.8	20.5	14.3	12.4	7.6	9.5	5.2	4.8	6.2	4.8
70歳以上（N=196）	26.0	19.9	15.8	8.7	6.6	6.1	3.6	0.5	7.1	5.6

２　家庭生活や地域活動について

問１　あなたのご家庭では，次のことがらは主にどなたが担当又は決定されていますか。

▼食事

・「食事のしたく」及び「食事のあとかたづけ」を主に自分が担当する割合は，女性は 8 割を超え，男性は約 1 割

「食事のしたく」について，男性では「配偶者」が 52.2%で最も高く，「7～8 割が配偶者」が 17.9%となっている。女性では「自分」が 67.5%で最も高く，「7～8 割が自分」が 14.4%となっている。

「食事のあとかたづけ」について，男性では「配偶者」が 42.9%で最も高く，「7～8 割が配偶者」が 20.9%となっている。女性では「自分」が 60.5%で最も高く，「7～8 割が自分」が 20.0%となっている。

「食事のしたく」や「食事のあとかたづけ」について，男性では「配偶者」と「7～8 割が配偶者」を合わせた割合が 60%以上，女性では「自分」と「7～8 割が自分」を合わせた割合が 80%以上を占めている。【表１－１】

▼食事【表１－１】

（%）

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
食事のしたく（男　性）	10.2	2.1	3.9	17.9	52.2	13.0	0.7
食事のしたく（女　性）	67.5	14.4	3.0	0.9	1.9	11.1	1.2
食事のあとかたづけ（男　性）	11.6	4.6	5.1	20.9	42.9	14.2	0.7
食事のあとかたづけ（女　性）	60.5	20.0	4.7	0.7	2.3	10.6	1.2

全体：N＝1023
男性：N＝431
女性：N＝575

▼家庭の管理と運営

・家庭の管理と運営についても女性が担当している割合が高い

「食料品や日用品の買物」，「そうじ」，「洗濯」，「ごみ出し」について，男性では「配偶者」が最も高く 30%以上となっている。女性では「自分」が最も高く 50%以上となっており，「自分」と「7～8 割が自分」を合わせた割合が「配偶者」と「7～8 割が配偶者」を合わせた割合に比べてかなり高くなっている。

また，「食料品や日用品の買物」，「そうじ」，「洗濯」，「ごみ出し」について，男性の「自分」の回答割合に比べ女性の「配偶者」の回答割合はかなり低くなっている。男性自身が考えているほど女性は「男性が担っている」とは考えていない傾向があるといえる。【表１－２】

▼家庭の管理と運営【表１－２】

（%）

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
食料品や日用品の買物（男　性）	11.4	4.4	11.4	22.5	37.8	11.4	1.2
食料品や日用品の買物（女　性）	58.3	19.0	6.1	2.3	1.9	10.8	1.7
そ　う　じ（男　性）	12.8	3.7	11.1	20.6	40.1	10.9	0.7
そ　う　じ（女　性）	56.5	23.0	5.6	2.8	1.6	9.0	1.6
洗　濯（男　性）	12.3	2.6	5.6	9.0	57.3	12.3	0.9
洗　濯（女　性）	67.1	14.4	1.7	1.7	2.8	11.0	1.2
ごみ出し（男　性）	23.9	7.9	8.1	14.4	34.6	10.2	0.9
ごみ出し（女　性）	51.5	14.6	7.1	3.7	8.5	12.5	2.1

全体：N＝1023
男性：N＝431
女性：N＝575

▼家庭の管理と運営

・男女とも「自分と配偶者が同じくらい」が 3 割程度

「高額な家財道具の購入」では 3 割強，「住宅の購入」では 3 割弱と，男女とも「自分と配偶者が同じくらい」の割合が最も高くなっている。「預貯金等の資産の運用」は，男性では「自分」，「自分と配偶者が同じくらい」，「配偶者」のいずれも 2 割強回答しており，女性では「自分」が最も高くなっている。【表１－３】

▼家庭の管理と運営【表１－３】

（%）

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
高額な家財道具の購入（男　性）	21.8	10.2	34.8	5.3	9.5	12.3	6.0
高額な家財道具の購入（女　性）	18.1	9.0	33.2	7.8	13.2	11.7	7.0
住宅の購入（男　性）	29.7	8.6	29.7	2.8	2.8	12.5	13.9
住宅の購入（女　性）	9.4	3.3	27.7	6.3	21.7	13.9	17.7
預貯金等の資産の運用（男　性）	22.0	9.0	23.0	9.5	21.3	11.4	3.7
預貯金等の資産の運用（女　性）	36.2	12.9	17.9	6.8	12.3	8.3	5.6

全体：N＝1023
男性：N＝431
女性：N＝575

▼子どもと高齢者

・「育児」，「子どもの日常的しつけ」，「高齢者の介護」では女性が多くを負担

・「子どもの教育方針」については男性も分担

「育児（乳幼児の世話）」について，男性では「配偶者」と「7～8 割が配偶者」を合わせた割合が 81.6%，女性では「自分」と「7～8 割が自分」を合わせた割合が 90.6%となっている。

「子どもの日常的なしつけ」について，男性では「配偶者」と「7～8 割が配偶者」を合わせた割合が 55.5%，女性では「自分」と「7～8 割が自分」を合わせた割合が 75.6%となっている。また，「自分と配偶者が同じくらい」は，男性で 37.6%に対して女性は 19.5%となっている。

「子どもの教育方針」について，男性では「配偶者」と「7～8 割が配偶者」を合わせた割合が 34.5%，

女性では「自分」と「7～8 割が自分」を合わせた割合が 52.5%となっている。また，「自分と配偶者が同じくらい」は，男性で 55.5%に対して女性は 40.4%となっている。

「高齢者の介護」について，男性では「配偶者」と「7～8 割が配偶者」を合わせた割合が 41.9%，女性では「自分」と「7～8 割が自分」を合わせた割合が 58.0%となっている。また，「自分と配偶者が同じくらい」は，男性で 25.6%に対して女性は 10.2%となっている。全ての項目において，男性は「自分と配偶者が同じくらい」の割合が高くなっているのに比べ，女性の回答は低い数値になっている。【表１－４】

▼子どもと高齢者（子どもや介護の必要な高齢者がおられる場合のみ回答）

【表１－４】

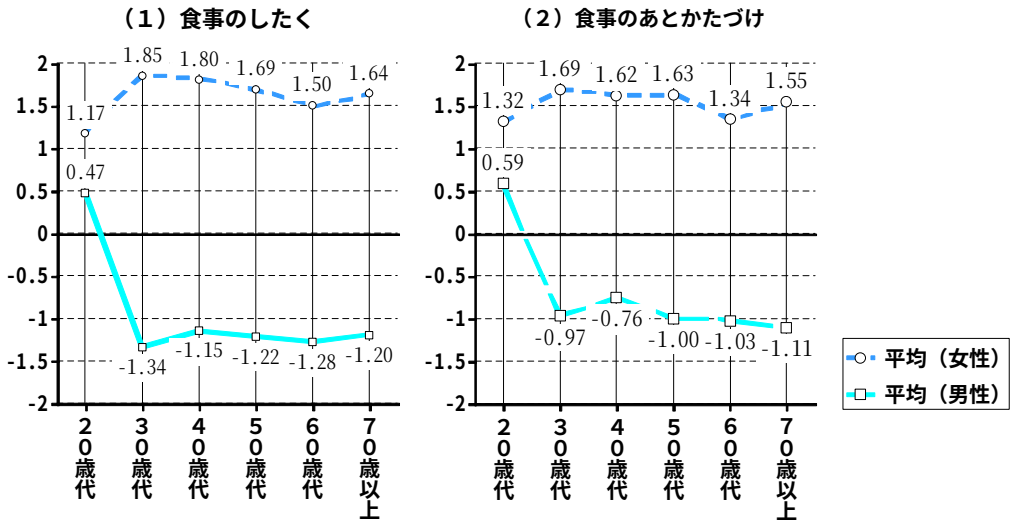
（%）

	全体（回答者数）	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
育児（乳幼児の世話）（男　性）	87	2.3	0.0	12.6	43.7	37.9	3.4
育児（乳幼児の世話）（女　性）	128	49.2	41.4	4.7	0.8	0.0	3.9
子どもの日常的しつけ（男　性）	117	1.7	1.7	37.6	35.0	20.5	3.4
子どもの日常的しつけ（女　性）	164	39.0	36.6	19.5	0.6	0.6	3.7
子どもの教育方針（男　性）	119	1.7	5.0	55.5	18.5	16.0	3.4
子どもの教育方針（女　性）	166	24.2	28.3	40.4	3.0	0.6	3.0
高齢者の介護（男　性）	86	12.8	7.0	25.6	16.3	25.6	12.8
高齢者の介護（女　性）	88	34.1	23.9	10.2	3.4	4.5	23.9

▼食事（性別・年齢別主な担当者）

「食事のしたく」及び「食事のあとかたづけ」について，男性が担っている割合はすべての年代において女性を下回っている。男性では，20 歳代において自分が担っている割合が他の年代に比べて高くなっているが，女性に比べると低くなっている。【図１－１】

▼食事（性別・年齢別主な担当者）【図１－１】



※「自分」を（+2），「７～8 割が自分」を（+1），「自分と配偶者が同じくらい」を（0），「7～8 割が配偶者」を（-1），「配偶者」を（-2），「その他の家族（親や子など）」と「無回答」は算出対象外をとして，平均を算出した。

▼家庭の管理と運営（性別・年齢別主な担当者）

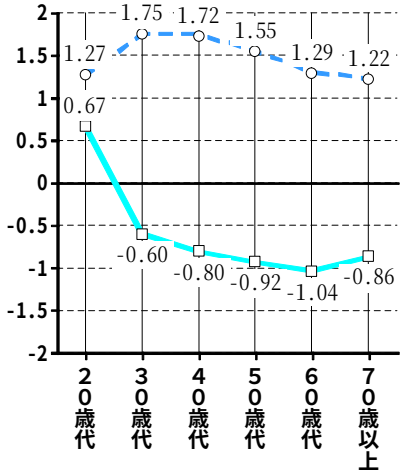
「食料品や日常品の買い物」，「そうじ」，「洗濯」，「預貯金等の資産の運用」についてはすべての年代で，「ごみ出し」については，20 歳代を除くすべての年代で女性が担っている割合が男性を上回っている。

しかし，「高額な家財道具の購入」及び「住宅の購入」については他の項目と異なり，ほとんどの年代において男性が担っている割合が女性を上回っている。

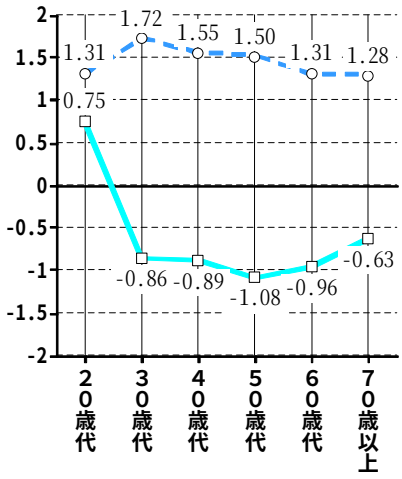
「高額な家財道具の購入」，「預貯金等の資産の運用」については，男女間の格差が他の項目に比べて小さくなっている。【図１－２】

▼家庭の管理と運営（性別・年齢別主な担当者）【図１－２】

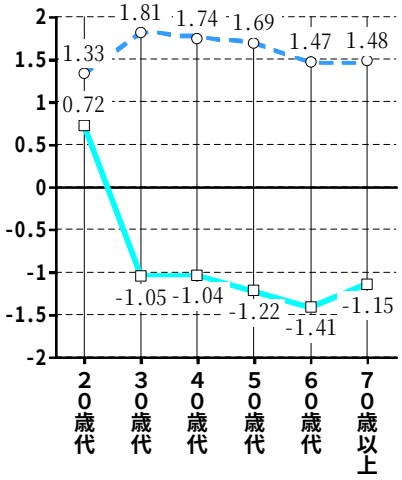
（１）食料品や日用品の買い物



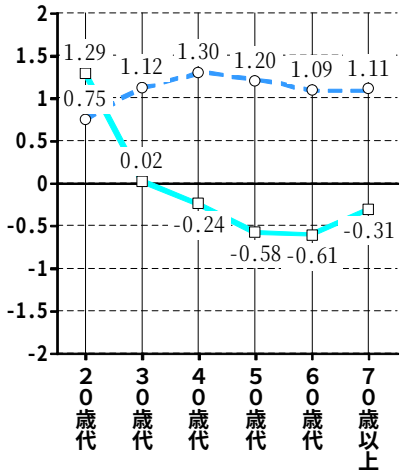
（２）そうじ



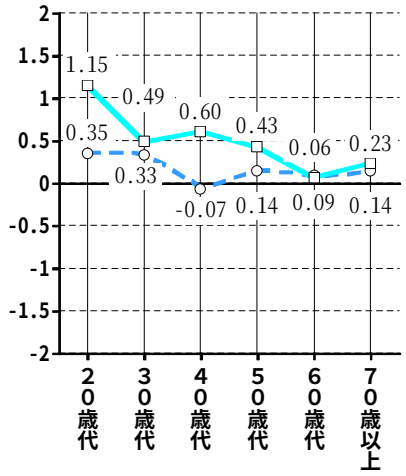
（３）洗濯



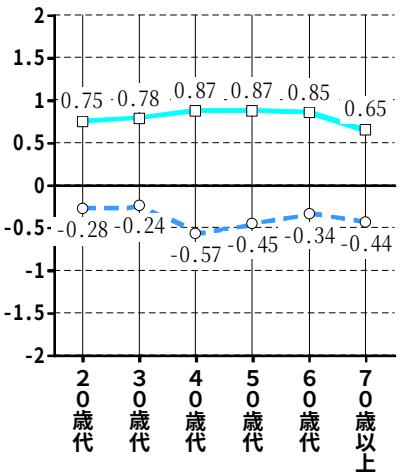
（４）ごみ出し



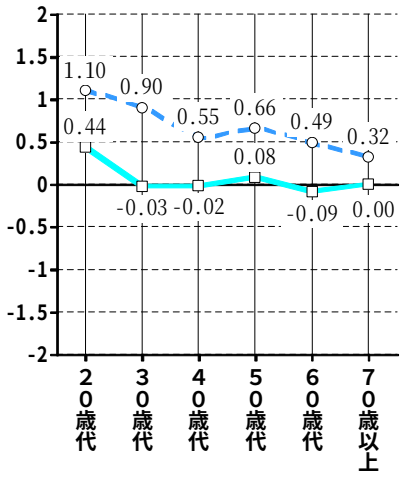
（５）高額な家財道具の購入

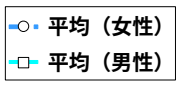


（６）住宅の購入



（７）預貯金等の資産の運用





※「自分」を（+2），「７～8 割が自分」を（+1），「自分と配偶者が同じくらい」を（0），「7～8 割が配偶者」を（-1），「配偶者」を（-2），「その他の家族（親や子など）」と「無回答」は算出対象外をとして，平均を算出した。

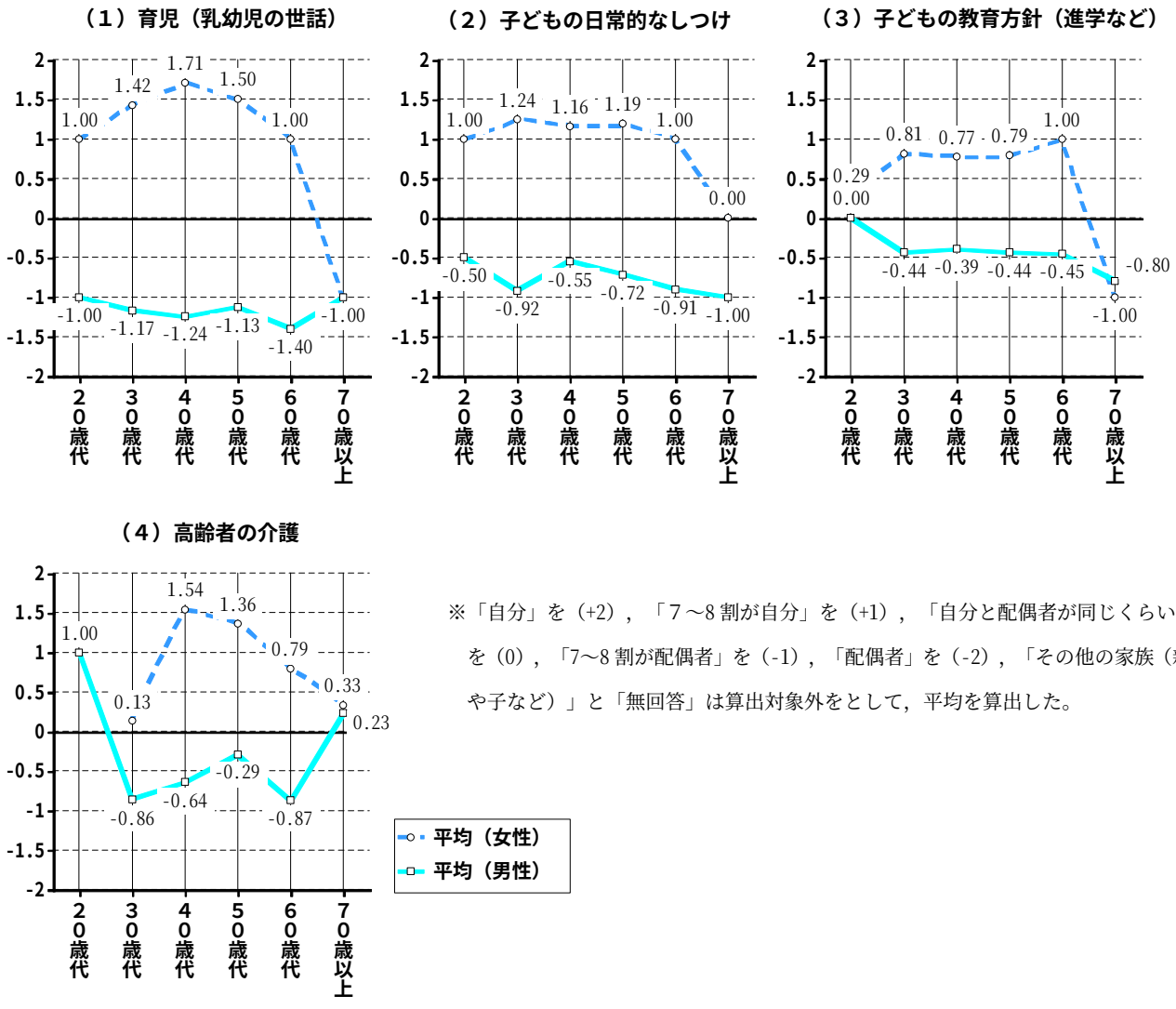
▼子どもと高齢者（性別・年齢別主な担当者）

「育児（乳幼児の世話）」，「子どもの日常的なしつけ」，「子どもの教育方針（進学など）」，「高齢者の介護」のほとんどの項目において，女性の方が担っている割合が高くなっている。（「高齢の介護」の 20 歳代女性は該当者がいない為含まないこととする）

また，育児（乳幼児の世話）の時の男女間の格差は大きく，子どもが成長するにつれて，育児（乳幼児の世話）の時に比べて格差は小さくなり，子どもの教育方針や進学になると更に格差は小さくなる傾向にある。

【図１－３】

▼子どもと高齢者（性別・年齢別主な担当者）【図１－３】



※「自分」を（+2），「７～8 割が自分」を（+1），「自分と配偶者が同じくらい」を（0），「7～8 割が配偶者」を（-1），「配偶者」を（-2），「その他の家族（親や子など）」と「無回答」は算出対象外をとして，平均を算出した。

▼食事（問８において１週に 40 時間以上働くと回答した方について）

・働いていても女性の負担割合は高い

週に 40 時間以上働く方で「食事のしたく」についてみると，男性では「配偶者」が 55.1%，「7～8 割が配偶者」が 20.1%となっており，「配偶者」と「7～8 割が配偶者」を合わせた割合が約 75%となっている。女性では「自分」が 52.6%，「7～8 割が自分」が 14.9%となっており，「自分」と「7～8 割が自分」を合わせた割合が約 70%となっている。

「食事のあとかたづけ」について，男性では「配偶者」が 43.5%，「7～8 割が配偶者」が 23.4%となっており，女性では「自分」が 47.4%，「その他の家族（親や子など）」が 24.6%となっておいる。【図１－４】

▼食事（問８において１週に 40 時間以上働くと回答した方について）【図１－４】

（%）

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
食事のしたく（男　性）	5.6	3.3	2.8	20.1	55.1	13.1	0.0
食事のしたく（女　性）	52.6	14.9	4.4	0.9	2.6	24.6	0.0
食事のあとかたづけ（男　性）	7.0	4.7	6.1	23.4	43.5	15.4	0.0
食事のあとかたづけ（女　性）	47.4	15.8	7.9	0.9	3.5	24.6	0.0

男性：N＝214
女性：N＝114

▼家庭の管理と運営（問８で１週に 40 時間以上働くと回答した方について）

・男性では，男性全体の回答に比べて女性の負担割合が増加

・女性では，女性全体の回答に比べてその他の家族の負担割合が増加

「食料品や日用品の買物」，「そうじ」，「洗濯」，「ごみ出し」の全ての項目で，男性では「配偶者」が最も高くなっており，男性全体に比べて「自分」や「7～8 割が自分」の割合が低くなっている。また，女性では「自分」が最も高くなっており，「ごみ出し」以外の項目では 50%を越えている。なお，女性全体に尋ねた場合では低い回答率であった「その他の家族（親や子など）」の割合が約 20%となっている。【図１－５】

▼家庭の管理と運営（問８で１週に 40 時間以上働くと回答した方について）【図１－５】

（%）

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
食料品や日用品の買物（男　性）	7.5	3.3	11.2	26.2	39.7	12.1	0.0
食料品や日用品の買物（女　性）	50.9	11.4	8.8	0.9	1.8	25.4	0.9
そ　う　じ（男　性）	7.5	3.3	8.9	21.5	47.2	11.7	0.0
そ　う　じ（女　性）	53.5	16.7	4.4	5.3	0.9	19.3	0.0
洗　濯（男　性）	7.0	3.7	4.2	12.6	57.9	14.5	0.0
洗　濯（女　性）	57.9	12.3	1.8	3.5	2.6	21.9	0.0
ごみ出し（男　性）	18.7	10.7	7.0	16.4	35.0	11.7	0.5
ごみ出し（女　性）	43.0	11.4	7.9	5.3	7.0	25.4	0.0

男性：N＝214
女性：N＝114

▼家庭の管理と運営（問８で１週に 40 時間以上働くと回答した方について）

・全体に比べ，女性が決定を担う割合が増加

「高額な家財道具の購入」については，男性では「自分と配偶者が同じくらい」が 39.7%，女性では「自分」が 34.2%で最も高くなっている。

「住宅の購入」については男性では「自分と配偶者が同じくらい」が 32.7%，女性では「その他の家族（親や子など）」が 25.4%となっている。週に 40 時間以上働いている女性では女性全体の回答と比較しても「その他の家族（親や子など）」が 10 ポイント高くなっている。

「預貯金等の資産の運用」については，男性では「配偶者」が 23.4%で最も高くなっており，女性では「自分」が 50.9%で過半数を超えている。【図１－６】

▼家庭の管理と運営（問８で１週に 40 時間以上働くと回答した方について）【図１－６】

（%）

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
高額な家財道具の購入（男　性）	22.9	10.7	39.7	4.7	7.9	11.7	2.3
高額な家財道具の購入（女　性）	34.2	7.0	25.4	3.5	10.5	18.4	0.9
住宅の購入（男　性）	31.3	9.8	32.7	3.3	2.8	12.6	7.5
住宅の購入（女　性）	18.4	4.4	21.1	4.4	14.0	25.4	12.3
預貯金等の資産の運用（男　性）	20.1	8.4	22.9	12.6	23.4	10.7	1.9
預貯金等の資産の運用（女　性）	50.9	7.0	16.7	4.4	7.9	10.5	2.6

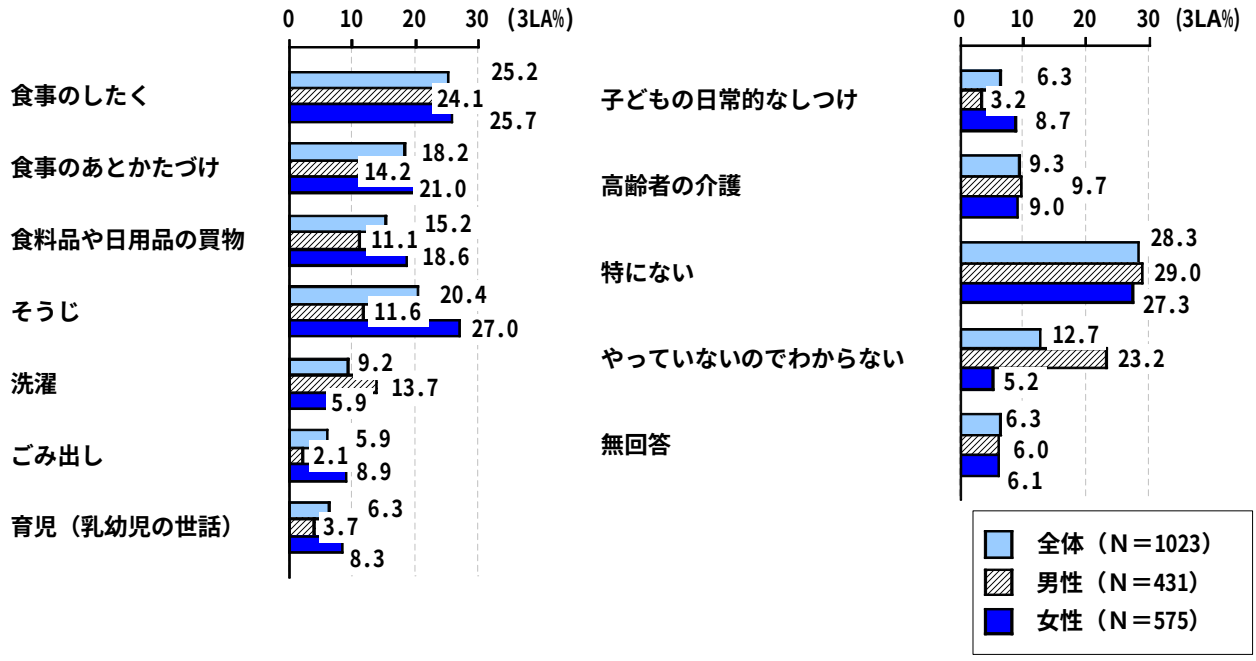
男性：N＝214
女性：N＝114

問２　問１でお答えいただいたことがらのうち，特に，あなたにとって負担であり，家族などの協力や手助けが必要と感じているものはどれですか。【３つまで選択】

・男性では「特にない」，「やっていないのでわからない」が過半数
・女性では，5 人に 1 人が「そうじ」，「食事のしたく」，「食事のあとかたづけ」に負担感

家庭生活において負担と感じているものについては，回答者全体で見ると「特にない」が 28.3%で最も多く，「食事のしたく」が 25.2%，「そうじ」が 20.4%となっている。男女別で見ると，男女ともに「特にない」の割合が最も高く，次に女性では「そうじ」が 27.0%，「食事のしたく」が 25.7%，男性では「食事のしたく」が 24.1%，「やっていないのでわからない」が 23.2%となっている。【図２－１】

【図２－１　家庭生活において負担になる事柄】



・各年代とも男女間で負担感に違い

・30 歳代女性で高い「育児」の負担感

家庭生活において負担に感じるものについて，性別・年齢別に見ると，男性の 20 歳代では「食事のしたく」，30 歳代～50 歳代及び 70 歳以上においては「特にない」，60 歳代では「やっていないので分からない」の割合が最も高くなっている。女性の 20 歳代では「食事のしたく」，30 歳代では「育児（乳幼児の世話）」，「子どもの日常的なしつけ」，40 歳代では「食事のしたく」，「食事のあとかたづけ」，50 歳代では「そうじ」，60 歳以上では「特にない」が 30%を超えている。【表２－１】

【表２－１　家庭生活において負担になる事柄（性別・年齢別）】

（３ＬＡ%）

	食事のしたく	食事のあとかたづけ	食料品や日用品の買物	そうじ	洗濯	ごみ出し	育児（乳幼児の世話）	子どもの日常的なしつけ	高齢者の介護	特にない	やっていないのでわからない	無回答
全体（男　性：N=431）	24.1	14.2	11.1	11.6	13.7	2.1	3.7	3.2	9.7	29.0	23.2	6.0
20歳代（N=39）	41.0	12.8	12.8	10.3	23.1	-	2.6	-	5.1	17.9	33.3	2.6
30歳代（N=54）	13.0	11.1	1.9	5.6	11.1	-	16.7	3.7	3.7	31.5	31.5	1.9
40歳代（N=59）	25.4	13.6	13.6	13.6	13.6	5.1	5.1	10.2	11.9	25.4	18.6	5.1
50歳代（N=94）	21.3	12.8	6.4	13.8	14.9	2.1	2.1	5.3	17.0	31.9	19.1	4.3
60歳代（N=95）	21.1	10.5	10.5	9.5	10.5	2.1	1.1	-	7.4	29.5	31.6	7.4
70歳以上（N=89）	29.2	21.3	20.2	13.5	12.4	2.2	-	1.1	9.0	31.5	12.4	11.2
全体（女　性：N=575）	25.7	21.0	18.6	27.0	5.9	8.9	8.3	8.7	9.0	27.3	5.2	6.1
20歳代（N=51）	35.3	19.6	21.6	21.6	9.8	3.9	9.8	5.9	2.0	15.7	25.5	5.9
30歳代（N=98）	28.6	26.5	16.3	21.4	5.1	7.1	33.7	32.7	4.1	14.3	6.1	1.0
40歳代（N=80）	32.5	31.3	18.8	25.0	10.0	7.5	6.3	12.5	15.0	21.3	2.5	3.8
50歳代（N=122）	26.2	28.7	18.9	35.2	5.7	9.0	3.3	4.1	18.0	28.7	0.8	2.5
60歳代（N=115）	26.1	12.2	14.8	27.0	4.3	10.4	0.9	-	7.0	39.1	0.9	10.4
70歳以上（N=107）	12.1	10.3	23.4	25.2	3.7	11.2	-	-	3.7	35.5	6.5	12.1

・男性正規雇用で「やっていないのでわからない」が高い
・女性では正規雇用，非正規雇用とも「食事のしたく」に負担感

家庭生活において負担に感じるものについて，性別・職業別に見ると，男性の自営・自由業，非正規雇用では「特にない」，正規雇用，学生では「やっていないのでわからない」，無職では「食事のしたく」が高くなっている。

一方，女性の自営・自由業，家族従事者，無職では「特にない」，正規雇用，非正規雇用では「食事のしたく」が最も高くなっている。家族従事者，正規雇用，非正規雇用では「食事のあとかたづけ」，また学生を除くすべての職業で「そうじ」の負担感も高くなっている。

【表２－２】

【表２－２　家庭生活において負担になる事柄（性別・職業別）】

（３ＬＡ%）

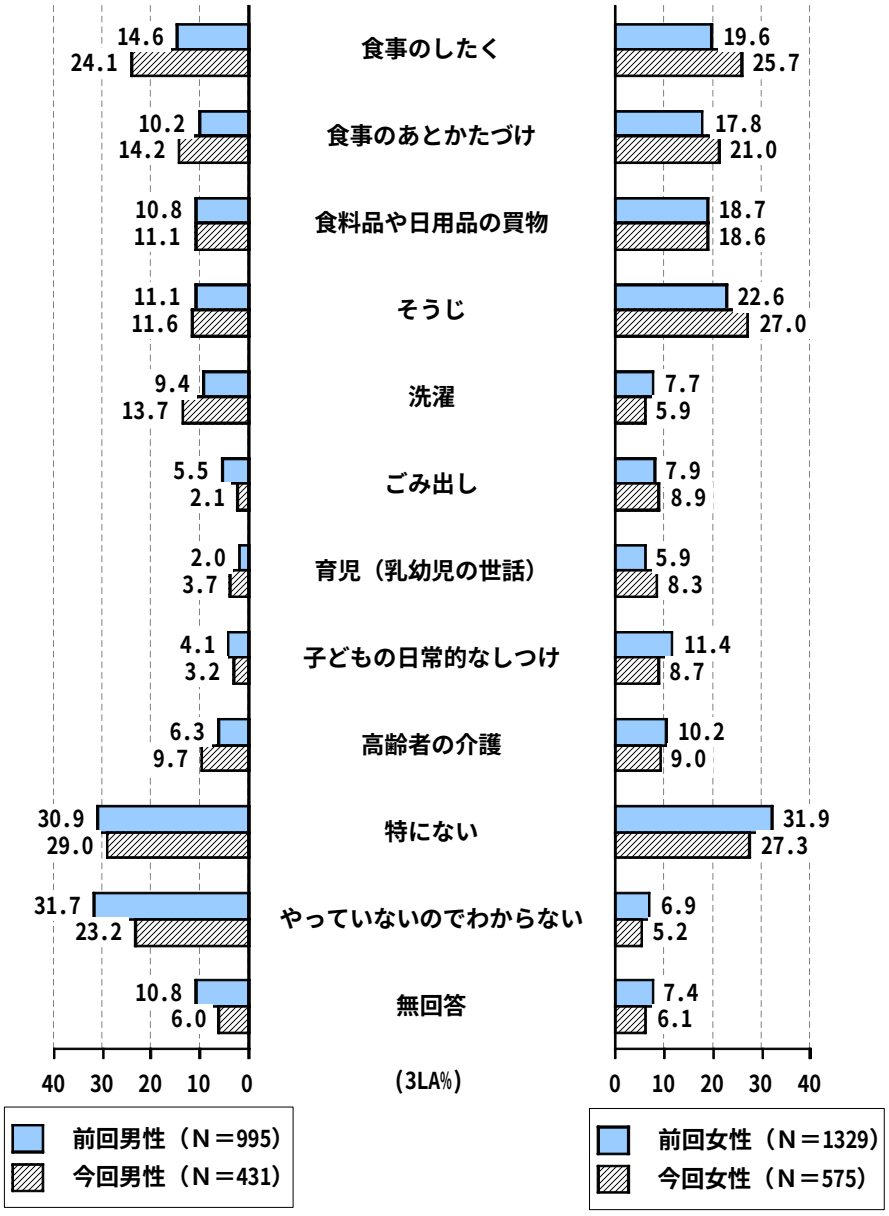
	食事のしたく	食事のあとかたづけ	食料品や日用品の買物	そうじ	洗濯	ごみ出し	育児（乳幼児の世話）	子どもの日常的なしつけ	高齢者の介護	特にない	やっていないのでわからない	無回答
全体（男性：N=431）	24.1	14.2	11.1	11.6	13.7	2.1	3.7	3.2	9.7	29.0	23.2	6.0
自営・自由業（N=107）	24.3	10.3	12.1	12.1	12.1	3.7	2.8	2.8	10.3	36.4	15.0	7.5
家族従事者（N=6）	33.3	16.7	33.3	-	-	-	-	-	33.3	16.7	-	16.7
正規雇用（N=153）	19.6	13.7	5.2	11.1	15.0	0.7	7.8	5.2	11.8	26.1	28.1	3.9
非正規雇用（N=45）	20.0	13.3	11.1	15.6	13.3	-	2.2	4.4	6.7	35.6	24.4	2.2
学生（N=15）	40.0	6.7	20.0	6.7	26.7	-	-	-	6.7	-	46.7	6.7
無職（N=91）	29.7	20.9	16.5	9.9	14.3	3.3	-	1.1	6.6	28.6	23.1	7.7
全体（女性：N=575）	25.7	21.0	18.6	27.0	5.9	8.9	8.3	8.7	9.0	27.3	5.2	6.1
自営・自由業（N=40）	25.0	10.0	15.0	30.0	-	12.5	-	2.5	5.0	45.0	2.5	7.5
家族従事者（N=24）	25.0	29.2	12.5	25.0	8.3	8.3	-	8.3	12.5	29.2	-	-
正規雇用（N=84）	41.7	26.2	20.2	31.0	10.7	6.0	6.0	7.1	11.9	16.7	13.1	1.2
非正規雇用（N=132）	29.5	28.8	17.4	22.7	6.1	9.1	8.3	10.6	9.8	24.2	3.8	5.3
学生（N=8）	25.0	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	62.5	-
無職（N=265）	20.0	17.4	19.6	29.1	5.3	8.3	11.7	9.4	9.1	29.8	2.6	7.5

・男性では前回調査に比べ，「食事のしたく」が増加し「やっていないのでわからない」が減少
・女性では前回調査に比べ，家庭生活全体的に負担感が増加

家庭生活において負担に感じるものについて，前回の調査と比較すると，男性では，「食事のしたく」が 9.5 ポイント，「洗濯」が 4.3 ポイント，「食事のあとかたづけ」が 4.0 ポイント増加し，「やっていないのでわからない」が 8.5 ポイント減少している。

女性では，「食事のしたく」が 6.1 ポイント，「そうじ」が 4.4 ポイント増加し，「特にない」が 4.6 ポイント減少している。【図２－２】

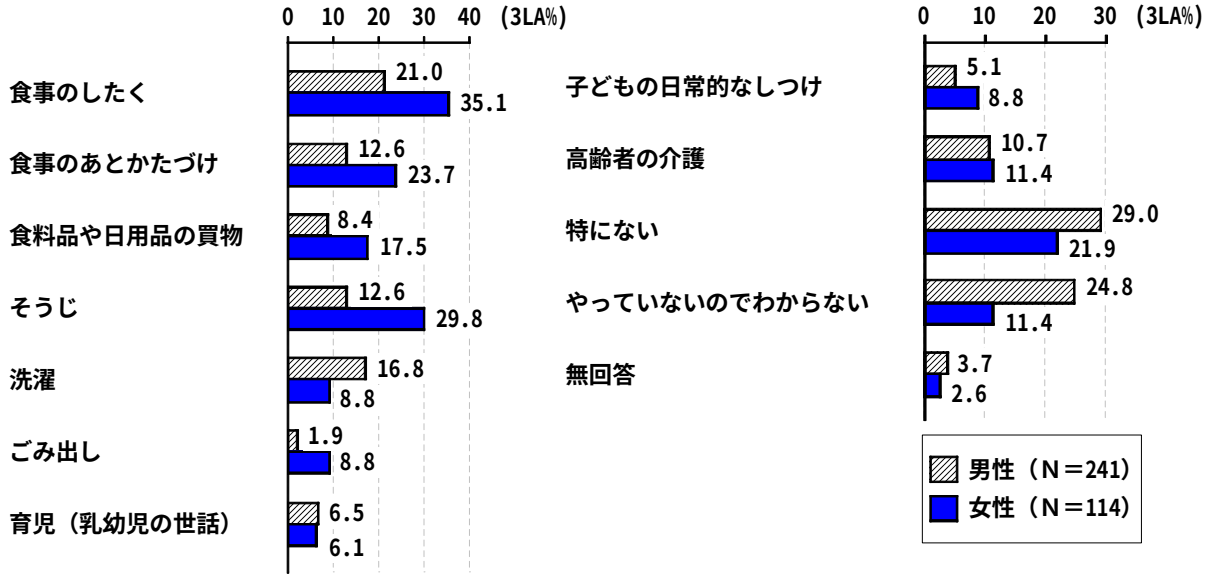
【図２－２　家庭生活において負担になる事柄（前回調査との比較）】



家庭生活において負担に感じるものについて，週に 40 時間以上働く方の男女別に比較すると，男性では「特にない」が 29.0%で最も高く，「やっていないのでわからない」が 24.8%，「食事のしたく」が 21.0%となっている。

一方，女性では「食事のしたく」が 35.1%で最も高く，「そうじ」が 29.8%，「食事のあとかたづけ」が 23.7%となっている。【図２－３】

【図２－３　家庭生活において負担になる事柄（問８で１週に 40 時間以上働く方のみ：男女別）】

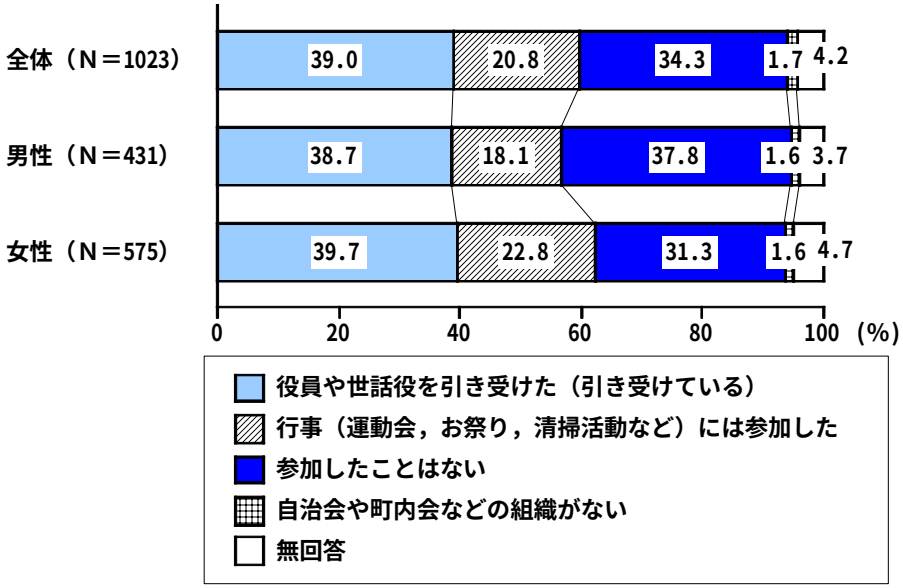


問３　あなたは，ここ５～６年の間に，「自治会や町内会などの地域活動」に参加しましたか。

・地域活動の参加と不参加の二極化

「自治会活動など地域活動」については，「役員や世話役を引き受けた（引き受けている）」が最も多く，続いて「参加したことはない」となっている。また，男女別でみると，「行事には参加した」が女性の方が男性に比べて多く，「参加したことはない」では，男性の方が女性に比べて 6 ポイント以上高くなっている。【図３－１】

【図３－１　地域活動の参加の有無】



・20歳代，30歳代で低い参加率

地域活動への参加の有無について，性別・年齢別で見ると，男性は20歳代・30歳代において「参加したことはない」が過半数以上となっており，40歳代で「役員や世話役を引き受けた（引き受けている）」，「行事（運動会，お祭り，清掃活動など）に参加した」，「参加したことはない」がそれぞれ30%程度となっている。女性も20歳代・30歳代において「参加したことはない」が最も高く，40歳代で「役員や世話役を引き受けた（引き受けている）」が55.0%，「行事（運動会，お祭り，清掃活動など）に参加した」が27.5%となっている。【表３－１】

【表３－１　地域活動の参加の有無（性別・年齢別）】

（%）

	役員や世話役を引き受けた（引き受けている）	行事（運動会，お祭り，清掃活動など）には，参加した	参加したことはない	自治会や町内会などの組織がない	無回答
全体（男　性：N=431）	38.7	18.1	37.8	1.6	3.7
20歳代（N=39）	-	15.4	82.1	2.6	-
30歳代（N=54）	22.2	14.8	55.6	1.9	5.6
40歳代（N=59）	30.5	30.5	33.9	3.4	1.7
50歳代（N=94）	48.9	18.1	26.6	2.1	4.3
60歳代（N=95）	56.8	14.7	24.2	-	4.2
70歳以上（N=89）	40.4	16.9	37.1	1.1	4.5
全体（女　性：N=575）	39.7	22.8	31.3	1.6	4.7
20歳代（N=51）	5.9	15.7	74.5	-	3.9
30歳代（N=98）	27.6	23.5	42.9	4.1	2.0
40歳代（N=80）	55.0	27.5	13.8	2.5	1.3
50歳代（N=122）	56.6	18.9	21.3	-	3.3
60歳代（N=115）	40.0	22.6	24.3	1.7	11.3
70歳以上（N=107）	36.4	26.2	32.7	-	4.7

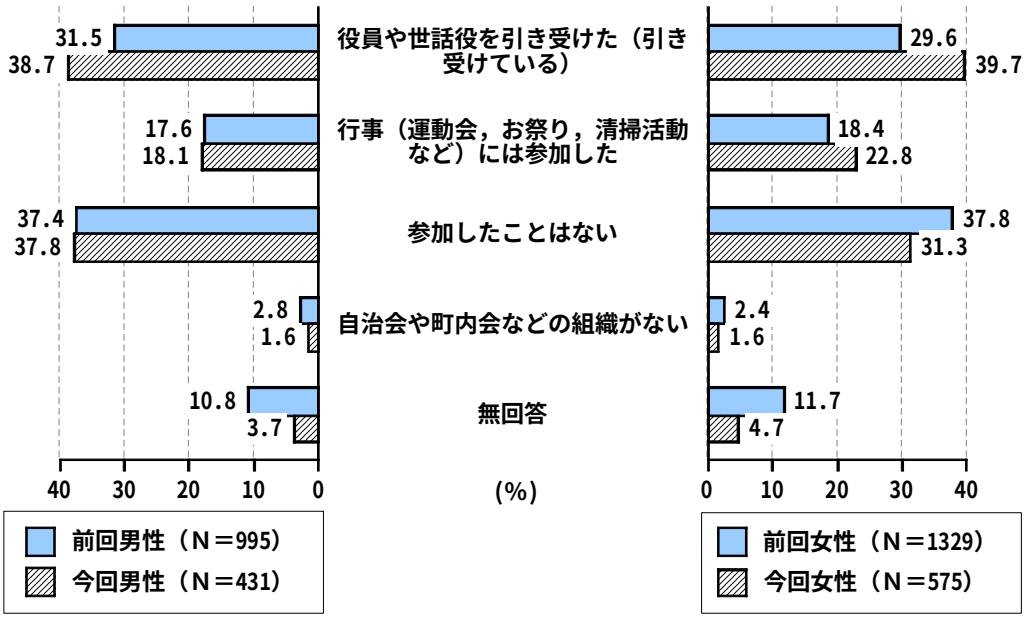
・男女とも，前回調査に比べて参加率は増加

地域活動への参加の有無について，前回の調査と比較すると，男性は「役員や世話役を引き受けた（引き受けている）」が7.2ポイント増加している。

女性は「役員や世話役を引き受けた（引き受けている）」が10.1ポイント，「行事（運動会，お祭り，清掃活動など）には参加した」が4.4ポイント増加し，「参加したことはない」が6.5ポイント減少している。

男女ともに地域活動への参加の割合は前回の調査に比べて，増加している。【図３－２】

【図３－２　地域活動の参加の有無（前回調査との比較）】



・「生まれてからずっと」と「５年未満」で低い参加割合

地域活動の参加の有無について，居住年数別に見ると，「居住年数が５年以上」の方では「役員や世話役を引き受けた（引き受けている）」の割合が最も高く，逆に「５年未満」や「生まれてからずっと」の方では「参加したことがない」が最も高くなっている。【表３－２】

【表３－２　地域活動の参加の有無（居住年数別）】

（%）

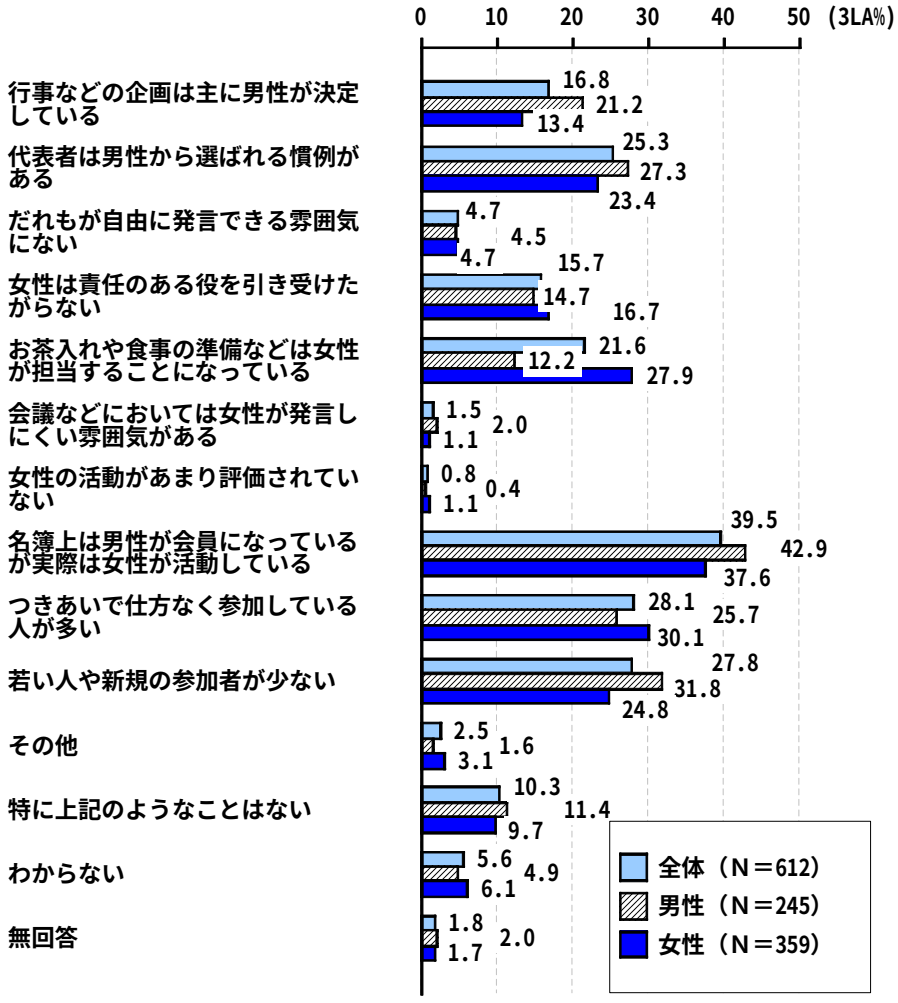
		役員や世話役を引き受けた（引き受けている）	行事（運動会，お祭り，清掃活動など）には参加した	参加したことはない	自治会や町内会などの組織がない	無回答
生まれてからずっと	（N＝81）	38.3	11.1	45.7	1.2	3.7
５年未満	（N＝131）	24.4	23.7	48.1	1.5	2.3
５年～１０年未満	（N＝109）	38.5	23.9	31.2	4.6	1.8
１０年～２０年未満	（N＝153）	40.5	20.9	33.3	2.0	3.3
２０年～３０年未満	（N＝189）	43.4	21.7	30.2	1.1	3.7
３０年～４０年未満	（N＝147）	46.9	25.9	21.1	0.0	6.1
４０年以上	（N＝177）	42.4	16.4	33.3	0.6	7.3

問４　あなたが参加した「自治会や町内会などの地域活動」では，次のようなことがありましたか。
【３つまで選択】

参加した「自治会や町内会などの地域活動」で，男女ともに「名簿上は男性が会員になっているが実際は女性が活動している」が約 40%と最も多く，続いて全体は「つきあいで仕方なく参加している人が多い」が 28.1%，「若い人や新規の参加者が少ない」が 27.8%，男性は，「若い人や新規の参加者が少ない」が 31.8%，「代表者は男性から選ばれる慣例がある」が 27.3%，女性は「つきあいで仕方なく参加している人が多い」が 30.1%，「お茶入れや食事の準備などは女性が担当することになっている」が 27.9%となっている。

なお，「お茶入れや食事の準備などは女性が担当」は男性が 12.2%，女性が 27.9%となっており，男性が約 15 ポイント低くなっている。【図４】

【図４　参加した地域活動の場での状況】



問５　あなたが「自治会や町内会などの地域活動」に参加されていない理由に近いものはどれですか。【３つまで選択】

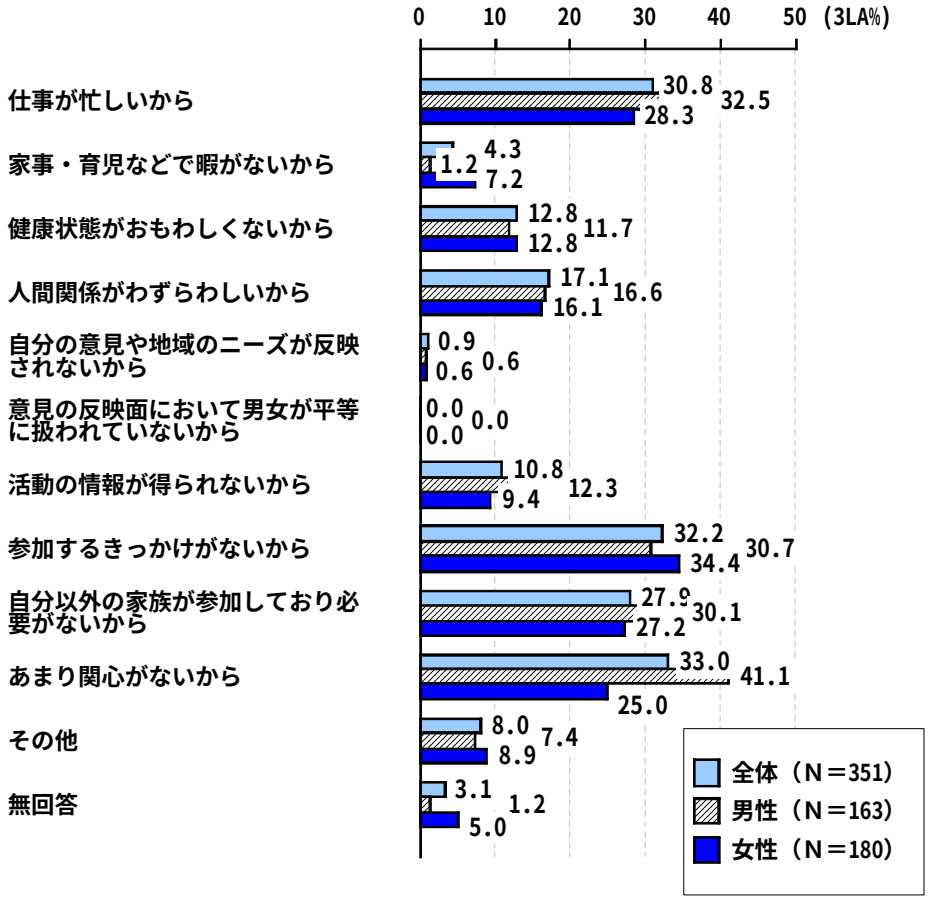
自治会などの地域活動に参加しない理由として，「あまり関心がないから」が 33.0%で最も多く，「参加するきっかけがないから」が 32.2%，「仕事が忙しいから」が 30.8%となっている。

男女別に見ると，男性では「あまり関心がないから」が 41.1%で最も多く，「仕事が忙しいから」が 32.5%，「参加するきっかけがないから」が 30.7%となっている。

女性では「参加するきっかけがないから」が 34.4%で最も多く，「仕事が忙しいから」が 28.3%，「自分以外の家族が参加しており必要がないから」が 27.2%となっている。

「あまり関心がないから」は，男性が約 16 ポイント高くなっている。【図５】

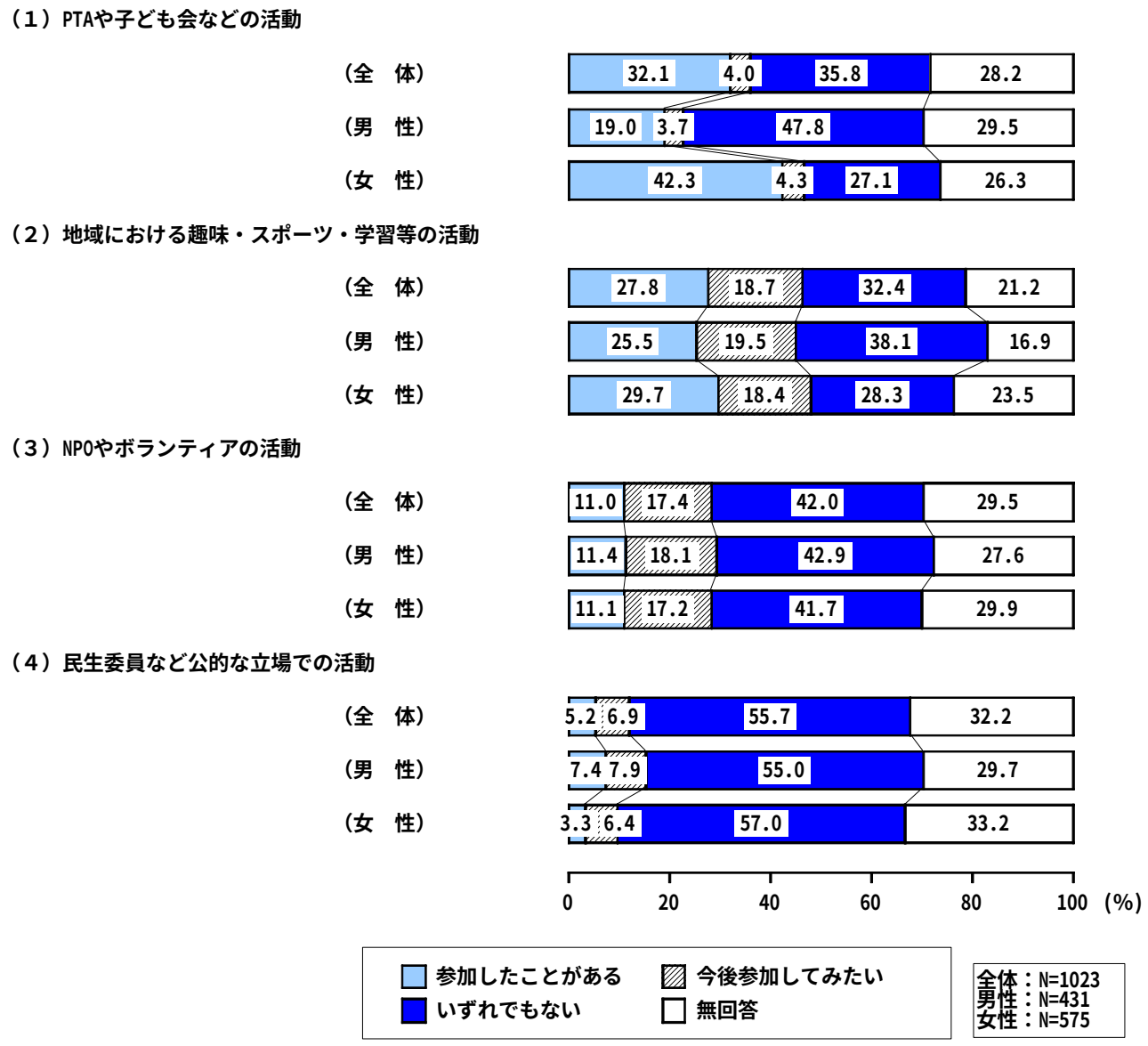
【図５　地域活動に参加していない理由】



問６　あなたは，自治会や町内会以外でどのような活動に参加したことがありますか。また，今後参加してみたい活動は何ですか。

自治会や町内会以外の活動への参加状況として，全体と男性では，すべての項目で「いずれでもない」が最も多くなっている。女性では「ＰＴＡや子ども会などの活動」，「地域における趣味・スポーツ・学習などの活動」で「参加したことがある」が最も多くなっている。特に「ＰＴＡや子ども会などの活動」では，男性に比べて 23 ポイント以上高くなっている。【図６】

【図６　自治会や町内会以外の活動への参加状況】



・若年層で高い「趣味・スポーツ・学習などの活動」と「ＮＰＯやボランティアなどの活動」の参加意向

自治会や町内会以外の活動への参加状況については，「ＰＴＡや子ども会などの活動」について，男性は，すべての年代で「いずれでもない」の割合が最も高くなっている。また，女性は，20 歳代と 60 歳以上を除く年代では，「参加したことがある」や「参加してみたい」を合わせると 50%を超えている。【表６－１】

「地域における趣味・スポーツ・学習などの活動」については，男性では 50 歳代を除くすべての年代で「いずれでもない」が最も高くなっている。女性では，30 歳代を除く年代で「参加したことがある」，「今後参加してみたい」が最も高くなっている。

「NPO（非営利団体）やボランティア等の活動」については，男女とも「いずれでもない」が最も高い割合となっており，特に 20 歳代～40 歳代では過半数を占めている。一方で 20 歳代～60 歳代では，「参加したことがある」と「今後参加してみたい」を合わせた割合は 20%以上となっている。【表６－２】

「民生委員など公的な立場での活動」については，男女とも「いずれでもない」が最も高く，20 歳代～50 歳代では 50%以上を占めている。【表６－３】

【表６－１　自治会や町内会以外の活動への参加状況（性別・年齢別）】

（１）ＰＴＡや子ども会などの活動

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（男　性：N=431）	19.0	3.7	47.8	29.5
20歳代（N=39）	7.7	5.1	76.9	10.3
30歳代（N=54）	13.0	11.1	64.8	11.1
40歳代（N=59）	25.4	3.4	61.0	10.2
50歳代（N=94）	28.7	2.1	45.7	23.4
60歳代（N=95）	15.8	2.1	42.1	40.0
70歳以上（N=89）	15.7	2.2	24.7	57.3

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（女　性：N=575）	42.3	4.3	27.1	26.3
20歳代（N=51）	11.8	9.8	68.6	9.8
30歳代（N=98）	36.7	19.4	37.8	6.1
40歳代（N=80）	72.5	1.3	21.3	5.0
50歳代（N=122）	63.9	-	18.9	17.2
60歳代（N=115）	41.7	-	15.7	42.6
70歳以上（N=107）	15.0	-	24.3	60.7

【表６－２　自治会や町内会以外の活動への参加状況（性別・年齢別）】

（２）地域における趣味・スポーツ・学習などの活動

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（男　性：N=431）	25.5	19.5	38.1	16.9
20歳代（N=39）	17.9	35.9	43.6	2.6
30歳代（N=54）	14.8	27.8	51.9	5.6
40歳代（N=59）	22.0	23.7	49.2	5.1
50歳代（N=94）	37.2	17.0	34.0	11.7
60歳代（N=95）	26.3	15.8	32.6	25.3
70歳以上（N=89）	23.6	11.2	30.3	34.8

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（女　性：N=575）	29.7	18.4	28.3	23.5
20歳代（N=51）	15.7	43.1	39.2	2.0
30歳代（N=98）	21.4	31.6	39.8	7.1
40歳代（N=80）	42.5	12.5	36.3	8.8
50歳代（N=122）	38.5	14.8	27.9	18.9
60歳代（N=115）	30.4	18.3	13.9	37.4
70歳以上（N=107）	24.3	3.7	22.4	49.5

（３）NPO（非営利団体）やボランティア等の活動

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（男　性：N=431）	11.4	18.1	42.9	27.6
20歳代（N=39）	7.7	20.5	61.5	10.3
30歳代（N=54）	1.9	25.9	63.0	9.3
40歳代（N=59）	13.6	18.6	57.6	10.2
50歳代（N=94）	16.0	19.1	42.6	22.3
60歳代（N=95）	14.7	18.9	29.5	36.8
70歳以上（N=89）	9.0	10.1	28.1	52.8

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（女　性：N=575）	11.1	17.2	41.7	29.9
20歳代（N=51）	5.9	31.4	54.9	7.8
30歳代（N=98）	4.1	21.4	65.3	9.2
40歳代（N=80）	10.0	17.5	58.8	13.8
50歳代（N=122）	19.7	22.1	35.2	23.0
60歳代（N=115）	13.9	16.5	24.3	45.2
70歳以上（N=107）	8.4	1.9	27.1	62.6

【表６－３　自治会や町内会以外の活動への参加状況（性別・年齢別）】

（４）民生委員など公的な立場での活動

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（男　性：N=431）	7.4	7.9	55.0	29.7
20歳代（N=39）	-	5.1	84.6	10.3
30歳代（N=54）	1.9	7.4	79.6	11.1
40歳代（N=59）	3.4	13.6	72.9	10.2
50歳代（N=94）	9.6	8.5	55.3	26.6
60歳代（N=95）	13.7	10.5	40.0	35.8
70歳以上（N=89）	7.9	2.2	31.5	58.4

（%）

	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全体（女　性：N=575）	3.3	6.4	57.0	33.2
20歳代（N=51）	-	3.9	88.2	7.8
30歳代（N=98）	2.0	8.2	79.6	10.2
40歳代（N=80）	1.3	15.0	70.0	13.8
50歳代（N=122）	4.1	9.8	59.0	27.0
60歳代（N=115）	6.1	2.6	39.1	52.2
70歳以上（N=107）	3.7	-	29.0	67.3

３　仕事について

問７　現在のあなたの職業はどれにあたりますか。

・男性では自由・自営業主，正規雇用が多い
・女性では非正規雇用，専業主婦が多い

現在の職業について，回答者全体では「正社員・正職員」が 24.0%で最も多く，「専業主婦・専業主夫」が 17.8%，「その他の無職」が 17.6%となっている。

男女別でみると，男性では「正社員・正職員」が 35.5%で最も多く，「その他の無職」が 20.6%，「商業・工業・サービス業などの自営業主」が 17.9%となっている。女性では「専業主婦・専業主夫」が 31.0%で最も多く，次いで「パート・アルバイト・契約社員」が 18.6%，「その他の無職」が 15.1%となっている。男性は，女性に比べて「商業・工業・サービス業などの自営業主」で約 14 ポイント，「正社員・正職員」で約 21 ポイント高くなっている。逆に，「パート・アルバイト・契約社員」では，女性の方が約 10 ポイント高くなっている。【表７－１】

【表７－１　現在の職業】

（%）

	農林漁業者	商業・工業・サービス業などの自営業主	自由業（開業医、芸術家、宗教家、弁護士など）	自営、事者　自由業者の家族家族従	正社員・正職員	パート・アルバイト・契約社員	派遣社員	内職・在宅就業	その他	専業主婦・専業主夫	学生	その他の無職	無回答
全　体（N=1023）	1.1	9.5	3.8	3.0	24.0	14.0	0.8	1.8	0.8	17.8	2.2	17.6	3.6
男　性（N=431）	1.6	17.9	5.3	1.4	35.5	8.4	0.7	0.2	1.2	0.5	3.5	20.6	3.2
女　性（N=575）	0.7	3.5	2.8	4.2	14.6	18.6	0.9	3.0	0.5	31.0	1.4	15.1	3.8

・男性の40歳代以上で多い自由・自営業主，50歳代まで多い正規雇用

・女性の若年層で多い正規雇用，40歳代以上で多い専業主婦

現在の職業について，性別・年齢別で見ると，男性では，30歳代～50歳代で「正社員・正職員」の割合が約50％となっている。女性では20歳代，30歳において「正社員・正職員」，40歳代においては「パート・アルバイト・契約社員」の割合が他の年代に比べて高くなっている。また，30歳代から「専業主婦」の割合が高くなり「正社員・正職員」の割合が低くなっているが，結婚や出産により「正社員・正職員」で就労を続けにくいことが女性の専業主婦や非正規雇用の割合が高いという結果につながっていると考えられる。【表７－２】

【表７－２　現在の職業（性別・年齢別）】

（%）

	農林漁業者	商業・工業・サービス業などの自営業主	自由業（開業医、芸術家、宗教家、弁護士など）	自営、自由業者の家族家族従事者	正社員・正職員	パート・アルバイト・契約社員	派遣社員	内職・在宅就業	その他	専業主婦・専業主夫	学生	その他の無職	無回答
全体（男　性：N=431）	1.6	17.9	5.3	1.4	35.5	8.4	0.7	0.2	1.2	0.5	3.5	20.6	3.2
20歳代（N=39）	-	5.1	-	-	30.8	15.4	2.6	-	5.1	-	33.3	5.1	2.6
30歳代（N=54）	-	5.6	5.6	1.9	74.1	3.7	1.9	-	-	-	3.7	1.9	1.9
40歳代（N=59）	1.7	15.3	6.8	-	54.2	13.6	-	-	-	-	-	5.1	3.4
50歳代（N=94）	1.1	27.7	6.4	1.1	48.9	5.3	1.1	1.1	1.1	1.1	-	3.2	2.1
60歳代（N=95）	3.2	24.2	6.3	-	18.9	14.7	-	-	2.1	-	-	29.5	1.1
70歳以上（N=89）	2.2	15.7	4.5	4.5	4.5	1.1	-	-	-	1.1	-	58.4	7.9
全体（女　性：N=575）	0.7	3.5	2.8	4.2	14.6	18.6	0.9	3.0	0.5	31.0	1.4	15.1	3.8
20歳代（N=51）	-	-	2.0	-	39.2	23.5	-	-	-	11.8	13.7	5.9	3.9
30歳代（N=98）	-	2.0	1.0	2.0	23.5	23.5	2.0	3.1	1.0	36.7	1.0	2.0	2.0
40歳代（N=80）	-	-	3.8	2.5	17.5	33.8	2.5	3.8	-	31.3	-	2.5	2.5
50歳代（N=122）	1.6	3.3	2.5	4.9	18.0	23.0	0.8	2.5	-	36.1	-	4.1	3.3
60歳代（N=115）	0.9	6.1	3.5	9.6	4.3	14.8	-	5.2	1.7	32.2	-	16.5	5.2
70歳以上（N=107）	0.9	6.5	3.7	2.8	-	-	-	1.9	-	27.1	-	51.4	5.6

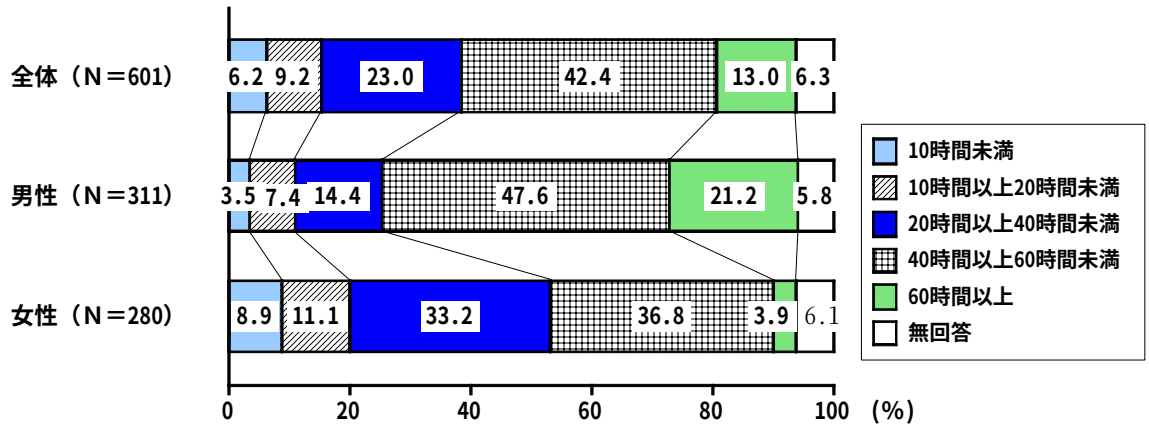
問８　あなたは平均すると週に何時間ぐらい働いていますか。（残業時間は含みますが，休憩時間は除きます。）また，日数では週に何日働いていますか。（１日１時間でも働いていれば，１日と数えてお答えください。）

・男性の６割以上，女性の４割以上が週に 40 時間以上の労働時間
・男性の約４割，女性の約３割が週に６日以上の労働日数

１週間の平均労働時間について，男女ともに「40 時間以上 60 時間未満」が最も多くなっている。続いて，回答者全体では「20 時間以上 40 時間未満」が 23.0%，「60 時間以上」が 13.0%となっており，男性では「60 時間以上」が 21.2%，「20 時間以上 40 時間未満」が 14.4%，女性では，「20 時間以上 40 時間未満」が 33.2%，「10 時間以上 20 時間未満」が 11.1%となっている。男性は女性に比べて長時間労働の傾向がある。【図８－１】

労働日数については，「６日以上」働いている方の割合が男性では 40%以上，女性では約 30%，となっており，ともに長時間勤務や長時間労働の傾向が見られる。【表８－１】

【図８－１　１週間の平均労働時間】



【表８－１　１週間の平均労働日数】

（%）

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全　体（N=601）	1.0	2.0	4.2	6.5	46.3	29.5	6.0	4.7
男　性（N=311）	1.3	0.3	3.2	4.8	44.7	34.4	6.8	4.5
女　性（N=280）	0.7	3.9	5.4	8.6	48.2	24.3	5.4	3.6

・男女ともに正規雇用で多い週40時間以上の労働時間

・男女ともに自営・自由業で多い週に６日以上の労働日数

１週間の平均労働時間について，男性では，非正規雇用を除く就労形態で「40時間以上60時間未満」が最も高くなっている。女性では，自営・自由業，正規雇用において「40時間以上60時間未満」，家族従事者，非正規雇用においては「20時間以上40時間未満」が最も高くなっている。また，正規雇用での40時間以上の割合が男性では87.5%，女性では80.9%となっている。【表８－２】

１週間の平均労働日数については，男女ともに自由・自営業を除いた就労形態では「５日」が最も高くなっており，自由・自営業では「６日」が最も高くなっている。【表８－３】

【表８－２　１週間の平均労働時間（性別・職業別）】

（%）

	10時間未満	10時間以上20時間未満	20時間以上40時間未満	40時間以上60時間未満	60時間超	無回答
全体（男性：N=431）	3.5	7.4	14.5	47.6	21.2	5.8
自営・自由業（N=107）	5.6	11.2	15.9	37.4	18.7	11.2
家族従事者（N=6）	16.7	-	16.7	33.3	16.7	16.7
正規雇用（N=153）	0.7	2.6	7.2	62.7	24.8	2.0
非正規雇用（N=45）	6.7	15.6	35.6	22.2	15.6	4.4

（%）

	10時間未満	10時間以上20時間未満	20時間以上40時間未満	40時間以上60時間未満	60時間超	無回答
全体（女性：N=575）	8.9	11.1	33.2	36.8	3.9	6.1
自営・自由業（N=40）	15.0	15.0	22.5	30.0	7.5	10.0
家族従事者（N=24）	20.8	20.8	25.0	16.7	-	16.7
正規雇用（N=84）	3.6	4.8	8.3	72.6	8.3	2.4
非正規雇用（N=132）	8.3	12.1	53.8	19.7	0.8	5.3

【表８－３　１週間の平均労働日数（性別・職業別）】

（%）

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体（男性：N=431）	1.3	0.3	3.2	4.8	44.7	34.4	6.8	4.5
自営・自由業（N=107）	1.9	0.9	3.7	2.8	21.5	45.8	14.0	9.3
家族従事者（N=6）	-	-	-	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7
正規雇用（N=153）	-	-	1.3	1.3	60.1	32.7	2.6	2.0
非正規雇用（N=45）	4.4	-	8.9	20.0	48.9	15.6	2.2	-

（%）

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
全体（女性：N=575）	0.7	3.9	5.4	8.6	48.2	24.3	5.4	3.6
自営・自由業（N=40）	-	12.5	10.0	7.5	10.0	42.5	12.5	5.0
家族従事者（N=24）	-	4.2	4.2	4.2	33.3	29.2	12.5	12.5
正規雇用（N=84）	-	1.2	-	1.2	69.0	25.0	2.4	1.2
非正規雇用（N=132）	1.5	3.0	7.6	14.4	49.2	17.4	3.8	3.0

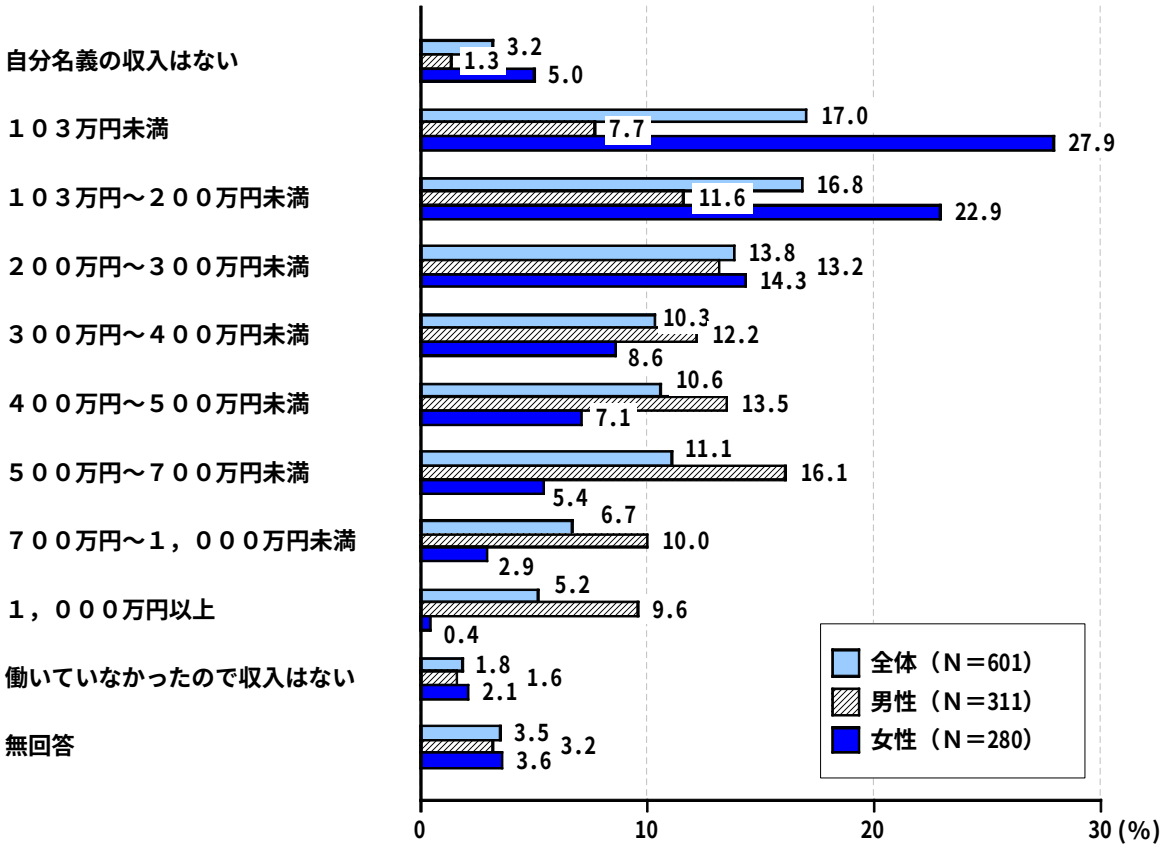
問９　あなたの昨年１年間の収入（税込み）は，おおよそいくらでしたか。

・男女間で高い収入格差

昨年の収入について，回答者全体では「103 万円未満」が 17.0%で最も高く，「103 万円～200 万円未満」が 16.8%となっている。

男女別でみると，男性では「500 万円～700 万円未満」が 16.1%で最も多く，「400 万円～500 万円未満」が 13.5%となっている。女性では「103 万円未満」が 27.9%で最も多く，「103 万円～200 万円未満」が 22.9%となっており，200 万円未満で約半数の割合を占めている。【図９】

【図９　昨年度の個人収入】



・男性は年代による収入格差がある

昨年度の収入について，性別・年齢別で見ると，男性では，20歳代では「103万円～200万円未満」，30歳代で「400万円～500万円未満」，40歳代で「500万円～700万円未満」，50歳代で「1,000万円以上」が最も高くなっている。女性では，20歳代を除くすべての年代で「200万円未満」が約50%を占める結果となっている。【表９－１】

【表９－１　昨年度の個人収入（性別・年齢別）】

（%）

	全体	自分名義の収入はない	103万円未満	103万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	働いていなかったので収入はない	無回答
全体（男　性：N=311）	311	1.3	7.7	11.6	13.2	12.2	13.5	16.1	10.0	9.6	1.6	3.2
20歳代（N=23）	23	-	8.7	30.4	26.1	17.4	4.3	4.3	-	-	8.7	-
30歳代（N=50）	50	-	4.0	6.0	10.0	16.0	28.0	22.0	4.0	-	2.0	8.0
40歳代（N=54）	54	-	3.7	11.1	11.1	5.6	3.7	29.6	16.7	13.0	1.9	3.7
50歳代（N=88）	88	1.1	3.4	6.8	13.6	9.1	15.9	13.6	17.0	18.2	-	1.1
60歳代（N=66）	66	3.0	16.7	16.7	13.6	15.2	9.1	10.6	6.1	7.6	-	1.5
70歳以上（N=29）	29	3.4	13.8	10.3	10.3	17.2	17.2	6.9	3.4	6.9	3.4	6.9
全体（女　性：N=280）	280	5.0	27.9	22.9	14.3	8.6	7.1	5.4	2.9	0.4	2.1	3.6
20歳代（N=33）	33	-	6.1	27.3	42.4	12.1	6.1	3.0	-	-	3.0	-
30歳代（N=57）	57	5.3	24.6	19.3	15.8	8.8	12.3	8.8	-	-	1.8	3.5
40歳代（N=51）	51	-	33.3	23.5	11.8	11.8	5.9	5.9	2.0	-	3.9	2.0
50歳代（N=69）	69	4.3	33.3	15.9	11.6	11.6	8.7	7.2	5.8	-	-	1.4
60歳代（N=53）	53	13.2	26.4	35.8	3.8	1.9	3.8	1.9	3.8	1.9	1.9	5.7
70歳以上（N=17）	17	5.9	47.1	11.8	5.9	-	-	-	5.9	-	5.9	17.6

・男性は就労状況による収入格差あり，女性は正規雇用を除き格差なし

昨年度の収入について，男女別・就労状況別に見ると，男性では，就労状況によって昨年度の収入には大きくばらつきが見られる。女性では正規雇用では「200万円～300万円未満」が，正規雇用を除く就労状況では「103万円未満」が最も高くなっている。

また，同じ就労状況であっても，男女で年収状況に差が表れている。【表９－２】

【表９－２　昨年度の個人収入（性別・就労別）】

（%）

	自分名義の収入はない	103万円未満	103万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	働いていなかったので収入はない	無回答
全体（男性：N=431）	1.3	7.7	11.6	13.2	12.2	13.5	16.1	10.0	9.6	1.6	3.2
自営・自由業（N=107）	3.7	11.2	15.9	13.1	14.0	6.5	11.2	3.7	15.9	1.9	2.8
家族従事者（N=6）	-	-	50.0	-	16.7	16.7	-	-	-	-	16.7
正規雇用（N=153）	-	-	3.3	9.8	11.8	21.6	21.6	17.6	8.5	2.0	3.9
非正規雇用（N=45）	-	26.7	24.4	26.7	8.9	2.2	11.1	-	-	-	-
全体（女性：N=575）	5.0	27.9	22.9	14.3	8.6	7.1	5.4	2.9	0.4	2.1	3.6
自営・自由業（N=40）	17.5	30.0	20.0	7.5	10.0	2.5	-	5.0	-	2.5	5.0
家族従事者（N=24）	12.5	41.7	29.2	8.3	-	-	4.2	4.2	-	-	-
正規雇用（N=84）	-	1.2	7.1	25.0	22.6	19.0	15.5	6.0	1.2	1.2	1.2
非正規雇用（N=132）	3.0	41.7	32.6	10.6	0.8	2.3	0.8	-	-	3.0	5.3

問10　あなたは，現在の仕事に不満や悩みがあるとしたら，それはどのようなことですか。

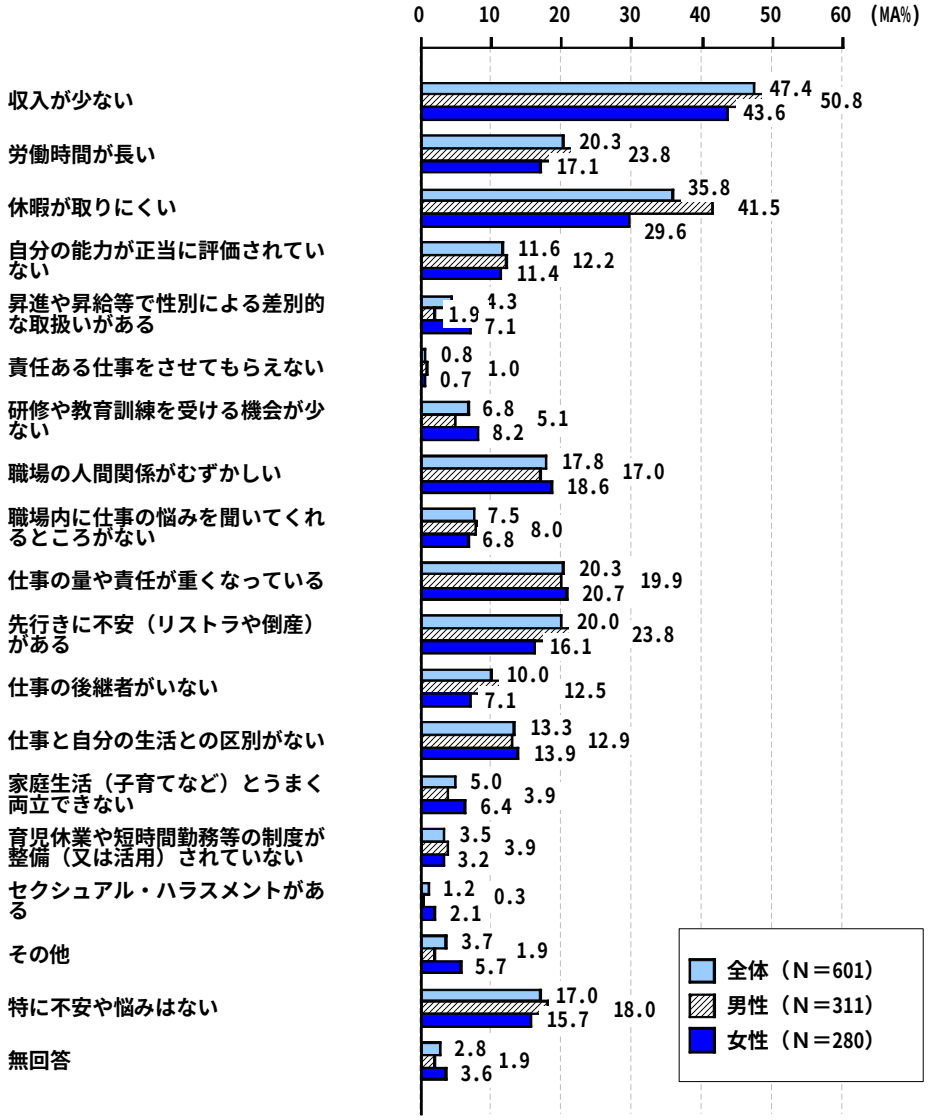
【あてはまるものすべて選択】

・労働時間が長く，休暇が取りにくい環境の男性

・仕事量や責任が重くなっており，職場の人間関係等が難しい環境の女性

現在の仕事上の悩みについて，男女ともに「収入が少ない」が最も高く，続いて全体では「休暇が取りにくい」が 35.8%，「労働時間が長い」及び「仕事量や責任が重くなっている」が 20.3%，男性では「休暇が取りにくい」が 41.5%，「労働時間が長い」及び「先行きに不安（リストラや倒産）がある」が 23.8%となっており，女性では「休暇が取りにくい」が 29.6%，「仕事量や責任が重くなっている」が 20.7%，「職場の人間関係がむずかしい」が 18.6%となっている。【図 10－１】

【図 10－１　現在の仕事に対する不満や悩み】



・労働時間が長く，休暇が取りにくい若年層

・仕事と家庭の両立が難しい30歳代

現在の仕事上の悩みについて，性別・年齢別に見ると，男性の70歳代を除くすべての年代で「収入が少ない」が最も高い割合となっている。男性では，20歳代・30歳代で「労働時間が長い」，30歳代では「仕事の量や責任が重くなっている」，60歳代では「仕事の後継者がいない」が他の年代に比べて高くなっている。女性では20歳代で「労働時間が長い」，「休暇が取りにくい」，「研修や教育訓練を受ける機会が少ない」，30歳代で「家庭生活（子育てなど）とうまく両立できない」，40歳代では「先行きに不安（リストラや倒産）がある」が他の年代に比べて高くなっている。

【表10－１】

【表 10－１　現在の仕事に対する不満や悩み（性別・年齢別）】

（MA％）

	収入が少ない	労働時間が長い	休暇が取りにくい	自分の能力が正当に評価されていない	昇進や昇給等で性別による差別的な取扱いがある	責任ある仕事をさせてもらえない	研修や教育訓練を受ける機会が少ない	職場の人間関係がむずかしい	職場内に仕事の悩みを聞いてくれるところがない	仕事の量や責任が重くなっている	先行きに不安（リストラや倒産）がある	仕事の後継者がいない	仕事と自分の生活との区別がない	家庭生活（子育てなど）とうまく両立できない	育児休業や短時間勤務等の制度が整備（又は活用）されていない	セクシャル・ハラスメントがある	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体（男　性：N=311）	50.8	23.8	41.5	12.2	1.9	1.0	5.1	17.0	8.0	19.9	23.8	12.5	12.9	3.9	3.9	0.3	1.9	18.0	1.9
20歳代（N=23）	56.5	39.1	52.2	17.4	-	4.3	8.7	17.4	13.0	13.0	30.4	8.7	4.3	-	13.0	-	4.3	26.1	-
30歳代（N=50）	54.0	44.0	46.0	18.0	6.0	-	12.0	28.0	12.0	36.0	34.0	10.0	10.0	14.0	16.0	2.0	2.0	10.0	2.0
40歳代（N=54）	59.3	18.5	50.0	14.8	3.7	1.9	3.7	24.1	9.3	25.9	35.2	9.3	5.6	3.7	1.9	-	-	11.1	-
50歳代（N=88）	54.5	25.0	48.9	10.2	-	1.1	3.4	21.6	9.1	20.5	23.9	11.4	20.5	3.4	-	-	3.4	8.0	1.1
60歳代（N=66）	42.4	13.6	25.8	12.1	1.5	-	4.5	1.5	4.5	12.1	10.6	21.2	12.1	-	-	-	1.5	30.3	1.5
70歳以上（N=29）	34.5	6.9	20.7	-	-	-	-	3.4	-	3.4	6.9	10.3	17.2	-	-	-	-	41.4	10.3
全体（女　性：N=280）	43.6	17.1	29.6	11.4	7.1	0.7	8.2	18.6	6.8	20.7	16.1	7.1	13.9	6.4	3.2	2.1	5.7	15.7	3.6
20歳代（N=33）	57.6	39.4	48.5	9.1	9.1	-	21.2	30.3	6.1	30.3	18.2	6.1	9.1	9.1	9.1	3.0	15.2	3.0	-
30歳代（N=57）	42.1	12.3	21.1	8.8	8.8	-	8.8	24.6	1.8	26.3	10.5	1.8	15.8	22.8	5.3	1.8	1.8	10.5	1.8
40歳代（N=51）	51.0	9.8	33.3	15.7	7.8	2.0	11.8	21.6	7.8	21.6	27.5	5.9	9.8	2.0	5.9	3.9	9.8	13.7	2.0
50歳代（N=69）	47.8	21.7	31.9	13.0	8.7	1.4	5.8	15.9	14.5	21.7	17.4	5.8	14.5	1.4	-	2.9	4.3	23.2	-
60歳代（N=53）	26.4	9.4	24.5	11.3	3.8	-	1.9	11.3	3.8	13.2	9.4	13.2	20.8	-	-	-	1.9	20.8	9.4
70歳以上（N=17）	35.3	17.6	17.6	5.9	-	-	-	-	-	-	11.8	17.6	5.9	-	-	-	5.9	17.6	17.6

・休暇が取りにくく，仕事量・責任が重い正規雇用者
・仕事と生活に区別がない自営・自由業と家族従事者

現在の仕事上の悩みについて，男女ともに自営・自由業，非正規雇用おいては「収入が少ない」，正規雇用では「休暇が取りにくい」，女性の家族従事者では「仕事と自分の生活との区別がない」が最も高くなっている。

男性の自営・自由業では「仕事と自分の生活との区別がない」，正規雇用では「仕事の量や責任が重くなっている」が他の就労形態に比べて高くなっている。

女性の正規雇用では「職場の人間関係がむずかしい」，「仕事の量や責任が重くなっている」が他の就労形態に比べて高くなっている。【表10－２】

【表 10－２　現在の仕事に対する不満や悩み（性別・職業別）】

（ＭＡ％）

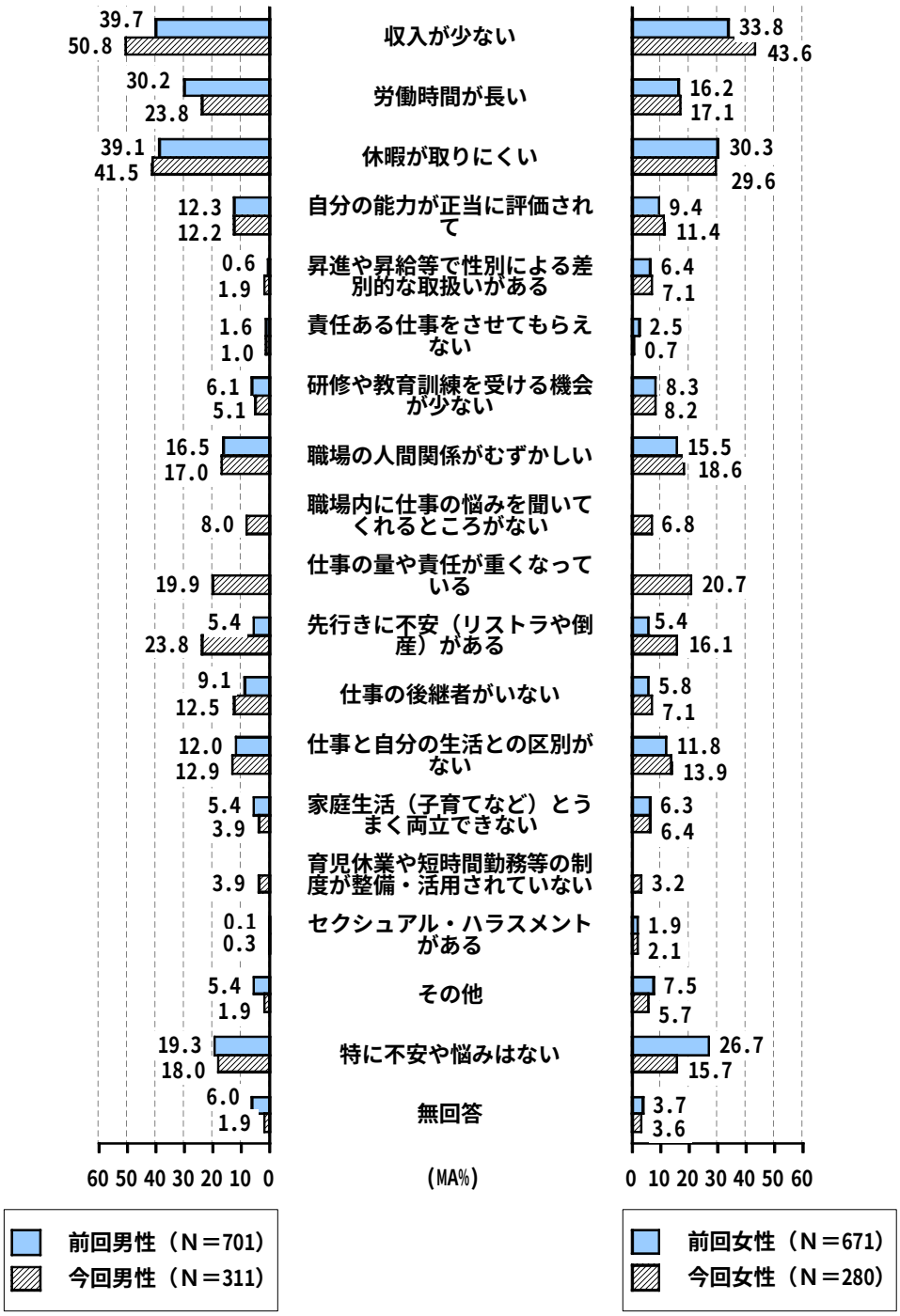
	収入が少ない	労働時間が長い	休暇が取りにくい	自分の能力が正当に評価されていない	昇進や昇給等で性別による差別的な取扱いがある	責任ある仕事をさせてもらえない	研修や教育訓練を受ける機会が少ない	職場の人間関係がむずかしい	職場内に仕事の悩みを聞いてくれるところがない	仕事の量や責任が重くなっている	先行きに不安（リストラや倒産）がある	仕事の後継者がいない	仕事と自分の生活との区別がない	家庭生活（子育てなど）とうまく両立できない	育児休業や短時間勤務等の制度が整備（又は活用）されていない	セクシャル・ハラスメントがある	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全体（男性：N=431）	50.8	23.8	41.5	12.2	1.9	1.0	5.1	17.0	8.0	19.9	23.8	12.5	12.9	3.9	3.9	0.3	1.9	18.0	1.9
自営・自由業（N=107）	49.5	15.9	35.5	6.5	0.9	-	2.8	4.7	2.8	10.3	17.8	16.8	23.4	3.7	-	-	1.9	23.4	2.8
家族従事者（N=6）	33.3	33.3	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7	-	-	-	-	16.7	16.7
正規雇用（N=153）	49.0	30.1	49.7	13.7	2.0	-	5.9	24.2	9.8	32.0	28.8	13.1	7.2	5.2	6.5	0.7	2.6	12.4	1.3
非正規雇用（N=45）	62.2	20.0	26.7	22.2	4.4	6.7	8.9	24.4	15.6	4.4	24.4	2.2	6.7	-	4.4	-	-	24.4	-
全体（女性：N=575）	43.6	17.1	29.6	11.4	7.1	0.7	8.2	18.6	6.8	20.7	16.1	7.1	13.9	6.4	3.2	2.1	5.7	15.7	3.6
自営・自由業（N=40）	42.5	12.5	25.0	5.0	2.5	-	2.5	2.5	-	7.5	10.0	15.0	32.5	-	-	-	2.5	22.5	7.5
家族従事者（N=24）	29.2	4.2	8.3	4.2	4.2	-	-	-	-	4.2	4.2	4.2	41.7	4.2	-	-	-	29.2	-
正規雇用（N=84）	44.0	40.5	53.6	16.7	14.3	-	10.7	31.0	10.7	44.0	15.5	7.1	10.7	10.7	6.0	3.6	8.3	9.5	1.2
非正規雇用（N=132）	46.2	6.1	19.7	11.4	4.5	1.5	9.8	18.9	7.6	12.9	20.5	5.3	5.3	6.1	3.0	2.3	6.1	15.2	4.5

・前回調査時より拡がる収入が少ないことへの悩みと先行き不安

現在の仕事上の悩みについて，前回の調査と比較すると，男性では「収入が少ない」，「先行きに不安（リストラや倒産）がある」が10ポイント以上増加している。女性においても「収入が少ない」，「先行きに不安（リストラや倒産）がある」は約10ポイント程度増加している。

また「特に不安や悩みはない」が男性では特に大きな変化は見られないが，女性では11ポイント減少している。【図10－２】

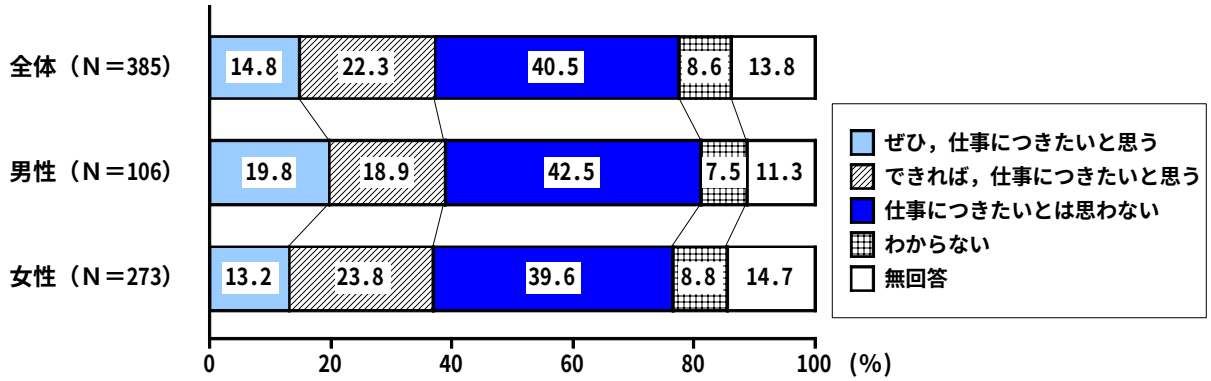
【図 10－２　現在の仕事に対する不満や悩み（前回調査との比較）】



問11　あなたは，今後，収入を得る仕事につきたいと思いますか。

・就労意欲ありが３割以上【図 11】

【図 11　今後の就労意向】



・就労意欲の高い若年層

今後の就労意向について，性別・年齢別に見ると，男性の20歳代～50歳代においては，就労を希望する人は過半数を占めるが，逆に60歳以上になると就労を希望しない人が過半数程度を占めている。一方，女性では50歳以上で就労を希望がない人が過半数を占めている。【表11】

【表 11　今後の就労意向（性別・年齢別）】

(%)

	ぜひ、仕事につきたいと思う	できれば、仕事につきたいと思う	仕事につきたいとは思わない	わからない	無回答
全体（男　性：N=106）	19.8	18.9	42.5	7.5	11.3
20歳代（N=15）	86.7	13.3	-	-	-
30歳代（N=3）	66.7	33.3	-	-	-
40歳代（N=3）	33.3	66.7	-	-	-
50歳代（N=4）	25.0	50.0	25.0	-	-
60歳代（N=28）	7.1	21.4	64.3	7.1	-
70歳以上（N=53）	3.8	13.2	49.1	11.3	22.6

(%)

	ぜひ、仕事につきたいと思う	できれば、仕事につきたいと思う	仕事につきたいとは思わない	わからない	無回答
全体（女　性：N=273）	13.2	23.8	39.6	8.8	14.7
20歳代（N=16）	68.8	18.8	-	6.3	6.3
30歳代（N=39）	38.5	43.6	7.7	7.7	2.6
40歳代（N=27）	14.8	48.1	22.2	11.1	3.7
50歳代（N=49）	12.2	24.5	51.0	10.2	2.0
60歳代（N=56）	-	28.6	50.0	8.9	12.5
70歳以上（N=84）	-	4.8	53.6	7.1	34.5

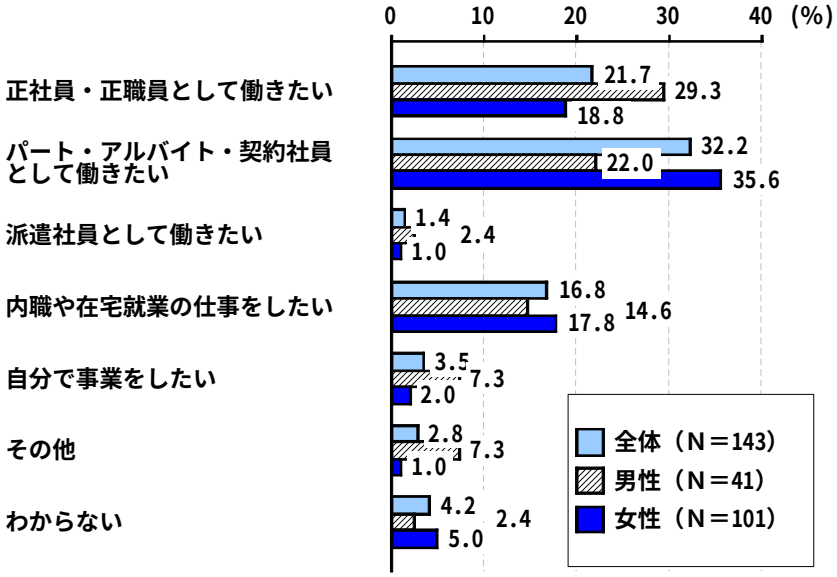
問12　あなたは，今後，仕事に就くとしたら，どのような働き方を希望しますか。

・男性は正規雇用，女性は非正規雇用を希望

今後の希望の就労形態として，回答者全体では「パート・アルバイト・契約社員として働きたい」が 32.2%で最も多く，次に「正社員・正職員として働きたい」が 21.7%となっている。

男女別でみると，男性では「正社員・正職員として働きたい」が 29.3%で最も多く，「パート・アルバイト・契約社員として働きたい」が 22.0%となっている。一方，女性では「パート・アルバイト・契約社員として働きたい」が 35.6%で最も多く，「正社員・正職員として働きたい」が 18.8%となっており，希望の就労形態について男性と上位が逆転している。【図 12】

【図 12　希望の就労形態】



問 13　あなたは，今後，仕事に就くうえで，何かお困りのことがありますか。

【あてはまるものすべて選択】

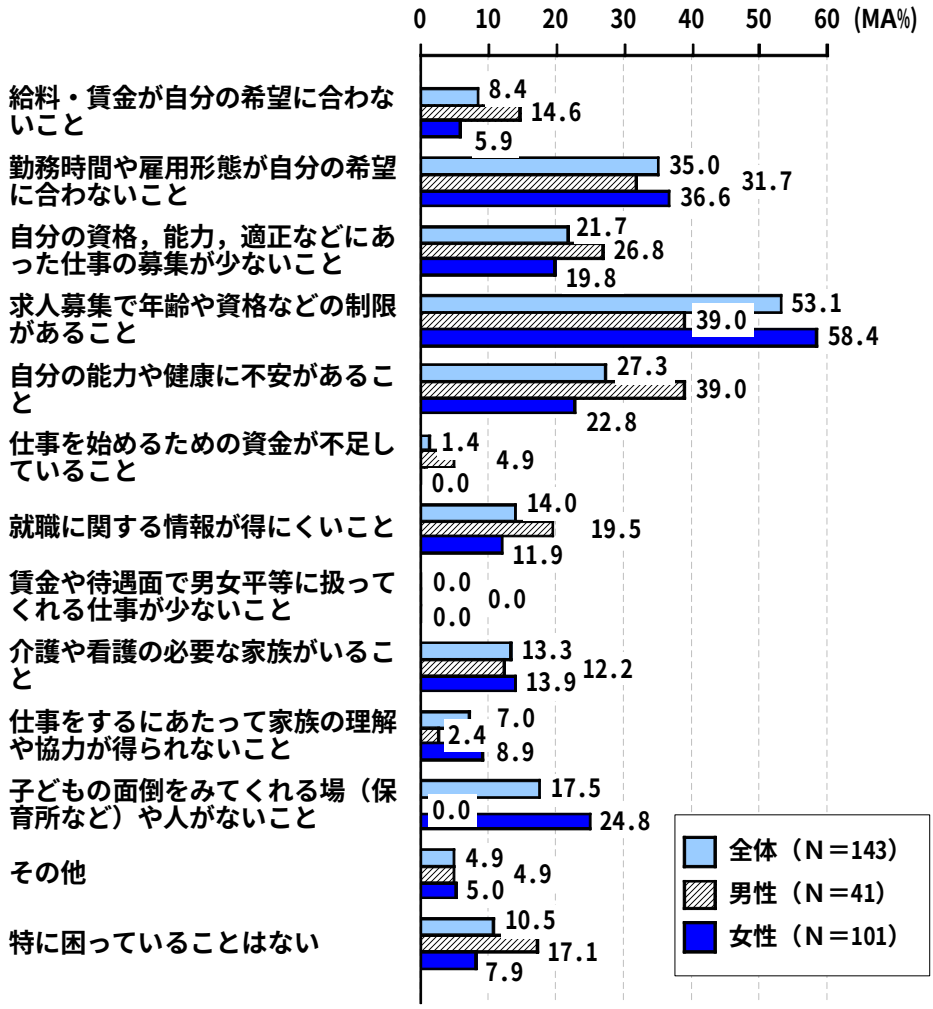
・求職と求人のミスマッチ

・女性の就職にあたっては「子どもの面倒をみてくれる場や人がない」

仕事に就くうえで困っていることについて，回答者全体では「求人募集で年齢や資格などの制限がある」が 53.1%で半数を超えており，「勤務時間や雇用形態が自分の希望と合わない」が 35.0%，「自分の能力や健康に不安がある」が 27.3%となっている。

男女別でみると，男性では「求人募集で年齢や資格などの制限がある」及び「自分の能力や健康に不安がある」が 39.0%で最も多く，「勤務時間や雇用形態が自分の希望と合わない」が 31.7%となっている。女性では「求人募集で年齢や資格などの制限がある」が 58.4%で半数を超えており，「勤務時間や雇用形態が自分の希望と合わない」が 36.6%，「子どもの面倒をみてくれる場や人がない」が 24.8%となっている。「子どもの面倒をみてくれる場や人がない」について，男性での回答がなかったのに対して女性では４人に１人が回答しており，女性が働くにあたっての障壁のとなっている。【図 13－１】

【図 13－１　今後の就労にあたり困っていること】



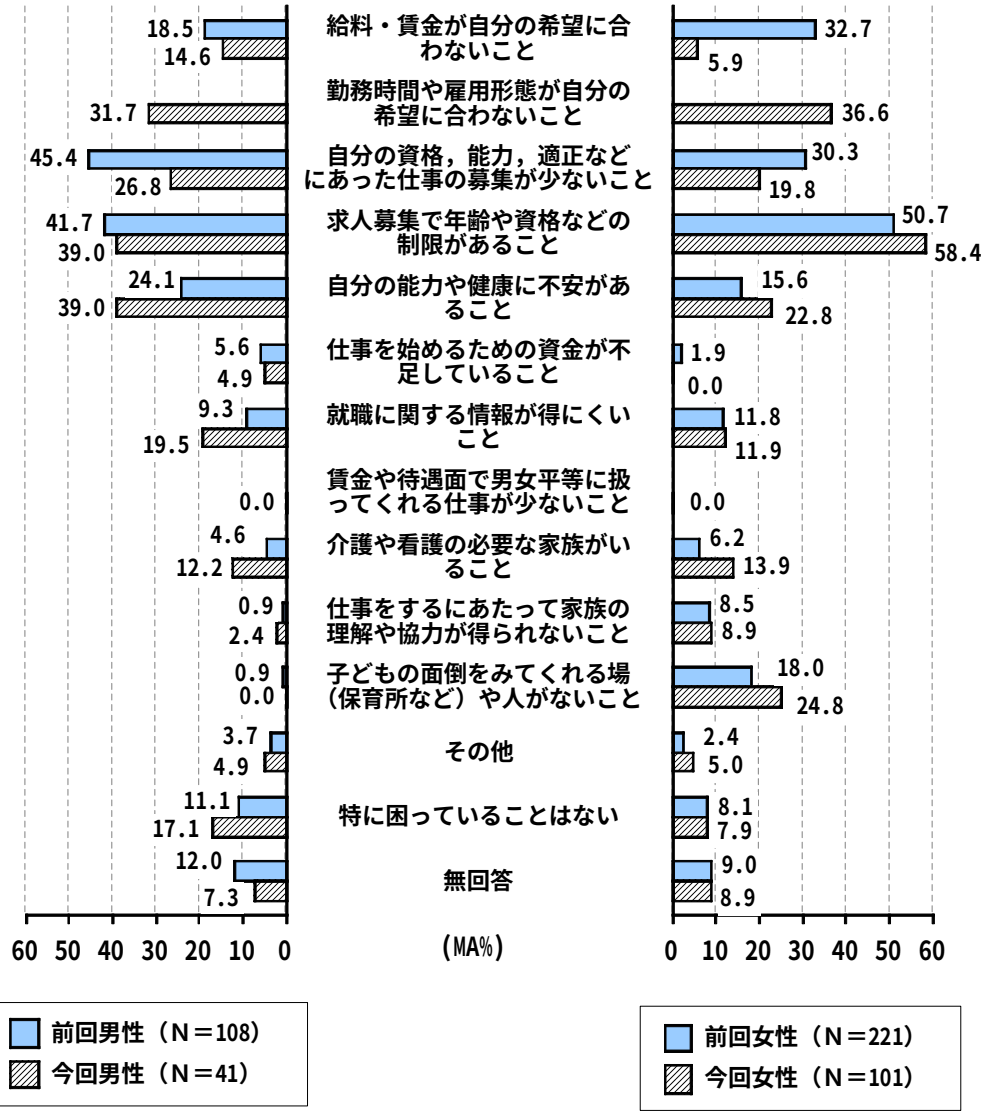
・能力，健康に不安，情報入手が困難な男性が増加

・看護，介護，保育面で障害のある女性が増加

仕事に就くうえで困っていることについて，前回の調査と比較すると，男性では「自分の能力や健康に不安があること」，「就職に関する情報が得にくいこと」，「介護や看護の必要な家族がいること」は 7 ポイント以上増加し，「自分の資格，能力，適正などにあった仕事の募集がすくないこと」は 10 ポイント以上減少している。

女性では「給与・賃金が自分の希望に合わないこと」，「自分の資格，能力，適正などにあった仕事の募集がすくないこと」は 10 ポイント以上減少し，「求人募集で年齢や資格などの制限があること」，「自分の能力や健康に不安があること」，「介護や看護の必要な家族がいること」は 7 ポイント以上増加している。女性の場合，自身の年齢・健康問題などの直接的な事に加えて家族の介護といった間接的な事等さまざまなことが問題となっている。【図 13－２】

【図 13－２　今後の就労にあたり困っていること】



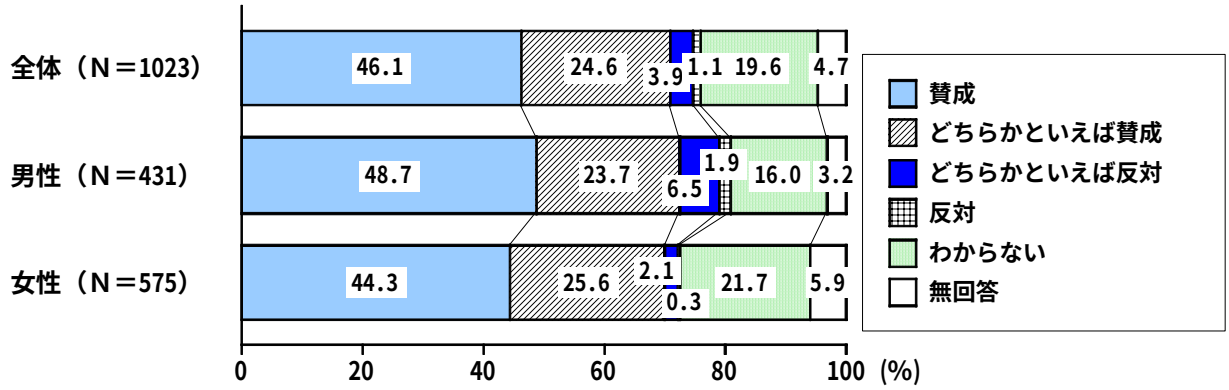
４　男女共同参画に関わる社会の動きについて

問14　あなたは，男女共同参画を推進していくことに賛成ですか，反対ですか。

・男女共同参画の推進について男女ともに約7割が賛成

「男女共同参画」を推進することについては，男女ともに「賛成」が4割を超えており，「どちらかといえば賛成」を含めると約70%となっている。【図14】

【図 14　男女共同参画を推進すること】



・20歳代では賛成・どちらかといえば賛成が6割以上

男女共同参画を推進することについて，20歳代では男女ともに「賛成」が60%を超えている。また，女性では60歳以上において「賛成」が40%を下回っている。【表14】

【表 14　男女共同参画を推進すること（性別・年齢別）】

(%)

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	48.7	23.7	6.5	1.9	16.0	3.2
20歳代（N=39）	66.7	15.4	-	5.1	7.7	5.1
30歳代（N=54）	42.6	20.4	3.7	-	29.6	3.7
40歳代（N=59）	40.7	23.7	11.9	6.8	10.2	6.8
50歳代（N=94）	50.0	25.5	6.4	1.1	14.9	2.1
60歳代（N=95）	45.3	28.4	8.4	-	14.7	3.2
70歳以上（N=89）	51.7	22.5	5.6	1.1	18.0	1.1

(%)

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
全体（女　性：N=575）	44.3	25.6	2.1	0.3	21.7	5.9
20歳代（N=51）	60.8	27.5	-	-	11.8	-
30歳代（N=98）	49.0	26.5	4.1	1.0	18.4	1.0
40歳代（N=80）	46.3	23.8	2.5	-	23.8	3.8
50歳代（N=122）	48.4	19.7	3.3	-	24.6	4.1
60歳代（N=115）	38.3	32.2	0.9	-	18.3	10.4
70歳以上（N=107）	33.6	23.4	0.9	0.9	29.0	12.1

問15　あなたは，次のそれぞれの分野について，男女は平等になっていると思いますか。

・平等感の高い学校教育
・「雇用の機会」，「賃金昇格」，「社会の慣習やしきたり」などは不平等感が多数

各分野での男女の平等感について，「学校教育」では男女ともに「平等である」が最も多くなっている。その他の項目では「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた割合が高くなっている。

また，「平等である」と回答した割合は全ての項目で女性の方が低くなっている。【表15】

【表 15　各分野での平等感】

（%）

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
学校教育では（全　体）	2.6	7.3	62.1	2.3	0.6	16.9	8.1
学校教育では（男　性）	1.9	5.1	67.5	3.9	0.7	16.0	4.9
学校教育では（女　性）	3.3	8.9	57.9	1.2	0.5	17.9	10.3
雇用の機会（全　体）	15.6	46.1	11.8	2.2	0.8	14.3	9.2
雇用の機会（男　性）	10.2	49.4	15.5	3.5	1.6	12.5	7.2
雇用の機会（女　性）	19.5	44.0	9.2	1.2	0.2	15.5	10.4
賃金昇格では（全　体）	28.8	43.4	6.2	0.3	0.1	12.1	9.1
賃金昇格では（男　性）	17.6	54.3	10.0	0.2	0.2	11.4	6.3
賃金昇格では（女　性）	37.6	35.7	3.5	0.3	0.0	12.2	10.8
家庭生活では（全　体）	15.3	36.0	24.2	5.3	2.6	9.2	7.3
家庭生活では（男　性）	8.6	31.3	34.1	7.0	4.2	10.7	4.2
家庭生活では（女　性）	20.7	39.7	16.9	4.0	1.6	8.0	9.2
社会の慣習やしきたりでは（全　体）	22.4	50.5	7.6	1.9	0.9	8.3	8.4
社会の慣習やしきたりでは（男　性）	15.5	53.8	11.4	3.0	1.4	9.5	5.3
社会の慣習やしきたりでは（女　性）	27.7	48.3	4.9	1.0	0.5	7.3	10.3
法律や制度のうえでは（全　体）	9.7	28.3	32.3	3.4	1.2	16.5	8.7
法律や制度のうえでは（男　性）	5.3	23.9	44.3	4.9	2.1	14.2	5.3
法律や制度のうえでは（女　性）	13.2	31.8	23.1	2.4	0.5	18.1	10.8
政治・経済活動への参加では（全　体）	20.0	38.1	20.0	0.8	0.1	12.4	8.5
政治・経済活動への参加では（男　性）	12.5	37.8	30.2	0.7	0.2	13.0	5.6
政治・経済活動への参加では（女　性）	26.1	38.6	12.3	0.9	0.0	11.8	10.3

全体：N＝1023
男性：N＝431
女性：N＝575

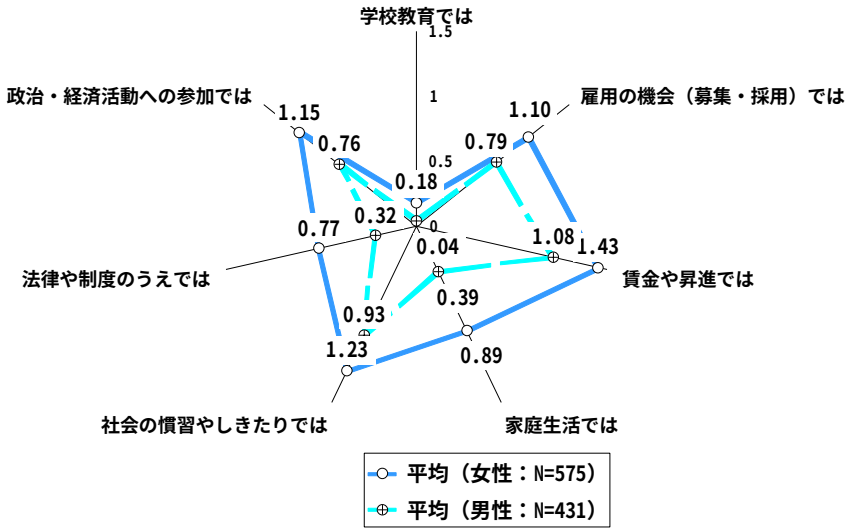
▼各分野での平等感（性別レーダーチャート）

・全体的に不平等感の強い女性

各分野における平等感について，男女別のレーダーチャートで見ると，「学校教育」における平等感の差が最も小さく0.14ポイント，逆に「家庭生活」における平等感の差は0.5ポイントで最も高くなっている。

総体的に，男性に比べて女性は平等であると感じている割合は少なく，女性の不平等感は高くなっている。【図15-１】

▼各分野での平等感（性別レーダーチャート）【図 15－１】



※「男性の方が優遇されている」を（+2），「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を（+1），「平等である」を（0），「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を（-1），「女性の方が優遇されている」を（-2），「わからない」と「無回答」は算出対象外をとして，平均を算出した。

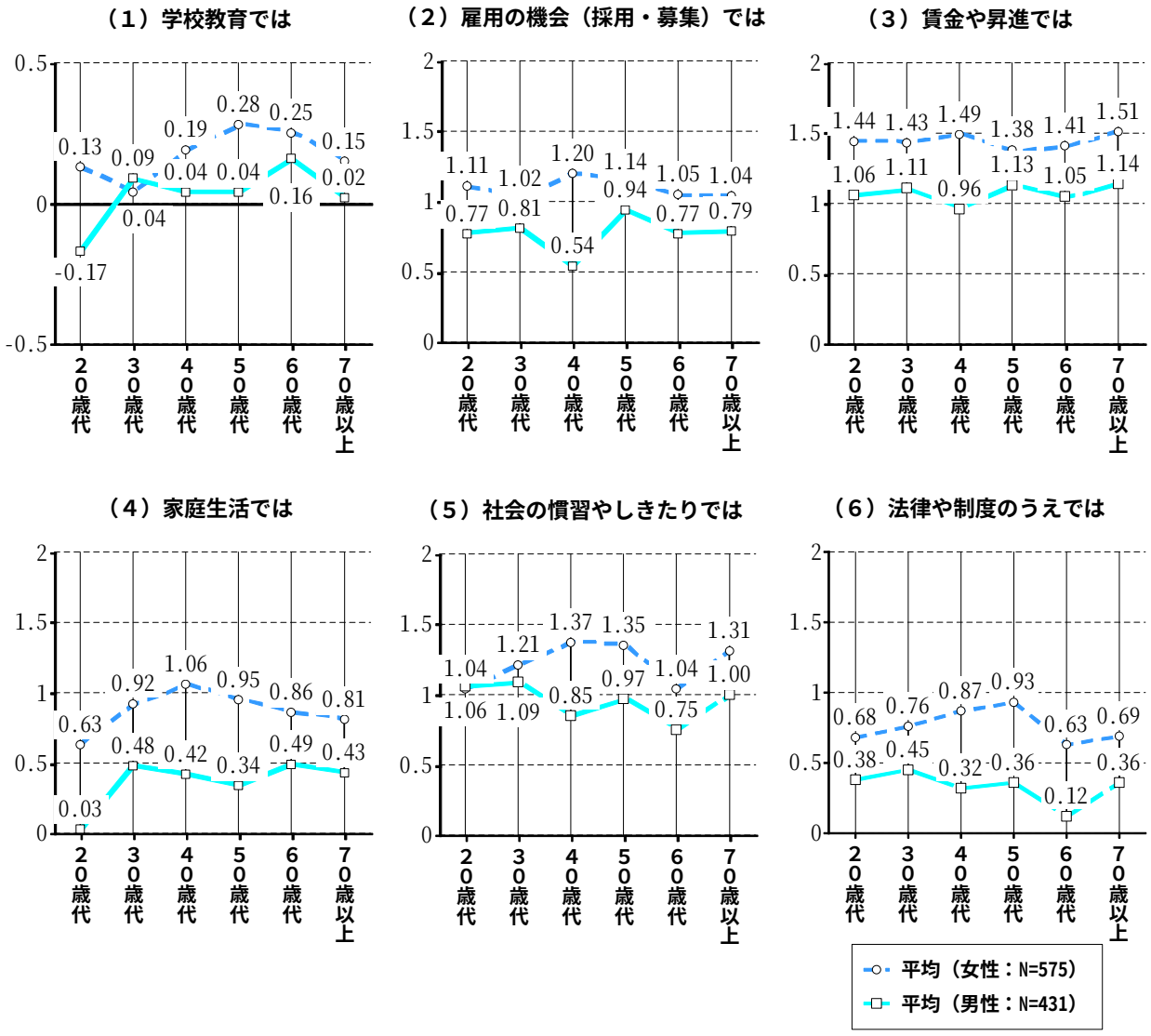
▼各分野での平等感（性別・年齢別主な担当者）

・40歳代で大きい男女間の不平等感

各分野での平等感については，40歳代では「学校教育」を除くすべての項目で男性と女性の平等感の差は0.5ポイント以上となっている。40歳代では，男女間の格差が他の年代に比べて，高い傾向にある。

全体的に各分野における男女の平等感については，すべての項目のほぼすべての年代において，女性は男性より不平等感が強い傾向が表れている。【図15－２】

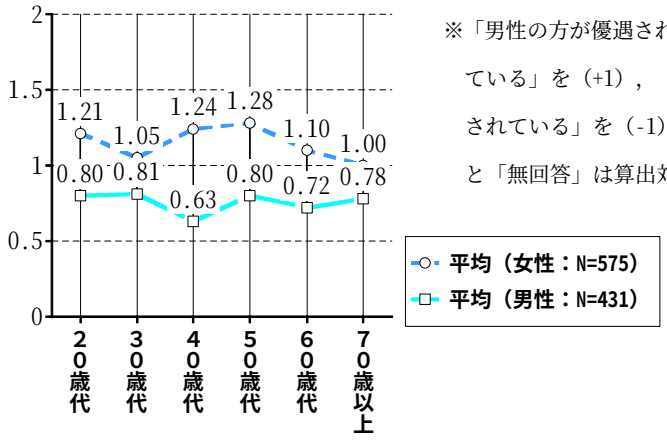
▼各分野での平等感（性別・年齢別主な担当者）【図 15－２】



※「自分」を（+2），「７～8 割が自分」を（+1），「自分と配偶者が同じくらい」を（0），「7～8 割が配偶者」を（-1），「配偶者」を（-2），「その他の家族（親や子など）」と「無回答」は算出対象外をとして，平均を算出した。

▼各分野での平等感（性別・年齢別主な担当者）【図 15－２】

（７）政治・経済活動への参加では



※「男性の方が優遇されている」を（+2），「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を（+1），「平等である」を（0），「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を（-1），「女性の方が優遇されている」を（-2），「わからない」と「無回答」は算出対象外をとして，平均を算出した。

問16　あなたは，「男は仕事，女は家事・育児」という考え方についてどう思いますか。

・男女ともに賛成意見は減少，反対意見は増加

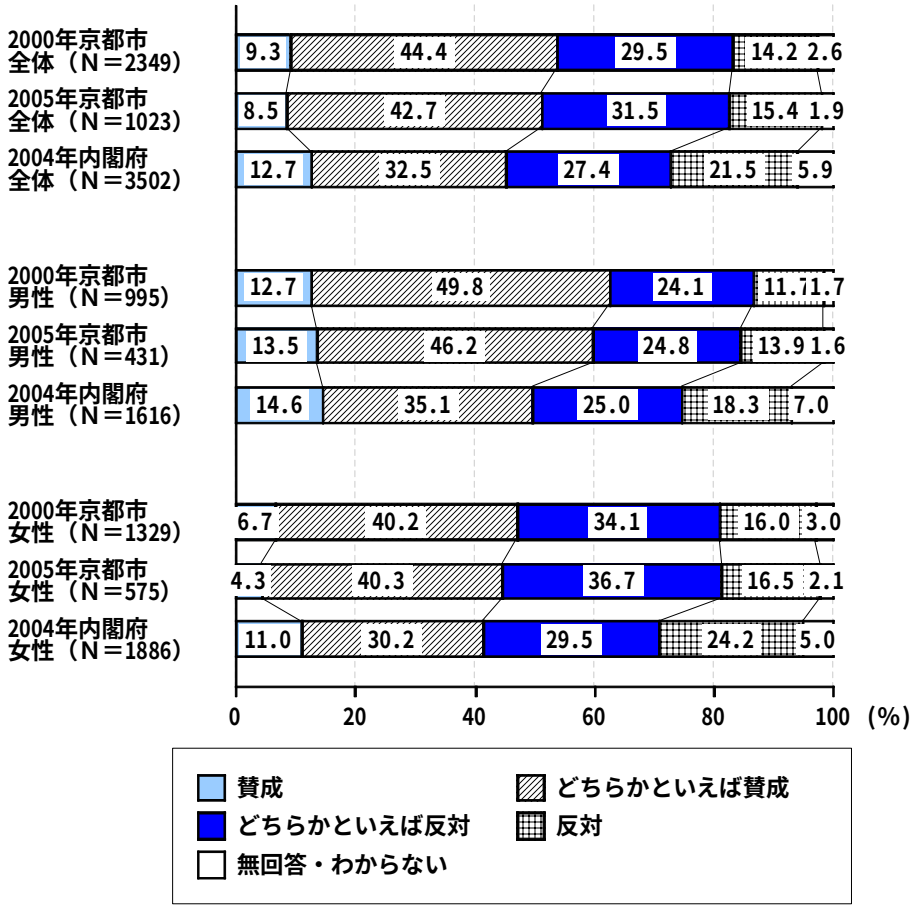
「男は仕事，女は家事・育児」という考え方について，全体では，「賛成」と「どちらかというと賛成」を合わせた割合が前回調査（5年前）に比べて2.5ポイント低下しているが，内閣府調査と比べると6.0ポイント高くなっている。「反対」と「どちらかというと反対」を合わせた割合は，前回調査に比べて3.2ポイント高くなっているが，内閣府調査と比べると2.0ポイント低くなっている。

男女別でみると，男性では賛成意見が前回調査に比べて2.8ポイント低下しているが，内閣府の調査に比べると10ポイント高くなっている。反対意見は，前回調査に比べて2.9ポイント高くなっているが，内閣府の調査と比べると4.6ポイント低くなっている。

女性では，「賛成」と「どちらかというと賛成」が前回調査に比べて2.3ポイント低下しているが，内閣府の調査と比べると3.4ポイント高くなっている。「反対」と「どちらかというと反対」は前回調査に比べて3.1ポイント高くなっているが，内閣府の調査と比べると0.5ポイント低くなっている。

【図16】

【図 16　「男は仕事，女は家事・育児」という考え方】



・男性は30歳代以下，女性は40歳代以下で高い反対意見の割合

「男は仕事，女は家事・育児」という考え方について，男性の20歳代では「どちらかといえば反対」が最も高く，30歳以上では「どちらかといえば賛成」の割合が高くなっている。また40歳以上では賛成意見が過半数を超えている。女性の20歳代では「反対」，30歳代～40歳代では「どちらかといえば反対」，50歳以上では「どちらかといえば賛成」とする意見が最も高くなっている。

【表16－１】

【表 16－１　「男は仕事，女は家事・育児」という考え方（性別・年齢別）】

（%）

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答
全体（男　性：N=431）	13.5	46.2	24.8	13.9	1.6
20歳代（N=39）	17.9	20.5	30.8	28.2	2.6
30歳代（N=54）	3.7	38.9	37.0	18.5	1.9
40歳代（N=59）	13.6	49.2	25.4	11.9	-
50歳代（N=94）	9.6	48.9	26.6	13.8	1.1
60歳代（N=95）	17.9	51.6	21.1	9.5	-
70歳以上（N=89）	15.7	51.7	16.9	11.2	4.5

（%）

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答
全体（女　性：N=575）	4.3	40.3	36.7	16.5	2.1
20歳代（N=51）	3.9	21.6	31.4	41.2	2.0
30歳代（N=98）	5.1	34.7	42.9	17.3	-
40歳代（N=80）	1.3	31.3	46.3	20.0	1.3
50歳代（N=122）	1.6	44.3	36.9	16.4	0.8
60歳代（N=115）	9.6	40.0	33.9	13.0	3.5
70歳以上（N=107）	3.7	56.1	29.9	5.6	4.7

・女性の自営・自由業，正規雇用，非正規雇用で高い反対意見の割合

「男は仕事，女は家事・育児」という考え方について，男性では，すべての就労形態において，「どちらかといえば賛成」が最も高くなっている。自営・自由業及び無職で賛成意見が 60%を越えている。一方，女性の自営・自由業，正規雇用，非正規雇用では「どちらかといえば反対」，家族従事者，無職では「どちらかといえば賛成」が高くなっている。【表 16－２】

【表 16－２　「男は仕事，女は家事・育児」という考え方（性別・職業別）】

（%）

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答
全体（男性：N=431）	13.5	46.2	24.8	13.9	1.6
自営・自由業（N=107）	18.7	47.7	21.5	11.2	0.9
家族従事者（N=6）	16.7	66.7	16.7	-	-
正規雇用（N=153）	11.1	45.1	32.0	10.5	1.3
非正規雇用（N=45）	8.9	35.6	31.1	24.4	-
学生（N=15）	6.7	33.3	26.7	26.7	6.7
無職（N=91）	13.2	51.6	17.6	16.5	1.1

（%）

	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答
全体（女性：N=575）	4.3	40.3	36.7	16.5	2.1
自営・自由業（N=40）	12.5	27.5	50.0	10.0	-
家族従事者（N=24）	8.3	45.8	41.7	4.2	-
正規雇用（N=84）	1.2	20.2	41.7	35.7	1.2
非正規雇用（N=132）	3.0	37.1	40.2	18.9	0.8
学生（N=8）	-	12.5	37.5	50.0	-
無職（N=265）	4.5	49.8	31.7	10.9	3.0

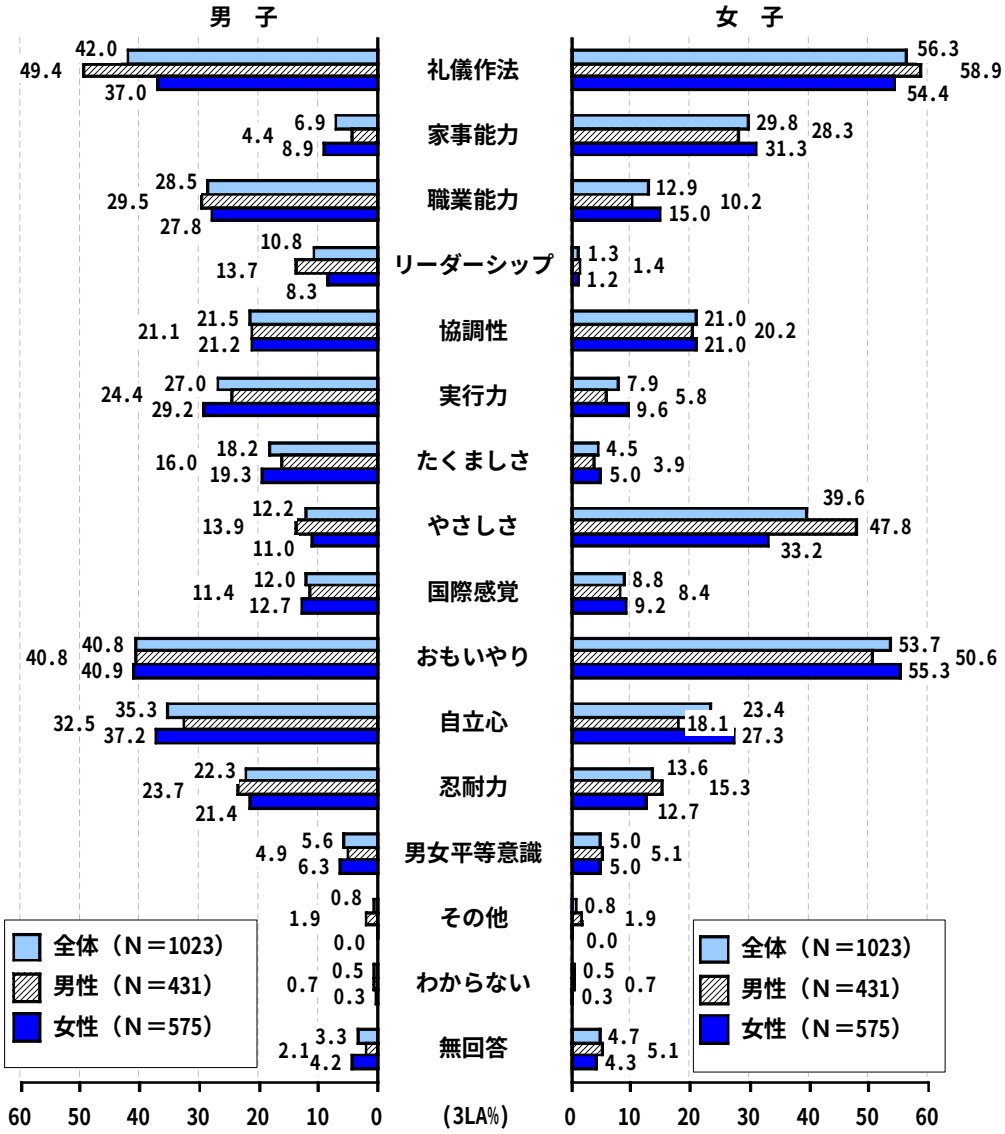
問17　あなたは，子どもにどのような能力等を身につけさせたいと思いますか。「男子」，「女子」それぞれの場合についてお答えください。子どもがいない方も，子どもがいると仮定してお答えください。【それぞれ３つまで選択】

- **男子・女子ともに身に付けさせたい能力は男性は「礼儀作法」女性は「おもいやり」**

男子に身に付けさせたい能力について，全体と男性回答者では「礼儀作法」が最も多く，「おもいやり」，「自立心」となっている。女性回答者では「おもいやり」が最も多く，続いて「自立心」，「礼儀作法」となっている。「礼儀作法」においては，男性の方が約12ポイント高くなっている。

女子に身に付けさせたい能力について，全体と男性回答者では「礼儀作法」が最も多く，「おもいやり」，「やさしさ」となっている。女性回答者では「おもいやり」が最も多く，続いて「礼儀作法」，「やさしさ」となっている。「自立心」においては，女性の方が約10ポイント高くなっている。【図17－１】

【図 17－１　「男子」，「女子」のぞれぞれに身に付けさせたい能力等】



男子に身に付けさせたい能力等について，男性では，50歳代を除くすべての年代で「礼儀作法」が最も高くなっており，50歳代では「職業能力」が最も高く，20歳代の「協調性」も他の年代よりも高い割合を占めている。女性では，20歳代～40歳代では「おもいやり」，50歳代では「自立心」，60歳以上では，「礼儀作法」が最も高くなっている。40歳代では「礼儀作法」，「忍耐力」が他の年代に比べて低くなっている。【表17－１】

【表 17－１　「男子」に身に付けさせたい能力等（性別・年齢別）】

（３ＬＡ%）

	礼儀作法	家事能力	職業能力	リーダーシップ	協調性	実行力	たくましさ	やさしさ	国際感覚	おもいやり	自立心	忍耐力	男女平等意識	その他	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	49.4	4.4	29.5	13.7	21.1	24.4	16.0	13.9	11.4	40.8	32.5	23.7	4.9	1.9	0.7	2.1
20歳代（N=39）	43.6	5.1	17.9	12.8	38.5	17.9	17.9	20.5	15.4	43.6	17.9	28.2	2.6	5.1	-	2.6
30歳代（N=54）	51.9	7.4	16.7	16.7	22.2	22.2	14.8	25.9	13.0	44.4	16.7	14.8	5.6	3.7	1.9	5.6
40歳代（N=59）	50.8	6.8	28.8	13.6	15.3	27.1	18.6	20.3	8.5	44.1	32.2	22.0	3.4	1.7	-	1.7
50歳代（N=94）	41.5	5.3	47.9	20.2	17.0	26.6	11.7	10.6	10.6	39.4	37.2	20.2	4.3	1.1	-	1.1
60歳代（N=95）	54.7	2.1	30.5	12.6	26.3	22.1	11.6	6.3	12.6	37.9	44.2	22.1	6.3	1.1	1.1	1.1
70歳以上（N=89）	52.8	2.2	22.5	6.7	15.7	27.0	23.6	11.2	9.0	40.4	31.5	33.7	4.5	1.1	1.1	2.2
全体（女　性：N=575）	37.0	8.9	27.8	8.3	21.2	29.2	19.3	11.0	12.7	40.9	37.2	21.4	6.3	-	0.3	4.2
20歳代（N=51）	41.2	7.8	19.6	5.9	31.4	21.6	17.6	17.6	7.8	56.9	33.3	15.7	7.8	-	2.0	2.0
30歳代（N=98）	40.8	10.2	19.4	6.1	24.5	27.6	24.5	17.3	12.2	45.9	37.8	21.4	4.1	-	-	1.0
40歳代（N=80）	26.3	13.8	31.3	10.0	13.8	33.8	21.3	7.5	20.0	46.3	42.5	8.8	6.3	-	-	6.3
50歳代（N=122）	32.0	10.7	34.4	9.0	22.1	26.2	13.1	10.7	9.0	42.6	44.3	23.8	4.9	-	-	4.1
60歳代（N=115）	41.7	8.7	33.0	8.7	20.0	34.8	18.3	4.3	13.0	33.0	28.7	26.1	6.1	-	-	6.1
70歳以上（N=107）	40.2	2.8	24.3	9.3	19.6	28.0	21.5	12.1	13.1	30.8	36.4	25.2	9.3	-	0.9	4.7

女子に身に付けさせたい能力等について，男性では20歳代では「やさしさ」，30歳代～60歳代では「礼儀作法」，「70歳以上」では「おもいやり」の割合が最も高くなっている。「家事能力」については，50歳未満では30%未満となっているが，50歳代以上では30%を越えており，年代による差が表れている。「自立心」については20歳代・30歳代では10%未満となっているが，40歳代～60歳代では20%を越えている。

女性では，20歳代～50歳代では「おもいやり」が最も高く，60歳以上では「礼儀作法」が最も高い割合を占めている。「家事能力」については，年代が上るにつれて割合が高くなっており，逆に「協調性」については，年代が上るごとに割合が低くなる傾向にある。「自立心」については，60歳未満と60歳以上とで割合の差が大きくなっている。【表17－２】

【表 17－２　「女子」に身に付けさせたい能力等（性別・年齢別）】

（３ＬＡ%）

	礼儀作法	家事能力	職業能力	リーダーシップ	協調性	実行力	たくましさ	やさしさ	国際感覚	おもいやり	自立心	忍耐力	男女平等意識	その他	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	58.9	28.3	10.2	1.4	20.2	5.8	3.9	47.8	8.4	50.6	18.1	15.3	5.1	1.9	0.7	5.1
20歳代（N=39）	53.8	23.1	12.8	-	17.9	12.8	5.1	66.7	12.8	46.2	7.7	10.3	5.1	5.1	-	5.1
30歳代（N=54）	63.0	25.9	7.4	1.9	20.4	3.7	9.3	42.6	11.1	63.0	5.6	11.1	5.6	3.7	1.9	5.6
40歳代（N=59）	64.4	15.3	8.5	1.7	23.7	6.8	1.7	49.2	11.9	61.0	27.1	22.0	1.7	1.7	-	-
50歳代（N=94）	53.2	34.0	19.1	2.1	20.2	5.3	4.3	45.7	7.4	43.6	25.5	12.8	4.3	2.1	-	4.3
60歳代（N=95）	69.5	31.6	7.4	2.1	27.4	2.1	3.2	46.3	7.4	45.3	21.1	11.6	5.3	-	1.1	3.2
70歳以上（N=89）	50.6	31.5	5.6	-	11.2	7.9	2.2	46.1	3.4	51.7	13.5	22.5	6.7	1.1	1.1	11.2
全体（女　性：N=575）	54.4	31.3	15.0	1.2	21.0	9.6	5.0	33.2	9.2	55.3	27.3	12.7	5.0	-	0.3	4.3
20歳代（N=51）	52.9	19.6	17.6	-	33.3	7.8	7.8	29.4	5.9	58.8	35.3	9.8	3.9	-	2.0	2.0
30歳代（N=98）	49.0	27.6	12.2	1.0	25.5	15.3	6.1	33.7	9.2	61.2	26.5	14.3	2.0	-	-	4.1
40歳代（N=80）	41.3	31.3	23.8	2.5	23.8	13.8	5.0	17.5	15.0	60.0	38.8	8.8	3.8	-	-	3.8
50歳代（N=122）	54.1	32.0	17.2	2.5	20.5	5.7	5.7	28.7	7.4	59.0	32.0	12.3	5.7	-	-	4.1
60歳代（N=115）	60.9	32.2	13.9	0.9	14.8	7.0	5.2	40.9	8.7	53.9	19.1	13.9	4.3	-	-	6.1
70歳以上（N=107）	62.6	39.3	8.4	-	16.8	8.4	1.9	43.0	9.3	42.1	19.6	14.0	9.3	-	0.9	4.7

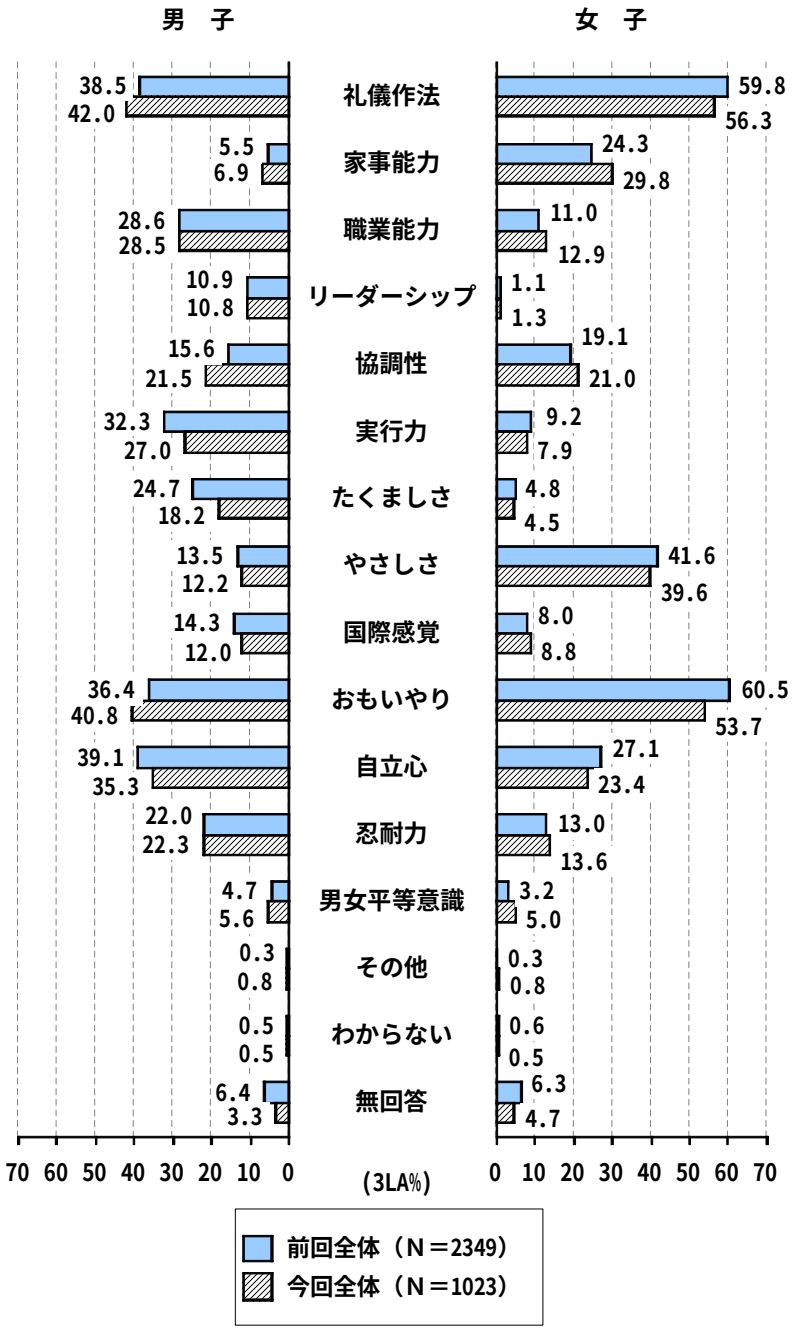
- **「男子」は「礼儀作法」，「協調性」が増加**
- **「女子」は「家事能力」は増加，「おもいやり」は減少**

それぞれに身に付けさせたい能力について，前回の調査と比較すると，男子では「協調性」が5.9ポイント，「礼儀作法」と「おもいやり」が約4ポイント増加し，「たくましさ」が6.5ポイント，「実行力」「自立心」が約4ポイント以上減少している。

女子では「家事能力」が5.5ポイント増加し，「おもいやり」が6.8ポイント減少している。

【図17－２】

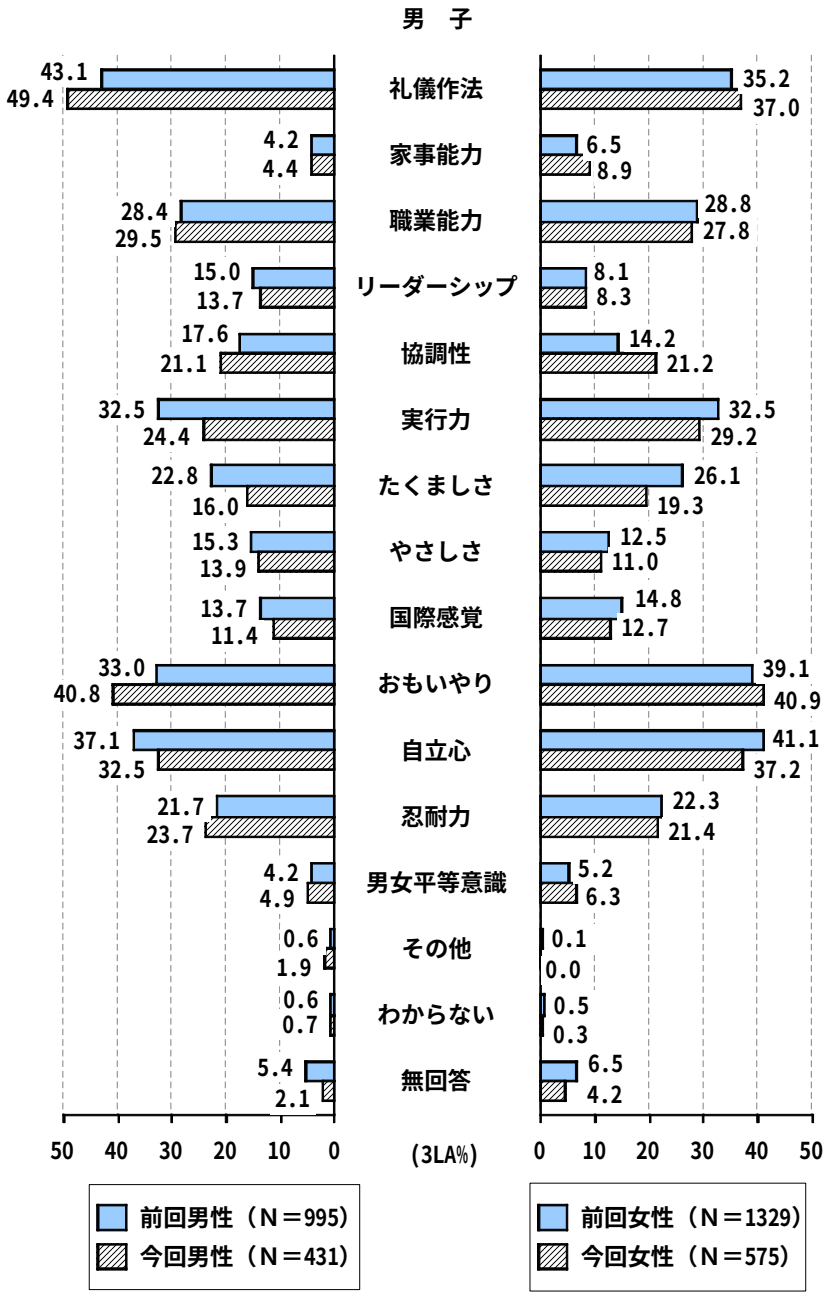
【図 17－２　それぞれに身に付けさせたい能力等（前回調査との比較）】



・男性では「礼儀作法」，「おもいやり」が増加し，女性では「協調性」が増加
・「実行力」，「たくましさ」は男女ともに減少

男子に身に付けさせたい能力等について，前回の調査と比較すると，男性では，「礼儀作法」が6.3ポイント，「おもいやり」が7.8ポイント増加し，「実行力」が8.1ポイント，「たくましさ」が6.8ポイント減少している。女性では，「協調性」が7ポイント増加し，「たくましさ」が6.8ポイント減少している。【図17－３】

【図 17－３　男子に身に付けさせたい能力等（前回調査との比較）】



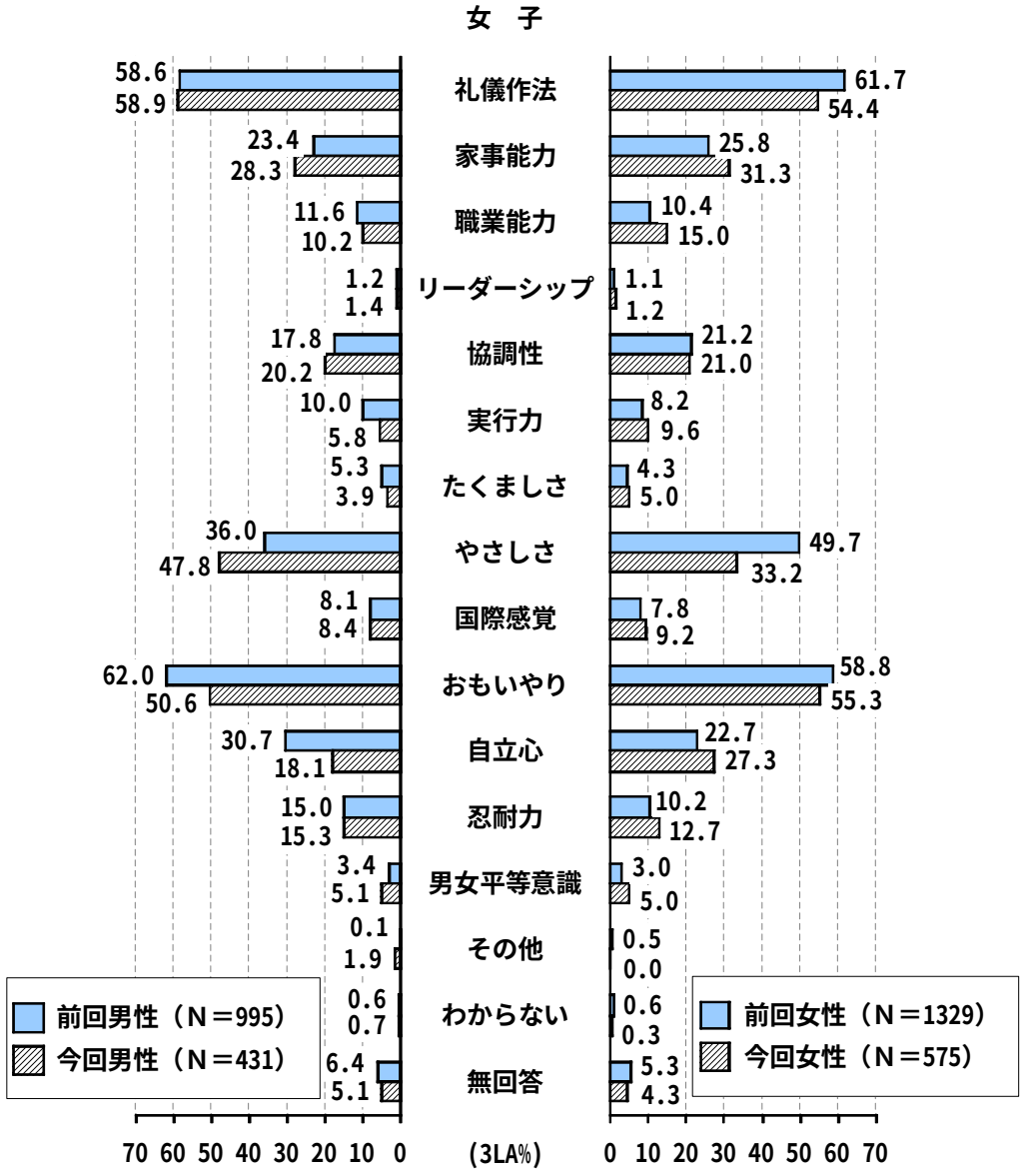
・男性では「やさしさ」，「おもいやり」が増加し，「自立心」が減少
・女性では「協調性」が増加し，「礼儀作法」，「やさしさ」が減少

女子に身に付けさせたい能力等について，前回の調査と比較すると，男性では，「やさしさ」が11.8ポイント増加し，「おもいやり」が11.4ポイント，「自立心」が12.6ポイント減少している。

女性では，「家事能力」が5.5ポイント，「職業能力」と「自立心」が4ポイント以上増加し，「礼儀作法」が7.3ポイント，「やさしさ」が16.5ポイント減少している。

「やさしさ」については，男性で増加したが，女性で減少している。一方，「自立心」については，男性で減少したが，女性で増加している。【図17－４】

【図 17－４　女子に身に付けさせたい能力等（前回調査との比較）】



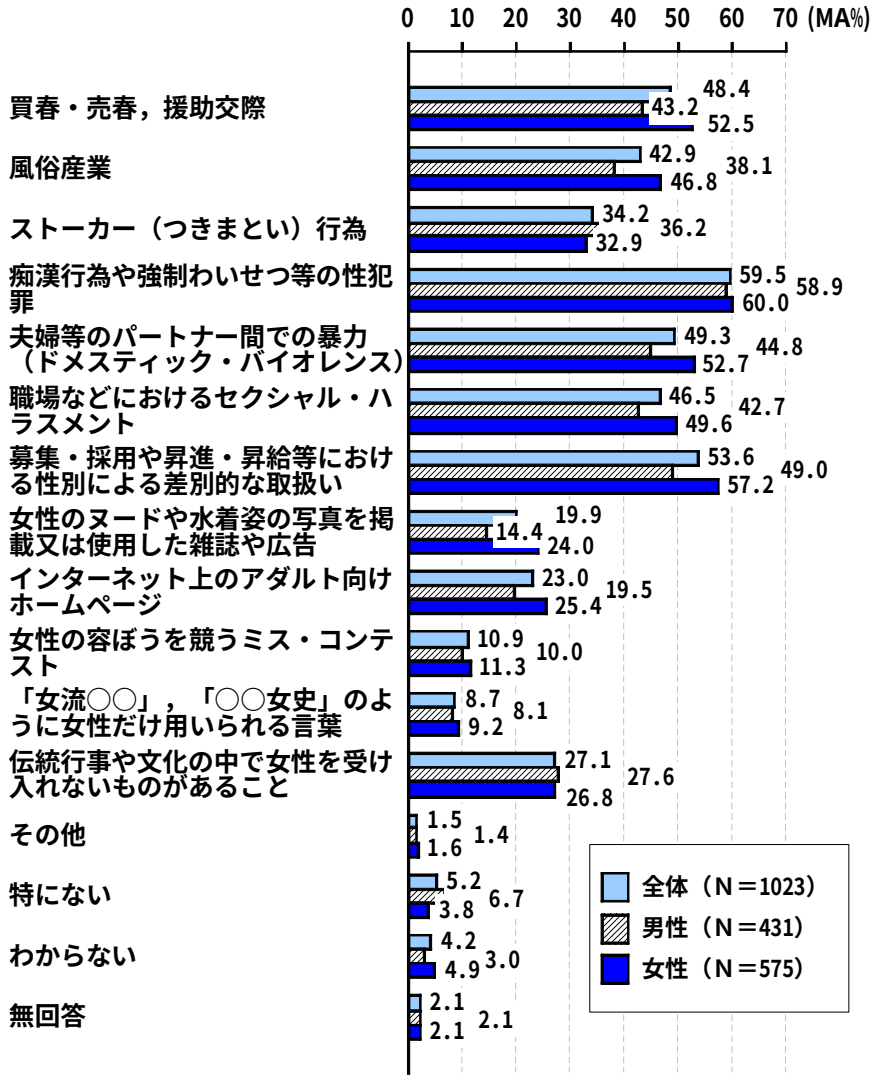
問18　次のうち，あなたが「女性の人権が尊重されていない」ことだと思うものはどれですか。
【あてはまるものすべて選択】

・「買春・売春，援助交際」，「女性のヌードや水着姿の写真を掲載又は使用した雑誌や広告」は男女間で差が大きい

「女性の人権が尊重されていない」と思うことがらとして，男女ともに「痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪」が最も多く，続いて「募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取扱い」，「夫婦や恋人等のパートナー間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）」となっている。

また，「買春・売春，援助交際」，「女性のヌードや水着姿の写真を掲載又は使用した雑誌や広告」では，男性に比べ女性の方が約10ポイント高くなっている。【図18－１】

【図 18－１　「女性の人権が尊重されていない」と思うことがら】



「女性の人権が尊重されていない」と思うことがらについて，性別・年齢別で見ると，男性では，20歳代で「募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取り扱い」，30歳代～60歳代で「痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪」，70歳以上で「買春・売春，援助交際」が最も高い割合となっている。女性では，20歳代・50歳代で「募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取り扱い」，30歳代・40歳代で「痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪」，60歳以上で「買春・売春，援助交際」が最も高い割合となっている。「風俗産業」，「ストーカー（つきまとい）行為」，「インターネット上のアダルト向けホームページ」は年代が上るにつれて割合も増加する傾向にある。【表18－１】

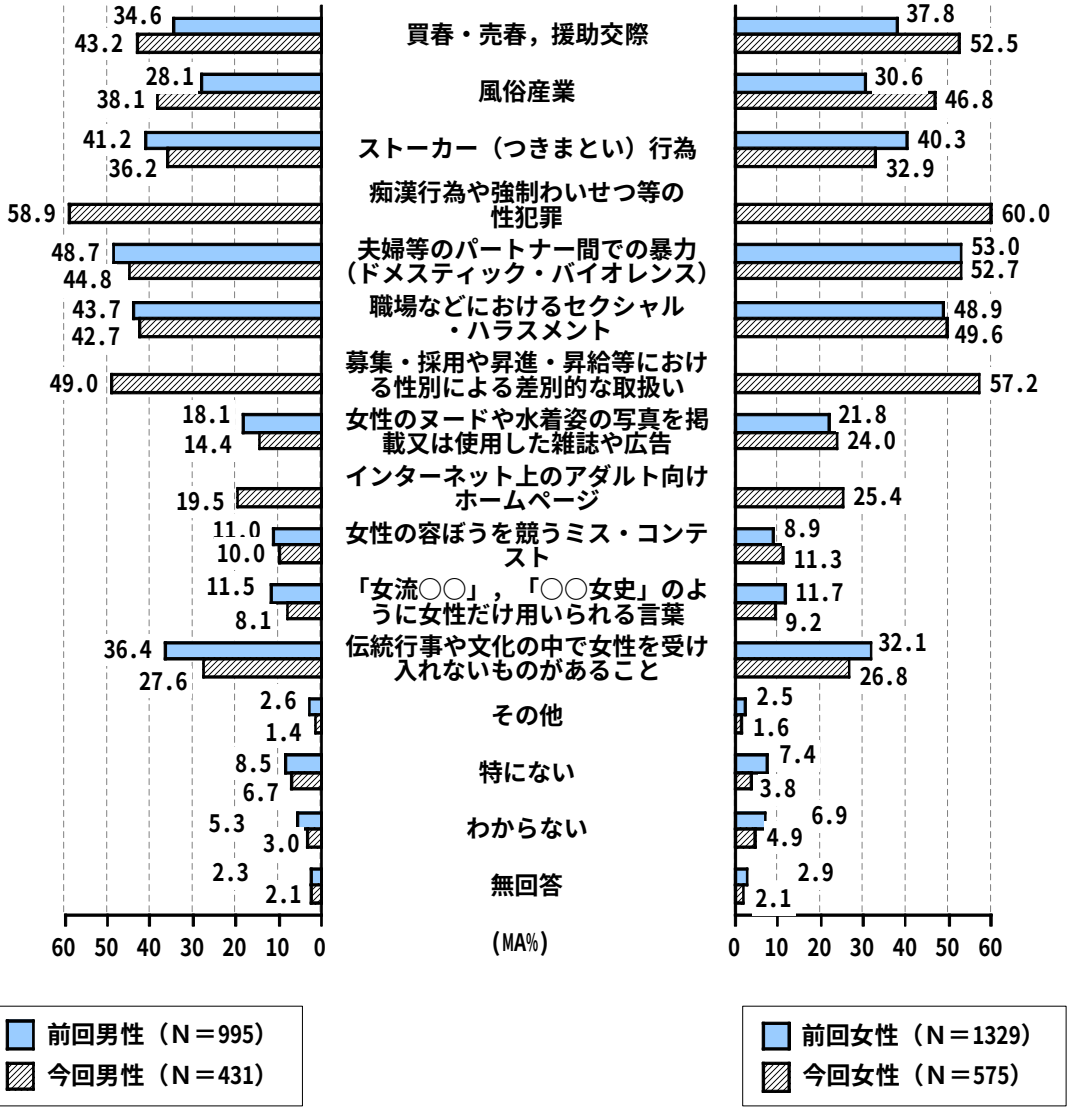
【表 18－１　「女性の人権が尊重されていない」と思うことがら（性別・年齢別）】

	買春・売春、援助交際	風俗産業	ストーカー（つきまとい）行為	痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪	夫婦等のパートナー間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）	職場などにおけるセクシャル・ハラスメント	募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取扱い	女性のヌードや水着姿の写真を掲載又は使用した雑誌や広告	インターネット上のアダルト向けホームページ	女性の容ぼうを競うミス・コンテスト	「女流○○」、「○○女史」のように女性だけ用いられる言葉	伝統行事や文化の中で女性を受け入れないものがあること	その他	特にない	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	43.2	38.1	36.2	58.9	44.8	42.7	49.0	14.4	19.5	10.0	8.1	27.6	1.4	6.7	3.0	2.1
20歳代（N=39）	28.2	25.6	28.2	59.0	43.6	41.0	64.1	5.1	10.3	7.7	7.7	25.6	2.6	7.7	5.1	2.6
30歳代（N=54）	33.3	20.4	35.2	66.7	53.7	59.3	50.0	11.1	14.8	11.1	3.7	24.1	1.9	3.7	-	3.7
40歳代（N=59）	23.7	27.1	32.2	55.9	33.9	28.8	45.8	5.1	15.3	11.9	8.5	28.8	-	11.9	1.7	-
50歳代（N=94）	40.4	41.5	36.2	58.5	50.0	45.7	48.9	14.9	19.1	9.6	10.6	34.0	1.1	6.4	5.3	-
60歳代（N=95）	46.3	36.8	34.7	55.8	37.9	36.8	46.3	14.7	17.9	8.4	7.4	23.2	1.1	6.3	3.2	3.2
70歳以上（N=89）	67.4	58.4	44.9	59.6	49.4	46.1	46.1	25.8	31.5	10.1	9.0	28.1	2.2	5.6	2.2	3.4
全体（女　性：N=575）	52.5	46.8	32.9	60.0	52.7	49.6	57.2	24.0	25.4	11.3	9.2	26.8	1.6	3.8	4.9	2.1
20歳代（N=51）	45.1	27.5	21.6	62.7	58.8	58.8	70.6	15.7	11.8	3.9	7.8	27.5	-	2.0	2.0	2.0
30歳代（N=98）	34.7	29.6	23.5	66.3	48.0	54.1	62.2	14.3	20.4	5.1	6.1	27.6	4.1	3.1	3.1	-
40歳代（N=80）	51.3	45.0	28.8	61.3	60.0	47.5	58.8	21.3	27.5	12.5	8.8	20.0	-	3.8	-	1.3
50歳代（N=122）	54.9	49.2	35.2	57.4	50.0	51.6	59.0	23.8	30.3	11.5	6.6	33.6	3.3	4.9	6.6	0.8
60歳代（N=115）	59.1	56.5	34.8	51.3	47.8	37.4	50.4	23.5	27.8	15.7	9.6	25.2	0.9	5.2	7.0	4.3
70歳以上（N=107）	63.6	59.8	44.9	64.5	56.1	53.3	50.5	40.2	26.2	15.0	15.9	25.2	-	2.8	7.5	3.7

・男女ともに「買春・売春，援助交際」，「風俗産業」は大きく増加し，「ストーカー（つきまとい）行為」，「伝統行事や文化の中で女性を受入れないものがあること」は減少

「女性の人権が尊重されていない」と思うことがらについて，前回の調査と比較すると，男性では，「買春・売春，援助交際」，「風俗産業」の項目で，約10ポイント程度増加し，「ストーカー（つきまとい）行為」，「伝統行事や文化の中で女性を受入れないものがあること」の項目で５ポイント以上減少している。女性では，「買春・売春，援助交際」，「風俗産業」の項目で10ポイント以上増加し，「ストーカー（つきまとい）行為」，「伝統行事や文化の中で女性を受入れないものがあること」の項目で5ポイント以上減少している。【図18－２】

【図 18－２　「女性の人権が尊重されていない」と思うことがら（前回調査との比較）】



問19　議員や審議会委員などに占める女性の割合は，全国的にみても，依然として低いのが現状です。あなたは，今後，こうした政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくためには，どのようなことが必要だと思いますか。【３つまで選択】

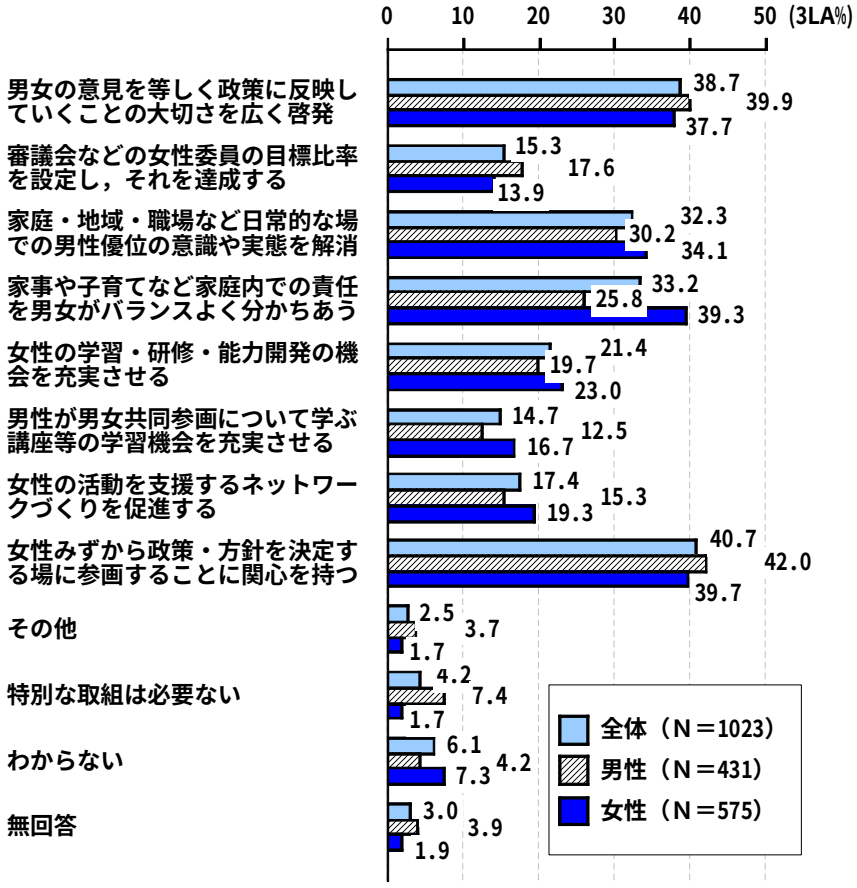
- **「男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発」と「女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ」では男女ともに高い**
- **「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」では男女間に差がある**

政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこととして，男女ともに「女性みずからが政策･方針を決定する場に参画することに関心や積極性を持つ」が約 40%で最も多く，次に，「男女の意見を等しく政策・方針に反映していくことの大切さを広く啓発する」が 38.7%，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」が 33.2%となっている。

男性では,「男女の意見を等しく政策･方針に反映していくことの大切さを広く啓発する」が 39.9%，「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消」が 30.2%となっている。女性では，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」が 39.3%，「男女の意見を等しく政策・方針に反映していくことの大切さを広く啓発」が 37.7%となっている。

また，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」では，女性の方が約14ポイント高くなっている。【図19－１】

【図 19－１　政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこと】



- **「男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発」は男女とも 60 歳以上で高い**
- **「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消」は女性の 30～40 歳代で高い**

政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこととして，性別・年齢別に見ると，男性の 20 歳代・70 歳以上では「男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発」，30 歳代～60 歳代では「女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ」が最も高くなっており，30 歳代・50 歳代で「女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する」が 20%を超えている。また，女性の 20 歳代・30 歳代・50 歳代では「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」，40 歳代では，「女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ」，60 歳以上では「男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発」が最も高い割合となっている。20 歳代～50 歳代では「女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する」が 20%以上を占めている。【表 19－１】

【表 19－１　政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこと（性別・年齢別）】

（３ＬＡ%）

	男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発	審議会などの女性委員の目標比率を設定し、それを達成する	家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう	女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	男性が男女共同参画について学ぶ講座等の学習機会を充実させる	女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する	女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ	その他	特別な取組は必要ない	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	39.9	17.6	30.2	25.8	19.7	12.5	15.3	42.0	3.7	7.4	4.2	3.9
20歳代（N=39）	41.0	15.4	35.9	38.5	12.8	12.8	15.4	30.8	5.1	2.6	2.6	5.1
30歳代（N=54）	33.3	22.2	24.1	31.5	16.7	11.1	24.1	42.6	1.9	5.6	7.4	3.7
40歳代（N=59）	37.3	18.6	25.4	22.0	11.9	13.6	8.5	45.8	5.1	11.9	1.7	1.7
50歳代（N=94）	33.0	20.2	29.8	22.3	23.4	6.4	24.5	44.7	2.1	7.4	4.3	3.2
60歳代（N=95）	45.3	20.0	30.5	23.2	17.9	17.9	8.4	47.4	3.2	10.5	2.1	4.2
70歳以上（N=89）	47.2	10.1	34.8	24.7	28.1	13.5	12.4	36.0	4.5	4.5	6.7	5.6
全体（女　性：N=575）	37.7	13.9	34.1	39.3	23.0	16.7	19.3	39.7	1.7	1.7	7.3	1.9
20歳代（N=51）	39.2	7.8	39.2	49.0	29.4	13.7	25.5	43.1	2.0	-	2.0	-
30歳代（N=98）	26.5	13.3	38.8	43.9	22.4	13.3	24.5	35.7	2.0	2.0	5.1	-
40歳代（N=80）	27.5	13.8	41.3	33.8	25.0	22.5	20.0	48.8	5.0	2.5	-	1.3
50歳代（N=122）	33.6	18.0	30.3	37.7	18.9	15.6	22.1	36.9	1.6	4.9	11.5	1.6
60歳代（N=115）	47.8	13.0	37.4	42.6	18.3	15.7	14.8	38.3	0.9	-	7.0	2.6
70歳以上（N=107）	49.5	14.0	23.4	32.7	29.0	18.7	13.1	38.3	-	-	13.1	4.7

- **「審議会などの女性の委員の目標比率を設定し，それを達成する」では，男性の自営・自由業の方が女性よりも高い**
- **「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消」と「女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる」では，女性の正規雇用の方が男性よりも高い**
- **「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」では，女性の自営・自由業，正規雇用，非正規雇用の方が男性よりも高い**

政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこととして，性別・就労形態別に見ると，男性では，自営・自由業，正規雇用において「女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ」，非正規雇用，無職においては，「男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発」が最も高い割合となっている。女性の自営・自由業，正規雇用，非正規雇用では，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」，家族従事者，非正規雇用，無職では，「女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ」が最も高くなっている。正規雇用においては，「女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる」が他の就労形態に比べて高くなっている。また，自営・自由業においては，「審議会などの女性委員の目標比率を設定し，それを達成する」，「男性が男女共同参画について学ぶ機会を充実させる」が他の就労形態に比べて低くなっている。【表 19-２】

【表 19－２　政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこと（性別・就労形態別）】

（３ＬＡ%）

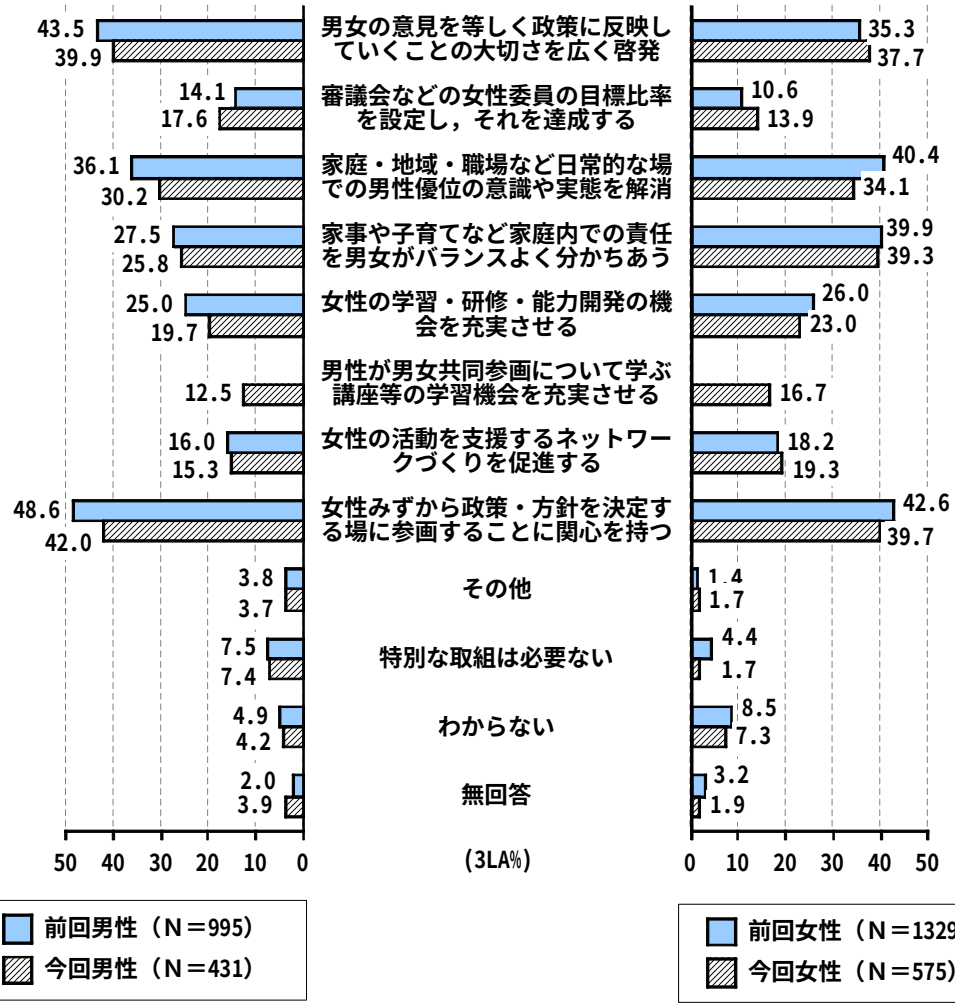
	男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発	審議会などの女性委員の目標比率を設定し、それを達成する	家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう	女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	男性が男女共同参画について学ぶ講座等の学習機会を充実させる	女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する	女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ	その他	特別な取組は必要ない	わからない	無回答
全体（男性：N=431）	39.9	17.6	30.2	25.8	19.7	12.5	15.3	42.0	3.7	7.4	4.2	3.9
自営・自由業（N=107）	35.5	20.6	24.3	21.5	16.8	14.0	14.0	48.6	1.9	6.5	6.5	6.5
家族従事者（N=6）	33.3	-	33.3	16.7	16.7	50.0	16.7	83.3	16.7	-	-	-
正規雇用（N=153）	35.9	21.6	24.8	26.8	16.3	7.8	19.0	41.8	3.9	8.5	2.6	3.3
非正規雇用（N=45）	40.0	11.1	35.6	22.2	28.9	15.6	15.6	35.6	4.4	11.1	2.2	4.4
学生（N=15）	46.7	6.7	40.0	46.7	13.3	6.7	20.0	46.7	13.3	-	-	-
無職（N=91）	50.5	13.2	39.6	29.7	27.5	12.1	9.9	37.4	3.3	7.7	4.4	3.3
全体（女性：N=575）	37.7	13.9	34.1	39.3	23.0	16.7	19.3	39.7	1.7	1.7	7.3	1.9
自営・自由業（N=40）	32.5	7.5	32.5	47.5	22.5	7.5	15.0	37.5	2.5	-	7.5	2.5
家族従事者（N=24）	37.5	20.8	41.7	25.0	12.5	20.8	33.3	50.0	-	-	12.5	-
正規雇用（N=84）	29.8	14.3	42.9	47.6	32.1	17.9	22.6	38.1	6.0	1.2	3.6	-
非正規雇用（N=132）	31.1	12.9	38.6	43.9	23.5	18.9	15.2	43.9	0.8	1.5	4.5	1.5
学生（N=8）	37.5	12.5	25.0	37.5	12.5	25.0	25.0	50.0	-	-	-	-
無職（N=265）	43.0	15.1	29.8	34.0	20.8	16.6	19.6	37.0	1.1	2.3	9.8	2.6

・男女ともに「審議会などの女性の委員の目標比率を設定し，それを達成する」は増加
・男女ともに「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態の解消」は減少

政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なことについて，前回調査と比較すると，男性では，「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態の解消」と「女性みずから政策･方針を決定する場に参画することに関心を持つ」が５ポイント以上減少している。

女性では「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態の解消」が 6.3 ポイント減少している。【図 19－２】

【図 19－２　政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこと（前回調査との比較）】



・賛成では「男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発」，「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実状を解消」，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」が高い

政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なことについて，男女共同参画推進の賛否別で比較すると，「賛成」では「男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発」，「反対」，「わからない」では「女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ」が最も高くなっている。

また，「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実状を解消」，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」の項目で，「賛成」の方が「反対」より 10 ポイント以上高くなっている。一方「特別な取組は必要ない」の項目で，「反対派」が「賛成派」より 20 ポイント程度高くなっている。【表 19－３】

【表 19－３　政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこと（男女共同参画推進の賛否別）】

（３ＬＡ%）

		男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発	審議会などの女性委員の目標比率を設定し、それを達成する	家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう	女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	男性が男女共同参画について学ぶ講座等の学習機会を充実させる	女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する	女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ	その他	特別な取組は必要ない	わからない	無回答
賛成	（N＝724）	43.9	17.3	37.7	35.5	22.5	16.9	18.8	43.5	2.8	1.8	2.6	2.1
反対	（N＝51）	21.6	17.6	17.6	25.5	25.5	7.8	15.7	31.4	2.0	21.6	3.9	2.0
わからない	（N＝200）	25.5	8.5	17.0	29.0	16.5	9.5	14.0	31.0	2.0	8.0	19.0	6.0

・反対では「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実状を解消」，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」で賛成派よりも高い

政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なことについて，「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別で比較すると「賛成」，「反対」ともに「女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ」が最も高くなっている。「賛成」より「反対」の方が「家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実状を解消」の項目で 14 ポイント，「家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう」の項目で 17.1 ポイント高くなっており，差が表れている。【表 19－４】

【表 19－４　政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくために必要なこと
（「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別）】

（３ＬＡ%）

	男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発	審議会などの女性委員の目標比率を設定し、それを達成する	家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう	女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	男性が男女共同参画について学ぶ講座等の学習機会を充実させる	女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する	女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ	その他	特別な取組は必要ない	わからない	無回答
賛成　（N＝524）	37.2	14.3	25.8	25.4	20.0	15.3	15.3	39.3	1.5	6.7	8.8	4.2
反対　（N＝480）	41.0	16.7	39.8	42.5	22.9	14.0	20.4	43.1	3.3	1.5	2.7	1.3

問 20　これまでに「男女雇用機会均等法」，「労働基準法」，「育児・介護休業法」などの改正が行われてきました。また，2003 年（平成 15 年）7 月には「次世代育成支援対策推進法」が公布・施行されています。あなたは，このような制度改正等が企業などの雇用の分野にどのような影響を与えた（与える）と思いますか。

・全体的に肯定的意見が多いが，男性の仕事のしやすさや育児・介護への参画は進んでいないと感じている割合が高い

制度改正等の雇用分野への影響について，男女ともに「仕事に対する女性の意欲が高まった（高まる）」，「女性の職域が拡大した（する）」，「管理職に登用される女性が増えた（増える）」，「結婚・出産後も働き続ける女性が増えた（増える）」において，「そう思う」との回答が最も多くなっている。

また，「男性が仕事をしやすくなった（なる）」について，全体と女性は「わからない」が最も多く，男性では「そう思わない」が 36.0%で最も多くなっている。

なお，「男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）」については，男女ともに「そう思わない」が最も多くなっている。【表 20－１】

【表 20－１　各制度改正などの雇用分野への影響】

（％）

	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
仕事に対する女性の意欲が高まった（高まる）（全　体）	43.0	19.7	2.4	21.6	13.2
仕事に対する女性の意欲が高まった（高まる）（男　性）	39.0	22.0	3.2	24.8	10.9
仕事に対する女性の意欲が高まった（高まる）（女　性）	45.7	18.4	1.7	19.5	14.6
女性の職域（仕事の範囲）が拡大した（する）（全　体）	43.9	22.8	1.2	17.6	14.6
女性の職域（仕事の範囲）が拡大した（する）（男　性）	47.3	22.5	1.4	18.6	10.2
女性の職域（仕事の範囲）が拡大した（する）（女　性）	41.2	23.5	1.0	16.9	17.4
管理職に登用される女性が増えた（増える）（全　体）	36.8	25.6	1.1	21.3	15.2
管理職に登用される女性が増えた（増える）（男　性）	38.7	26.2	1.4	22.3	11.4
管理職に登用される女性が増えた（増える）（女　性）	35.5	25.2	0.9	20.7	17.7
結婚・出産後も働き続ける女性が増えた（増える）（全　体）	57.5	15.8	1.7	12.4	12.6
結婚・出産後も働き続ける女性が増えた（増える）（男　性）	57.1	17.4	1.4	14.4	9.7
結婚・出産後も働き続ける女性が増えた（増える）（女　性）	58.4	14.4	1.9	11.0	14.3
男性が仕事をしやすくなった（なる）(全　体）	6.8	31.7	10.5	34.3	16.7
男性が仕事をしやすくなった（なる）(男　性）	8.1	36.0	13.2	30.6	12.1
男性が仕事をしやすくなった（なる）(女　性）	5.7	29.0	8.3	37.2	19.7
男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）（全　体）	23.1	36.6	2.5	22.3	15.5
男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）（男　性）	23.2	37.4	2.8	25.3	11.4
男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）（女　性）	23.0	36.3	2.3	20.3	18.1

全体：N＝1023
男性：N＝431
女性：N＝575

・男女共同参画推進について，反対とする人は否定的意見

制度改正等の雇用分野への影響について，男女共同参画推進の賛否別で比較すると「男性が仕事をしやすくなった（なる）」の項目では「賛成」，「反対」ともに「そう思わない」が最も高く，「反対」では「そう思わない」と「むしろ逆だと思う」が約65％と否定的な意見が大半をしめている。

「男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）」の項目では，「賛成」，「反対」ともに「そう思わない」が最も高くなっている。しかし，「そう思う」の肯定的な意見も前問に比べると非常に高くなっている。【表20－２】

【表 20－２　各制度改正などの雇用分野への影響（男女共同参画推進の賛否別）】

＜男性が仕事をしやすくなった＞

（%）

		そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
賛成	（N＝724）	7.6	34.4	9.8	33.1	15.1
反対	（N＝51）	3.9	37.3	27.5	17.6	13.7
わからない	（N＝200）	5.5	22.0	9.5	44.0	19.0

＜男性の育児や介護への参画が進んだ＞

（%）

		そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
賛成	（N＝724）	24.7	39.6	2.2	19.8	13.7
反対	（N＝51）	17.6	41.2	5.9	21.6	13.7
わからない	（N＝200）	18.5	27.0	3.0	33.5	18.0

・「男は仕事，女は家事・育児」の賛成，反対では意見は変わらない

制度改正等の雇用分野への影響について，「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別で比較すると，「男性が仕事をしやすくなった（なる）」の項目では「賛成」，「反対」ともに「わからない」が最も高くなっており，僅差で「そう思わない」の否定層が30%以上を占めて続いている。

「男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）」の項目では，「賛成」，「反対」ともに「そう思わない」が最も高くなっているが，「そう思う」も20%以上となっている。【表20－３】

【表 20－３　各制度改正などの雇用分野への影響（「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別）】

＜男性が仕事をしやすくなった＞

（%）

		そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
賛成	（N＝524）	7.3	30.0	12.2	30.9	19.7
反対	（N＝480）	6.0	34.2	9.0	38.3	12.5

＜男性の育児や介護への参画が進んだ＞

（%）

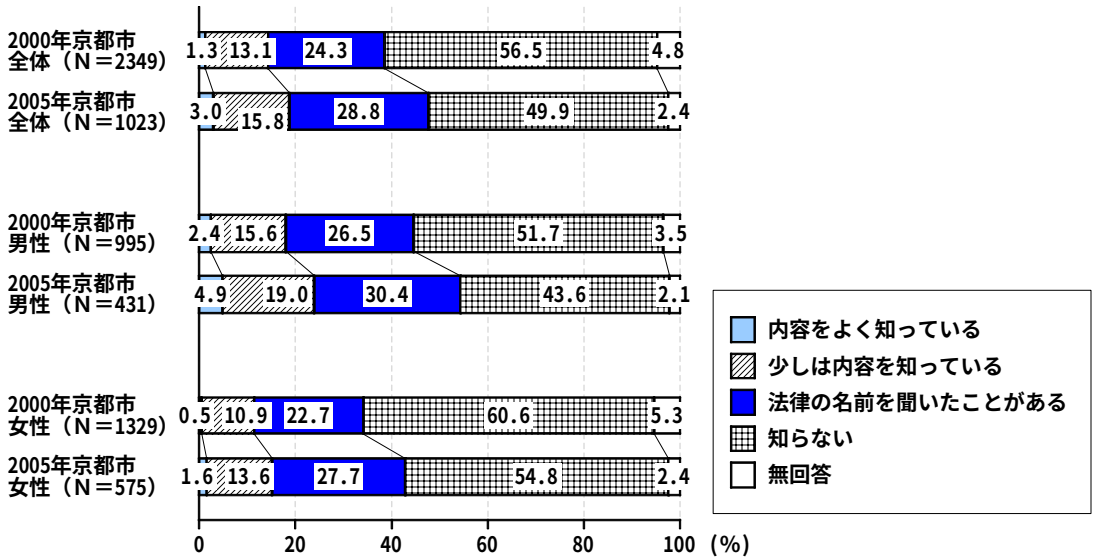
		そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
賛成	（N＝524）	22.9	33.4	2.1	23.3	18.3
反対	（N＝480）	24.0	40.8	3.1	21.0	11.0

問21　男女共同参画社会の形成を総合的・計画的に推進することを目的として，1999年（平成11年）6月に「男女共同参画社会基本法」が施行されましたが，あなたは，この法律のことを知っていますか。

・男女共同参画社会基本法の認知度は前回より上昇
・過半数は「知らない」

「男女共同参画社会基本法」の認知度について，男女ともに「内容をよく知っている」，「少しは内容を知っている」，「法律の名前を聞いたことがある」の割合は，前回調査（5年前）に比べて男性では9.8ポイント，女性では8.8ポイント増加している。一方，過半数は「知らない」と回答している。【図21】

【図 21　「男女共同参画社会基本法」の認知度】



・若年層ほど認知度は低い

「男女共同参画社会基本法」の認知度について，性別・年齢別で見ると，男性では20歳代～50歳代では，「知らない」，60歳以上では「法律の名前を聞いたことはある」が最も高くなっている。また，20歳代・30歳代では，60%以上の方が「知らない」と回答をしている。

女性では，すべての年代で「知らない」が最も高くなっている。特に20歳代・30歳代では，60%以上が「知らない」と回答をしている。

男女ともに20歳代・30歳代での認知度が非常に低くなっている。【表21－１】

【表 21－１　「男女共同参画社会基本法」の認知度（性別・年齢別）】

（%）

	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	法律の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（男　性：N=431）	4.9	19.0	30.4	43.6	2.1
20歳代（N=39）	2.6	7.7	23.1	64.1	2.6
30歳代（N=54）	1.9	9.3	14.8	74.1	-
40歳代（N=59）	5.1	20.3	30.5	42.4	1.7
50歳代（N=94）	5.3	25.5	30.9	37.2	1.1
60歳代（N=95）	4.2	24.2	34.7	33.7	3.2
70歳以上（N=89）	7.9	16.9	38.2	33.7	3.4

（%）

	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	法律の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（女　性：N=575）	1.6	13.6	27.7	54.8	2.4
20歳代（N=51）	-	9.8	25.5	60.8	3.9
30歳代（N=98）	1.0	6.1	16.3	76.5	-
40歳代（N=80）	3.8	15.0	25.0	55.0	1.3
50歳代（N=122）	1.6	17.2	30.3	50.0	0.8
60歳代（N=115）	1.7	13.9	34.8	46.1	3.5
70歳以上（N=107）	0.9	16.8	30.8	46.7	4.7

・「法律の名前を聞いたことがある」は男女の無職，男性の自営・自由業，正規雇用で３割

「男女共同参画社会基本法」の認知度について，性別・就労形態別に見ると，男女ともにほとんどすべての就労形態で「知らない」が最も高くなっている。女性の自営・自由業においては，「少しは知っている」，家族従事者においては，「法律の名前を聞いたことがある」が他の就労形態に比べて高くなっている。【表21－２】

【表 21－２　「男女共同参画社会基本法」の認知度（性別・就労形態別）】

（%）

	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	法律の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（男性：N=431）	4.9	19.0	30.4	43.6	2.1
自営・自由業（N=107）	1.9	20.6	31.8	42.1	3.7
家族従事者（N=6）	-	66.7	16.7	16.7	-
正規雇用（N=153）	5.2	19.6	28.1	46.4	0.7
非正規雇用（N=45）	6.7	11.1	35.6	42.2	4.4
学生（N=15）	-	6.7	26.7	66.7	-
無職（N=91）	7.7	18.7	30.8	40.7	2.2

（%）

	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	法律の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（女性：N=575）	1.6	13.6	27.7	54.8	2.4
自営・自由業（N=40）	-	22.5	27.5	47.5	2.5
家族従事者（N=24）	-	16.7	41.7	41.7	-
正規雇用（N=84）	4.8	13.1	26.2	53.6	2.4
非正規雇用（N=132）	-	16.7	20.5	60.6	2.3
学生（N=8）	-	12.5	37.5	50.0	-
無職（N=265）	1.5	11.7	31.3	53.2	2.3

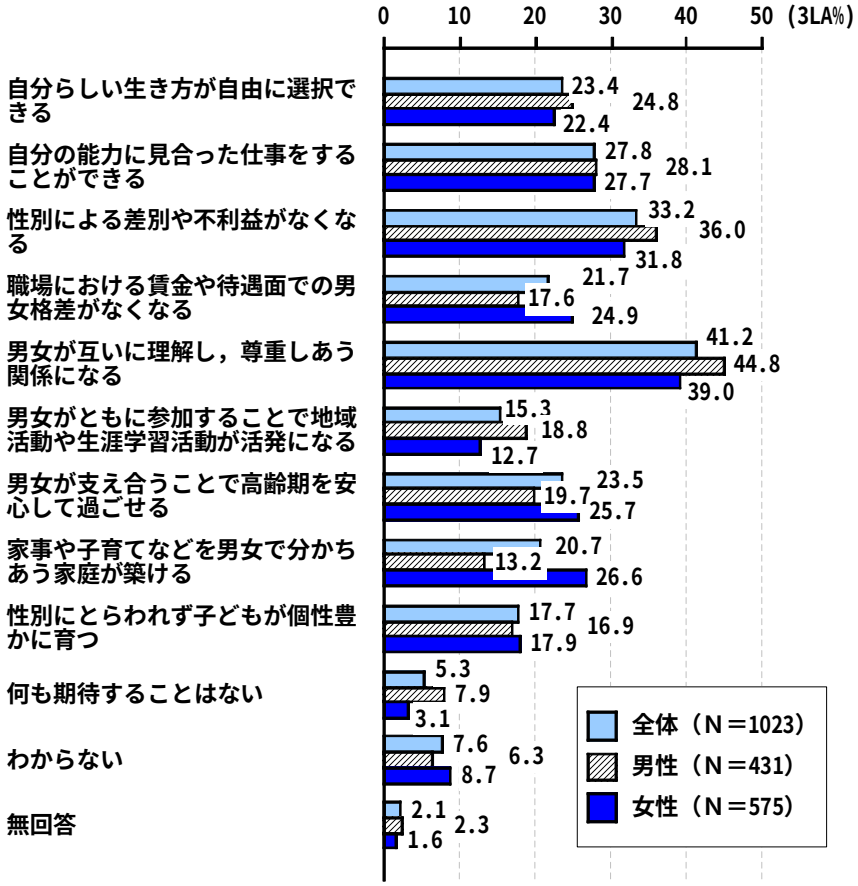
問22　あなたが「男女共同参画社会」に期待することは何ですか。【３つまで選択】

・期待することは，男女間で，仕事面，家事・育児面で差が大きい

男女共同参画社会への期待については，男女ともに上位は同じで，「男女が互いに理解し，尊重しあう関係になる」が最も多く，続いて「性別による差別や不利益がなくなる」，「自分の能力に見合った仕事をすることができる」となっている。

しかし，「職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる」では7.3ポイント，「男女が支えあうことで高齢期を安心してすごせる」では6.0ポイント，「家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける」では13.4ポイント女性の方が男性よりも高くなっており，「男女がともに参加することで地域活動や生涯学習活動が活発になる」では6.1ポイント男性の方が女性よりも高くなっている。「男女共同参画社会へ期待すること」は男女間で差があることがうかがえる。【図22】

【図 22　男女共同参画社会への期待】



男女共同参画社会への期待について，性別・年齢別に見ると，男性では，20 歳代・40 歳代では，「性別による差別や不利益がなくなる」，30 歳代・50 歳以上では「男女がお互いに理解し，尊重しあう関係になる」が最も高い割合になっている。20 歳代では「職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる」，60 歳代では「男女がともに参加することで地域活動や生涯学習が活発になる」，70 歳以上で「男女が支えあうことで高齢化を安心して過ごせる」が他の年代に比べて高くなっている。また，女性では，20 歳代では，「性別による差別や不利益がなくなる」，30 歳代～60 歳代では「男女がお互いに理解し，尊重しあう関係になる」，70 歳以上では「男女が支えあうことで高齢化を安心して過ごせる」が最も高い割合となっている。20 歳代では「自分らしい生き方が自由に選択できる」，「家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける」，40 歳代では「性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ」が他の年代に比べて高くなっている。

【表 22－１】

【表 22－１　男女共同参画社会への期待（性別・年齢別）】

（３ＬＡ%）

	自分らしい生き方が自由に選択できる	自分の能力に見合った仕事をすることができる	性別による差別や不利益がなくなる	職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる	男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる	男女がともに参加することで地域活動や生涯学習が活発になる	男女が支え合うことで高齢化を安心して過ごせる	家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける	性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ	何も期待することはない	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	24.8	28.1	36.0	17.6	44.8	18.8	19.7	13.2	16.9	7.9	6.3	2.3
20歳代（N=39）	25.6	23.1	38.5	25.6	33.3	7.7	5.1	23.1	20.5	5.1	10.3	2.6
30歳代（N=54）	33.3	16.7	29.6	13.0	53.7	16.7	13.0	16.7	22.2	13.0	3.7	1.9
40歳代（N=59）	23.7	32.2	42.4	16.9	35.6	20.3	11.9	11.9	16.9	15.3	6.8	-
50歳代（N=94）	33.0	33.0	40.4	19.1	50.0	18.1	12.8	9.6	13.8	4.3	7.4	1.1
60歳代（N=95）	22.1	31.6	31.6	14.7	43.2	27.4	25.3	13.7	17.9	5.3	3.2	3.2
70歳以上（N=89）	14.6	25.8	33.7	19.1	46.1	15.7	37.1	11.2	14.6	7.9	7.9	4.5
全体（女　性：N=575）	22.4	27.7	31.8	24.9	39.0	12.7	25.7	26.6	17.9	3.1	8.7	1.6
20歳代（N=51）	31.4	25.5	51.0	29.4	33.3	5.9	7.8	45.1	17.6	3.9	5.9	-
30歳代（N=98）	18.4	22.4	30.6	27.6	39.8	6.1	9.2	36.7	14.3	5.1	10.2	-
40歳代（N=80）	25.0	31.3	38.8	26.3	41.3	8.8	16.3	23.8	27.5	2.5	5.0	1.3
50歳代（N=122）	22.1	23.8	28.7	24.6	43.4	15.6	30.3	27.0	17.2	3.3	10.7	0.8
60歳代（N=115）	21.7	32.2	29.6	25.2	44.3	16.5	33.0	21.7	15.7	3.5	5.2	1.7
70歳以上（N=107）	21.5	29.9	25.2	18.7	29.0	16.8	43.0	15.9	17.8	0.9	13.1	4.7

・男性の自営・自由業と女性の自営・自由業，男性の正規雇用と女性の正規雇用では，大きな差が表れている

・「家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける」ではほぼ全ての職業別で差が大きい

男女共同参画社会への期待について，性別・就労形態別に見ると，男性では，家族従事者を除く，すべての就労形態で「男女が互いに理解し，尊重しあう関係になる」が最も高くなっている。女性では，正規雇用，学生を除く就労形態では，「男女がお互いに理解し，尊重しあう関係になる」，正規雇用では「性別による差別や不利益がなくなる」の割合が最も高くなっている。自営・自由業では，「男女が支えあうことで高齢化を安心して過ごすことができる」，正規雇用では「職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる」が他の就労形態に比べて，高い割合になっている。

【表 22－２】

【表 22－２　男女共同参画社会への期待（性別・就労形態別）】

（３ＬＡ%）

	自分らしい生き方が自由に選択できる	自分の能力に見合った仕事をすることができる	性別による差別や不利益がなくなる	職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる	男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる	男女がともに参加することで地域活動や生涯学習が活発になる	男女が支え合うことで高齢化を安心して過ごせる	家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける	性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ	何も期待することはない	わからない	無回答
全体（男性：N=431）	24.8	28.1	36.0	17.6	44.8	18.8	19.7	13.2	16.9	7.9	6.3	2.3
自営・自由業（N=107）	26.2	28.0	32.7	13.1	45.8	20.6	21.5	9.3	17.8	12.1	6.5	0.9
家族従事者（N=6）	16.7	16.7	66.7	33.3	50.0	16.7	50.0	-	33.3	-	-	-
正規雇用（N=153）	24.8	27.5	37.9	19.6	45.8	19.0	12.4	14.4	15.7	9.2	5.2	1.3
非正規雇用（N=45）	26.7	22.2	42.2	15.6	44.4	13.3	22.2	15.6	26.7	6.7	2.2	4.4
学生（N=15）	33.3	33.3	33.3	6.7	40.0	6.7	-	33.3	26.7	-	20.0	-
無職（N=91）	22.0	31.9	29.7	22.0	40.7	20.9	27.5	9.9	11.0	4.4	7.7	5.5
全体（女性：N=575）	22.4	27.7	31.8	24.9	39.0	12.7	25.7	26.6	17.9	3.1	8.7	1.6
自営・自由業（N=40）	27.5	37.5	25.0	12.5	60.0	10.0	45.0	32.5	20.0	-	-	2.5
家族従事者（N=24）	12.5	29.2	29.2	16.7	33.3	20.8	29.2	16.7	20.8	4.2	8.3	4.2
正規雇用（N=84）	20.2	21.4	48.8	36.9	39.3	6.0	10.7	34.5	13.1	3.6	7.1	-
非正規雇用（N=132）	25.8	32.6	30.3	25.0	40.9	11.4	19.7	26.5	16.7	3.0	9.1	0.8
学生（N=8）	37.5	37.5	62.5	25.0	12.5	-	-	62.5	25.0	-	-	-
無職（N=265）	21.1	25.3	28.7	24.9	37.0	15.8	30.9	23.8	20.4	3.4	9.4	1.5

・賛成は「自分らしい生き方が自由に選択できる」，「性別による差別や不利益がなくなる」，「職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる」の項目で反対派との差がかなり大きい
・反対の４人に１人が「何も期待していない」

男女共同参画社会への期待について，男女共同参画推進の賛否別で比較すると，「賛成」，「反対」，「わからない」の全てで「男女がお互いに理解し，尊重しあう関係になる」が最も高くなっている。

「自分らしい生き方が自由に選択できる」では 9.4 ポイント，「自分の能力に見合った仕事をすることができる」では 14.7 ポイント，「性別による差別や不利益がなくなる」では 28.3 ポイント，「職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる」では 23.0 ポイント，「賛成」の方が「反対」よりも高くなっている。一方「反対」では「何も期待することはない」が 22.5 ポイント「賛成」よりも高くなっている。【表 22－３】

【表 22－３　男女共同参画社会への期待（男女共同参画推進の賛否別）】

（３ＬＡ%）

		自分らしい生き方が自由に選択できる	自分の能力に見合った仕事をすることができる	性別による差別や不利益がなくなる	職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる	男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる	男女がともに参加することで地域活動や生涯学習が活発になる	男女が支え合うことで高齢化を安心して過ごせる	家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける	性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ	何も期待することはない	わからない	無回答
賛成	（N＝724）	25.1	30.4	40.1	26.9	43.9	16.6	22.2	21.4	19.3	3.0	4.0	1.2
反対	（N＝51）	15.7	15.7	11.8	3.9	37.3	17.6	29.4	21.6	19.6	25.5	3.9	2.0
わからない	（N＝200）	20.5	23.0	15.5	7.5	31.5	8.5	24.5	18.0	13.0	9.0	21.5	4.0

・賛成では「男女が支えあうことで高齢化を安心して過ごせる」，反対では「性別による差別や不利益がなくなる」，「家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける」が高い

男女共同参画社会への期待について，「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別で比較すると，「賛成」では「男女がお互いに理解し，尊重しあう関係になる」が 41.2%，「反対」では「性別による差別や不利益がなくなる」が 41.5%で最も高くなっている。

「男女が支えあうことで高齢化を安心して過ごせる」では「賛成」が 9 ポイント，「性別による差別や不利益がなくなる」では 15 ポイント，「職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる」では 11.9 ポイント，「家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける」では 14.6 ポイント，「反対」の方が高くなっている。「賛成」と「反対」では男女共同参画への期待へ違いが表れている。【表 22－４】

【表 22－４　男女共同参画社会への期待（「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別）】

（３ＬＡ%）

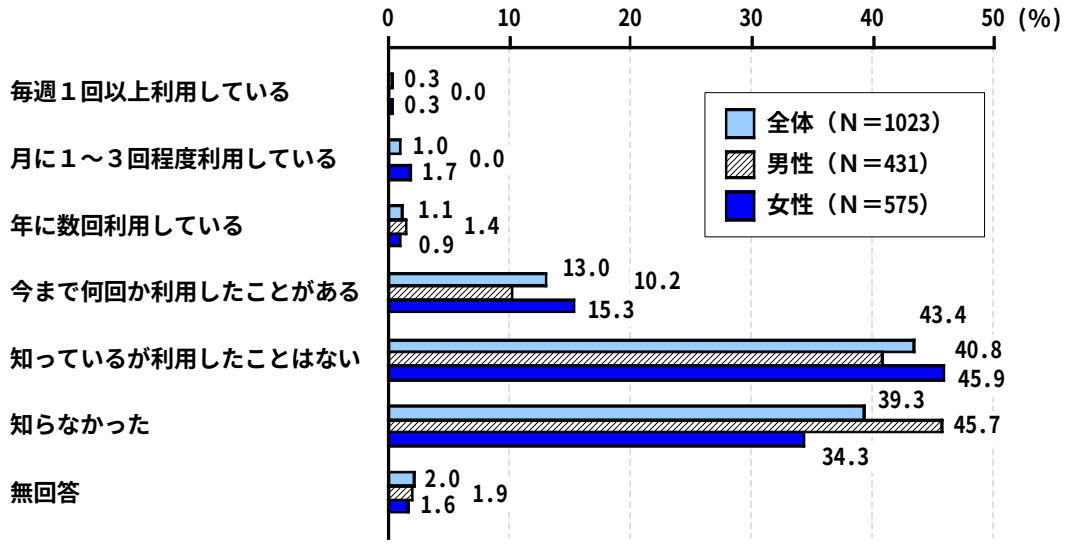
	自分らしい生き方が自由に選択できる	自分の能力に見合った仕事をすることができる	性別による差別や不利益がなくなる	職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる	男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる	男女がともに参加することで地域活動や生涯学習が活発になる	男女が支え合うことで高齢化を安心して過ごせる	家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける	性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ	何も期待することはない	わからない	無回答
賛成　（N＝524）	21.4	28.4	26.5	16.2	41.2	17.9	27.5	13.9	14.7	7.3	9.2	3.2
反対　（N＝480）	26.0	27.5	41.5	28.1	41.0	12.7	18.5	28.5	21.0	3.3	5.2	0.4

５　京都市の取組について

問 23　京都市では，女性の自立と社会参画を支援する施設として，1994 年（平成 6 年）4 月に女性総合センター「ウィングス京都」（中京区東洞院六角下る）を開設しました。あなたは，これまで「ウィングス京都」を利用したことがありますか。

・ウィングス京都は「知っているが利用したことはない」が 40%を超えている【図 23－１】

【図 23－１　「ウィングス京都」の利用状況】



・男性は 40～60 歳代において，女性は 30 歳代以上で利用率は１割程度

【表 23　「ウィングス京都」の利用状況（性別・年齢別）】

(%)

	毎週１回以上利用している	月に１～３回程度利用している	年に数回利用している	今まで何回か利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らなかった	無回答
全体（男　性：N=431）	-	-	1.4	10.2	40.8	45.7	1.9
20歳代（N=39）	-	-	2.6	7.7	41.0	48.7	-
30歳代（N=54）	-	-	-	9.3	40.7	46.3	3.7
40歳代（N=59）	-	-	-	13.6	35.6	50.8	-
50歳代（N=94）	-	-	4.3	11.7	48.9	33.0	2.1
60歳代（N=95）	-	-	-	10.5	41.1	46.3	2.1
70歳以上（N=89）	-	-	1.1	7.9	36.0	52.8	2.2

(%)

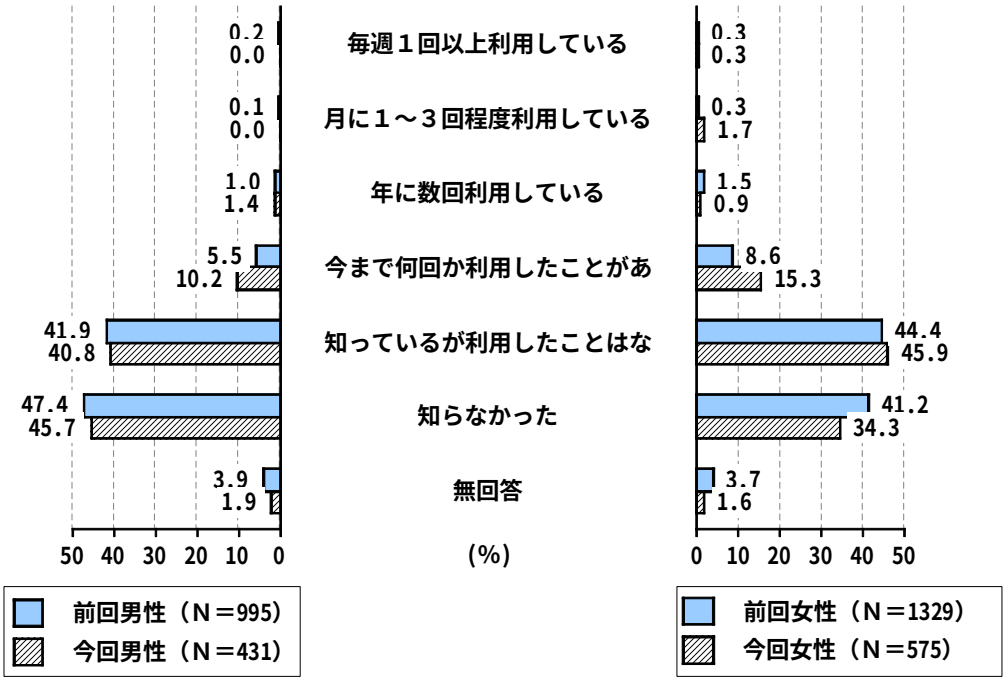
	毎週１回以上利用している	月に１～３回程度利用している	年に数回利用している	今まで何回か利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らなかった	無回答
全体（女　性：N=575）	0.3	1.7	0.9	15.3	45.9	34.3	1.6
20歳代（N=51）	2.0	3.9	-	7.8	51.0	35.3	-
30歳代（N=98）	-	1.0	1.0	16.3	44.9	36.7	-
40歳代（N=80）	-	1.3	2.5	21.3	52.5	22.5	-
50歳代（N=122）	-	0.8	-	16.4	46.7	36.1	-
60歳代（N=115）	0.9	3.5	1.7	13.9	46.1	31.3	2.6
70歳以上（N=107）	-	0.9	-	14.0	37.4	42.1	5.6

・利用経験，認知度ともに前回より上昇

「ウィングス京都」の利用状況について，前回調査と比較すると「今まで何回か利用したことがある」が男性では 4.7 ポイント，女性では 6.7 ポイント増加し，「知らなかった」が男性では 1.7 ポイント，女性では 6.9 ポイント減少している。

「ウィングス京都」については前回調査の時と比べて，利用状況や認知度は上昇していることがわかる。【図 23－２】

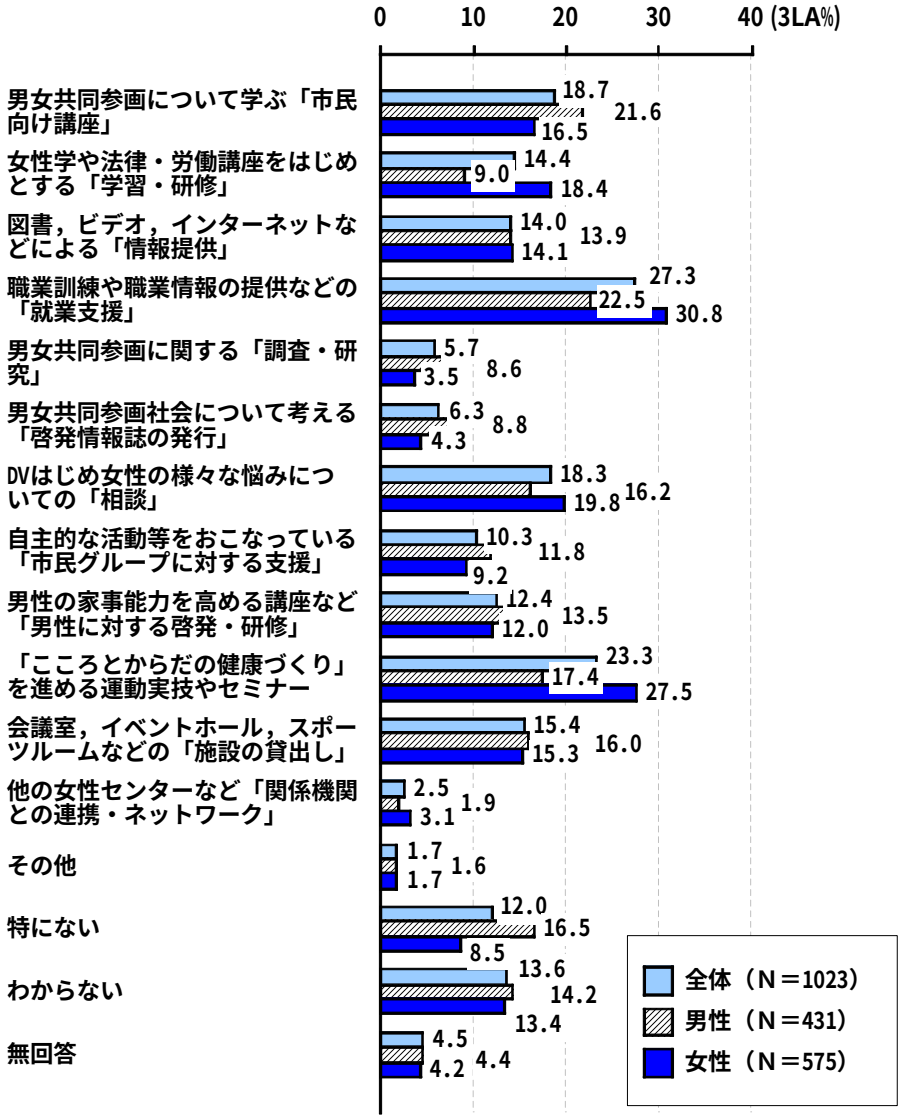
【図 23－２　「ウィングス京都」の利用状況（前回調査との比較）】



問 24　「ウィングス京都」では，次のような事業をおこなっています。このうち，あなたが今後充実してほしいと思うものはどれですか。【３つまで選択】

「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業について，男女ともに「職業訓練や職業情報の提供などの就業支援」が最も多くなっている。続いて，回答者全体では「こころとからだの健康づくりを進める運動実技やセミナー」が 23.3%，「男女共同参画について学ぶ市民向け講座」が 18.7%，男性では「男女共同参画について学ぶ市民向け講座」が 21.6%，「こころとからだの健康づくりを進める運動実技やセミナー」が 17.4%，女性では「こころとからだの健康づくりを進める運動実技やセミナー」が 27.5%，「ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）はじめ女性の様々な悩みについての相談」が 19.8%となっている。【図 24－１】

【図 24－１「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業】



・男女別各年代別によって異なる今後充実してほしい事業【表24－１】

【表 24－１　「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業（性別・年齢別）】

（３ＬＡ%）

	男女共同参画について学ぶ「市民向け講座」	女性学や法律・労働講座をはじめとする「学習・研修」	図書、ビデオ、インターネットなどによる「情報提供」	職業訓練や職業情報の提供などの「就業支援」	男女共同参画に関する「調査・研究」	男女共同参画社会について考える「啓発情報誌の発行」	DVはじめ女性の様々な悩みについての「相談」	自主的な活動等をおこなっている「市民グループに対する支援」	男性の家事能力を高める講座など「男性に対する啓発・研究」	「こころとからだの健康づくり」を進める運動実技やセミナー	会議室、イベントホール、スポーツルームなどの「施設の貸出し」	他の女性センターなど「関係機関との連携・ネットワーク」	その他	特にない	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	21.6	9.0	13.9	22.5	8.6	8.8	16.2	11.8	13.5	17.4	16.0	1.9	1.6	16.5	14.2	4.4
20歳代（N=39）	17.9	7.7	15.4	20.5	17.9	7.7	33.3	10.3	17.9	10.3	30.8	2.6	5.1	7.7	10.3	-
30歳代（N=54）	22.2	7.4	18.5	18.5	11.1	5.6	20.4	9.3	16.7	18.5	14.8	1.9	-	16.7	13.0	7.4
40歳代（N=59）	18.6	10.2	8.5	23.7	6.8	5.1	28.8	13.6	11.9	18.6	27.1	3.4	1.7	13.6	15.3	1.7
50歳代（N=94）	17.0	14.9	16.0	30.9	8.5	10.6	16.0	14.9	10.6	10.6	17.0	-	1.1	13.8	16.0	2.1
60歳代（N=95）	28.4	7.4	17.9	22.1	5.3	9.5	9.5	10.5	17.9	24.2	12.6	4.2	-	21.1	8.4	4.2
70歳以上（N=89）	21.3	5.6	7.9	16.9	7.9	10.1	5.6	11.2	9.0	19.1	4.5	-	3.4	20.2	20.2	9.0
全体（女　性：N=575）	16.5	18.4	14.1	30.8	3.5	4.3	19.8	9.2	12.0	27.5	15.3	3.1	1.7	8.5	13.4	4.2
20歳代（N=51）	5.9	19.6	29.4	37.3	3.9	2.0	41.2	7.8	21.6	9.8	25.5	2.0	3.9	5.9	13.7	-
30歳代（N=98）	8.2	24.5	18.4	42.9	2.0	3.1	26.5	6.1	8.2	20.4	18.4	2.0	6.1	5.1	9.2	1.0
40歳代（N=80）	13.8	30.0	15.0	45.0	5.0	3.8	25.0	8.8	10.0	18.8	22.5	5.0	1.3	7.5	8.8	1.3
50歳代（N=122）	24.6	22.1	13.9	31.1	4.1	2.5	15.6	10.7	16.4	34.4	11.5	2.5	0.8	11.5	10.7	0.8
60歳代（N=115）	17.4	9.6	12.2	20.0	5.2	5.2	14.8	10.4	8.7	40.0	15.7	1.7	-	8.7	11.3	8.7
70歳以上（N=107）	21.5	9.3	4.7	16.8	0.9	8.4	9.3	10.3	11.2	27.1	6.5	5.6	-	10.3	25.2	10.3

・女性の正規雇用，非正規雇用で，「学習・研修」，「就業支援」が男性に比べて高い

・男性の自営・自由業，正規雇用で「特にない」が女性に比べて高い　　【表24－２】

【表 24－２　「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業（性別・就労形態別）】

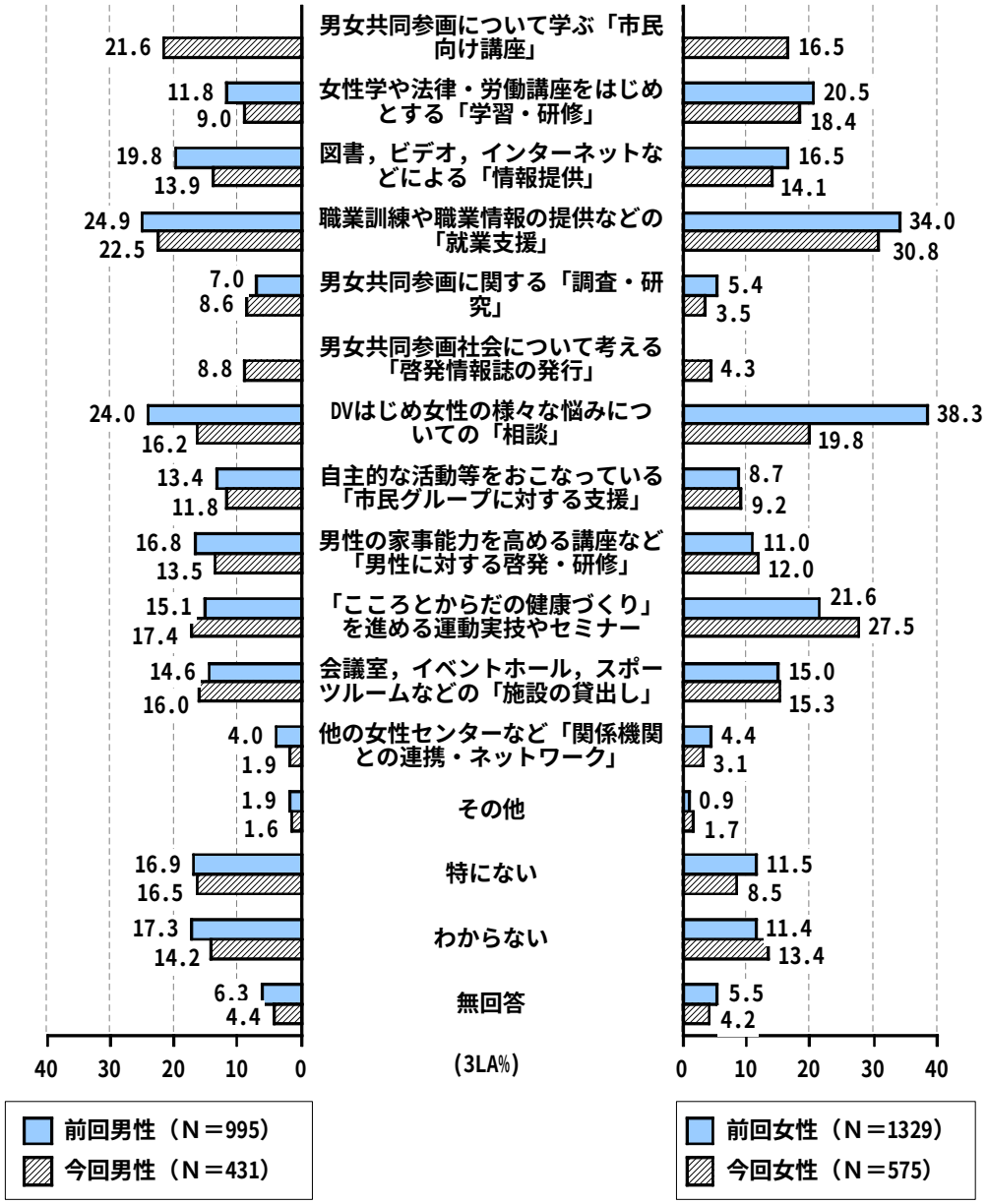
（３ＬＡ%）

	男女共同参画について学ぶ「市民向け講座」	女性学や法律・労働講座をはじめとする「学習・研修」	図書、ビデオ、インターネットなどによる「情報提供」	職業訓練や職業情報の提供などの「就業支援」	男女共同参画に関する「調査・研究」	男女共同参画社会について考える「啓発情報誌の発行」	DVはじめ女性の様々な悩みについての「相談」	自主的な活動等をおこなっている「市民グループに対する支援」	男性の家事能力を高める講座など「男性に対する啓発・研究」	「こころとからだの健康づくり」を進める運動実技やセミナー	会議室、イベントホール、スポーツルームなどの「施設の貸出し」	他の女性センターなど「関係機関との連携・ネットワーク」	その他	特にない	わからない	無回答
全体（男性：N=431）	21.6	9.0	13.9	22.5	8.6	8.8	16.2	11.8	13.5	17.4	16.0	1.9	1.6	16.5	14.2	4.4
自営・自由業（N=107）	18.7	9.3	10.3	17.8	3.7	5.6	13.1	10.3	16.8	18.7	19.6	1.9	-	17.8	16.8	6.5
家族従事者（N=6）	16.7	-	16.7	16.7	16.7	-	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	-	-	16.7	-	-
正規雇用（N=153）	20.9	10.5	12.4	24.8	11.1	9.2	20.9	11.8	12.4	14.4	18.3	2.0	2.6	17.6	10.5	3.3
非正規雇用（N=45）	24.4	6.7	17.8	20.0	6.7	6.7	13.3	20.0	17.8	22.2	17.8	4.4	-	11.1	15.6	4.4
学生（N=15）	13.3	20.0	13.3	13.3	33.3	13.3	20.0	6.7	13.3	-	26.7	-	6.7	13.3	6.7	-
無職（N=91）	27.5	6.6	17.6	26.4	7.7	13.2	12.1	11.0	9.9	19.8	5.5	1.1	2.2	14.3	17.0	4.0
全体（女性：N=575）	16.5	18.4	14.1	30.8	3.5	4.3	19.8	9.2	12.0	27.5	15.3	3.1	1.7	8.5	13.4	4.2
自営・自由業（N=40）	15.0	12.5	12.5	22.5	7.5	5.0	17.5	5.0	2.5	27.5	20.0	5.0	-	12.5	17.5	5.0
家族従事者（N=24）	20.8	12.5	20.8	25.0	-	4.2	25.0	20.8	4.2	25.0	20.8	-	-	8.3	12.5	4.2
正規雇用（N=84）	11.9	25.0	19.0	34.5	7.1	3.6	28.6	6.0	15.5	25.0	20.2	3.6	3.6	7.1	7.1	1.2
非正規雇用（N=132）	9.8	22.0	13.6	49.2	4.5	5.3	22.0	6.8	15.2	23.5	18.9	3.8	1.5	6.1	6.8	2.3
学生（N=8）	-	12.5	12.5	12.5	-	-	25.0	12.5	25.0	-	37.5	-	-	12.5	25.0	-
無職（N=265）	21.1	16.2	12.5	23.4	1.9	4.2	16.2	10.6	10.6	31.7	10.6	3.0	1.9	9.1	17.7	5.7

・「相談」については男女ともに減少

ウィングス京都で今後充実してほしい事業について，前回調査と比較すると，男性では大きく増加している項目はなく，「DVはじめ女性の様々な悩みについての「相談」」が7.8ポイント減少している。女性では「「こころとからだの健康づくり」を進める運動実技やセミナー」が5.9ポイント増加し，「DVはじめ女性の様々な悩みについての「相談」」が18.5ポイント減少している。【図24－2】

【図 24－2　「ウィングス京都」で今後充実してほしい事業（前回調査との比較）】

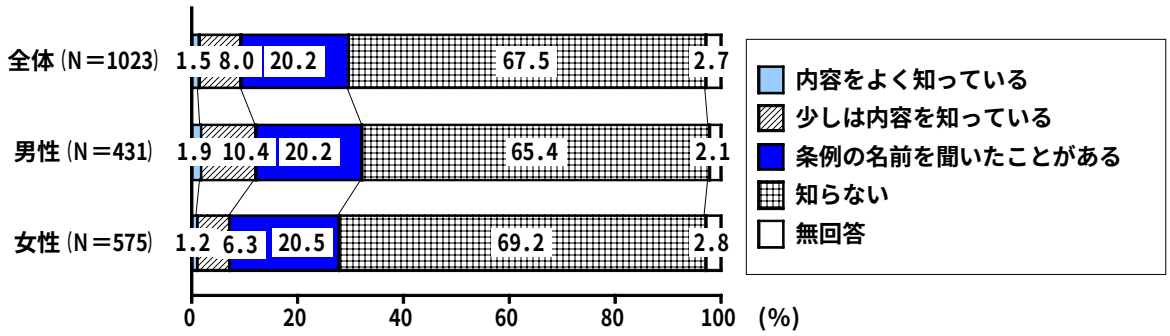


※「男女共同参画について学ぶ「市民向け講座」」，「男女共同参画社会について考える「啓発情報誌の発行」」は前回調査ではなかった。

問25　京都市における男女共同参画を総合的かつ計画的に推進することを目的として，2003年(平成15年）12月に「京都市男女共同参画推進条例」が制定されましたが，あなたは，この条例のことを知っていますか。

・条例の認知度は低く男女とも約3割【図25】

【図 25　「京都市男女共同参画推進条例」の認知度】



・若年層で低い認知度【表25－１】

【表 25－１　「京都市男女共同参画推進条例」の認知度（性別・年齢別）】

(%)

	全体	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	条例の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（男　性：N=431）	431	1.9	10.4	20.2	65.4	2.1
20歳代（N=39）	39	-	2.6	5.1	92.3	-
30歳代（N=54）	54	1.9	7.4	1.9	85.2	3.7
40歳代（N=59）	59	1.7	13.6	13.6	71.2	-
50歳代（N=94）	94	3.2	9.6	25.5	59.6	2.1
60歳代（N=95）	95	2.1	11.6	29.5	54.7	2.1
70歳以上（N=89）	89	1.1	13.5	27.0	55.1	3.4

(%)

	全体	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	条例の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（女　性：N=575）	575	1.2	6.3	20.5	69.2	2.8
20歳代（N=51）	51	2.0	-	13.7	84.3	-
30歳代（N=98）	98	-	1.0	9.2	89.8	-
40歳代（N=80）	80	1.3	6.3	26.3	65.0	1.3
50歳代（N=122）	122	0.8	7.4	19.7	72.1	-
60歳代（N=115）	115	1.7	10.4	25.2	59.1	3.5
70歳以上（N=107）	107	1.9	8.4	25.2	54.2	10.3

・男性の自営・自由業，非正規雇用，無職，女性の正規雇用，無職で「聞いたことがある」が２割以上【表25－２】

【表 25－２　「京都市男女共同参画推進条例」の認知度（性別・就労形態別）】

（%）

	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	条例の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（男性：N=431）	1.9	10.4	20.2	65.4	2.1
自営・自由業（N=107）	1.9	8.4	26.2	60.7	2.8
家族従事者（N=6）	-	33.3	50.0	16.7	-
正規雇用（N=153）	2.0	11.8	16.3	67.3	2.6
非正規雇用（N=45）	4.4	4.4	22.2	68.9	-
学生（N=15）	-	-	6.7	93.3	-
無職（N=91）	1.1	11.0	20.9	64.8	2.2

（%）

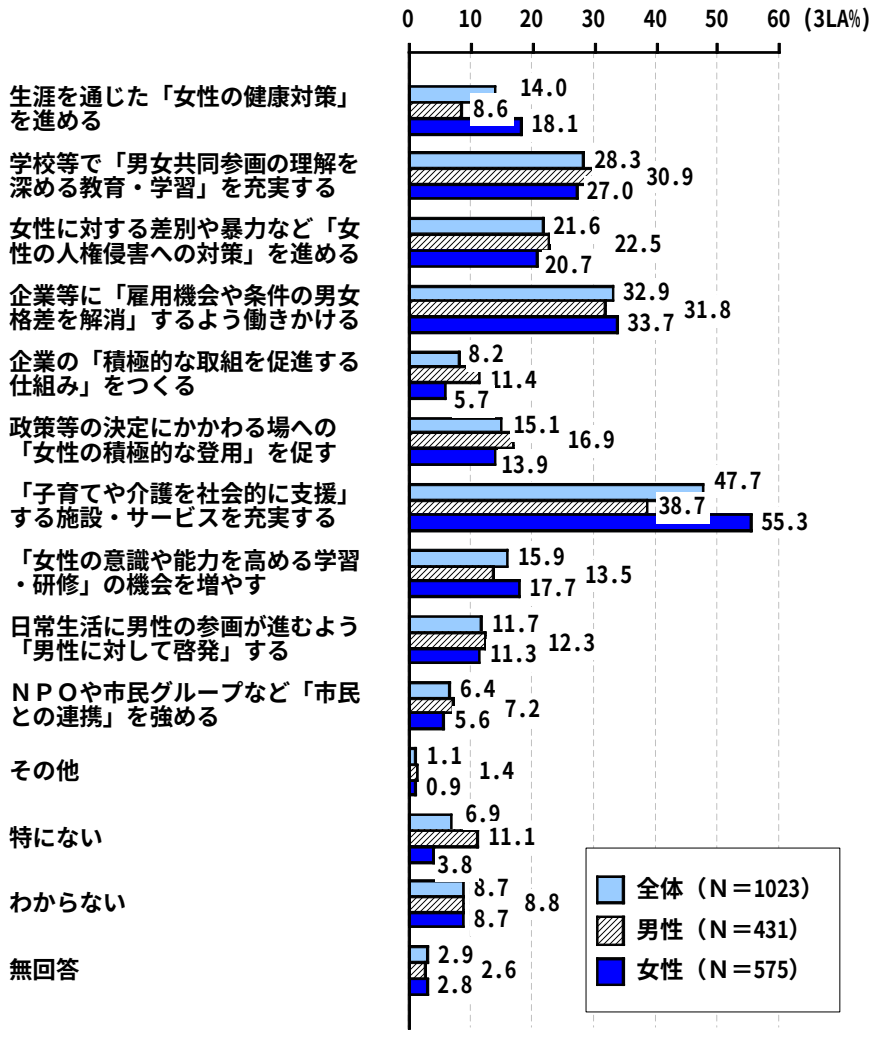
	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	条例の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全体（女性：N=575）	1.2	6.3	20.5	69.2	2.8
自営・自由業（N=40）	2.5	7.5	10.0	72.5	7.5
家族従事者（N=24）	-	12.5	25.0	62.5	-
正規雇用（N=84）	1.2	8.3	23.8	66.7	-
非正規雇用（N=132）	-	5.3	17.4	75.8	1.5
学生（N=8）	-	-	-	100.0	-
無職（N=265）	1.5	6.0	23.4	66.0	3.0

問26　あなたは，「男女共同参画社会」の実現に向けて，京都市は今後どのようなことに力をいれて取り組むべきだと思いますか。【３つまで選択】

今後，京都市が「男女共同参画社会」の実現に向けて取り組むことがらについては，男女ともに「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実する」が最も多く，続いて「企業や事業主に雇用の機会や条件の男女格差を解消するよう働きかける」，「学校や生涯学習施設などで男女共同参画の理解を深める教育・学習を充実する」となっている。

また，「子育てや介護を社会的に支援する施設・サービスを充実する」は，女性の方が16.6ポイントも高くなっている。【図26－１】

【図 26－１　今後京都市が「男女共同参画社会」に向けて取り組むべきことがら】



・年代間による格差が大きい項目が多数

・同一年代でも男女間の差が大きい項目がある　【表 26－１】

【表 26－１　今後京都市が「男女共同参画社会」に向けて取り組むべきことがら（性別・年代別）】

（３ＬＡ%）

	生涯を通じた「女性の健康対策」を進める	学校などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実	女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める	企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける	企業の「積極的な取組を促進する仕組み」をつくる	政策等の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす	「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する	「女性の意識や能力を高める学習・研修」の機会を増やす	日常生活に男性の参画が進むよう「男性に対して啓発」する	ＮＰＯや市民グループなど「市民との連携」を強める	その他	特にない	わからない	無回答
全体（男　性：N=431）	8.6	30.9	22.5	31.8	11.4	16.9	38.7	13.5	12.3	7.2	1.4	11.1	8.8	2.6
20歳代（N=39）	5.1	25.6	35.9	33.3	17.9	15.4	43.6	12.8	12.8	7.7	2.6	5.1	7.7	-
30歳代（N=54）	5.6	25.9	25.9	35.2	9.3	11.1	44.4	14.8	13.0	5.6	-	11.1	9.3	3.7
40歳代（N=59）	5.1	28.8	30.5	25.4	15.3	23.7	39.0	11.9	8.5	8.5	-	10.2	11.9	-
50歳代（N=94）	9.6	26.6	22.3	29.8	16.0	16.0	46.8	16.0	12.8	7.4	2.1	6.4	9.6	1.1
60歳代（N=95）	6.3	38.9	15.8	34.7	8.4	21.1	29.5	12.6	16.8	7.4	1.1	15.8	3.2	4.2
70歳以上（N=89）	15.7	33.7	15.7	32.6	5.6	13.5	34.8	12.4	7.9	6.7	2.2	14.6	12.4	4.5
全体（女　性：N=575）	18.1	27.0	20.7	33.7	5.7	13.9	55.3	17.7	11.3	5.6	0.9	3.8	8.7	2.8
20歳代（N=51）	11.8	29.4	19.6	29.4	13.7	9.8	60.8	17.6	21.6	7.8	-	2.0	9.8	-
30歳代（N=98）	15.3	21.4	24.5	35.7	9.2	11.2	68.4	12.2	11.2	2.0	1.0	-	6.1	1.0
40歳代（N=80）	8.8	33.8	23.8	37.5	7.5	13.8	58.8	23.8	15.0	1.3	1.3	5.0	6.3	1.3
50歳代（N=122）	21.3	32.8	18.9	40.2	4.9	18.0	51.6	15.6	9.8	9.8	1.6	3.3	10.7	-
60歳代（N=115）	23.5	21.7	20.9	36.5	0.9	13.0	53.9	17.4	12.2	6.1	-	5.2	5.2	4.3
70歳以上（N=107）	21.5	24.3	17.8	20.6	3.7	15.0	43.0	21.5	4.7	5.6	0.9	6.5	14.0	8.4

・**「女性の健康対策」では女性の自営・自由業で男性よりも高い**

・**「子育てや介護を社会的に支援」では女性の正規雇用，非正規雇用，無職で男性よりも高い**

【表 26－２】

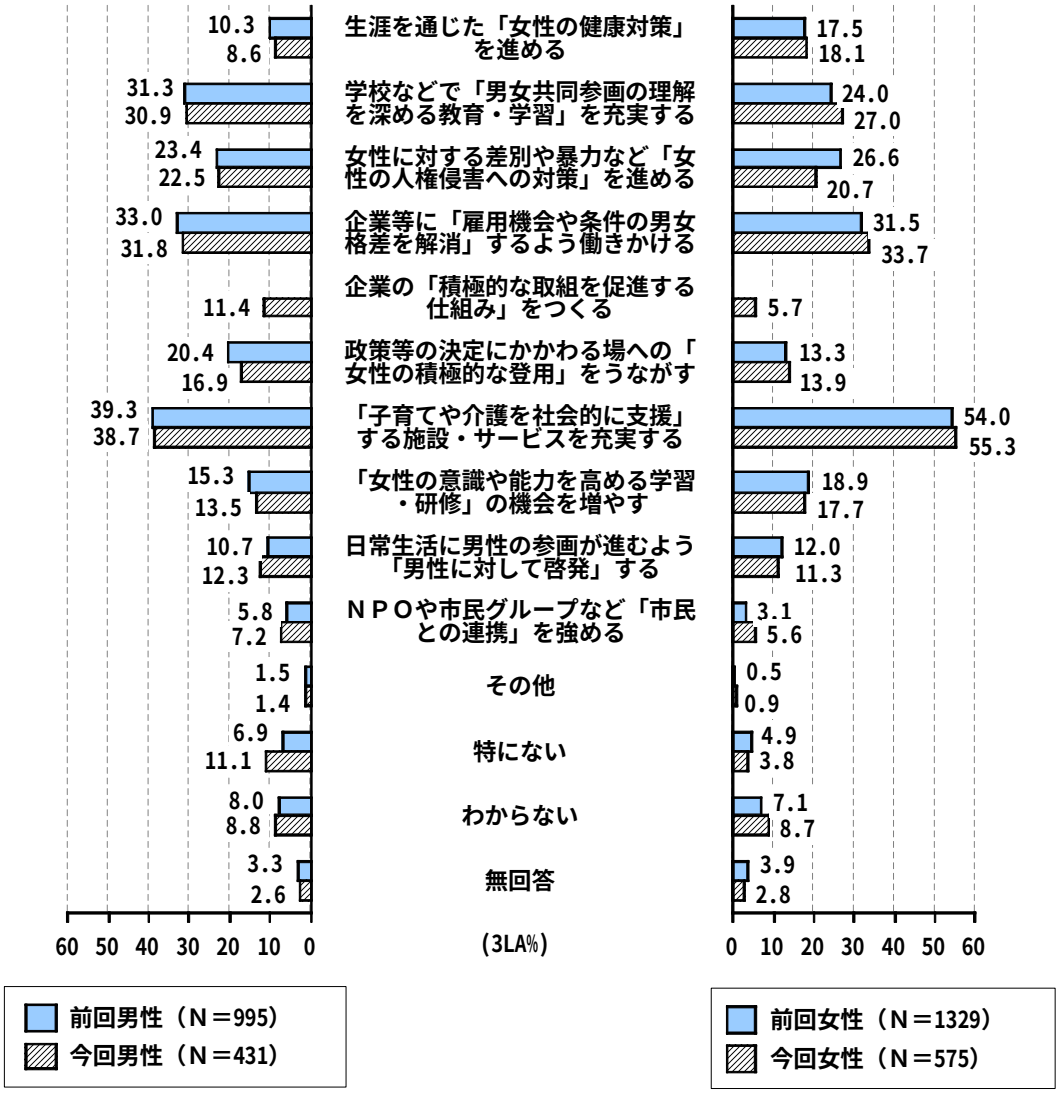
【表 26－２　今後京都市が「男女共同参画社会」に向けて取り組むべきことがら（性別・就労形態別）】

（３ＬＡ%）

	生涯を通じた「女性の健康対策」を進める	学校などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実	女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める	企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける	企業の「積極的な取組を促進する仕組み」をつくる	政策等の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす	「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する	「女性の意識や能力を高める学習・研修」の機会を増やす	日常生活に男性の参画が進むよう「男性に対して啓発」する	ＮＰＯや市民グループなど「市民との連携」を強める	その他	特にない	わからない	無回答
全体（男性：N=431）	8.6	30.9	22.5	31.8	11.4	16.9	38.7	13.5	12.3	7.2	1.4	11.1	8.8	2.6
自営・自由業（N=107）	12.1	28.0	21.5	22.4	9.3	13.1	40.2	10.3	12.1	3.7	0.9	18.7	7.5	3.7
家族従事者（N=6）	16.7	66.7	16.7	66.7	-	-	16.7	66.7	-	33.3	-	-	-	-
正規雇用（N=153）	5.9	26.1	23.5	32.7	15.0	17.6	40.5	13.7	11.1	5.2	1.3	10.5	9.2	2.0
非正規雇用（N=45）	4.4	35.6	31.1	37.8	6.7	13.3	35.6	20.0	15.6	17.8	-	4.4	4.4	4.4
学生（N=15）	6.7	26.7	13.3	40.0	33.3	6.7	53.3	-	20.0	6.7	6.7	6.7	6.7	-
無職（N=91）	9.9	37.4	17.6	35.2	8.8	24.2	36.3	14.3	12.1	6.6	2.2	9.9	11.0	2.2
全体（女性：N=575）	18.1	27.0	20.7	33.7	5.7	13.9	55.3	17.7	11.3	5.6	0.9	3.8	8.7	2.8
自営・自由業（N=40）	32.5	25.0	27.5	25.0	7.5	17.5	42.5	22.5	5.0	2.5	-	5.0	5.0	5.0
家族従事者（N=24）	16.7	37.5	25.0	16.7	4.2	16.7	45.8	20.8	8.3	20.8	-	-	12.5	4.2
正規雇用（N=84）	13.1	26.2	23.8	48.8	13.1	13.1	53.6	13.1	14.3	2.4	1.2	2.4	6.0	-
非正規雇用（N=132）	15.9	27.3	18.2	38.6	6.1	11.4	62.9	21.2	13.6	5.3	-	0.8	6.8	3.8
学生（N=8）	-	25.0	25.0	37.5	-	-	37.5	-	12.5	12.5	-	12.5	12.5	-
無職（N=265）	19.6	26.8	19.6	30.6	3.8	15.5	55.5	16.6	10.6	6.0	1.5	5.7	9.4	2.6

・今後の取組は前回と比較して大きな差はない【図 26－２】

【図 26－２　今後京都市が「男女共同参画社会」に向けて取り組むべきことがら（前回調査との比較）】



※「企業の「積極的な取組を促進する仕組み」を作る」は前回調査ではなかった。

・「男女共同参画の理解を深める教育・学習」，「雇用機会や条件の男女格差を解消」，「女性の積極的な登用」では「賛成」と「反対」で大きな差が見られた

今後，京都市が「男女共同参画社会」の実現に向けて取り組むことがらについて，男女共同参画推進の賛否別でみると，「賛成」，「反対」，「わからない」の全ての項目で「「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する」が最も高くなっている。

「賛成」では「学校などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実」で 10.8 ポイント，「企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するように働きかける」で 26.1 ポイント，「政策等の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす」で 14.7 ポイント，「反対」よりも高くなっており，大きな差が表れているものもある。【表 26－３】

【表 26－３　今後京都市が「男女共同参画社会」に向けて取り組むべきことがら（男女共同参画推進の賛否別）】

（３ＬＡ%）

		生涯を通じた「女性の健康対策」を進める	学校などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実	女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める	企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける	企業の「積極的な取組を促進する仕組み」をつくる	政策等の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす	「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する	「女性の意識や能力を高める学習・研修」の機会を増やす	日常生活に男性の参画が進むよう「男性に対して啓発」する	ＮＰＯや市民グループなど「市民との連携」を強める	その他	特にない	わからない	無回答
賛成	（Ｎ＝724）	13.5	34.3	21.3	39.8	9.5	18.6	51.8	17.1	13.4	7.0	0.7	4.0	5.0	2.2
反対	（Ｎ＝51）	15.7	23.5	27.5	13.7	9.8	3.9	51.0	25.5	11.8	5.9	2.0	17.6	3.9	2.0
わからない	（Ｎ＝200）	14.0	10.0	21.5	13.0	5.0	5.0	33.5	10.0	5.5	4.5	1.5	14.0	24.0	6.0

・「雇用機会や条件の男女格差を解消」では「賛成」と「反対」の差が大きい

今後，京都市が「男女共同参画社会」の実現に向けて取り組むことがらについて，「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別でみると，「賛成」，「反対」ともに「「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する」が最も高くなっている。

「反対」では「企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける」が 17.1 ポイント「賛成」より高くなっている。【表 26－４】

【表 26－４　今後京都市が「男女共同参画社会」に向けて取り組むべきことがら
（「男は仕事，女は家事・育児」の賛否別）】

（３ＬＡ％）

	生涯を通じた「女性の健康対策」を進める	学校などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実	女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める	企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける	企業の「積極的な取組を促進する仕組み」をつくる	政策等の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす	「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する	「女性の意識や能力を高める学習・研修」の機会を増やす	日常生活に男性の参画が進むよう「男性に対して啓発」する	ＮＰＯや市民グループなど「市民との連携」を強める	その他	特にない	わからない	無回答
賛成　（Ｎ＝524）	14.9	25.6	21.0	25.2	8.2	11.5	44.1	14.7	11.1	6.7	0.8	10.1	10.7	4.0
反対　（Ｎ＝480）	12.3	31.7	22.9	42.3	8.5	19.4	51.7	17.7	12.5	6.3	1.3	3.1	6.7	1.5

１　男女平等・男女共同参画について

最近男女平等が頻繁に叫ばれているが，果たして実効性があるか疑問である。むしろ性差別意識のみが先行し，それに拍車をかけている観さえ伺える。例えば男女平等だが，過剰に議論されるあまり，日本の文化，歴史の良い部分までも闇雲に否定される傾向にある。もう少し，男女の性差を認識した上で，男女平等の取り組みがなされてしかるべきと考える。また，必ずしも「男だから……」「女だから……」と区別して議論すべきでないケースも見受けられる。男女差よりも，むしろ個人差に注視する必要があるのではないだろうか？　（男性，20 歳代，正社員・正職員）

平等なのはいいが，女性が逆差別的意識で語るのは違うと思う。男性にしかできない仕事もあるし，その逆もあるのだから，一番大事なのは，尊重することだと思う。　（男性，20 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

何のために男女共同参画を進めるのか，はっきりとした意思表示が必要。専業主婦を望む女性に対してむりに社会進出させることにどれほど意味があるのかわからない。男女平等は絶対だと思うが，区別は必要。例えば男に助産師をさせるのはどうかと思う。こういったことを考えながら，男女共同参画を考えていかないとおかしな方向に議論が向かう。運動の棒倒しに女子児童を参加させると言った愚行など。映画館のレディースデーなどは女性と言うだけで割り引くなど，男女不平等きわまりない。（メンズデーも）育児に男性参加は仕事か子供かどちらに世話してほしいかを考えるのも重要。主観ではあるが，母親に抱いてもらう方が嬉しい子供が多いのではないだろうか。　（男性，20 歳代，学生）

確かに女性が社会の中で上に立って生きていくのはしんどいと思う。結婚し，出産，育児と進むにつれて更にしんどくなると思う。ブランクも出てくる。でもどうだろう？　これも一つの思考転換だと思う。仕事のブランクは出ても，新たな経験ができると思うから。男性には得られぬ経験を経て，新たに進むのはいいと思う。ただ世間は，ちょっとした事で男女不平等だ！！とよく騒ぐが，これって，男も女もお互いの認識の甘さだと思う。男だから，女だからこうあるべきって思うことが間違っているのではないでしょうか？　男だから得することもあるし，女だから得することもある。それでバランスがとれていると思う。外観からして違うのだから，受け入れる所は受け入れて，男は女を，女は男の根本を理解する事から始めるべきじゃないでしょうか……。　（女性，20 歳代，正社員・正職員）

小さい頃から意識付けが重要だと思います。住みよい地域作りには，いろんな人の力が不可欠です。男女共同参画の取り組みは重要だと思います。市会議員・府議会議員・国会議員など，女性の意見を反映されるようなシステム作りが必要だと思います。福祉にもっと力を入れてほしいと思います。　（女性，20 歳代，正社員・正職員）

女性が社会進出していき，男女の差別も以前に比べるとあまり感じなくなってきたが，女性が社会的に認められていても（会社などでの昇格）男性と比べられてしまうのは仕方がない。逆に男性が”ふがいない”と攻められている場面も見ている。私自身”男女は平等であるべき”と思ってはいるが，心のどこかでは”女性”であることに甘えている部分もある。そういう気持ちから改善していかなければならないと思った。（まだまだ狭い世界でしかモノが見れてないのかもしれませんが……）　（女性，20 歳代，正社員・正職員）

女性の社会進出を進める動きは重要なことかと思いますが，これまでの社会通念のように，男性が朝から晩まで仕事にかけまわる中で女性が外に出ると家庭が空洞化するように思えます。まずは男性・女性を問わず，社会に貢献している人が（それが職業や地域活動であれ，介護や育児であれ）互いに認められる世になればよいなあと思います。

（女性，20 歳代，専業主婦）

男女平等については男性だけでなく女性も意識を変えていかなければならないと思います。女性は結婚すれば永久就職できるとか，女やからできないとかいう考えはやめた方が良いのではないかと思う。何かにつれて男女平等という人の方が不平等やったりすると思うので，なんにでも「平等」というのは少しおかしいと思うことがあります。子供を産むことができるのは女だけなのだから，そこまで男性に産めとは言えないと思います。（女性，20 歳代，学生）

社会的組織における女性の立場と，家庭における女性の立場は，異なっている。男女共同参画を進める政策を行う上でも，女性が置かれているそれぞれの立場を考慮した政策を実施することが重要だと思う。（女性，20 歳代，その他無職）

「男女平等」や「男女共同参画」を推進するにあたって今まで以上に強い取り組みが必要であり，また京都市だけでなく，全国の自治体が同じように推進していかないとダメだと思います。（男性，30 歳代，正社員・正職員）

京都市の施策がどうこうという訳ではありませんが「男女共同参画」という言葉には身構えてしまいます。フェミニズムの基本的な主張には賛成しますが，一部の行きすぎた主張はしばしば「男女共同参画」「ジェンダーフリー」という言葉と結びついているように感じます。特に機会の平等と結果の平等が混同されているのでは？　いわゆる「男らしさ」「女らしさ」にとらわれずに生きたい人が自由に生きられる社会は素晴らしいですね。しかし「男らしく生きたい」「女らしく生きたい」という意見も同様に尊重されるべきです。しかも男女の心理的な性差は，社会・文化による押しつけ云々よりはむしろ遺伝的なプログラムであることは進化心理学の成果から明らかです。男らしさ，女らしさを否定することに意味があるとは思えません。性による差別，不利益は是正されるべきですが，本人が自らの意志で，男らしく女らしく生きることを選択するのであれば，それこそがその人にとっての「自分らしさ」のはずです。その選択肢をなくそうという主張を行う一部のフェミニズムには疑問を感じざるを得ません。市の推進する男女共同参画がそのようなものと無縁であることを強く望みます。（男性，30 歳代，正社員・正職員）

「男女平等」である必要性がないとは思われないが，男性にしかできないこと，また女性にしかできないことがあると思うので，すべてにおいて「男女平等」が良いとは思わない。男女各々が本来持っている能力を有効に活用し，きちんと役割分担をすれば良いと思う。（男性，30 歳代）

私達の世代には，親世代の意識を変える活動をしていただけなかったら「娘のくせに！」と言われ，思うように社会への参加が出来ない。親と同居（夫側の親）している女性が多いと思います。女が外に出て！　と言われたり，無理な時間帯に夕食の用意を強いられたりという話を聞きます。私の職場では男・女の差を感じた事はないです。
（女性，30 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

"市民活動参加の際，起業の協力（市政参加）の意識を高める社会を作る啓蒙も必要。北欧の男女参画，社会参加の意識の高さが非常に市政を運営するにあたり参考になると思う。（男性の育児休暇に対する意識が日本は低すぎる為）
（女性，30 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

女性は自分達の都合が悪い時には「男女平等」と訴えている気がして嫌です。男性がするべき事，女性がするべき事はきちんとすべきだと思う。（女性，30 歳代，内職・在宅就業）

男女平等意識は意識しなくても既に根付いている世代です。が，実際は配偶者の雇用状況条件に左右されているのが現実ではないでしょうか。例えば我が家の場合，土日，休日だけでなく，平日の残業も多い場合では，おのずと負担は女性（私）にかかってきます。また職場では女性は定時に帰りやすいのはありますが，地位の向上により，それにも気がひけてしまい，辞めてしまったのが現状です。女性が上司と言うだけでやはり部下（男性）の態度は違いますので，気苦労をしたあげくに病気になってしまったというのが私の例です。家族間ではコンセンサスを得られている場合でも家庭を持つ女性への配慮がなく，職を失わざるをえなくなるのが現状だと思います。私は今は未だ通院し，完治していません。仕事をしたくても，社会に奉仕したくてもできない状況です。残念。（女性，30 歳代，専業主婦）

体力的にも精神的にも男女に違いがあるのは当然で，全てに於いて「男女平等」というのは実際には女性にとっては酷であるように思われます。あくまでも女性は女性としての範囲で労働し，男性より劣る分には給料格差もやむを得ないと思われます。ただし，無条件に男女格差を付けたり，男女ともまったく同条件で労働している場合などは，女性も同等に評価されて当然だと思います。（女性，30 歳代，専業主婦）

この先も男女が平等になっていくことがあっても，男女と母親が平等になることはないでしょう。育児休暇を取れる人はいいですが，一度仕事をやめてしまうと，パートでもなかなか行けないのが現状です。職安に行っても「なんで働くの」みたいに言われました。（女性，30 歳代，専業主婦）

男女平等も素晴らしい事ですが，やっぱり本質的に違う所がある。今，忘れられがちな良い意味での女性らしさ（母性……）男性らしさ（頼りがい，強さ）が十分に発揮できる世の中になってほしいと思います。（女性，30 歳代，専業主婦）

そもそも男女平等はあり得ないと思う。女性である私がこんな意識だからダメかも知れないが。男女どころか，世の中，平等になるなんてあり得ない。せめて「性差に違いがあるのは確かだが，協力すればよりよい世の中になる」という意識を持てる行政をしてほしい。（女性，30 歳代，その他無職）

男女平等といっても男と女は体のつくりや心の作りも違い，男が女の仕事，女が男の仕事を同じようにはできないと思う。何かあればすぐ女性差別と言うが，男もすぐセクハラだの何だのと差別されている。心も体もちがうのだから，それぞれの持ち場で頑張ればいいと思う。（男性，40 歳代，自営業主）

男女平等や男女共同参画を問題にすることが問題であり，男ができることは男がやったらよいし，女ができることは女がやったらよい。生まれながら男と女は違うのだし，それを平等に扱うことが不自然であると思う。

（男性，40 歳代，自由業）

残業しても食事を作る時間もなく，コンビニ等で弁当を買い済ませてしまう。男女が歩み寄ったのではなく，「男」のポストに「女」が入れ替わっただけなのでは？　生計を立てるための仕事にはパワーも必要だし，ストレスも伴います。「平等」も用い方を誤ると結婚しなくても暮らしていける→わざわざ自分を殺してまで他人と共同生活したくない→「家族」という構成単位の成立しにくくなる世の中の現出につながると思います。やはり家族というベースがしっかりとあってこその仕事であり，社会参画だと考えます。我が国は「男尊女卑」の考えが未だに根強い部分も確かにありますので，男女がお互いを思いやることの大切さを今後アピールしていただき，女性のみが持つ子供を産む能力，母性本能のすばらしさを女性にも再認識して頂く機会をつくってもらいたい。（男性，40 歳代，正社員・正職員）

男女平等は大変重要な事だと思いますが，男性が得意な分野，女性が得意な分野等，それぞれ特性があると思います。大学入試や資格試験などは全て平等に行われていると思います。一般社会でも男性は長時間労働やお客様ニーズに合わせた仕事をして，その成果で役職に就いていると考えています。公務員は全て賃金・役職等平等ですが，俸給表も同じ年数働いていれば同じように上がっていきます。しかし，自分の仕事に対して責任の部分で男性と女性との対応や意識に差を感じています。管理職や役職者がどういう行動をしなければならないか，仕事と家庭などの区別をはっきりつけられるか，感情の表現の仕方等，適材適所が重要であり，男性女性が重要ではないのだと思います。

（男性，40 歳代，正社員・正職員）

家庭の仕事（育児・家事）のみの方（専業主婦）の方が最近仕事を持っておられる女性の方よりも一生懸命こなしていくという上では意識レベルが高いのではと思うことが多々ありました。　（女性，40 歳代，自由業）

まだまだ「男女平等」や「男女共同参画」に対しての関心や意識が低いと感じる。公教育の学校現場であってもどれだけの「男女平等」教育が確実にされているのか。特に「平等」「共同」という意識が低いため，男女という性差で差別されていることが日常生活の中にも残っているのではないか。（社会一般で）男性女性の性差で区別したり，不得手な部分を指摘するのではなく，性差がある事によるその違いの良さを特性として見て，お互い協力，共同をめざしていくべきであると考える。差や違いを理由にしてマイナスに考えるのではなく，よさとして認めあえる意識を高めていければと思う。

（女性，40 歳代，正社員・正職員）

「男女平等」「男女共同参画」と……社会的な立場，家庭内での分担，etc． 働く女性にとって本当に働きやすくなりつつ，良い面は多々ありますから，その反面，男女差のある体力（肉体的構造）など，努力では埋められない事に不安を感じ，苦しささえも感じます。　（女性，40 歳代，正社員・正職員）

男女平等というのは未だにお題目だけの感があります。制度ができてもはたして企業がその制度を用いているのでしょうか。幸いにも自分の所属する組織ではよく機能しているようですが……。他ではそうでもないようなことを聞いたりします。　（女性，40 歳代，正社員・正職員）

社会の成長を促進しながらも「待つ」ということが必要な課題だと思います。決して焦らず，着実に教育に力を入れながら，法律や制度の整備によって穏やかに，そして確実に進めていくべきです。その意味で今後の京都市の取り組み，男女平等に限らず，同和問題を含めた人権教育の重要性を感じます。よろしくお願いします。（男性，50 歳代，自営業主）

"男女平等と言うことはよく分かります。しかし男と女は基本的に違います。男女平等と言うことでまったく同じにするということに今の社会は進みつつあるように思えます。仕事に関して言えば賛成ですが。ある面では男が女性化し，女が男性化しているように思います。しかし，私は，男は男の特長を伸ばし，女は女の特長を伸ばし，それがお互い絡み合って社会が進歩していくのが本来あるべき姿であると思います。今のまま進んでいくと，男としての意味，女としての意味がなくなり，男と女が別々に誕生する意味は単なる子孫を絶やさぬようにするためという考えになります。尤も，法律の条文作成に当たっては，当然，男女は全て平等でなければならないということになりますが。男女平等であるということをベースに，男はどうあるべきか，女はどうあるべきかを各自考えて行動すべきであると，私自身考えています。

（男性，50 歳代，正社員・正職員）

男女平等といえども，身体的・機能的に男女には差があることは覆せない。それより国会議員，地方議員などの定員を最初から男女５０：５０に決めることが良いと思う。どうですか。このアイデア。　（男性，50 歳代，正社員・正職員）

女性が「男女平等」だと権利のみ主張するのでなく，自らが能力を付けて参画するのは大変良い事と思う。

（男性，50 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

私は農業をしています。仕事で男女平等はありません。女なので家事などの負担もあり，その分私の労働時間は少し短いです。家計も管理していますので，一応平等という感はありますが，家の中の決定権は夫が持っており不満です。家具とか家電製品を買う時などです。農家は家族みんなで働き，互いに助け合わなければならないのですが，平等とか共同参画なんかは夢でしょうか？　女性が担う部分も大きく，まず女性が健康で，元気でなければ，男女平等も進まないと思います。自分の子供たちが孫をたくさん産んでくれて頑張って働いてくれる事を望みます。（女性，50 歳代，農林漁業者）

男女平等は望ましいことだが，すべてのことが男女平等にできるとは思えない。肉体的，精神的に，どうしてもそれぞれに向き，不向きのことがあるはず。できる範囲内でないと困ることもあると思う。　（女性，50 歳代，自由業）

職場に於いても男性は一つの事に専念できるのに，女性は雑用が多すぎます。それもこれも男性に専念してもらう為です。男女平等を半ば法的に強制的に推し進めてあらゆる分野に参画する事ができれば，次世代の人が希望を持って，責任を持って歩んで行けると思います。　（女性，50 歳代，正社員・正職員）

零細企業に勤めて４０年余り，数々の施策が作られ，男女の職場，社会の環境は改善されてきたとは思うが，策定者側，大企業，公共機関に関係する人のみの（一部限定された）ものとの観がある。受け手の市民の側にも意識の低さがある。無関心（特に自分が不利益を受けない限りに於いては）。この策定が策定倒れに終わることなく，推進，浸透に創意工夫していただきたい。自分の頭で考えることをしない人が増えてきた今現在では事細かに説明が必要だ。
（女性，50 歳代，正社員・正職員）

私はこの時代に生まれてよかったと思います。昔の女性は社会的に身分が低く，若い女の子が身売りしていた時代があった事をかんがえると，本当に今は女性にとって少しはよい時代になってきているのかなあ，と感じます。でもまだまだ改善されてない所もあるので，今後も，一人の人間として幸せに生きられるように，この事業を推進して頂きたいです。
（女性，50 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

男・女それぞれに個性・能力「らしさ」があるので，何でも平等という言葉，内容には抵抗を感じます。
（女性，50 歳代，専業主婦）

男女共同生活を営む為には，男性は男性としての特徴を主として，女性への思いやりを持って協力的に社会や家庭生活でその立場を尊重しあえること。女性は女性としての特性を生かせる心とその人の能力にあった活動をする。女性である男性であると分けて考えることが悪いのではなく，むしろ相手の立場を理解して，認め合うことが良いのではないか。法律によってどうのこうのではないと思う。　（男性，60 歳代，自営業主）

「男女平等」「男女共同参画」社会の実現は当然のことと考えておりますが，とりわけ早期実現には，女性がもっと頑張って前へ出る意欲を出して取り組まれることを望みます。特に企業等トップに実行実現さす自覚の譲成がなお必要ではないかと思うことがあります。平等社会の早期実現のため，前途はまだまだ多くの課題があろうかと思いますが，頑張って下さい。　（男性，60 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

女性の意識改革は当然必要だが，協力者となるべき男性の理解・援助がないことには実現しないと思われる。
（男性，60 歳代，その他無職）

男女が共同参画にあらゆる機会が保たれることが必要とは思わない。ある意味男性は男性らしい機能を生かし，女性は女性らしい特徴を生かしていく事も大切で，その様に社会で与えられた機会が異なる事もあると思う。要はそれぞれへのいたわりと思いやりが必要で，男女ともに尊敬し合うのが肝要。又，機能と特徴をよくわきまえていく事も社会上の組織や職業や協調性等を互いに学び互いに理解しあっていく事が大切な第一歩であると思います。（女性，60 歳代，自由業）

高齢女性も参画社会を作るための相談役にいろんな場面で活用することができるだろう。真の参画化社会（構成目標率５０：５０）とならないと，日本は国際化しないし，又，子供も生まれない。（産めない）。

（女性，60 歳代，正社員・正職員）

女性が仕事を続ける上で（働く女性が多くなっている現在）家庭・社会での男性の協力は必要なものです。結婚しない女性が増え，少子化問題で悩むことのないように市が男女平等を皆に理解させ，定着させていくことが第一歩となるべく，頑張って欲しいと思います。（女性，60 歳代，正社員・正職員）

５０代，６０代の男性方はまだまだ，家事・育児は女性のする事と決めつけている様に思います。今の若い方々は良く手助けをされている様に思い，今までの自分達の生活と比べうらやましさを感じる事も……。男性にしか女性にしか出来ない事ありますものね。現在の私は息抜きする日も出来る様になって楽しく過ごして居ります。

（女性，60 歳代，内職・在宅就業）

真の男女平等を目指すには，男の側から見た理解，女の側は男と伍して働ける能力の開発が必要と思います。行政のすることはそれの支援でしょう。（男性，70 歳代，自営業主）

「男女平等」や「男女共同参画」を全面に出すより，男・女の区別なく人間らしい付き合いをすれば良いのでは。こんな事をアンケートする事より，全ての人の人権を認め，女性・男性の区別なく人々が気持ちよく暮らせる世の中にすれば良い。男女平等，男女共同参画なんていうのは差別していたからで，人間全て平等，能力を認めていれば，男・女の区別はなくなる。家庭では思いやりがあれば，夫がする，妻がするとかの壁を作るからおかしいのだと思う。

（男性，70 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

男女不平等は役所より一般企業の方が多いと思います。少しでも平等になる様に指導してほしいものです。女の人は働く気が充分あるのに，保育所や労働時間等，壁があります。いろいろむつかしい事がありますが，少子化に向けて安心して働ける職場を作ってあげてください。さすがに京都と言われる様にお願いします。（男性，70 歳代，その他無職）

「男女平等」や「共同参画」とひと口に言っても，男性と女性はその性情がまったく異なっている事を十分に認識してかからねばならない。「平等」は男女が同じ事をするのではなく，相手の性を尊重しながら，それぞれの役割を負担することと考える。「共同」の意味も同じ。従って，男女それぞれの性情の違いを相互に尊重し，その特徴を発揮できるよう双方の認識ができあがらなければ，机上の空論になりかねない。現実の社会生活の中では，まだまだその認識が双方とも身に付いてないように感じられるので，行政は実態を十分に把握した上で，政策を推進していただきたいと思う。法律や条令などの文言をきれいごとに並べ立てても意味はないと思う。（男性，70 歳代，その他無職）

男女共同参画社会基本法が施行されたことは知っていますが，我々世代には思っていることと，行動，表現が異なり，そのつど反省なり「あ！！　そうか」と思うことがある。徐々に勉強していきたいと思います。（男性，70 歳代）

法律や制度ができても，男性，女性，各々の意識が変わらなければ男女共同参画も実現しない。

（女性，70 歳代，自由業）

京都市など公的な所は男女平等，男女共同参画を実行されていると思います。（女性，70 歳代，専業主婦）

2　学校教育について

私の周りでは，男性が自分で自分の身の回りの事をするという意識を持っている人はとても少ないです。男性が子育てに参加や，男女平等を問う前に，まず，自分のことは自分でする，という認識を持って欲しいと思っています。我が家の子供は男の子 2 人いますが，小さいうちから自分で食べた食器類は自分でさげる。簡単な朝食の用意や自分の洗濯物は自分でたたみ，洋服ダンスにしまう等という事をしています。小さいうちからそうする事で，大人になっても自然に家事をすることが普通になってくれればいいなと思いながら，子育てをしています。大人の男の人の意識を変える事はとても難しいです。（女性，30 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

実際に小さい子がいて，妻がパートなどに出ようと思っても急な保育所からの呼び出しや，病気等の時の対応は妻が融通をつけなければならず，その為，職場でも不利な扱いを受けることがある。又，私達の世代は，「男は仕事，女は家事・育児」との考えが，男性の方に特に根強くあると思う。その改善として，学校教育での意識改革や，家事能力の育成に期待したい。その上で男女それぞれの特性や，個人の能力に合わせた職業に就けたらいいのではないか。（女性，30 歳代，専業主婦）

女性の政治や経済への意識を高める為に，学校教育においても取り組んでいく必要があるのではと思います。また男性の育児・介護に参加できるような社会を作るため，まず市職員自身がそのような制度を利用しやすいようにしていくことがいいのではと思います。（男性，40 歳代，正社員・正職員）

男らしく，女らしく，という言葉が，少し誤解というか，悪い方に使われているように思います。本来の意味を理解した上で子供たちに男女平等，お互いを尊重し合って助け合う事を教えてほしいと思います。（女性，50 歳代，専業主婦）

おそらくほとんどの人が，男女共同参画についての法令や条例を知らないと思う。これらの制度を施行したとしても，周知を徹底せねば意味がないと思われる。そのための手段のひとつとして，小学校や中学校の授業で度々これらの題材を取り上げ，まずは，子供達に周知させることが得策だと思う。そして子供との家庭での会話を通して親や祖父母が知っていく。こういう形も有効だろう。（男性，60 歳代，その他無職）

皆さんはよく簡単に女性差別だと口に出される方がおられますが，最近学校では，体育の時間，男女別々に着替えることが差別だと，思春期の子供たちが一緒に着替える所もあると聞きました。同じ差別でも全然意味をはき違え，口に出される方のためにも，もっと差別の根底について本当の平等，本当の差別に関して考えて行くべきだと思っています。（男性，60 歳代，自営業主）

世の中がよくなっていく為には，これから育つ子供たちの「心」をどう大人達が受け止めてやり，素直な誠意ある人に育てていけるかが一番大切なことと思う。その為に大人達が一人一人が自立の心で自己を反省し，そして前進の生き方を忘れずに「生き様」を見せ，示していくことこそ基本ではと考えます。日常生活の「これぐらい」と思われることも「丁寧な気持ち」を持って暮らしていく心がけが一番大切になってくると思う。男も女も性別にとらわれることなく「母性」の重要さをよくよく考え合った社会にと希望します。人と人が尊びあえるようにと祈る。（女性，60 歳代）

３　結婚・子育て・少子化対策について

逆差別になるという意見もあると思うが，男性有利の社会構造を是正するためには，女性を対象とした優遇制度があってもよいのではないでしょうか。例えば出産や子育て等を行う女性への経済的な支援など，子供を産むことが不利だと思わないような制度をもっと充実するべきだと思います。（男性，20 歳代，正社員・正職員）

育児に対しては最適な施設が地域に少ないのではないでしょうか？　また男性の育児教育も必要ですし，まだまだ足りない部分が多いと思います。（男性，20 歳代，学生）

私の職場では，子供が生まれると，女性の多くは常勤から非常勤に希望される方が多いです。昼間保育所に預けていても，お迎えの時間等でそうせざるをえない状況の人が多いです。昼間だけでなく夜間の保育の充実等があれば，常勤のまま働き続けられる人もいます。やめたくないのにやめなければいけない現状もあります。女性が働きながら安心して子育てができる環境作りに力を入れていただきたいと感じています。（女性，20 歳代，正社員・正職員）

積極的な育児支援は勿論ですが，子供を産む前の女性（独身者も含む）に対しても，安心して将来子供が産める環境，子供が欲しくなるような環境，不妊治療の援助なども整備していくことも考えてほしい。（女性，20 歳代，正社員・正職員）

幼い子がいる家庭に於いて，死別や離婚などで単身で子育てをする必要が生じるケースにおいてですが，母子家庭にはいろいろな支援があるにもかかわらず，父子家庭にはほとんど支援の制度がないと聞きました。育児中は子供の病気のために休みをとったり，保育園の送迎のための時間外労働が難しく，収入の良い仕事を続けることが困難なのは男女ともに同じではないかと思うのに，女性には支援の手が用意されていて，男性に対する者がないということそのものが「育児は女性がするもの」という観念と「男性が働き，女性が家にいる」というのを前提とした制度のように思えてなりません。（女性，20 歳代，専業主婦）

女性，男性共に，子育てと仕事が両立できる環境作りを整えてもらうことを強く願います。女性が安心して子供を産めることが，今一番求められていることではないでしょうか。（女性，20 歳代，学生）

女性の社会進出の進まない理由として，出産があると思います。育児は男性ができても，出産だけは女性しかできないからです。また，乳児にとっても，母親は必要です。事業主に働きかける事も大事ですが，社会が，出産や育児のしやすい環境になれば，もっと女性の社会進出が進むと思います。私が市に取り組んでもらいたい事は，女性へのサポートではなく，子へのサポートです。（男性，30 歳代，正社員・正職員）

子供を育てるのにお金がかかりすぎる。男と女を区別し，それぞれ考えるのではなく，”夫婦”，”家族”単位がうまくいく社会にすべきである。（男性，30 歳代，正社員・正職員）

以前正社員の（京都市内の企業）の募集面接を受けた時に，「子供がいる人はいりません」と言われました。子供がいる女性の職業の幅があまりに狭く，仕事につけない人が多いと思います。母一人になっても自立して生きていけるよう，国が企業に対して何らかの働きかけをしなければならないと思います。（女性，30 歳代，正社員・正職員）

共働きをしているが，土・日も二人とも仕事の時があり，子供を預けるのが大変。保育所は土・日休みだし，ファミリーサポートを利用しているが，相手の都合もあり，１００％預けられるとは限らない。夫婦で協力はしているが，社会的な協力が必要。土・日の休日保育をもっと充実してほしい。（近場で）（女性，30 歳代，正社員・正職員）

子育てしながら働いていくことは大変なことです。祖父母の協力を得られず，夫婦二人でやっていくとなるとなおさらです。子育て支援をうたいながら書面だけでなかなか活用されていない。（職場にゆとりがない。お金がないなど目先のことばかりいい，まったく将来的なことを考えてない！！これはおそろしいことです）　働くには子供を預ける保育所など枠が狭すぎる。必ず入れる枠をつくらないと女性は働きに出られない。そこから考えるべきじゃないですか。このままでは子供も減り大変なことになりますよ。不景気だからと言って，何でもお金がないからと削減ばかりしていたら，働きたくても働けない。土曜保育，病児保育，充実させないと男女平等には働けない。まずは土台作りからして下さい。

（女性，30 歳代，正社員・正職員）

少子化が進んでいますが，女性が出産，子育てをしても仕事を継続しようとするには，利用できる資源が少なすぎると思います。今の時代に合った政策を早急に考えて下さい。　（女性，30 歳代，正社員・正職員）

少子化が問題となる今，女性が積極的に社会に出るのはどうなんでしょうか。働きながら子供を育てられる環境がまだまだ不十分だと思います。私は職業柄，あまり男女の平等といったことを考えたことはありません。「男は仕事，女は家庭」といった考え方に特に反対もしません。むしろそれでもいいんじゃないかと思います。だけど，今の世の中，女性が家庭に入り，子供とゆっくり向き合う時間がほとんどなくなってますよね。夫の収入だけで生計が成り立つならそれもできるのでしょうが，難しいのが現状です。子供が愛情をいっぱい受けて育つことができる社会になればいいのに，と心から思います。今回のこの取り組みが進むことによって，子供が置き去りにされないことを心から願います。まずそこから慎重に取り組んで下さい。　（女性，30 歳代，正社員・正職員）

子供が心配で外で遊ばせられなければ，仕事もセーブする必要があるし，学童保育にしても，小３・４年じゃまだまだ不安。保育園の対応にも不満はあります。　（女性，30 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

男女平等に働く為には保育（子育て）に関する設備，ネットワークの充実が益々必要。（社会で子育てする意識）。

（女性，30 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

小学校で「男女平等」だから，男の子の事を「○○さん」と ” さん ” づけで呼びましょう，というのをちらっときいたけど，「男女平等」の意味が違うと思う。（男の子）「○○くん」（女の子）「○○ちゃん」で，男の子らしさや女の子らしさを子供たちは感じ取るのではないでしょうか？　京都市に対しては「男女平等」というより，もっと子育て支援を考えてほしい。昨年から地域の公園にあった「ちびっ子プール」がなくなったり，子供の遊べる場所（自然とふれあう）がなさすぎてお金を使うゲームセンターばかりが増えてとても困る！！　（女性，30 歳代，内職・在宅就業）

条例を作っても，センターを開設しても，私のように知らない市民もいて，税金の無駄になる。ハード面より，ソフト面に働きかけるべきです。私は専業主婦ですが，働こうと思っても，春，夏，冬，と長期休みがあるとき，子供達だけで留守番になるのでできません。行政からのフォローもありません。男女平等以前の問題でスタートラインにも立っていない（立てない）状況です。私個人は生活費の足しに働けたらと思う程度ですからあきらめはつきますが，周りには働きたくても働けない方はたくさんいます。せめてスタートラインに立てるだけのことは，行政がしてくれても良いのではないでしょうか。あと，女性進出が進むと少子化も進みますし，正直，子供の精神衛生上どうか……と思うので，"男女平等 ” には賛成ですが，” 女性進出 ” を推し進めることは反対です。男女平等より少子化対策が，今一番早急にすべきと考えます。 ” 男女平等 ” と訴えるのは女性ばかりで，男性の熱意（市長，市議を始め，行政の男性）は伝わらず，成功すると思えません。今回のアンケートもちゃんと活用されるのか疑問です。　（女性，30 歳代，専業主婦）

男女の差はそれぞれの個性として尊重され，そして保護されるべきです。例えば出産は女性にしかできないこと，又，重労働では，やはり男性には勝てません。出産，育児を女性の一大事業とし，働く男性側の昇級が安定し，上昇すれば，非婚，少子化も減少するのではないでしょうか。また，結婚後，女性にのしかかる育児や介護の負担軽減が進めば（例えば，企業内に保育施設を開設するとか，介護サービスの充実等）女性も充実すると思います。（女性，30 歳代，専業主婦）

男女平等とよく聞きますが，法律の上での事のような気がします。男性が実際に育児休暇を取れる企業はごくわずかではないでしょうか？　女性が働くとなるとやはり規制があると思います。特に子供がいると大変です。子供がいる女性がもっと安心して外に出られるようになる事が望ましいと思います。　（女性，30 歳代，専業主婦）

どんなに法が変わっても，実際に，出産で仕事をやめるのは女性です。その割に，定員オーバーの保育所ばかりで，復帰できるまでの道のりは遠いです。だからもっと産みやすく働きやすい社会を作って下さい！！　具体的に！！　どんなにがんばっても男には子供が産めないんだから，その分女の人は優遇されるべきです。　（女性，30 歳代，専業主婦）

現在居住している地域は比較的子供の数も多く，学校・保育園の数も多いと思います。一昨年前までは正職員として働いておりましたが，妊娠を機に退職せざるを得ませんでした。育児休暇が取れなかったからです。現在でも働きたい気持ちは十分あるし，年齢制限においても，正職員で採用されるにはギリギリだと思いますが，例えば週数日，何時間かでも子供を預かってくれる公立の施設の開設を強く望みます。子供が就学するまでは，第 2 子誕生予定を考慮していたら５～１０年はかかると思われ，その間を専業主婦で通すのは自分にとっても社会にとってもプラスであるとは考えられません。しかし，短時間の保育は事実上不可能な状態（無認可施設を除けば）です。一日も早く社会復帰したいのに，「少子化」「ニート」「配偶者控除の減少」「税金アップ」などの社会問題に常にプレッシャーと感じています。とてもすべて一女性がこなすことはできないと思います。もっと子供を産み育て，自らの生活も精神的，経済的に潤いのあるものとなるように社会の協力はぜったい必要です。生活にゆとりもなく必死で働き，家事・育児に取り組んでも所得アップにより保育料は上がるようでは，何をしているかわかりません。社会が女性に対する期待と待遇がまったく相反していると思えます。（女性，30 歳代，専業主婦）

小学校の校舎を利用して，安く改良して，高齢者などに賃金を支払い，絵，音楽，体操，英語，折り紙，物作り，etc. のサークルを作り，子供達を社会で面倒見てほしい。共に仕事を持ち，経済的負担を夫，妻で支え合うという事は，子供の世話は誰がするのですか？

幼稚園児，１歳の子供は，とても手がかかります。送り迎え，習い事，その他……。妻一人で子供の世話，家事，仕事の両立は無理。負担が大きすぎます。例えば仕事をするなら空白の時間をサポートしてほしい。３：００子供帰宅から，５：３０親の帰宅までの空白の時間。ここを解決支援してほしい。ベビーシッターを安く利用したい。（女性，30 歳代）

画一的な男女平等，男女共同参画を進めるだけでは，家庭に於いて，将来を担う子供達に犠牲を強いる危険を孕んでいると思います。女性の社会進出は決して悪いとは思いませんが，幼い子供達に淋しい思いをさせる長時間保育を拡充させたりすることが，本当の意味での子育て支援なのか私には疑問に思います。今の社会全体は大人の都合に合わせた支援・施策が目立っているように思います。もう少し子供達の立場に立った社会のあり方を考える視点は持てないものでしょうか。親と子が一緒に家庭で過ごせる時間を長くもてるような社会になってほしいものと私は思います。

（男性，40 歳代，自由業）

産休明けに預かってくれる保育所もなく，御時世に夫が育休をとれば戻る椅子もない。仕方なく妻が育休を取るか仕事を辞める。子供が急に具合が悪くなっても診てくれる小児科がない。公立の小・中学校が荒れていて子供の事が心配。子供や女性に対する犯罪が多発しているのに男性社会の反応は鈍い。保育，DV，性犯罪に対する行政の役割は大きい。耳障りの良い声掛けだけではなく実のある対策を求めます。産休や育休は実際にはとても取りにくい。

（女性，40 歳代，正社員・正職員）

京都市は子育て家庭を支援していません。むしろ子育てしにくい環境を年々作り上げていっています。保育料の値上げ，学童保育の有料化，など，数え上げればきりがないくらいです。（女性，40 歳代，正社員・正職員）

女性が仕事をするのは，子供を自分の手で夫の収入のみで育てることができ，その期間も１０年は仕事と育児の両立は難しいと思います。１０年は子供は親の手で育てる。保育所や託児所に入れずに育てることが一番大切と思います。若い内から子供をほってまで働かなければならない社会の情勢に疑問を感じます。一番大切なのは，幼児期を親と共に過ごし，本当の愛情を，他人ではなく親の愛情を注ぐことです。その後，女性と男性の平等感とか仕事の事とか，考えることです。大切なのは教育です。働く気になれば６０位までは元気でいれば働けるので，地味でいいからそんな世の中になってほしい。（女性，40 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

子育てにかかわる女性の負担はまだまだ大きく，支援する制度をもっともっと充実させるべき。保育所をもっと増やしてください。（女性，40 歳代，専業主婦）

男女平等といっても，性的な違いはあるので，それを理解してお互いのよい所を尊重し合う必要がある。幼児期はやはり母親がいるのなら母親が中心に子育てをし，又母親も子供が小学校中学年ぐらいになれば，女性として職場へ復帰できる様，行政が協力していただければよいのにと思います。まず個々の家庭をよくする事が一番大切だと思います。これから日本の将来を担う子供達の成長が一番大切だと思います。（女性，40 歳代，専業主婦）

少子化問題の政策は，手遅れの感があるが，フランスの様に，子供一人目二人目三人目等子育て支援手当月三万，五万，八万，等支給されている。日本の出生率１．４％？　は，日本の崩壊に繋がる。若い人達が子供を育てられる環境整備（支援手当）を自治体として積極的に推進してほしい。支援がない限り，皆，子供は産まないと思います。

（男性，50 歳代，自営業主）

男女平等にしようという意識は必要だが，平等にはならないと思う。男と女は根本的に違うから。女性が子供を産んでも不利益にならない社会になれば良いのではないかと思う。社会がそれをサポートできる仕組みが不十分では。

（男性，50 歳代，正社員・正職員）

私が行っている会社でもすごく女性に恵まれているし，子供ができてもほとんど辞めない。産前産後の休暇を取り，２児も続けて作られると，中１年程だけ復帰し，５年程は休みとなる。女性自身も責任ある仕事ぶりとはいえない場合（人）が多い。体制はできても，職種によって向き不向きがあると思うし，やむをえないのではないか。

（男性，50 歳代，正社員・正職員）

待機児童がいるなら，改善，男性にも育児休暇（長期）がとりやすいように企業に働きかける。まずは公務員から実践を。（女性，50 歳代，専業主婦）

男女が同じように社会に出て働くようになると，心に余裕がなくなり，女性だけでは休まる家庭を作ることはできないと思います。男性も共に家事と育児を行い，体を休めるときは男女共一緒に休むと言うことにしないと，家庭生活は長続きしないと思いますし，子供を産まなくなり，少子化が進むのではないでしょうか。男女共同参画には，男女共に協力して行う，家事育児について勉強する機会を多く持つべきだと思います。企業もそれを手助けするように変わって行かなけ

れば実現できないと思います。（女性，50 歳代，専業主婦）

私，孫４人おります。少子化時代です。でももう一人娘が子供が欲しいと言ってますが，教育費医療費その他が大変です。せめて１５歳まで半額補助お願いしたいです。そうすれば子供を産む方がおられると思いますが，いかがでしょうか？お願いいたします。（女性，60 歳代，専業主婦）

今私が一番気になるのは，日本の人口が減ること，少子化に向かっている。孫は子育て真っ最中，勤めもあって大変苦労している。なかなかもう一人作る気力体力がないように思う。昔は姑が横から助けて下さり，専業主婦であったがそれでも子育ての七，八年は心身共に疲れた。（女性，70 歳代，その他無職）

男女共同というからには，男性の側への働きかけを積極的に行い，男の育児休暇取得率を上げる取り組みもあってしかるべきだと思う。（正社員・正職員）

４　介護・高齢化対策について

介護にかかわる女性の負担はまだまだ大きく，支援する制度をもっともっと充実させるべき。

（女性，40 歳代，専業主婦）

女性，特に働く女性にとって老人介護の公的支援の充実が切実な問題となっている。老後を安心して迎えられる社会が男女平等や男女共同参画につながっていくと思う。（女性，50 歳代，自由業）

介護老人など介護を必要とする人がいる女性には介護施設や介護保険の充実を実施すること。

（男性，70 歳代，その他無職）

５　セクシュアル・ハラスメント，ドメスティック・バイオレンスについて

通勤で近鉄線と地下鉄を利用しているのですが，社内の吊り広告で，成人雑誌のものがあることに困惑しています。子供や女性も利用する昼間の車内で当たり前の半裸の女性写真がぶら下がっているのは本当に不思議であり，社会的にあまりにも配慮に欠けているのではないでしょうか。そのとなりに「チカンは犯罪です」という別の広告があるのも不思議としか言いようがありません。一利用者として投書という形で既に各社に広告への再考をお願いしたのですが，反応がありません。子供達が健やかに，そして安全に過ごすことができる”まち”という意味でも市の条例などを通してこのようなケースの改善ができれば素晴らしいと思います。一市民として，これからも京都市政に期待しつつ，状況を見守りたいと思います。よろしくお願い致します。（女性，20 歳代，自由業）

中学生と高校生の息子がいます。今のところ２人共性別による差別意識はもっていません。京都には古い貴重な伝統や文化（祭礼，行事を含んで）が多くあり，中には女性を排除してきたものもあります。息子たちにとってはそれも男女差別だと映るようです。私自身はそれに対する答えを彼らに対して保留しています。伝統文化との兼ね合いは非常に複雑で，一言で差別だと切れないものがあるようにも思います。市としての立場はいかがでしょうか。制度や職場では差別解消に向け，変わってきたなと感じることが多いですが，逆にスポーツ新聞，雑誌，広告など，女性から見ればまさに環境型セクシャルハラスメントにあたるものが一層増えているようにも思います。市の今後の取り組みに期待しています。

（女性，40 歳代，正社員・正職員）

６　情報提供・ＰＲについて

男女平等に向けて色々な取り組みをされていると思いますが，その事を知らない人というのはとても多いと思います。私もまったく知りませんでした。平等でないことに対して不満を持っている方は，知っておられると思いますが，そうでない人達にも知ってもらうことはとても大事な事ではないでしょうか？　興味のない人でも知ることのできる環境というのはとても難しいと思います。が，がんばって下さい。このアンケートを書いたきっかけに，もっと男女共同参画について知りたいと思い，また知らなければならない事だと思いました。（男性，20 歳代，学生）

長い間，京都に住んでいるのに，男女平等などに京都市がこんなに取り組んでいると知らなかった。一人暮らしなので新聞をとってないから仕方ないのでしょうか？　せっかくこんな取り組みをしているなら，もっと誰にでもわかるようにしてみたらどうでしょうか？（女性，20 歳代）

育児や介護から女性を解放しない限り，男女共同参画などありえない。子供を産めるのは女性だけだから，それがハンデにならないように行政はもっとそういう施設の充実，広報をする必要があるのでは。

（男性，30 歳代，正社員・正職員）

政策だけでなく，広く市民の人にも具体的な活動がわかるようにしてほしい。もっと気軽に，近くで参加できる企画やイベントがあって良いと思う。（女性，30 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

一般の人向けにわかりやすい講座などを作り，町内の回覧板で回すなどすれば，男女共同参画に対する市民全体の意識が高まると思います。男性への男女平等などの教育を子供の時期から学校などでもっと行ってはどうか。既婚者の男性は，家と会社の往復で，地域のことや女性のおかれている立場など知り得ないことも多いので，会社での講習をするなど，考えてほしい。もっと男性が参加しやすい地域活動もほしい。教育する方に女性の思いが反映されないといけないので，いろんな分野への女性の進出が必要と思う。（女性，30 歳代，専業主婦）

今回このようなアンケートを頂くまで，京都市が「男女平等」「男女共同参画」などに取り組んでいる事を知りませんでした。長年京都に住んでいますが市政の事に関心がなかったというか，知ろうとする姿勢がなかった自分に気づきました。アンケートに答える事によってこの様な取り組みに協力できる事を嬉しく思います。もっと幅広くいろんな人にこの様な活動の認知が広がっていくと良いと思います。（女性，30 歳代，専業主婦）

男女雇用機会均等法の施行等により，就職時の男女差別は少なくなったように思うが，出産し，職場復帰後は全然「平等」ではないと思います。出産は，女性しか無理なので，仕方がないが，育休は男女均等にあるべきだし，幼稚園のお迎え等も男性が気軽にいけるように会社に働きかけてほしい。職場復帰したあとの女性の立場はかなり弱くなります。それはおかしいと思います。（女性，30 歳代）

男女雇用機会均等法という法律はニュースでよく聞いたり，読んだりしますが，その他の法律や条令がある事を私はあまり知らず，労務関係の事は勉強不足でした。今後市民新聞や新聞などに特集を組んでもっと多くの人に知ってもらい，私にもわかるようにして下さい。（男性，50 歳代，正社員・正職員）

京都市の取り組みがもっと幅広く，市民に知ってもらえる様な活動をお願いします。（今回のアンケートを通じて色々と知らない事が多かった為）（男性，50 歳代，正社員・正職員）

7　社会全般について

よく，政策目標値（この場合，管理職の女性の割合を１０％とおくなど）が設定されますが，私自身はこの方法に賛同できません。そもそも力（交渉力，判断能力）が高ければ，女・男など基本的には関係なく，役職に就けると私は考えているからです。たしかに，日本は未だ男性有利な社会構造であり，理不尽な面もありますが，今の社会状況に於いて重要なのは，女か男かではなく，優秀かどうかであると私は感じております。ですから行政が率先して女性の役職支援をしても，それは政策目標値という基準の達成感だけのように感じるわけです。　（男性，20 歳代，自営業主）

社会で未だ女性が立場の低い状況であるように思える。男性からの偏見を身近なところから減らしていただきたいと思う。女性特有の病気等の場合の休暇や，力仕事の男性の優越感など，見ていて腹立たしい。

（女性，20 歳代，正社員・正職員）

私の娘は結婚もしない，子供を産むなんてとんでもないと言います。なぜかというと，”ソン”だからだそうです。息子（未婚）は，子供がほしい。子育ては専業主婦の妻か共働きの妻がすると考えています。私は 2 人の子供が乳幼児の頃から，女性の自主に関する講座に出て，幼稚園の小学校の PTA から，地域の自治会，関心のあることの市民活動の役員をしてきました。家庭内に於いても夫の家事・育児参加を求めてきました。しかし，夫は何もしません。結果は上記のような子供達の発言です。　（女性，40 歳代，正社員・正職員）

多くの女性が働くようになりましたが，家庭内における男女参加は”男が少しやるようになった”程度が現実です。そのような状況では就労の場に於いても女性は十分に活躍できません。また，力をつけよう，伸ばそうとしてもできません。ウィングス京都の講座も，一部のヒマ，又は余裕のある女性しか参加できないと感じています。育児・介護のように，「男女共同参画」に関することも，就労上認められるようになるといいですね。また，ウィングス京都の講座もパソコンや健康講座では先は暗い。希望や参加者は多いかもしれないが，短絡です。女性センターの利用度を上げる職員のための感が否めない。社会を掘り起こしてください。　（女性，40 歳代，正社員・正職員）

私は女性だが，新幹線の運転手や，バスの運転手が女性だと，不安を感じてしまう。差別しているのかもしれないが事実だ。逆に保母さんなどは向いているのなら，男性がしても全然変ではない。又，「スチュワーデス」という言葉がよくないので「フライトアテンダント」にすべきだとか，そういうたぐいの考えはこだわりすぎで，どうでもいいことだと思う。　（女性，50 歳代，自由業）

因習に囚われ，男女平等は夢物語の感があります。基本である家庭から改善しなければいけないと思います。私事ですが，不都合が生じるとすべて私のせいにされています。結婚って男性が生活しやすい為にあるようです。そんな家庭にもし女の子が育ったなら結婚したくなくなるでしょうし，子供だって産みたくないと思うでしょう。女性にも反省しなければいけない点は認めますが，男性は反省という事をもっとしなければいけないと思います。

（女性，50 歳代，正社員・正職員）

一方男は男，女は女なので，男のたくましさ，女のやさしさは持続して，明るい社会を築けるよう願いたい。最近の男性は，一寸女性化しすぎと思う。　（女性，50 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

女性が社会に積極的に参加するのはいい事だと思うのですが，子供が小さい頃はなるべく家にいて，自分で子育てをしてほしいと思っております。PTA や町内会などは，仕事を理由にして断られる方が多くおられました。子育てがすめばいくらでも社会に出ていろんな人達とかかわっていけると思います。これからの男性も，今まで女性がする事だといわれてきた家事や介護を共に手助けしてかかわっていってほしいと思っております。それから働きたいのに仕事がない若者が多くいます。これも何とかならないものかと。職種を選ばなければあるのでしょうが，私にははっきりわかりません。

（女性，50 歳代，専業主婦）

現在の社会（日本）ではあらゆる所で男性優位の社会である事は事実である。女性がいつも控えめにいつも損をしている現状で，いつもなげかわしい状態が生じている。せめて芸術文化の面では社会に向かって男女共同で男女同じく参画し，同じく機会均等に認められるものであってほしいと思います。社会人が男性も女性も，同じ立場で権利も主張し，同じ立場で自己主張もし，同じ立場に立って認め合い，励まし合える社会となって欲しいものです。年齢と共に益々この感を強く要望いたします。（女性，60 歳代，自由業）

いくら素晴らしい条例をいくつ作ってもだめです。具体的なバックアップ施策を速急に強力に推進することが必要です。チェック体制も大切と思います。「次世代育成支援対策推進法」の公布・施行に伴い，益々徹底させてゆくことを望みます。若い人達が希望をもって仕事をし，結婚し子供を産み育てていける社会の実現を期待，熱望します。

（女性，60 歳代，専業主婦）

法は改正されても実行が伴わない法を作るより，各人が実行すべきと思う。法の番人があまりにも情けない。法の制定はしても三日坊主である。もう少し各人が気をつけて義務づけなくても暮らせる教養がほしい。法律作る人，破る人ではだめだ。作る人が破るのだから。日本国に先は深夜のようである。（女性，70 歳代，専業主婦）

8　仕事・職場全般について

昇進させるには，それ相応の仕事をさせてもらわなければならないために，機会（チャンス）を男性同様に与える（行政はここをアプローチ）。：雑用ばかりではチャンスもモチベーションも向上しない。評価項目を明確にし，できれば施行基準を全社員に報知する。（男性，20 歳代，自営業主）

育児，介護休業法などが制定されても，男性でそれを利用されているのは大企業の一部の人であり，中小企業ではあり得ないのが現状だと思います。自治体から企業に対し強い要請をしていただきたいと思います。

（男性，30 歳代，正社員・正職員）

まだまだ男性に対する社会（企業における）逆差別がある。社会参加もしなく，企業にしばられている意識がまだまだ男性の中にも周りの意識にもある。（住居地域，企業所在地に対しての社会参加意識は低く感じるし，男性の仕事に対する意識の偏りが不平等を生んでいる）（女性，30 歳代，パート・アルバイト・契約社員）

女性の進出を後押しするのもよい事だと思いますが，男性へのサービス残業をなくす等，企業の改善を求めたいです。

（女性，30 歳代，専業主婦）

出世もしにくいと聞くので，子供は女性しか産めないという「性」のせいで，女性の仕事が制限されるのを改善していってほしいです。女性の自立心が芽生えた今，少子化問題は女性の仕事が制限されるのを改善していってほしいです。女性の自立心が芽生えた今，少子化問題は女性の問題だけではありません。（女性，30 歳代）

特に男女平等や共同参画に関しては，意見・要望はないが「機会均等」の観点では，今の社会では均等ではないと考えている。親の生まれ育ちや，学歴，仕事によって，その子供が将来の夢として，例えば医師になろうとしても，学校へ行かせるお金がなかったり，例え学校を卒業できたとしても開業医にはなれない。極端な例だが，機会は均等にはないのではないか！ このことは市か府（県）の一行政の問題ではなく，国の政治の問題！　このことからも，男女平等や共同参画は否定するものではないが，それぞれの家庭の文化もあり画一的な価値観での取り組みは難しいのでは！ （男性，40 歳代，正社員・正職員）
市政の幹部や助役クラスに女性がもっと登用されることを期待します。　（男性，50 歳代，正社員・正職員）
能力のある女性，成長できる女性が埋もれているが，社会の慣習，制度等により活用されていない。女性は社会の表面に（政治，管理，経営等）参画できないので，はじめから ” 降りている ” 所がある。目的率を定めて，目標達成率を点検して，女性を登用し仕事の中で育成して。実を伴わない研修学習では現実は変わらない。 （女性，60 歳代，正社員・正職員）

▼食事

問1（1）食事のしたく

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	43.0	9.2	3.3	8.1	23.6	11.8	1.0
男性	431	10.2	2.1	3.9	17.9	52.2	13.0	0.7
20歳代	39	20.5	5.1	2.6	5.1	10.3	56.4	0.0
30歳代	54	5.6	0.0	3.7	16.7	44.4	29.6	0.0
40歳代	59	13.6	1.7	1.7	16.9	59.3	6.8	0.0
50歳代	94	8.5	3.2	3.2	23.4	55.3	6.4	0.0
60歳代	95	10.5	0.0	5.3	16.8	64.2	2.1	1.1
70歳以上	89	7.9	3.4	5.6	20.2	53.9	6.7	2.2
女性	575	67.5	14.4	3.0	0.9	1.9	11.1	1.2
20歳代	51	31.4	15.7	2.0	3.9	3.9	41.2	2.0
30歳代	98	74.5	9.2	2.0	0.0	0.0	14.3	0.0
40歳代	80	75.0	12.5	0.0	0.0	1.3	11.3	0.0
50歳代	122	76.2	18.0	1.6	0.8	1.6	1.6	0.0
60歳代	115	67.8	17.4	5.2	0.9	4.3	4.3	0.0
70歳以上	107	62.6	12.1	5.6	0.9	0.9	12.1	5.6

問1（2）食事のあとかたづけ

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	39.7	13.5	4.8	9.3	19.7	12.0	1.0
男性	431	11.6	4.6	5.1	20.9	42.9	14.2	0.7
20歳代	39	20.5	7.7	0.0	7.7	7.7	56.4	0.0
30歳代	54	5.6	7.4	7.4	13.0	37.0	29.6	0.0
40歳代	59	16.9	3.4	1.7	25.4	39.0	13.6	0.0
50歳代	94	8.5	5.3	7.4	28.7	43.6	6.4	0.0
60歳代	95	12.6	2.1	5.3	27.4	50.5	2.1	0.0
70歳以上	89	10.1	4.5	5.6	13.5	55.1	7.9	3.4
女性	575	60.5	20.0	4.7	0.7	2.3	10.6	1.2
20歳代	51	39.2	11.8	3.9	2.0	3.9	37.3	2.0
30歳代	98	68.4	14.3	5.1	1.0	0.0	11.2	0.0
40歳代	80	62.5	21.3	3.8	0.0	1.3	11.3	0.0
50歳代	122	69.7	21.3	4.1	0.0	1.6	3.3	0.0
60歳代	115	54.8	29.6	5.2	0.9	5.2	4.3	0.0
70歳以上	107	57.9	15.9	5.6	0.9	1.9	12.1	5.6

▼家庭の管理と運営

問1（1）食料品や日用品の買い物

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	38.1	12.7	8.3	11.1	17.2	10.9	1.6
男性	431	11.4	4.4	11.4	22.5	37.8	11.4	1.2
20歳代	39	20.5	7.7	7.7	2.6	7.7	53.8	0.0
30歳代	54	9.3	1.9	22.2	22.2	22.2	22.2	0.0
40歳代	59	15.3	0.0	8.5	35.6	35.6	5.1	0.0
50歳代	94	10.6	5.3	10.6	23.4	45.7	4.3	0.0
60歳代	95	8.4	4.2	9.5	27.4	47.4	2.1	1.1
70歳以上	89	10.1	6.7	11.2	16.9	42.7	7.9	4.5
女性	575	58.3	19.0	6.1	2.3	1.9	10.8	1.7
20歳代	51	29.4	11.8	3.9	5.9	0.0	45.1	3.9
30歳代	98	69.4	14.3	2.0	1.0	0.0	13.3	0.0
40歳代	80	73.8	13.8	3.8	0.0	1.3	7.5	0.0
50歳代	122	67.2	21.3	5.7	1.6	1.6	2.5	0.0
60歳代	115	53.9	28.7	7.8	2.6	4.3	2.6	0.0
70歳以上	107	44.9	16.8	11.2	3.7	2.8	13.1	7.5

問1（2）そうじ

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	37.8	14.8	7.8	10.6	18.0	9.8	1.3
男性	431	12.8	3.7	11.1	20.6	40.1	10.9	0.7
20歳代	39	25.6	10.3	2.6	2.6	10.3	48.7	0.0
30歳代	54	9.3	1.9	13.0	22.2	33.3	20.4	0.0
40歳代	59	13.6	1.7	8.5	27.1	42.4	5.1	1.7
50歳代	94	8.5	4.3	9.6	21.3	51.1	5.3	0.0
60歳代	95	11.6	3.2	11.6	24.2	48.4	1.1	0.0
70歳以上	89	14.6	3.4	16.9	19.1	34.8	9.0	2.2
女性	575	56.5	23.0	5.6	2.8	1.6	9.0	1.6
20歳代	51	43.1	11.8	5.9	7.8	0.0	29.4	2.0
30歳代	98	68.4	19.4	3.1	0.0	0.0	9.2	0.0
40歳代	80	63.8	18.8	5.0	2.5	1.3	8.8	0.0
50歳代	122	59.8	31.1	3.3	2.5	0.8	2.5	0.0
60歳代	115	54.8	27.8	6.1	1.7	5.2	4.3	0.0
70歳以上	107	44.9	19.6	10.3	4.7	0.9	12.1	7.5

問1（3）洗濯

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	43.7	9.4	3.5	4.8	26.0	11.4	1.2
男性	431	12.3	2.6	5.6	9.0	57.3	12.3	0.9
20歳代	39	25.6	2.6	5.1	5.1	7.7	53.8	0.0
30歳代	54	7.4	1.9	9.3	14.8	38.9	27.8	0.0
40歳代	59	16.9	0.0	6.8	10.2	61.0	5.1	0.0
50歳代	94	9.6	4.3	4.3	13.8	61.7	6.4	0.0
60歳代	95	8.4	3.2	3.2	7.4	73.7	2.1	2.1
70歳以上	89	13.5	2.2	6.7	3.4	65.2	6.7	2.2
女性	575	67.1	14.4	1.7	1.7	2.8	11.0	1.2
20歳代	51	41.2	7.8	2.0	3.9	3.9	39.2	2.0
30歳代	98	72.4	11.2	1.0	1.0	0.0	14.3	0.0
40歳代	80	73.8	7.5	1.3	2.5	1.3	13.8	0.0
50歳代	122	77.0	13.1	2.5	1.6	1.6	4.1	0.0
60歳代	115	69.6	20.0	0.9	0.9	7.0	1.7	0.0
70歳以上	107	55.1	21.5	2.8	1.9	2.8	10.3	5.6

問1（4）ごみ出し

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	39.6	11.8	7.6	8.1	19.7	11.4	1.7
男性	431	23.9	7.9	8.1	14.4	34.6	10.2	0.9
20歳代	39	35.9	7.7	5.1	0.0	5.1	46.2	0.0
30歳代	54	25.9	5.6	11.1	14.8	20.4	22.2	0.0
40歳代	59	27.1	6.8	10.2	15.3	33.9	5.1	1.7
50歳代	94	18.1	8.5	8.5	21.3	39.4	4.3	0.0
60歳代	95	20.0	9.5	8.4	10.5	49.5	2.1	0.0
70歳以上	89	25.8	7.9	5.6	15.7	36.0	5.6	3.4
女性	575	51.5	14.6	7.1	3.7	8.5	12.5	2.1
20歳代	51	29.4	5.9	5.9	3.9	9.8	43.1	2.0
30歳代	98	53.1	13.3	3.1	6.1	9.2	15.3	0.0
40歳代	80	58.8	8.8	11.3	1.3	6.3	13.8	0.0
50歳代	122	59.0	16.4	5.7	4.9	8.2	4.9	0.8
60歳代	115	53.0	17.4	8.7	3.5	9.6	6.1	1.7
70歳以上	107	44.9	19.6	8.4	0.9	8.4	10.3	7.5

問1（5）高額な家財道具の購入

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	19.6	9.5	34.1	6.7	11.4	11.8	6.7
男性	431	21.8	10.2	34.8	5.3	9.5	12.3	6.0
20歳代	39	20.5	2.6	7.7	0.0	2.6	64.1	2.6
30歳代	54	22.2	5.6	38.9	5.6	3.7	22.2	1.9
40歳代	59	28.8	16.9	35.6	5.1	6.8	3.4	3.4
50歳代	94	25.5	14.9	38.3	4.3	10.6	5.3	1.1
60歳代	95	20.0	5.3	41.1	8.4	15.8	1.1	8.4
70歳以上	89	15.7	12.4	33.7	5.6	10.1	7.9	14.6
女性	575	18.1	9.0	33.2	7.8	13.2	11.7	7.0
20歳代	51	15.7	7.8	15.7	2.0	9.8	45.1	3.9
30歳代	98	22.4	6.1	43.9	6.1	8.2	12.2	1.0
40歳代	80	21.3	3.8	31.3	15.0	18.8	7.5	2.5
50歳代	122	19.7	13.9	36.9	10.7	14.8	2.5	1.6
60歳代	115	17.4	10.4	38.3	6.1	15.7	7.0	5.2
70歳以上	107	12.1	9.3	24.3	4.7	10.3	14.0	25.2

問1（6）住宅の購入

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	18.0	5.5	28.9	4.7	13.5	13.2	16.2
男性	431	29.7	8.6	29.7	2.8	2.8	12.5	13.9
20歳代	39	15.4	0.0	10.3	2.6	2.6	64.1	5.1
30歳代	54	27.8	1.9	33.3	1.9	1.9	24.1	9.3
40歳代	59	37.3	13.6	32.2	3.4	3.4	3.4	6.8
50歳代	94	37.2	10.6	31.9	5.3	2.1	4.3	8.5
60歳代	95	33.7	9.5	35.8	2.1	2.1	1.1	15.8
70歳以上	89	20.2	10.1	25.8	1.1	4.5	9.0	29.2
女性	575	9.4	3.3	27.7	6.3	21.7	13.9	17.7
20歳代	51	5.9	2.0	15.7	0.0	11.8	54.9	9.8
30歳代	98	9.2	2.0	38.8	7.1	15.3	18.4	9.2
40歳代	80	11.3	3.8	26.3	11.3	31.3	8.8	7.5
50歳代	122	11.5	5.7	33.6	5.7	31.1	4.9	7.4
60歳代	115	11.3	2.6	32.2	5.2	22.6	6.1	20.0
70歳以上	107	5.6	2.8	13.1	5.6	13.1	13.1	46.7

問1（7）預貯金の資産の運用

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体		1023	30.0	11.0	20.4	7.8	16.3	9.6	4.8
男性		431	22.0	9.0	23.0	9.5	21.3	11.4	3.7
	20歳代	39	23.1	0.0	2.6	2.6	12.8	56.4	2.6
	30歳代	54	20.4	5.6	18.5	11.1	18.5	24.1	1.9
	40歳代	59	23.7	10.2	27.1	8.5	25.4	3.4	1.7
	50歳代	94	26.6	10.6	25.5	11.7	22.3	3.2	0.0
	60歳代	95	20.0	11.6	26.3	13.7	23.2	2.1	3.2
	70歳以上	89	19.1	10.1	25.8	5.6	21.3	6.7	11.2
女性		575	36.2	12.9	17.9	6.8	12.3	8.3	5.6
	20歳代	51	35.3	9.8	7.8	2.0	5.9	35.3	3.9
	30歳代	98	41.8	18.4	17.3	6.1	7.1	8.2	1.0
	40歳代	80	38.8	11.3	20.0	10.0	13.8	6.3	0.0
	50歳代	122	41.8	16.4	18.0	6.6	14.8	0.8	1.6
	60歳代	115	34.8	11.3	24.3	5.2	15.7	3.5	5.2
	70歳以上	107	24.3	8.4	15.0	8.4	13.1	11.2	19.6

▼子どもと高齢者（子どもや介護の必要な高齢者がおられる場合のみお答えください）

問1（1）育児（乳幼児の世話）

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		217	30.4	24.4	7.8	18.4	15.2	3.7
男性		87	2.3	0.0	12.6	43.7	37.9	3.4
	20歳代	4	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	50.0
	30歳代	24	0.0	0.0	12.5	58.3	29.2	0.0
	40歳代	21	0.0	0.0	4.8	66.7	28.6	0.0
	50歳代	23	4.3	0.0	21.7	26.1	47.8	0.0
	60歳代	11	0.0	0.0	9.1	36.4	45.5	9.1
	70歳以上	4	25.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
女性		128	49.2	41.4	4.7	0.8	0.0	3.9
	20歳代	9	11.1	66.7	11.1	0.0	0.0	11.1
	30歳代	64	46.9	48.4	4.7	0.0	0.0	0.0
	40歳代	31	71.0	29.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	16	56.3	37.5	6.3	0.0	0.0	0.0
	60歳代	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	70歳以上	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	66.6

問1（2）子どもの日常的なしつけ

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		285	23.5	21.8	27.4	15.1	8.8	3.5
男性		117	1.7	1.7	37.6	35.0	20.5	3.4
	20歳代	4	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	50.0
	30歳代	25	0.0	0.0	28.0	52.0	20.0	0.0
	40歳代	38	0.0	5.3	44.7	39.5	10.5	0.0
	50歳代	32	3.1	0.0	46.9	21.9	28.1	0.0
	60歳代	12	0.0	0.0	33.3	33.3	25.0	8.3
	70歳以上	6	16.7	0.0	0.0	16.7	50.0	16.7
女性		164	39.0	36.6	19.5	0.6	0.6	3.7
	20歳代	8	12.5	62.5	12.5	0.0	0.0	12.5
	30歳代	68	42.6	38.2	19.1	0.0	0.0	0.0
	40歳代	52	42.3	32.7	21.2	0.0	1.9	1.9
	50歳代	27	40.7	37.0	22.2	0.0	0.0	0.0
	60歳代	4	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0
	70歳以上	3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3

問1（3）子どもの教育方針（進学など）

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		289	15.2	18.3	47.1	9.3	6.9	3.1
男性		119	1.7	5.0	55.5	18.5	16.0	3.4
	20歳代	4	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0
	30歳代	25	0.0	0.0	72.0	12.0	16.0	0.0
	40歳代	38	0.0	5.3	55.3	34.2	5.3	0.0
	50歳代	34	2.9	8.8	52.9	11.8	23.5	0.0
	60歳代	12	0.0	8.3	50.0	16.7	16.7	8.3
	70歳以上	6	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7
女性		166	24.7	28.3	40.4	3.0	0.6	3.0
	20歳代	8	0.0	25.0	62.5	0.0	0.0	12.5
	30歳代	68	23.5	35.3	39.7	1.5	0.0	0.0
	40歳代	53	30.2	24.5	39.6	3.8	1.9	0.0
	50歳代	28	28.6	25.0	42.9	3.6	0.0	0.0
	60歳代	5	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	40.0
	70歳以上	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0

問1（4）高齢者の介護

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		177	23.7	15.3	17.5	10.2	14.7	18.6
男性		86	12.8	7.0	25.6	16.3	25.6	12.8
	20歳代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
	30歳代	11	9.1	0.0	9.1	18.2	27.3	36.4
	40歳代	13	0.0	0.0	46.2	23.1	15.4	15.4
	50歳代	29	10.3	13.8	37.9	6.9	27.6	3.4
	60歳代	16	12.5	0.0	12.5	31.3	37.5	6.3
	70歳以上	14	35.7	7.1	13.3	13.3	0.2	7.1
女性		88	34.1	23.9	10.2	3.4	4.5	23.9
	20歳代	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	30歳代	12	8.3	16.7	25.0	8.3	8.3	33.3
	40歳代	17	41.2	35.3	0.0	0.0	0.0	23.5
	50歳代	27	48.1	33.3	7.4	3.7	0.0	7.4
	60歳代	15	40.0	20.0	20.0	0.0	13.3	6.7
	70歳以上	11	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	45.5

▼食事

問1（1）食事のしたく

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	43.0	9.2	3.3	8.1	23.6	11.8	1.0
男性	431	10.2	2.1	3.9	17.9	52.2	13.0	0.7
自営・自由業	107	4.7	1.9	1.9	25.2	56.1	10.3	0.0
家族従事者	6	0.0	16.7	0.0	16.7	50.0	16.7	0.0
正規雇用	153	7.8	1.3	3.9	17.0	58.2	11.8	0.0
非正規雇用	45	6.7	6.7	6.7	22.2	35.6	20.0	2.2
学生	15	33.3	0.0	0.0	0.0	13.3	53.3	0.0
無職	91	16.5	1.1	6.6	13.2	51.6	9.9	1.1
女性	575	67.5	14.4	3.0	0.9	1.9	11.1	1.2
自営・自由業	40	55.0	22.5	7.5	2.5	2.5	7.5	2.5
家族従事者	24	79.2	16.7	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
正規雇用	84	57.1	10.7	3.6	0.0	2.4	26.2	0.0
非正規雇用	132	67.4	14.4	3.8	1.5	1.5	11.4	0.0
学生	8	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	75.0	0.0
無職	265	72.5	15.8	2.3	0.4	1.5	5.7	1.9

問1（2）食事のあとかたづけ

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	39.7	13.5	4.8	9.3	19.7	12.0	1.0
男性	11.6	4.6	5.1	20.9	42.9	14.2	0.7
自営・自由業	5.6	1.9	3.7	29.0	46.7	12.1	0.9
家族従事者	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0
正規雇用	9.2	4.6	5.2	20.3	48.4	12.4	0.0
非正規雇用	8.9	11.1	8.9	20.0	26.7	24.4	0.0
学生	33.3	0.0	0.0	0.0	13.3	53.3	0.0
無職	17.6	5.5	6.6	18.7	40.7	9.9	1.1
女性	60.5	20.0	4.7	0.7	2.3	10.6	1.2
自営・自由業	52.5	27.5	5.0	0.0	2.5	10.0	2.5
家族従事者	75.0	20.8	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0
正規雇用	48.8	16.7	8.3	2.4	2.4	21.4	0.0
非正規雇用	60.6	20.5	5.3	0.8	1.5	11.4	0.0
学生	12.5	25.0	0.0	0.0	0.0	62.5	0.0
無職	64.5	20.8	3.8	0.4	2.3	6.4	1.9

▼家庭の管理と運営

問1（1）食料品や日用品の買い物

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	38.1	12.7	8.3	11.1	17.2	10.9	1.6
男性	431	11.4	4.4	11.4	22.5	37.8	11.4	1.2
自営・自由業	107	5.6	3.7	14.0	20.6	45.8	10.3	0.0
家族従事者	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
正規雇用	153	9.2	2.6	11.1	28.1	40.5	8.5	0.0
非正規雇用	45	6.7	11.1	15.6	22.2	24.4	17.8	2.2
学生	15	33.3	0.0	0.0	6.7	6.7	53.3	0.0
無職	91	17.6	4.4	8.8	17.6	38.5	9.9	3.3
女性	575	58.3	19.0	6.1	2.3	1.9	10.8	1.7
自営・自由業	40	50.0	22.5	10.0	5.0	2.5	7.5	2.5
家族従事者	24	70.8	16.7	8.3	0.0	0.0	0.0	4.2
正規雇用	84	56.0	10.7	9.5	1.2	1.2	21.4	0.0
非正規雇用	132	58.3	18.9	4.5	2.3	2.3	12.9	0.8
学生	8	12.5	12.5	0.0	12.5	0.0	62.5	0.0
無職	265	61.1	21.9	5.3	1.9	1.5	6.0	2.3

問1（2）そうじ

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	37.8	14.8	7.8	10.6	18.0	9.8	1.3
男性	12.8	3.7	11.1	20.6	40.1	10.9	0.7
自営・自由業	4.7	1.9	11.2	18.7	52.3	11.2	0.0
家族従事者	16.7	0.0	50.0	16.7	16.7	0.0	0.0
正規雇用	9.8	2.6	9.2	20.9	49.7	7.8	0.0
非正規雇用	13.3	8.9	6.7	28.9	24.4	15.6	2.2
学生	26.7	6.7	0.0	6.7	6.7	53.3	0.0
無職	20.9	5.5	16.5	18.7	28.6	8.8	1.1
女性	56.5	23.0	5.6	2.8	1.6	9.0	1.6
自営・自由業	52.5	30.0	10.0	2.5	0.0	2.5	2.5
家族従事者	75.0	16.7	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0
正規雇用	53.6	17.9	4.8	6.0	0.0	17.9	0.0
非正規雇用	53.8	27.3	6.8	0.0	2.3	9.8	0.0
学生	25.0	25.0	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0
無職	58.9	22.6	4.9	2.6	1.9	6.4	2.6

問1（3）洗濯

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	43.7	9.4	3.5	4.8	26.0	11.4	1.2
男性	431	12.3	2.6	5.6	9.0	57.3	12.3	0.9
自営・自由業	107	5.6	1.9	3.7	7.5	70.1	11.2	0.0
家族従事者	6	16.7	16.7	0.0	0.0	50.0	16.7	0.0
正規雇用	153	8.5	2.6	5.2	13.1	59.5	11.1	0.0
非正規雇用	45	13.3	4.4	8.9	6.7	46.7	17.8	2.2
学生	15	33.3	0.0	0.0	0.0	13.3	53.3	0.0
無職	91	19.8	2.2	7.7	7.7	52.7	7.7	2.2
女性	575	67.1	14.4	1.7	1.7	2.8	11.0	1.2
自営・自由業	40	65.0	17.5	2.5	2.5	0.0	10.0	2.5
家族従事者	24	87.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
正規雇用	84	56.0	15.5	3.6	2.4	2.4	20.2	0.0
非正規雇用	132	65.9	13.6	1.5	2.3	2.3	14.4	0.0
学生	8	25.0	0.0	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0
無職	265	71.3	15.5	1.1	1.1	3.0	6.0	1.9

問1（4）ごみ出し

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	39.6	11.8	7.6	8.1	19.7	11.4	1.7
男性	23.9	7.9	8.1	14.4	34.6	10.2	0.9
自営・自由業	23.4	9.3	3.7	17.8	39.3	6.5	0.0
家族従事者	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
正規雇用	17.0	9.2	9.8	13.1	38.6	11.8	0.7
非正規雇用	24.4	11.1	13.3	13.3	24.4	13.3	0.0
学生	40.0	0.0	0.0	6.7	6.7	46.7	0.0
無職	31.9	4.4	7.7	14.3	34.1	6.6	1.1
女性	51.5	14.6	7.1	3.7	8.5	12.5	2.1
自営・自由業	40.0	17.5	15.0	5.0	7.5	12.5	2.5
家族従事者	66.7	16.7	12.5	0.0	4.2	0.0	0.0
正規雇用	46.4	11.9	2.4	6.0	10.7	22.6	0.0
非正規雇用	47.0	18.2	11.4	2.3	6.1	14.4	0.8
学生	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0
無職	57.4	14.0	4.5	4.2	9.1	7.5	3.4

問1（5）高額な家財道具の購入

	全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	1023	19.6	9.5	34.1	6.7	11.4	11.8	6.7
男性	431	21.8	10.2	34.8	5.3	9.5	12.3	6.0
自営・自由業	107	21.5	9.3	38.3	7.5	10.3	8.4	4.7
家族従事者	6	16.7	0.0	66.7	0.0	0.0	16.7	0.0
正規雇用	153	26.1	11.8	37.9	2.6	9.2	9.2	3.3
非正規雇用	45	17.8	11.1	37.8	4.4	6.7	20.0	2.2
学生	15	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	60.0	6.7
無職	91	17.6	11.0	27.5	7.7	13.2	11.0	12.1
女性	575	18.1	9.0	33.2	7.8	13.2	11.7	7.0
自営・自由業	40	27.5	5.0	35.0	10.0	15.0	0.0	7.5
家族従事者	24	8.3	4.2	37.5	20.8	16.7	12.5	0.0
正規雇用	84	36.9	7.1	27.4	0.0	9.5	19.0	0.0
非正規雇用	132	20.5	9.1	34.8	7.6	12.1	12.9	3.0
学生	8	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0
無職	265	11.3	11.3	34.3	9.4	14.7	8.3	10.6

問1（6）住宅の購入

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者がだいたい同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体	18.0	5.5	28.9	4.7	13.5	13.2	16.2
男性	29.7	8.6	29.7	2.8	2.8	12.5	13.9
自営・自由業	33.6	12.1	25.2	2.8	2.8	7.5	15.9
家族従事者	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	16.7	33.3
正規雇用	34.0	8.5	34.0	3.9	2.0	11.8	5.9
非正規雇用	26.7	2.2	35.6	2.2	2.2	17.8	13.3
学生	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7	60.0	6.7
無職	23.1	9.9	28.6	1.1	3.3	11.0	23.1
女性	9.4	3.3	27.7	6.3	21.7	13.9	17.7
自営・自由業	12.5	2.5	22.5	7.5	25.0	5.0	25.0
家族従事者	4.2	4.2	29.2	8.3	37.5	8.3	8.3
正規雇用	17.9	4.8	27.4	3.6	10.7	27.4	8.3
非正規雇用	9.8	3.0	29.5	3.8	22.7	14.4	16.7
学生	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	75.0	0.0
無職	7.2	3.4	27.9	8.3	24.2	9.4	19.6

問1（7）預貯金の資産の運用

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）	無回答
全体		1023	30.0	11.0	20.4	7.8	16.3	9.6	4.8
男性		431	22.0	9.0	23.0	9.5	21.3	11.4	3.7
	自営・自由業	107	24.3	11.2	25.2	9.3	18.7	6.5	4.7
	家族従事者	6	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0
	正規雇用	153	22.2	7.8	22.2	9.8	26.8	10.5	0.7
	非正規雇用	45	17.8	8.9	20.0	17.8	17.8	15.6	2.2
	学生	15	26.7	6.7	0.0	0.0	6.7	60.0	0.0
	無職	91	24.2	8.8	25.3	6.6	19.8	9.9	5.5
女性		575	36.2	12.9	17.9	6.8	12.3	8.3	5.6
	自営・自由業	40	25.0	5.0	30.0	7.5	20.0	0.0	12.5
	家族従事者	24	29.2	12.5	16.7	12.5	20.8	8.3	0.0
	正規雇用	84	54.8	9.5	19.0	4.8	2.4	9.5	0.0
	非正規雇用	132	42.4	14.4	16.7	5.3	9.8	9.1	2.3
	学生	8	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	62.5	0.0
	無職	265	31.3	14.7	17.4	7.5	15.1	7.2	6.8

▼子どもと高齢者（子どもや介護の必要な高齢者がおられる場合のみお答えください）

問1（1）育児（乳幼児の世話）

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		217	30.4	24.4	7.8	18.4	15.2	3.7
男性		87	2.3	0.0	12.6	43.7	37.9	3.4
	自営・自由業	21	4.8	0.0	4.8	28.6	57.1	4.8
	家族従事者	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0
	正規雇用	48	0.0	0.0	12.5	54.2	33.3	0.0
	非正規雇用	8	0.0	0.0	25.0	37.5	12.5	25.0
	学生	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	無職	6	16.7	0.0	33.3	0.0	50.0	0.0
女性		128	49.2	41.4	4.7	0.8	0.0	3.9
	自営・自由業	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	23	34.8	56.5	8.7	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	29	44.8	44.8	10.3	0.0	0.0	0.0
	学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無職	64	53.1	39.1	1.6	1.6	0.0	4.7

問1（2）子どもの日常的なしつけ

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		285	23.5	21.8	27.4	15.1	8.8	3.5
男性		117	1.7	1.7	37.6	35.0	20.5	3.4
	自営・自由業	30	3.3	0.0	36.7	26.7	30.0	3.3
	家族従事者	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	正規雇用	64	0.0	1.6	39.1	40.6	18.8	0.0
	非正規雇用	12	0.0	8.3	33.3	41.7	0.0	16.7
	学生	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無職	6	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7
女性		164	39.0	36.6	19.5	0.6	0.6	3.7
	自営・自由業	7	42.9	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	6	50.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	24	25.0	41.7	29.2	0.0	0.0	4.2
	非正規雇用	44	45.5	27.3	25.0	0.0	2.3	0.0
	学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無職	78	37.2	44.9	12.8	1.3	0.0	3.8

問1（3）子どもの教育方針（進学など）

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		289	15.2	18.3	47.1	9.3	6.9	3.1
男性		119	1.7	5.0	55.5	18.5	16.0	3.4
	自営・自由業	31	3.2	6.5	51.6	12.9	22.6	3.2
	家族従事者	2	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
	正規雇用	65	0.0	4.6	60.0	21.5	13.8	0.0
	非正規雇用	12	0.0	8.3	50.0	25.0	0.0	16.7
	学生	1	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	無職	6	16.7	0.0	16.7	0.0	50.0	16.7
女性		166	24.7	28.3	40.4	3.0	0.6	3.0
	自営・自由業	7	14.3	42.9	42.9	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	6	50.0	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0
	正規雇用	25	24.0	24.0	52.0	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	45	40.0	31.1	24.4	2.2	2.2	0.0
	学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無職	78	16.7	28.2	47.4	3.8	0.0	3.8

問1（4）高齢者の介護

		全体	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
全体		177	23.7	15.3	17.5	10.2	14.7	18.6
男性		88	12.8	7.0	25.6	16.3	25.6	12.8
	自営・自由業	8	7.7	7.7	26.9	15.4	34.6	7.7
	家族従事者	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	正規雇用	13	5.9	2.9	29.4	17.6	26.5	17.6
	非正規雇用	16	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3
	学生	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	45	31.3	6.3	25.0	6.3	25.0	6.3
女性		86	34.1	23.9	10.2	3.4	4.5	23.9
	自営・自由業	26	37.5	12.5	0.0	12.5	12.5	25.0
	家族従事者	3	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	34	15.4	23.1	30.8	15.4	0.0	15.4
	非正規雇用	6	37.5	31.3	12.5	0.0	0.0	18.8
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	無職	16	35.6	26.7	4.4	0.0	6.7	26.7

問2　家庭生活で負担と感じているもの

	全体	食事のしたく	食事のあとかたづけ	食料品や日用品の買物	そうじ	洗濯	ごみ出し	育児（乳幼児の世話）	子どもの日常的なしつけ	高齢者の介護	特にない	やっていないのでわからない	無回答
全　体	1023	25.2	18.2	15.2	20.4	9.2	5.9	6.3	6.3	9.3	28.3	12.7	6.3
男　性	431	24.1	14.2	11.1	11.6	13.7	2.1	3.7	3.2	9.7	29.0	23.2	6.0
20歳代	39	41.0	12.8	12.8	10.3	23.1	0.0	2.6	0.0	5.1	17.9	33.3	2.6
30歳代	54	13.0	11.1	1.9	5.6	11.1	0.0	16.7	3.7	3.7	31.5	31.5	1.9
40歳代	59	25.4	13.6	13.6	13.6	13.6	5.1	5.1	10.2	11.9	25.4	18.6	5.1
50歳代	94	21.3	12.8	6.4	13.8	14.9	2.1	2.1	5.3	17.0	31.9	19.1	4.3
60歳代	95	21.1	10.5	10.5	9.5	10.5	2.1	1.1	0.0	7.4	29.5	31.6	7.4
70歳以上	89	29.2	21.3	20.2	13.5	12.4	2.2	0.0	1.1	9.0	31.5	12.4	11.2
女　性	575	25.7	21.0	18.6	27.0	5.9	8.9	8.3	8.7	9.0	27.3	5.2	6.1
20歳代	51	35.3	19.6	21.6	21.6	9.8	3.9	9.8	5.9	2.0	15.7	25.5	5.9
30歳代	98	28.6	26.5	16.3	21.4	5.1	7.1	33.7	32.7	4.1	14.3	6.1	1.0
40歳代	80	32.5	31.3	18.8	25.0	10.0	7.5	6.3	12.5	15.0	21.3	2.5	3.8
50歳代	122	26.2	28.7	18.9	35.2	5.7	9.0	3.3	4.1	18.0	28.7	0.8	2.5
60歳代	115	26.1	12.2	14.8	27.0	4.3	10.4	0.9	0.0	7.0	39.1	0.9	10.4
70歳以上	107	12.1	10.3	23.4	25.2	3.7	11.2	0.0	0.0	3.7	35.5	6.5	12.1

	全体	食事のしたく	食事のあとかたづけ	食料品や日用品の買物	そうじ	洗濯	ごみ出し	育児（乳幼児の世話）	子どもの日常的なしつけ	高齢者の介護	特にない	やっていないのでわからない	無回答
全　体	1023	25.2	18.2	15.2	20.4	9.2	5.9	6.3	6.3	9.3	28.3	12.7	6.3
男　性	431	24.1	14.2	11.1	11.6	13.7	2.1	3.7	3.2	9.7	29.0	23.2	6.0
自営・自由業	107	24.3	10.3	12.1	12.1	12.1	3.7	2.8	2.8	10.3	36.4	15.0	7.5
家族従事者	6	33.3	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	0.0	16.7
正規雇用	153	19.6	13.7	5.2	11.1	15.0	0.7	7.8	5.2	11.8	26.1	28.1	3.9
非正規雇用	45	20.0	13.3	11.1	15.6	13.3	0.0	2.2	4.4	6.7	35.6	24.4	2.2
学生	15	40.0	6.7	20.0	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	46.7	6.7
無職	91	29.7	20.9	16.5	9.9	14.3	3.3	0.0	1.1	6.6	28.6	23.1	7.7
女　性	575	25.7	21.0	18.6	27.0	5.9	8.9	8.3	8.7	9.0	27.3	5.2	6.1
自営・自由業	40	25.0	10.0	15.0	30.0	0.0	12.5	0.0	2.5	5.0	45.0	2.5	7.5
家族従事者	24	25.0	29.2	12.5	25.0	8.3	8.3	0.0	8.3	12.5	29.2	0.0	0.0
正規雇用	84	41.7	26.2	20.2	31.0	10.7	6.0	6.0	7.1	11.9	16.7	13.1	1.2
非正規雇用	132	29.5	28.8	17.4	22.7	6.1	9.1	8.3	10.6	9.8	24.2	3.8	5.3
学生	8	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	62.5	0.0
無職	265	20.0	17.4	19.6	29.1	5.3	8.3	11.7	9.4	9.1	29.8	2.6	7.5

問3　ここ５～６年の間、「自治会など地域活動」の参加有無

	全体	役員や世話役を引き受けた（引き受けている）	行事（運動会、お祭り、清掃活動など）には参加した	参加したことはない	自治会や町内会などの組織がない	無回答
全　体	1023	39.0	20.8	34.3	1.7	4.2
男　性	431	38.7	18.1	37.8	1.6	3.7
20歳代	39	0.0	15.4	82.1	2.6	0.0
30歳代	54	22.2	14.8	55.6	1.9	5.6
40歳代	59	30.5	30.5	33.9	3.4	1.7
50歳代	94	48.9	18.1	26.6	2.1	4.3
60歳代	95	56.8	14.7	24.2	0.0	4.2
70歳以上	89	40.4	16.9	37.1	1.1	4.5
女　性	575	39.7	22.8	31.3	1.6	4.7
20歳代	51	5.9	15.7	74.5	0.0	3.9
30歳代	98	27.6	23.5	42.9	4.1	2.0
40歳代	80	55.0	27.5	13.8	2.5	1.3
50歳代	122	56.6	18.9	21.3	0.0	3.3
60歳代	115	40.0	22.6	24.3	1.7	11.3
70歳以上	107	36.4	26.2	32.7	0.0	4.7

	全体	役員や世話役を引き受けた（引き受けている）	行事（運動会、お祭り、清掃活動など）には参加した	参加したことはない	自治会や町内会などの組織がない	無回答
全　体	1023	39.0	20.8	34.3	1.7	4.2
男　性	431	38.7	18.1	37.8	1.6	3.7
自営・自由業	107	43.0	21.5	32.7	0.0	2.8
家族従事者	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
正規雇用	153	37.3	19.6	37.9	2.6	2.6
非正規雇用	45	37.8	11.1	46.7	0.0	4.4
学生	15	0.0	13.3	80.0	6.7	0.0
無職	91	44.0	15.4	36.3	1.1	3.3
女　性	575	39.7	22.8	31.3	1.6	4.7
自営・自由業	40	57.5	12.5	27.5	0.0	2.5
家族従事者	24	54.2	29.2	12.5	0.0	4.2
正規雇用	84	33.3	10.7	54.8	1.2	0.0
非正規雇用	132	38.6	27.3	26.5	3.8	3.8
学生	8	0.0	0.0	87.5	0.0	12.5
無職	265	40.8	26.0	27.2	1.1	4.9

問4　自治会などの地域活動内容

	全体	行事などの企画は主に男性が決定している	代表者は男性から選ばれる慣例がある	だれもが自由に発言できる雰囲気にない	女性は責任のある役を引き受けたがらない	お茶入れや食事の準備などは女性が担当することになっている	会議などにおいては女性が発言しにくい雰囲気がある	女性の活動があまり評価されていない	名簿上は男性が会員になっているが実際は女性が活動している	つきあいで仕方なく参加している人が多い	若い人や新規の参加者が少ない	その他	特に上記のようなことはない	わからない	無回答
全　体	612	16.8	25.3	4.7	15.7	21.6	1.5	0.8	39.5	28.1	27.8	2.5	10.3	5.6	1.8
男　性	245	21.2	27.3	4.5	14.7	12.2	2.0	0.4	42.9	25.7	31.8	1.6	11.4	4.9	2.0
20歳代	6	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	33.3	16.7	0.0
30歳代	20	25.0	15.0	0.0	10.0	15.0	0.0	0.0	25.0	30.0	15.0	0.0	5.0	20.0	0.0
40歳代	36	22.2	25.0	13.9	16.7	11.1	2.8	0.0	19.4	16.7	22.2	2.8	16.7	11.1	5.6
50歳代	63	15.9	28.6	3.2	11.1	14.3	1.6	0.0	46.0	31.7	41.3	1.6	9.5	4.8	1.6
60歳代	68	17.6	25.0	1.5	17.6	11.8	1.5	0.0	55.9	26.5	35.3	2.9	11.8	0.0	1.5
70歳以上	51	29.4	37.3	3.9	17.6	7.8	3.9	0.0	47.1	25.5	31.4	0.0	9.8	0.0	2.0
女　性	359	13.4	23.4	4.7	16.7	27.9	1.1	1.1	37.6	30.1	24.8	3.1	9.7	6.1	1.7
20歳代	11	9.1	18.2	9.1	18.2	9.1	0.0	0.0	18.2	18.2	36.4	9.1	9.1	27.3	0.0
30歳代	50	6.0	16.0	6.0	6.0	22.0	0.0	0.0	22.0	24.0	18.0	6.0	12.0	24.0	0.0
40歳代	66	12.1	22.7	7.6	10.6	33.3	1.5	0.0	37.9	34.8	28.8	3.0	12.1	3.0	0.0
50歳代	92	13.0	22.8	5.4	20.7	31.5	2.2	3.3	46.7	37.0	25.0	3.3	7.6	2.2	1.1
60歳代	72	11.1	22.2	4.2	15.3	23.6	0.0	1.4	45.8	33.3	30.6	1.4	8.3	1.4	1.4
70歳以上	67	22.4	32.8	0.0	25.4	28.4	1.5	0.0	31.3	19.4	17.9	1.5	10.4	3.0	6.0
	全体	行事などの企画は主に男性が決定している	代表者は男性から選ばれる慣例がある	だれもが自由に発言できる雰囲気にない	女性は責任のある役を引き受けたがらない	お茶入れや食事の準備などは女性が担当することになっている	会議などにおいては女性が発言しにくい雰囲気がある	女性の活動があまり評価されていない	名簿上は男性が会員になっているが実際は女性が活動している	つきあいで仕方なく参加している人が多い	若い人や新規の参加者が少ない	その他	特に上記のようなことはない	わからない	無回答
全　体	612	16.8	25.3	4.7	15.7	21.6	1.5	0.8	39.5	28.1	27.8	2.5	10.3	5.6	1.8
男　性	245	21.2	27.3	4.5	14.7	12.2	2.0	0.4	42.9	25.7	31.8	1.6	11.4	4.9	2.0
自営・自由業	69	23.2	23.2	4.3	21.7	5.8	1.4	0.0	34.8	26.1	34.8	1.4	15.9	2.9	1.4
家族従事者	6	0.0	33.3	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	0.0
正規雇用	87	17.2	26.4	5.7	8.0	14.9	1.1	1.1	41.4	25.3	27.6	2.3	8.0	10.3	2.3
非正規雇用	22	22.7	31.8	4.5	9.1	31.8	4.5	0.0	45.5	9.1	45.5	4.5	13.6	0.0	4.5
学生	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	54	29.6	35.2	1.9	18.5	5.6	3.7	0.0	57.4	31.5	29.6	0.0	9.3	0.0	0.0
女　性	359	13.4	23.4	4.7	16.7	27.9	1.1	1.1	37.6	30.1	24.8	3.1	9.7	6.1	1.7
自営・自由業	28	10.7	25.0	3.6	25.0	42.9	0.0	7.1	42.9	32.1	25.0	7.1	3.6	0.0	0.0
家族従事者	20	25.0	25.0	0.0	20.0	40.0	5.0	0.0	55.0	15.0	20.0	0.0	0.0	5.0	0.0
正規雇用	37	10.8	21.6	2.7	8.1	27.0	0.0	0.0	35.1	18.9	35.1	8.1	10.8	8.1	0.0
非正規雇用	87	17.2	25.3	5.7	18.4	20.7	1.1	2.3	44.8	33.3	20.7	3.4	10.3	8.0	0.0
学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	177	10.2	22.6	5.1	15.3	27.7	1.1	0.0	32.2	32.2	24.3	1.7	11.9	5.6	3.4

問5　自治会などの地域活動に参加しない理由

	全体	仕事が忙しいから	家事・育児などで暇がないから	健康状態がおもわしくないから	人間関係がわずらわしいから	自分の意見や地域のニーズが反映されないから	意見の反映面において男女が平等に扱われていないから	活動の情報が得られないから	参加するきっかけがないから	自分以外の家族が参加しており必要がないから	あまり関心がないから	その他	無回答
全　体	351	30.8	4.3	12.8	17.1	0.9	0.0	10.8	32.2	27.9	33.0	8.0	3.1
男　性	163	32.5	1.2	11.7	16.6	0.6	0.0	12.3	30.7	30.1	41.1	7.4	1.2
20歳代	32	21.9	3.1	0.0	18.8	0.0	0.0	15.6	43.8	34.4	59.4	0.0	0.0
30歳代	30	36.7	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	20.0	26.7	26.7	43.3	16.7	0.0
40歳代	20	40.0	5.0	10.0	25.0	5.0	0.0	10.0	35.0	30.0	20.0	10.0	0.0
50歳代	25	56.0	0.0	8.0	24.0	0.0	0.0	8.0	32.0	48.0	52.0	0.0	0.0
60歳代	23	34.8	0.0	17.4	4.3	0.0	0.0	8.7	26.1	26.1	30.4	8.7	4.3
70歳以上	33	15.2	0.0	33.3	15.2	0.0	0.0	9.1	21.2	18.2	33.3	9.1	3.0
女　性	180	28.3	7.2	12.8	16.1	0.6	0.0	9.4	34.4	27.2	25.0	8.9	5.0
20歳代	38	28.9	5.3	0.0	5.3	2.6	0.0	21.1	60.5	28.9	13.2	0.0	5.3
30歳代	42	38.1	16.7	7.1	11.9	0.0	0.0	9.5	35.7	26.2	33.3	14.3	0.0
40歳代	11	45.5	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	27.3	18.2	36.4	27.3	9.1	0.0
50歳代	26	42.3	3.8	11.5	30.8	0.0	0.0	0.0	34.6	23.1	34.6	19.2	7.7
60歳代	28	17.9	10.7	10.7	21.4	0.0	0.0	7.1	35.7	21.4	28.6	3.6	3.6
70歳以上	35	8.6	0.0	40.0	17.1	0.0	0.0	0.0	8.6	31.4	17.1	8.6	11.4
	全体	仕事が忙しいから	家事・育児などで暇がないから	健康状態がおもわしくないから	人間関係がわずらわしいから	自分の意見や地域のニーズが反映されないから	意見の反映面において男女が平等に扱われていないから	活動の情報が得られないから	参加するきっかけがないから	自分以外の家族が参加しており必要がないから	あまり関心がないから	その他	無回答
全　体	351	30.8	4.3	12.8	17.1	0.9	0.0	10.8	32.2	27.9	33.0	8.0	3.1
男　性	163	32.5	1.2	11.7	16.6	0.6	0.0	12.3	30.7	30.1	41.1	7.4	1.2
自営・自由業	35	48.6	0.0	14.3	17.1	0.0	0.0	11.4	31.4	31.4	37.1	5.7	0.0
家族従事者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
正規雇用	58	41.4	0.0	3.4	13.8	0.0	0.0	15.5	31.0	41.4	32.8	8.6	0.0
非正規雇用	21	33.3	4.8	4.8	23.8	4.8	0.0	14.3	38.1	14.3	57.1	9.5	0.0
学生	12	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	25.0	33.3	50.0	66.7	8.3	0.0
無職	33	9.1	3.0	30.3	18.2	0.0	0.0	3.0	24.2	15.2	39.4	6.1	6.1
女　性	180	28.3	7.2	12.8	16.1	0.6	0.0	9.4	34.4	27.2	25.0	8.9	5.0
自営・自由業	11	45.5	9.1	0.0	54.5	0.0	0.0	9.1	27.3	36.4	18.2	0.0	0.0
家族従事者	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
正規雇用	46	52.2	8.7	2.2	6.5	0.0	0.0	15.2	37.0	28.3	34.8	2.2	2.2
非正規雇用	35	42.9	2.9	2.9	20.0	0.0	0.0	17.1	48.6	25.7	22.9	14.3	0.0
学生	7	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	57.1	14.3	28.6	0.0	14.3
無職	72	5.6	6.9	26.4	16.7	1.4	0.0	2.8	27.8	27.8	20.8	11.1	6.9

問6（１）ＰＴＡや子ども会などの参加意向

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	32.1	4.0	35.8	28.2
男　性	431	19.0	3.7	47.8	29.5
20歳代	39	7.7	5.1	76.9	10.3
30歳代	54	13.0	11.1	64.8	11.1
40歳代	59	25.4	3.4	61.0	10.2
50歳代	94	28.7	2.1	45.7	23.4
60歳代	95	15.8	2.1	42.1	40.0
70歳以上	89	15.7	2.2	24.7	57.3
女　性	575	42.3	4.3	27.1	26.3
20歳代	51	11.8	9.8	68.6	9.8
30歳代	98	36.7	19.4	37.8	6.1
40歳代	80	72.5	1.3	21.3	5.0
50歳代	122	63.9	0.0	18.9	17.2
60歳代	115	41.7	0.0	15.7	42.6
70歳以上	107	15.0	0.0	24.3	60.7

問6（2）地域における趣味・スポーツ・学習などの参加意向

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	27.8	18.7	32.4	21.2
男　性	431	25.5	19.5	38.1	16.9
20歳代	39	17.9	35.9	43.6	2.6
30歳代	54	14.8	27.8	51.9	5.6
40歳代	59	22.0	23.7	49.2	5.1
50歳代	94	37.2	17.0	34.0	11.7
60歳代	95	26.3	15.8	32.6	25.3
70歳以上	89	23.6	11.2	30.3	34.8
女　性	575	29.7	18.4	28.3	23.5
20歳代	51	15.7	43.1	39.2	2.0
30歳代	98	21.4	31.6	39.8	7.1
40歳代	80	42.5	12.5	36.3	8.8
50歳代	122	38.5	14.8	27.9	18.9
60歳代	115	30.4	18.3	13.9	37.4
70歳以上	107	24.3	3.7	22.4	49.5

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	32.1	4.0	35.8	28.2
男　性	431	19.0	3.7	47.8	29.5
自営・自由業	107	24.3	2.8	43.0	29.9
家族従事者	6	33.3	16.7	16.7	33.3
正規雇用	153	19.6	5.2	56.2	19.0
非正規雇用	45	15.6	0.0	57.8	26.7
学生	15	20.0	6.7	53.3	20.0
無職	91	15.4	2.2	36.3	46.2
女　性	575	42.3	4.3	27.1	26.3
自営・自由業	40	40.0	0.0	20.0	40.0
家族従事者	24	50.0	4.2	8.3	37.5
正規雇用	84	40.5	4.8	47.6	7.1
非正規雇用	132	53.0	4.5	26.5	15.9
学生	8	12.5	12.5	62.5	12.5
無職	265	40.0	4.9	23.4	31.7

問6（2）地域における趣味・スポーツ・学習などの参加意向

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	27.8	18.7	32.4	21.2
男　性	431	25.5	19.5	38.1	16.9
自営・自由業	107	30.8	17.8	35.5	15.9
家族従事者	6	50.0	16.7	16.7	16.7
正規雇用	153	28.8	20.9	42.5	7.8
非正規雇用	45	13.3	22.2	46.7	17.8
学生	15	20.0	40.0	26.7	13.3
無職	91	20.9	14.3	35.2	29.7
女　性	575	29.7	18.4	28.3	23.5
自営・自由業	40	27.5	7.5	22.5	42.5
家族従事者	24	37.5	20.8	25.0	16.7
正規雇用	84	22.6	29.8	38.1	9.5
非正規雇用	132	34.8	18.9	32.6	13.6
学生	8	37.5	25.0	25.0	12.5
無職	265	30.2	17.0	24.9	27.9

問6（3）ＮＰＯ（非営利団体）やボランティア等の参加意向

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	11.0	17.4	42.0	29.5
男　性	431	11.4	18.1	42.9	27.6
20歳代	39	7.7	20.5	61.5	10.3
30歳代	54	1.9	25.9	63.0	9.3
40歳代	59	13.6	18.6	57.6	10.2
50歳代	94	16.0	19.1	42.6	22.3
60歳代	95	14.7	18.9	29.5	36.8
70歳以上	89	9.0	10.1	28.1	52.8
女　性	575	11.1	17.2	41.7	29.9
20歳代	51	5.9	31.4	54.9	7.8
30歳代	98	4.1	21.4	65.3	9.2
40歳代	80	10.0	17.5	58.8	13.8
50歳代	122	19.7	22.1	35.2	23.0
60歳代	115	13.9	16.5	24.3	45.2
70歳以上	107	8.4	1.9	27.1	62.6

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	11.0	17.4	42.0	29.5
男　性	431	11.4	18.1	42.9	27.6
自営・自由業	107	13.1	21.5	37.4	28.0
家族従事者	6	33.3	16.7	33.3	16.7
正規雇用	153	11.1	20.9	49.7	18.3
非正規雇用	45	11.1	13.3	51.1	24.4
学生	15	6.7	20.0	53.3	20.0
無職	91	9.9	12.1	33.0	45.1
女　性	575	11.1	17.2	41.7	29.9
自営・自由業	40	10.0	7.5	30.0	52.5
家族従事者	24	33.3	8.3	20.8	37.5
正規雇用	84	4.8	26.2	61.9	7.1
非正規雇用	132	15.9	17.4	48.5	18.2
学生	8	0.0	37.5	50.0	12.5
無職	265	10.2	17.0	36.2	36.6

問6（4）民生委員など公的立場での参加意向

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	5.2	6.9	55.7	32.2
男　性	431	7.4	7.9	55.0	29.7
20歳代	39	0.0	5.1	84.6	10.3
30歳代	54	1.9	7.4	79.6	11.1
40歳代	59	3.4	13.6	72.9	10.2
50歳代	94	9.6	8.5	55.3	26.6
60歳代	95	13.7	10.5	40.0	35.8
70歳以上	89	7.9	2.2	31.5	58.4
女　性	575	3.3	6.4	57.0	33.2
20歳代	51	0.0	3.9	88.2	7.8
30歳代	98	2.0	8.2	79.6	10.2
40歳代	80	1.3	15.0	70.0	13.8
50歳代	122	4.1	9.8	59.0	27.0
60歳代	115	6.1	2.6	39.1	52.2
70歳以上	107	3.7	0.0	29.0	67.3

	全体	参加したことがある	今後参加してみたい	いずれでもない	無回答
全　体	1023	5.2	6.9	55.7	32.2
男　性	431	7.4	7.9	55.0	29.7
自営・自由業	107	11.2	4.7	50.5	33.6
家族従事者	6	33.3	0.0	33.3	33.3
正規雇用	153	5.2	11.1	66.0	17.6
非正規雇用	45	4.4	8.9	57.8	28.9
学生	15	0.0	13.3	66.7	20.0
無職	91	6.6	5.5	42.9	45.1
女　性	575	3.3	6.4	57.0	33.2
自営・自由業	40	7.5	2.5	42.5	47.5
家族従事者	24	16.7	0.0	33.3	50.0
正規雇用	84	0.0	8.3	84.5	7.1
非正規雇用	132	2.3	9.1	66.7	22.0
学生	8	0.0	0.0	87.5	12.5
無職	265	3.4	6.0	49.1	41.5

問7　現在あなたの職業はどれにあたりますか。

		全体	自営・自由業	家族従事者	正規雇用	非正規雇用	学生	無職	無回答
全　体		1023	14.4	3.0	24.0	17.3	2.2	35.4	3.6
男　性		431	24.8	1.4	35.5	10.4	3.5	21.1	3.2
	20歳代	39	5.1	0.0	30.8	23.1	33.3	5.1	2.6
	30歳代	54	11.1	1.9	74.1	5.6	3.7	1.9	1.9
	40歳代	59	23.7	0.0	54.2	13.6	0.0	5.1	3.4
	50歳代	94	35.1	1.1	48.9	8.5	0.0	4.3	2.1
	60歳代	95	33.7	0.0	18.9	16.8	0.0	29.5	1.1
	70歳以上	89	22.5	4.5	4.5	1.1	0.0	59.6	7.9
女　性		575	7.0	4.2	14.6	23.0	1.4	46.1	3.8
	20歳代	51	2.0	0.0	39.2	23.5	13.7	17.6	3.9
	30歳代	98	3.1	2.0	23.5	29.6	1.0	38.8	2.0
	40歳代	80	3.8	2.5	17.5	40.0	0.0	33.8	2.5
	50歳代	122	7.4	4.9	18.0	26.2	0.0	40.2	3.3
	60歳代	115	10.4	9.6	4.3	21.7	0.0	48.7	5.2
	70歳以上	107	11.2	2.8	0.0	1.9	0.0	78.5	5.6

		全体	自営・自由業	家族従事者	正規雇用	非正規雇用	学生	無職	無回答
全　体		1023	14.4	3.0	24.0	17.3	2.2	35.4	3.6
男　性		431	24.8	1.4	35.5	10.4	3.5	21.1	3.2
一番下の子どもの年齢	3歳未満	19	5.3	0.0	84.2	5.3	0.0	0.0	5.3
	3歳以上6歳未満	10	20.0	0.0	70.0	10.0	0.0	0.0	0.0
	6歳以上13歳未満	35	28.6	0.0	57.1	5.7	2.9	2.9	2.9
	13歳以上19歳未満	35	34.3	2.9	42.9	17.1	0.0	2.9	0.0
	19歳以上	222	32.4	1.8	22.1	6.8	0.0	33.3	3.6
子どもはいない		105	7.6	1.0	42.9	18.1	13.3	13.3	3.8
女　性		575	7.0	4.2	14.6	23.0	1.4	46.1	3.8
一番下の子どもの年齢	3歳未満	31	0.0	0.0	19.4	6.5	0.0	71.0	3.2
	3歳以上6歳未満	28	0.0	3.6	17.9	21.4	0.0	57.1	0.0
	6歳以上13歳未満	40	5.0	2.5	12.5	42.5	0.0	32.5	5.0
	13歳以上19歳未満	37	5.4	5.4	5.4	48.6	0.0	35.1	0.0
	19歳以上	295	9.5	6.4	7.8	16.9	0.0	55.6	3.7
子どもはいない		131	6.1	0.8	31.3	26.0	6.1	26.0	3.8

問8　1週間の平均労働時間

		全体	10時間未満	10時間以上20時間未満	20時間以上40時間未満	40時間以上60時間未満	60時間超	無回答
全　体		601	6.2	9.2	23.0	42.4	13.0	6.3
男　性		311	3.5	7.4	14.5	47.6	21.2	5.8
	20歳代	23	0.0	8.7	13.0	47.8	30.4	0.0
	30歳代	50	8.0	4.0	4.0	46.0	32.0	6.0
	40歳代	54	1.9	9.3	7.4	64.8	16.7	0.0
	50歳代	88	0.0	5.7	9.1	55.7	23.9	5.7
	60歳代	66	4.5	12.1	30.3	31.8	13.6	7.6
	70歳以上	29	10.3	3.4	27.6	27.6	13.8	17.2
女　性		280	8.9	11.1	33.2	36.8	3.9	6.1
	20歳代	33	3.0	0.0	6.1	72.7	15.2	3.0
	30歳代	57	10.5	7.0	42.1	33.3	3.5	3.5
	40歳代	51	7.8	15.7	41.2	27.5	3.9	3.9
	50歳代	69	5.8	13.0	36.2	43.5	0.0	1.4
	60歳代	53	11.3	18.9	28.3	28.3	1.9	11.3
	70歳以上	17	23.5	0.0	35.3	5.9	5.9	29.4

		全体	10時間未満	10時間以上20時間未満	20時間以上40時間未満	40時間以上60時間未満	60時間超	無回答
全　体		601	6.2	9.2	23.0	42.4	13.0	6.3
男　性		311	3.5	7.4	14.5	47.6	21.2	5.8
	自営・自由業	107	5.6	11.2	15.9	37.4	18.7	11.2
	家族従事者	6	16.7	0.0	16.7	33.3	16.7	16.7
	正規雇用	153	0.7	2.6	7.2	62.7	24.8	2.0
	非正規雇用	45	6.7	15.6	35.6	22.2	15.6	4.4
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女　性		280	8.9	11.1	33.2	36.8	3.9	6.1
	自営・自由業	40	15.0	15.0	22.5	30.0	7.5	10.0
	家族従事者	24	20.8	20.8	25.0	16.7	0.0	16.7
	正規雇用	84	3.6	4.8	8.3	72.6	8.3	2.4
	非正規雇用	132	8.3	12.1	53.8	19.7	0.8	5.3
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問8　1週間の内の労働日数

		全体	1日～2日	3日～5日	6日～7日	無回答
全　体		601	3.0	56.9	35.4	4.7
男　性		311	1.6	52.7	41.2	4.5
	20歳代	23	0.0	65.2	34.8	0.0
	30歳代	50	2.0	58.0	36.0	4.0
	40歳代	54	0.0	59.3	40.7	0.0
	50歳代	88	0.0	47.7	48.9	3.4
	60歳代	66	6.1	54.5	34.8	4.5
	70歳以上	29	0.0	31.0	48.3	20.7
女　性		280	4.6	62.1	29.6	3.6
	20歳代	33	0.0	57.6	42.4	0.0
	30歳代	57	0.0	89.5	10.5	0.0
	40歳代	51	5.9	70.6	21.6	2.0
	50歳代	69	4.3	58.0	36.2	1.4
	60歳代	53	9.4	45.3	35.8	9.4
	70歳以上	17	11.8	23.5	47.1	17.6

		全体	1日～2日	3日～5日	6日～7日	無回答
全　体		601	3.0	56.9	35.4	4.7
男　性		311	1.6	52.7	41.2	4.5
	自営・自由業	107	2.8	28.0	59.8	9.3
	家族従事者	6	0.0	50.0	33.3	16.7
	正規雇用	153	0.0	62.7	35.3	2.0
	非正規雇用	45	4.4	77.8	17.8	0.0
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	0	0.0	0.0	0.0	0.0
女　性		280	4.6	62.1	29.6	3.6
	自営・自由業	40	12.5	27.5	55.0	5.0
	家族従事者	24	4.2	41.7	41.7	12.5
	正規雇用	84	1.2	70.2	27.4	1.2
	非正規雇用	132	4.5	71.2	21.2	3.0
	学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	0	0.0	0.0	0.0	0.0

問9　昨年の年収

	全体	自分名義の収入はない	103万円未満	103万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	働いていなかったので収入はない	無回答
全　体	601	3.2	17.0	16.8	13.8	10.3	10.6	11.1	6.7	5.2	1.8	3.5
男　性	311	1.3	7.7	11.6	13.2	12.2	13.5	16.1	10.0	9.6	1.6	3.2
20歳代	23	0.0	8.7	30.4	26.1	17.4	4.3	4.3	0.0	0.0	8.7	0.0
30歳代	50	0.0	4.0	6.0	10.0	16.0	28.0	22.0	4.0	0.0	2.0	8.0
40歳代	54	0.0	3.7	11.1	11.1	5.6	3.7	29.6	16.7	13.0	1.9	3.7
50歳代	88	1.1	3.4	6.8	13.6	9.1	15.9	13.6	17.0	18.2	0.0	1.1
60歳代	66	3.0	16.7	16.7	13.6	15.2	9.1	10.6	6.1	7.6	0.0	1.5
70歳以上	29	3.4	13.8	10.3	10.3	17.2	17.2	6.9	3.4	6.9	3.4	6.9
女　性	280	5.0	27.9	22.9	14.3	8.6	7.1	5.4	2.9	0.4	2.1	3.6
20歳代	33	0.0	6.1	27.3	42.4	12.1	6.1	3.0	0.0	0.0	3.0	0.0
30歳代	57	5.3	24.6	19.3	15.8	8.8	12.3	8.8	0.0	0.0	1.8	3.5
40歳代	51	0.0	33.3	23.5	11.8	11.8	5.9	5.9	2.0	0.0	3.9	2.0
50歳代	69	4.3	33.3	15.9	11.6	11.6	8.7	7.2	5.8	0.0	0.0	1.4
60歳代	53	13.2	26.4	35.8	3.8	1.9	3.8	1.9	3.8	1.9	1.9	5.7
70歳以上	17	5.9	47.1	11.8	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	5.9	17.6

	全体	自分名義の収入はない	103万円未満	103万円～200万円未満	200万円～300万円未満	300万円～400万円未満	400万円～500万円未満	500万円～700万円未満	700万円～1,000万円未満	1,000万円以上	働いていなかったので収入はない	無回答
全　体	601	3.2	17.0	16.8	13.8	10.3	10.6	11.1	6.7	5.2	1.8	3.5
男　性	311	1.3	7.7	11.6	13.2	12.2	13.5	16.1	10.0	9.6	1.6	3.2
自営・自由業	107	3.7	11.2	15.9	13.1	14.0	6.5	11.2	3.7	15.9	1.9	2.8
家族従事者	6	0.0	0.0	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
正規雇用	153	0.0	0.0	3.3	9.8	11.8	21.6	21.6	17.6	8.5	2.0	3.9
非正規雇用	45	0.0	26.7	24.4	26.7	8.9	2.2	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女　性	280	5.0	27.9	22.9	14.3	8.6	7.1	5.4	2.9	0.4	2.1	3.6
自営・自由業	40	17.5	30.0	20.0	7.5	10.0	2.5	0.0	5.0	0.0	2.5	5.0
家族従事者	24	12.5	41.7	29.2	8.3	0.0	0.0	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0
正規雇用	84	0.0	1.2	7.1	25.0	22.6	19.0	15.5	6.0	1.2	1.2	1.2
非正規雇用	132	3.0	41.7	32.6	10.6	0.8	2.3	0.8	0.0	0.0	3.0	5.3
学生	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問10　現在の仕事上の悩み

	全体	収入が少ない	労働時間が長い	休暇が取りにくい	自分の能力が正当に評価されていない	昇進や昇給等で性別による差別的な取扱いがある	責任ある仕事をさせてもらえない	研修や教育訓練を受ける機会が少ない	職場の人間関係がむずかしい	職場内に仕事の悩みを聞いてくれるところがない	仕事の量や責任が重くなっている	先行きに不安（リストラや倒産）がある	仕事の後継者がいない	仕事と自分の生活との区別がない	家庭生活（子育てなど）とうまく両立できない
全　体	601	47.4	20.3	35.8	11.6	4.3	0.8	6.8	17.8	7.5	20.3	20.0	10.0	13.3	5.0
男　性	311	50.8	23.8	41.5	12.2	1.9	1.0	5.1	17.0	8.0	19.9	23.8	12.5	12.9	3.9
20歳代	23	56.5	39.1	52.2	17.4	0.0	4.3	8.7	17.4	13.0	13.0	30.4	8.7	4.3	0.0
30歳代	50	54.0	44.0	46.0	18.0	6.0	0.0	12.0	28.0	12.0	36.0	34.0	10.0	10.0	14.0
40歳代	54	59.3	18.5	50.0	14.8	3.7	1.9	3.7	24.1	9.3	25.9	35.2	9.3	5.6	3.7
50歳代	88	54.5	25.0	48.9	10.2	0.0	1.1	3.4	21.6	9.1	20.5	23.9	11.4	20.5	3.4
60歳代	66	42.4	13.6	25.8	12.1	1.5	0.0	4.5	1.5	4.5	12.1	10.6	21.2	12.1	0.0
70歳以上	29	34.5	6.9	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.4	6.9	10.3	17.2	0.0
女　性	280	43.6	17.1	29.6	11.4	7.1	0.7	8.2	18.6	6.8	20.7	16.1	7.1	13.9	6.4
20歳代	33	57.6	39.4	48.5	9.1	9.1	0.0	21.2	30.3	6.1	30.3	18.2	6.1	9.1	9.1
30歳代	57	42.1	12.3	21.1	8.8	8.8	0.0	8.8	24.6	1.8	26.3	10.5	1.8	15.8	22.8
40歳代	51	51.0	9.8	33.3	15.7	7.8	2.0	11.8	21.6	7.8	21.6	27.5	5.9	9.8	2.0
50歳代	69	47.8	21.7	31.9	13.0	8.7	1.4	5.8	15.9	14.5	21.7	17.4	5.8	14.5	1.4
60歳代	53	26.4	9.4	24.5	11.3	3.8	0.0	1.9	11.3	3.8	13.2	9.4	13.2	20.8	0.0
70歳以上	17	35.3	17.6	17.6	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8	17.6	5.9	0.0

	全体	育児休業や短時間勤務等の制度が整備（又は活用）されていない	セクシャル・ハラスメントがある	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全　体	601	3.5	1.2	3.7	17.0	2.8
男　性	311	3.9	0.3	1.9	18.0	1.9
20歳代	23	13.0	0.0	4.3	26.1	0.0
30歳代	50	16.0	2.0	2.0	10.0	2.0
40歳代	54	1.9	0.0	0.0	11.1	0.0
50歳代	88	0.0	0.0	3.4	8.0	1.1
60歳代	66	0.0	0.0	1.5	30.3	1.5
70歳以上	29	0.0	0.0	0.0	41.4	10.3
女　性	280	3.2	2.1	5.7	15.7	3.6
20歳代	33	9.1	3.0	15.2	3.0	0.0
30歳代	57	5.3	1.8	1.8	10.5	1.8
40歳代	51	5.9	3.9	9.8	13.7	2.0
50歳代	69	0.0	2.9	4.3	23.2	0.0
60歳代	53	0.0	0.0	1.9	20.8	9.4
70歳以上	17	0.0	0.0	5.9	17.6	17.6

問10　現在の仕事上の悩み

		全体	収入が少ない	労働時間が長い	休暇が取りにくい	自分の能力が正当に評価されていない	昇進や昇給等で性別による差別的な取扱いがある	責任ある仕事をさせてもらえない	研修や教育訓練を受ける機会が少ない	職場の人間関係がむずかしい	職場内に仕事の悩みを聞いてくれるところがない	仕事の量や責任が重くなっている	先行きに不安（リストラや倒産）がある	仕事の後継者がいない	仕事と自分の生活との区別がない	家庭生活（子育てなど）とうまく両立できない
全　体		601	47.4	20.3	35.8	11.6	4.3	0.8	6.8	17.8	7.5	20.3	20.0	10.0	13.3	5.0
男　性		431	50.8	23.8	41.5	12.2	1.9	1.0	5.1	17.0	8.0	19.9	23.8	12.5	12.9	3.9
	自営・自由業	107	49.5	15.9	35.5	6.5	0.9	0.0	2.8	4.7	2.8	10.3	17.8	16.8	23.4	3.7
	家族従事者	6	33.3	33.3	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	正規雇用	153	49.0	30.1	49.7	13.7	2.0	0.0	5.9	24.2	9.8	32.0	28.8	13.1	7.2	5.2
	非正規雇用	45	62.2	20.0	26.7	22.2	4.4	6.7	8.9	24.4	15.6	4.4	24.4	2.2	6.7	0.0
	学生	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	91	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女　性		575	43.6	17.1	29.6	11.4	7.1	0.7	8.2	18.6	6.8	20.7	16.1	7.1	13.9	6.4
	自営・自由業	40	42.5	12.5	25.0	5.0	2.5	0.0	2.5	2.5	0.0	7.5	10.0	15.0	32.5	0.0
	家族従事者	24	29.2	4.2	8.3	4.2	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	4.2	4.2	41.7	4.2
	正規雇用	84	44.0	40.5	53.6	16.7	14.3	0.0	10.7	31.0	10.7	44.0	15.5	7.1	10.7	10.7
	非正規雇用	132	46.2	6.1	19.7	11.4	4.5	1.5	9.8	18.9	7.6	12.9	20.5	5.3	5.3	6.1
	学生	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	265	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

		全体	育児休業や短時間勤務等の制度が整備（又は活用）されていない	セクシャル・ハラスメントがある	その他	特に不安や悩みはない	無回答
全　体		601	3.5	1.2	3.7	17.0	2.8
男　性		431	3.9	0.3	1.9	18.0	1.9
	自営・自由業	107	0.0	0.0	1.9	23.4	2.8
	家族従事者	6	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
	正規雇用	153	6.5	0.7	2.6	12.4	1.3
	非正規雇用	45	4.4	0.0	0.0	24.4	0.0
	学生	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	91	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女　性		575	3.2	2.1	5.7	15.7	3.6
	自営・自由業	40	0.0	0.0	2.5	22.5	7.5
	家族従事者	24	0.0	0.0	0.0	29.2	0.0
	正規雇用	84	6.0	3.6	8.3	9.5	1.2
	非正規雇用	132	3.0	2.3	6.1	15.2	4.5
	学生	8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	265	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問11　今後の就業意向

		全体	ぜひ、仕事につきたいと思う	できれば、仕事につきたいと思う	仕事につきたいとは思わない	わからない	無回答
全　体		385	14.8	22.3	40.5	8.6	13.8
男　性		106	19.8	18.9	42.5	7.5	11.3
	20歳代	15	86.7	13.3	0.0	0.0	0.0
	30歳代	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
	40歳代	3	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0
	50歳代	4	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0
	60歳代	28	7.1	21.4	64.3	7.1	0.0
	70歳以上	53	3.8	13.2	49.1	11.3	22.6
女　性		273	13.2	23.8	39.6	8.8	14.7
	20歳代	16	68.8	18.8	0.0	6.3	6.3
	30歳代	39	38.5	43.6	7.7	7.7	2.6
	40歳代	27	14.8	48.1	22.2	11.1	3.7
	50歳代	49	12.2	24.5	51.0	10.2	2.0
	60歳代	56	0.0	28.6	50.0	8.9	12.5
	70歳以上	84	0.0	4.8	53.6	7.1	34.5

		全体	ぜひ、仕事につきたいと思う	できれば、仕事につきたいと思う	仕事につきたいとは思わない	わからない	無回答
全　体		385	14.8	22.3	40.5	8.6	13.8
男　性		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	自営・自由業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	23	91.3	4.3	0.0	0.0	4.3
	無職	362	9.9	23.5	43.1	9.1	14.4
女　性		106	19.8	18.9	42.5	7.5	11.3
	自営・自由業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	15	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0
	無職	91	7.7	20.9	49.5	8.8	13.2

問12　希望の働き方

		全体	正社員・正職員として働きたい	パート・アルバイト・契約社員として働きたい	派遣社員として働きたい	内職や在宅就業の仕事をしたい	自分で事業をしたい	その他	わからない	無回答
全　体		143	21.7	32.2	1.4	16.8	3.5	2.8	4.2	17.5
男　性		41	29.3	22.0	2.4	14.6	7.3	7.3	2.4	14.6
	20歳代	15	66.7	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	13.3
	30歳代	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0
	40歳代	3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
	50歳代	3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0
	60歳代	8	0.0	37.5	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5
	70歳以上	9	0.0	44.4	11.1	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0
女　性		101	18.8	35.6	1.0	17.8	2.0	1.0	5.0	18.8
	20歳代	14	42.9	14.3	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6
	30歳代	32	28.1	43.8	3.1	12.5	0.0	0.0	3.1	9.4
	40歳代	17	11.8	47.1	0.0	11.8	5.9	0.0	0.0	23.5
	50歳代	18	5.6	44.4	0.0	22.2	5.6	0.0	5.6	16.7
	60歳代	16	6.3	12.5	0.0	31.3	0.0	6.3	18.8	25.0
	70歳以上	4	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0

		全体	正社員・正職員として働きたい	パート・アルバイト・契約社員として働きたい	派遣社員として働きたい	内職や在宅就業の仕事をしたい	自分で事業をしたい	その他	わからない	無回答
全　体		143	21.7	32.2	1.4	16.8	3.5	2.8	4.2	17.5
男　性		41	29.3	22.0	2.4	14.6	7.3	7.3	2.4	14.6
	自営・自由業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	15	66.7	0.0	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0	13.3
	無職	26	7.7	34.6	3.8	23.1	7.7	3.8	3.8	15.4
女　性		101	18.8	35.6	1.0	17.8	2.0	1.0	5.0	18.8
	自営・自由業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	7	57.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
	無職	94	16.0	38.3	1.1	19.1	2.1	1.1	5.3	17.0

問13　仕事に就く上での不安点

		全体	給料・賃金が自分の希望に合わないこと	勤務時間や雇用形態が自分の希望に合わないこと	自分の資格、能力、適正などにあった仕事の募集が少ないこと	求人募集で年齢や資格などの制限があること	自分の能力や健康に不安があること	仕事を始めるための資金が不足していること	就職に関する情報が得にくいこと	賃金や待遇面で男女平等に扱ってくれる仕事が少ないこと	介護や看護の必要な家族がいること	仕事をするにあたって家族の理解や協力が得られないこと	子どもの面倒をみてくれる場（保育所など）や人がいないこと	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		143	8.4	35.0	21.7	53.1	27.3	1.4	14.0	0.0	13.3	7.0	17.5	4.9	10.5	8.4
男　性		41	14.6	31.7	26.8	39.0	39.0	4.9	19.5	0.0	12.2	2.4	0.0	4.9	17.1	7.3
	20歳代	15	13.3	26.7	26.7	20.0	40.0	6.7	20.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	26.7	13.3
	30歳代	3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3
	40歳代	3	33.3	33.3	66.7	66.7	100.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0
	50歳代	3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	60歳代	8	12.5	37.5	25.0	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0
	70歳以上	9	0.0	33.3	22.2	44.4	44.4	0.0	33.3	0.0	22.2	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
女　性		101	5.9	36.6	19.8	58.4	22.8	0.0	11.9	0.0	13.9	8.9	24.8	5.0	7.9	8.9
	20歳代	14	7.1	21.4	28.6	28.6	21.4	0.0	14.3	0.0	7.1	7.1	14.3	0.0	21.4	7.1
	30歳代	32	6.3	50.0	18.8	62.5	15.6	0.0	9.4	0.0	6.3	9.4	62.5	12.5	0.0	6.3
	40歳代	17	11.8	64.7	17.6	88.2	35.3	0.0	17.6	0.0	0.0	17.6	17.6	0.0	5.9	0.0
	50歳代	18	5.6	27.8	22.2	66.7	33.3	0.0	16.7	0.0	38.9	11.1	0.0	5.6	0.0	16.7
	60歳代	16	0.0	12.5	6.3	43.8	18.8	0.0	6.3	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	18.8	18.8
	70歳以上	4	0.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0

		全体	給料・賃金が自分の希望に合わないこと	勤務時間や雇用形態が自分の希望に合わないこと	自分の資格、能力、適正などにあった仕事の募集が少ないこと	求人募集で年齢や資格などの制限があること	自分の能力や健康に不安があること	仕事を始めるための資金が不足していること	就職に関する情報が得にくいこと	賃金や待遇面で男女平等に扱ってくれる仕事が少ないこと	介護や看護の必要な家族がいること	仕事をするにあたって家族の理解や協力が得られないこと	子どもの面倒をみてくれる場（保育所など）や人がいないこと	その他	特に困っていることはない	無回答
全　体		143	8.4	35.0	21.7	53.1	27.3	1.4	14.0	0.0	13.3	7.0	17.5	4.9	10.5	8.4
男　性		41	14.6	31.7	26.8	39.0	39.0	4.9	19.5	0.0	12.2	2.4	0.0	4.9	17.1	7.3
	自営・自由業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	15	13.3	20.0	20.0	13.3	26.7	6.7	13.3	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	33.3	13.3
	無職	26	15.4	38.5	30.8	53.8	46.2	3.8	23.1	0.0	19.2	0.0	0.0	7.7	7.7	3.8
女　性		101	5.9	36.6	19.8	58.4	22.8	0.0	11.9	0.0	13.9	8.9	24.8	5.0	7.9	8.9
	自営・自由業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	家族従事者	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	非正規雇用	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	学生	7	0.0	28.6	57.1	28.6	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	無職	94	6.4	37.2	17.0	60.6	24.5	0.0	11.7	0.0	14.9	9.6	26.6	5.3	6.4	9.6

問14　男女共同参画推進の賛否

	全体	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
全　体	1023	46.1	24.6	3.9	1.1	19.6	4.7
男　性	431	48.7	23.7	6.5	1.9	16.0	3.2
20歳代	39	66.7	15.4	0.0	5.1	7.7	5.1
30歳代	54	42.6	20.4	3.7	0.0	29.6	3.7
40歳代	59	40.7	23.7	11.9	6.8	10.2	6.8
50歳代	94	50.0	25.5	6.4	1.1	14.9	2.1
60歳代	95	45.3	28.4	8.4	0.0	14.7	3.2
70歳以上	89	51.7	22.5	5.6	1.1	18.0	1.1
女　性	575	44.3	25.6	2.1	0.3	21.7	5.9
20歳代	51	60.8	27.5	0.0	0.0	11.8	0.0
30歳代	98	49.0	26.5	4.1	1.0	18.4	1.0
40歳代	80	46.3	23.8	2.5	0.0	23.8	3.8
50歳代	122	48.4	19.7	3.3	0.0	24.6	4.1
60歳代	115	38.3	32.2	0.9	0.0	18.3	10.4
70歳以上	107	33.6	23.4	0.9	0.9	29.0	12.1

	全体	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
全　体	1023	46.1	24.6	3.9	1.1	19.6	4.7
男　性	431	48.7	23.7	6.5	1.9	16.0	3.2
自営・自由業	107	49.5	24.3	7.5	3.7	12.1	2.8
家族従事者	6	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0
正規雇用	153	45.1	24.2	7.8	2.0	17.0	3.9
非正規雇用	45	53.3	26.7	4.4	2.2	11.1	2.2
学生	15	60.0	6.7	0.0	0.0	20.0	13.3
無職	91	48.4	24.2	4.4	0.0	22.0	1.1
女　性	575	44.3	25.6	2.1	0.3	21.7	5.9
自営・自由業	40	37.5	30.0	5.0	0.0	22.5	5.0
家族従事者	24	33.3	33.3	4.2	0.0	25.0	4.2
正規雇用	84	60.7	20.2	1.2	0.0	14.3	3.6
非正規雇用	132	48.5	25.8	3.0	0.8	18.9	3.0
学生	8	50.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0
無職	265	39.6	26.8	1.5	0.4	23.4	8.3

問15（1）学校教育では

	全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	1023	2.6	7.3	62.1	2.3	0.6	16.9	8.1
男　性	431	1.9	5.1	67.5	3.9	0.7	16.0	4.9
20歳代	39	0.0	7.7	64.1	12.8	5.1	10.3	0.0
30歳代	54	1.9	3.7	74.1	0.0	0.0	20.4	0.0
40歳代	59	0.0	6.8	76.3	3.4	0.0	11.9	1.7
50歳代	94	4.3	3.2	72.3	6.4	1.1	10.6	2.1
60歳代	95	3.2	7.4	61.1	2.1	0.0	21.1	5.3
70歳以上	89	0.0	3.4	60.7	2.2	0.0	19.1	14.6
女　性	575	3.3	8.9	57.9	1.2	0.5	17.9	10.3
20歳代	51	2.0	9.8	74.5	2.0	0.0	11.8	0.0
30歳代	98	0.0	5.1	73.5	2.0	0.0	19.4	0.0
40歳代	80	5.0	13.8	70.0	1.3	2.5	6.3	1.3
50歳代	122	4.9	12.3	63.1	0.0	0.0	15.6	4.1
60歳代	115	4.3	8.7	44.3	0.9	0.9	25.2	15.7
70歳以上	107	1.9	4.7	35.5	1.9	0.0	23.4	32.7

問15（2）雇用の機会（募集・採用）では

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	15.6	46.1	11.8	2.2	0.8	14.3	9.2
男　性	10.2	49.4	15.5	3.5	1.6	12.5	7.2
20歳代	7.7	61.5	15.4	2.6	2.6	7.7	2.6
30歳代	9.3	48.1	18.5	0.0	1.9	20.4	1.9
40歳代	6.8	54.2	13.6	6.8	6.8	8.5	3.4
50歳代	16.0	54.3	14.9	3.2	0.0	9.6	2.1
60歳代	8.4	49.5	16.8	3.2	1.1	13.7	7.4
70歳以上	10.1	36.0	14.6	4.5	0.0	14.6	20.2
女　性	19.5	44.0	9.2	1.2	0.2	15.5	10.4
20歳代	17.6	64.7	3.9	2.0	0.0	11.8	0.0
30歳代	20.4	44.9	16.3	1.0	0.0	16.3	1.0
40歳代	28.8	55.0	10.0	0.0	0.0	6.3	0.0
50歳代	23.0	48.4	8.2	1.6	0.0	16.4	2.5
60歳代	17.4	39.1	8.7	2.6	0.0	17.4	14.8
70歳以上	11.2	24.3	6.5	0.0	0.9	20.6	36.4

問15（3）賃金や昇進では

	全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	1023	28.8	43.4	6.2	0.3	0.1	12.1	9.1
男　性	431	17.6	54.3	10.0	0.2	0.2	11.4	6.3
20歳代	39	20.5	51.3	7.7	0.0	2.6	17.9	0.0
30歳代	54	18.5	53.7	9.3	0.0	0.0	16.7	1.9
40歳代	59	15.3	59.3	15.3	1.7	0.0	3.4	5.1
50歳代	94	20.2	61.7	8.5	0.0	0.0	8.5	1.1
60歳代	95	15.8	57.9	11.6	0.0	0.0	10.5	4.2
70歳以上	89	16.9	40.4	7.9	0.0	0.0	14.6	20.2
女　性	575	37.6	35.7	3.5	0.3	0.0	12.2	10.8
20歳代	51	43.1	41.2	3.9	0.0	0.0	11.8	0.0
30歳代	98	46.9	35.7	8.2	0.0	0.0	9.2	0.0
40歳代	80	47.5	45.0	1.3	0.0	0.0	6.3	0.0
50歳代	122	36.1	45.1	2.5	0.8	0.0	12.3	3.3
60歳代	115	35.7	30.4	4.3	0.9	0.0	14.8	13.9
70歳以上	107	23.4	19.6	0.9	0.0	0.0	16.8	39.3

問15（4）家庭生活では

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	15.3	36.0	24.2	5.3	2.6	9.2	7.3
男　性	8.6	31.3	34.1	7.0	4.2	10.7	4.2
20歳代	7.7	20.5	35.9	12.8	10.3	12.8	0.0
30歳代	5.6	33.3	37.0	5.6	0.0	18.5	0.0
40歳代	3.4	40.7	35.6	10.2	0.0	8.5	1.7
50歳代	9.6	27.7	35.1	7.4	5.3	12.8	2.1
60歳代	11.6	34.7	30.5	6.3	4.2	6.3	6.3
70歳以上	10.1	29.2	32.6	3.4	5.6	9.0	10.1
女　性	20.7	39.7	16.9	4.0	1.6	8.0	9.2
20歳代	11.8	41.2	25.5	0.0	5.9	15.7	0.0
30歳代	25.5	34.7	17.3	6.1	1.0	15.3	0.0
40歳代	30.0	47.5	15.0	2.5	1.3	3.8	0.0
50歳代	20.5	49.2	17.2	2.5	0.8	4.1	5.7
60歳代	22.6	37.4	19.1	5.2	1.7	3.5	10.4
70歳以上	12.1	29.0	11.2	4.7	0.9	10.3	31.8

問15（5）社会の慣習やしきたりでは

	全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	1023	22.4	50.5	7.6	1.9	0.9	8.3	8.4
男　性	431	15.5	53.8	11.4	3.0	1.4	9.5	5.3
20歳代	39	25.6	41.0	12.8	0.0	2.6	17.9	0.0
30歳代	54	18.5	55.6	11.1	0.0	0.0	14.8	0.0
40歳代	59	18.6	52.5	11.9	5.1	3.4	5.1	3.4
50歳代	94	19.1	57.4	12.8	3.2	1.1	5.3	1.1
60歳代	95	8.4	60.0	11.6	6.3	2.1	7.4	4.2
70歳以上	89	11.2	48.3	9.0	1.1	0.0	12.4	18.0
女　性	575	27.7	48.3	4.9	1.0	0.5	7.3	10.3
20歳代	51	23.5	58.8	3.9	2.0	3.9	7.8	0.0
30歳代	98	28.6	51.0	8.2	1.0	0.0	11.2	0.0
40歳代	80	37.5	55.0	2.5	0.0	0.0	5.0	0.0
50歳代	122	37.7	49.2	4.1	0.8	0.0	4.9	3.3
60歳代	115	20.0	47.0	8.7	2.6	0.9	7.0	13.9
70歳以上	107	17.8	36.4	0.9	0.0	0.0	8.4	36.4

問15（6）法律や制度のうえでは

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	9.7	28.3	32.3	3.4	1.2	16.5	8.7
男　性	5.3	23.9	44.3	4.9	2.1	14.2	5.3
20歳代	7.7	28.2	38.5	2.6	5.1	17.9	0.0
30歳代	9.3	31.5	37.0	7.4	1.9	13.0	0.0
40歳代	3.4	37.3	35.6	11.9	1.7	8.5	1.7
50歳代	7.4	21.3	52.1	3.2	1.1	13.8	1.1
60歳代	2.1	18.9	49.5	5.3	4.2	15.8	4.2
70歳以上	4.5	15.7	43.8	1.1	0.0	15.7	19.1
女　性	13.2	31.8	23.1	2.4	0.5	18.1	10.8
20歳代	7.8	37.3	23.5	3.9	0.0	27.5	0.0
30歳代	12.2	36.7	27.6	0.0	1.0	22.4	0.0
40歳代	17.5	45.0	18.8	5.0	0.0	11.3	2.5
50歳代	18.9	35.2	15.6	4.1	0.0	22.1	4.1
60歳代	12.2	27.8	28.7	2.6	1.7	13.9	13.0
70歳以上	8.4	15.9	23.4	0.0	0.0	15.0	37.4

問15（7）政治・経済活動への参加では

	全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	1023	20.0	38.1	20.0	0.8	0.1	12.4	8.5
男　性	431	12.5	37.8	30.2	0.7	0.2	13.0	5.6
20歳代	39	25.6	28.2	30.8	2.6	2.6	10.3	0.0
30歳代	54	13.0	46.3	29.6	0.0	0.0	11.1	0.0
40歳代	59	10.2	37.3	39.0	1.7	0.0	10.2	1.7
50歳代	94	13.8	41.5	30.9	0.0	0.0	12.8	1.1
60歳代	95	9.5	40.0	29.5	1.1	0.0	15.8	4.2
70歳以上	89	10.1	30.3	24.7	0.0	0.0	14.6	20.2
女　性	575	26.1	38.6	12.3	0.9	0.0	11.8	10.3
20歳代	51	29.4	45.1	7.8	2.0	0.0	15.7	0.0
30歳代	98	22.4	44.9	18.4	0.0	0.0	14.3	0.0
40歳代	80	38.8	37.5	16.3	0.0	0.0	6.3	1.3
50歳代	122	32.8	43.4	7.4	0.8	0.0	12.3	3.3
60歳代	115	24.3	36.5	11.3	2.6	0.0	11.3	13.9
70歳以上	107	13.1	26.2	13.1	0.0	0.0	12.1	35.5

問15（1）学校教育では

	全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	1023	2.6	7.3	62.1	2.3	0.6	16.9	8.1
男　性	431	1.9	5.1	67.5	3.9	0.7	16.0	4.9
自営・自由業	107	0.9	4.7	68.2	5.6	0.9	15.0	4.7
家族従事者	6	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	33.3	16.7
正規雇用	153	2.6	3.9	73.9	2.6	0.0	14.4	2.6
非正規雇用	45	2.2	13.3	53.3	4.4	4.4	17.8	4.4
学生	15	0.0	6.7	86.7	6.7	0.0	0.0	0.0
無職	91	2.2	4.4	62.6	3.3	0.0	22.0	5.5
女　性	575	3.3	8.9	57.9	1.2	0.5	17.9	10.3
自営・自由業	40	2.5	15.0	42.5	0.0	0.0	22.5	17.5
家族従事者	24	0.0	8.3	58.3	0.0	0.0	16.7	16.7
正規雇用	84	2.4	9.5	71.4	0.0	0.0	15.5	1.2
非正規雇用	132	6.8	7.6	62.1	0.8	1.5	16.7	4.5
学生	8	12.5	0.0	75.0	0.0	0.0	12.5	0.0
無職	265	2.3	8.7	53.6	1.9	0.4	19.2	14.0

問15（2）雇用の機会（募集・採用）では

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	15.6	46.1	11.8	2.2	0.8	14.3	9.2
男　性	10.2	49.4	15.5	3.5	1.6	12.5	7.2
自営・自由業	12.1	43.0	17.8	2.8	2.8	14.0	7.5
家族従事者	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7
正規雇用	9.8	57.5	17.6	3.3	0.0	9.2	2.6
非正規雇用	4.4	55.6	13.3	6.7	6.7	6.7	6.7
学生	13.3	60.0	6.7	0.0	0.0	20.0	0.0
無職	12.1	41.8	12.1	4.4	1.1	18.7	9.9
女　性	19.5	44.0	9.2	1.2	0.2	15.5	10.4
自営・自由業	25.0	32.5	12.5	0.0	0.0	17.5	12.5
家族従事者	8.3	54.2	8.3	0.0	0.0	12.5	16.7
正規雇用	15.5	59.5	10.7	1.2	0.0	11.9	1.2
非正規雇用	21.2	46.2	11.4	3.0	0.0	14.4	3.8
学生	37.5	62.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	19.6	38.5	7.9	0.4	0.4	17.7	15.5

問15（3）賃金や昇進では

	全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	1023	28.8	43.4	6.2	0.3	0.1	12.1	9.1
男　性	431	17.6	54.3	10.0	0.2	0.2	11.4	6.3
自営・自由業	107	17.8	53.3	11.2	0.0	0.0	12.1	5.6
家族従事者	6	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7
正規雇用	153	17.6	61.4	13.1	0.0	0.7	5.2	2.0
非正規雇用	45	17.8	53.3	8.9	2.2	0.0	13.3	4.4
学生	15	26.7	40.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
無職	91	17.6	52.7	5.5	0.0	0.0	14.3	9.9
女　性	575	37.6	35.7	3.5	0.3	0.0	12.2	10.8
自営・自由業	40	37.5	27.5	7.5	2.5	0.0	15.0	10.0
家族従事者	24	16.7	54.2	0.0	0.0	0.0	16.7	12.5
正規雇用	84	42.9	41.7	8.3	0.0	0.0	6.0	1.2
非正規雇用	132	41.7	39.4	3.8	0.0	0.0	10.6	4.5
学生	8	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
無職	265	34.7	33.2	1.5	0.4	0.0	14.0	16.2

問15（4）家庭生活では

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体	15.3	36.0	24.2	5.3	2.6	9.2	7.3
男　性	8.6	31.3	34.1	7.0	4.2	10.7	4.2
自営・自由業	9.3	37.4	30.8	4.7	4.7	10.3	2.8
家族従事者	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
正規雇用	7.8	33.3	37.3	7.8	2.0	9.8	2.0
非正規雇用	6.7	22.2	37.8	13.3	4.4	8.9	6.7
学生	13.3	33.3	13.3	13.3	6.7	20.0	0.0
無職	9.9	25.3	34.1	5.5	7.7	12.1	5.5
女　性	20.7	39.7	16.9	4.0	1.6	8.0	9.2
自営・自由業	12.5	50.0	10.0	5.0	5.0	10.0	7.5
家族従事者	33.3	33.3	12.5	4.2	4.2	8.3	4.2
正規雇用	22.6	39.3	14.3	1.2	1.2	20.2	1.2
非正規雇用	27.3	41.7	18.9	4.5	0.8	3.0	3.8
学生	25.0	37.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0
無職	18.1	38.1	17.0	4.5	1.1	6.8	14.3

問15（5）社会の慣習やしきたりでは

		全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体		1023	22.4	50.5	7.6	1.9	0.9	8.3	8.4
男　性		431	15.5	53.8	11.4	3.0	1.4	9.5	5.3
	自営・自由業	107	11.2	57.9	12.1	5.6	0.9	7.5	4.7
	家族従事者	6	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	153	20.9	54.2	10.5	2.0	1.3	9.8	1.3
	非正規雇用	45	15.6	51.1	13.3	2.2	4.4	6.7	6.7
	学生	15	26.7	53.3	6.7	0.0	0.0	13.3	0.0
	無職	91	11.0	50.5	13.2	3.3	1.1	12.1	8.8
女　性		575	27.7	48.3	4.9	1.0	0.5	7.3	10.3
	自営・自由業	40	27.5	47.5	5.0	0.0	0.0	5.0	15.0
	家族従事者	24	20.8	50.0	4.2	4.2	4.2	4.2	12.5
	正規雇用	84	28.6	53.6	4.8	2.4	1.2	7.1	2.4
	非正規雇用	132	37.1	47.7	4.5	1.5	0.8	5.3	3.0
	学生	8	37.5	37.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0
	無職	265	23.4	47.2	4.9	0.4	0.0	9.4	14.7

問15（6）法律や制度のうえでは

		男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体		9.7	28.3	32.3	3.4	1.2	16.5	8.7
男　性		5.3	23.9	44.3	4.9	2.1	14.2	5.3
	自営・自由業	3.7	24.3	40.2	7.5	1.9	16.8	5.6
	家族従事者	0.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	6.5	26.8	46.4	6.5	2.6	9.8	1.3
	非正規雇用	4.4	28.9	46.7	4.4	4.4	6.7	4.4
	学生	13.3	6.7	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0
	無職	4.4	16.5	48.4	1.1	1.1	19.8	8.8
女　性		13.2	31.8	23.1	2.4	0.5	18.1	10.8
	自営・自由業	10.0	40.0	27.5	0.0	0.0	10.0	12.5
	家族従事者	8.3	29.2	25.0	8.3	4.2	12.5	12.5
	正規雇用	8.3	40.5	21.4	4.8	0.0	22.6	2.4
	非正規雇用	17.4	31.8	23.5	3.8	0.8	19.7	3.0
	学生	25.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	13.2	27.9	22.6	1.1	0.4	18.5	16.2

問15（7）政治・経済活動への参加では

		全体	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性のほうが優遇されている	わからない	無回答
全　体		1023	20.0	38.1	20.0	0.8	0.1	12.4	8.5
男　性		431	12.5	37.8	30.2	0.7	0.2	13.0	5.6
	自営・自由業	107	9.3	40.2	29.0	0.0	0.0	15.9	5.6
	家族従事者	6	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	正規雇用	153	11.1	44.4	33.3	1.3	0.0	8.5	1.3
	非正規雇用	45	22.2	33.3	26.7	2.2	2.2	8.9	4.4
	学生	15	33.3	20.0	33.3	0.0	0.0	13.3	0.0
	無職	91	12.1	30.8	27.5	0.0	0.0	19.8	9.9
女　性		575	26.1	38.6	12.3	0.9	0.0	11.8	10.3
	自営・自由業	40	20.0	47.5	2.5	0.0	0.0	17.5	12.5
	家族従事者	24	16.7	41.7	12.5	4.2	0.0	12.5	12.5
	正規雇用	84	25.0	45.2	16.7	1.2	0.0	10.7	1.2
	非正規雇用	132	32.6	37.9	9.8	1.5	0.0	14.4	3.8
	学生	8	50.0	12.5	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0
	無職	265	23.4	38.5	12.8	0.0	0.0	10.2	15.1

問16　「男は仕事、女は家事、育児」という考えについての賛否

		全体	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答
全　体		1023	8.5	42.7	31.5	15.4	1.9
男　性		431	13.5	46.2	24.8	13.9	1.6
	20歳代	39	17.9	20.5	30.8	28.2	2.6
	30歳代	54	3.7	38.9	37.0	18.5	1.9
	40歳代	59	13.6	49.2	25.4	11.9	0.0
	50歳代	94	9.6	48.9	26.6	13.8	1.1
	60歳代	95	17.9	51.6	21.1	9.5	0.0
	70歳以上	89	15.7	51.7	16.9	11.2	4.5
女　性		575	4.3	40.3	36.7	16.5	2.1
	20歳代	51	3.9	21.6	31.4	41.2	2.0
	30歳代	98	5.1	34.7	42.9	17.3	0.0
	40歳代	80	1.3	31.3	46.3	20.0	1.3
	50歳代	122	1.6	44.3	36.9	16.4	0.8
	60歳代	115	9.6	40.0	33.9	13.0	3.5
	70歳以上	107	3.7	56.1	29.9	5.6	4.7

		全体	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答
全　体		1023	8.5	42.7	31.5	15.4	1.9
男　性		431	13.5	46.2	24.8	13.9	1.6
	自営・自由業	107	18.7	47.7	21.5	11.2	0.9
	家族従事者	6	16.7	66.7	16.7	0.0	0.0
	正規雇用	153	11.1	45.1	32.0	10.5	1.3
	非正規雇用	45	8.9	35.6	31.1	24.4	0.0
	学生	15	6.7	33.3	26.7	26.7	6.7
	無職	91	13.2	51.6	17.6	16.5	1.1
女　性		575	4.3	40.3	36.7	16.5	2.1
	自営・自由業	40	12.5	27.5	50.0	10.0	0.0
	家族従事者	24	8.3	45.8	41.7	4.2	0.0
	正規雇用	84	1.2	20.2	41.7	35.7	1.2
	非正規雇用	132	3.0	37.1	40.2	18.9	0.8
	学生	8	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0
	無職	265	4.5	49.8	31.7	10.9	3.0

問17　男子につけたい能力

	全体	礼儀作法	家事能力	職業能力	リーダーシップ	協調性	実行力	たくましさ	やさしさ	国際感覚	おもいやり	自立心	忍耐力	男女平等意識	その他	わからない	無回答
全　体	1023	42.0	6.9	28.5	10.8	21.5	27.0	18.2	12.2	12.0	40.8	35.3	22.3	5.6	0.8	0.5	3.3
男　性	431	49.4	4.4	29.5	13.7	21.1	24.4	16.0	13.9	11.4	40.8	32.5	23.7	4.9	1.9	0.7	2.1
20歳代	39	43.6	5.1	17.9	12.8	38.5	17.9	17.9	20.5	15.4	43.6	17.9	28.2	2.6	5.1	0.0	2.6
30歳代	54	51.9	7.4	16.7	16.7	22.2	22.2	14.8	25.9	13.0	44.4	16.7	14.8	5.6	3.7	1.9	5.6
40歳代	59	50.8	6.8	28.8	13.6	15.3	27.1	18.6	20.3	8.5	44.1	32.2	22.0	3.4	1.7	0.0	1.7
50歳代	94	41.5	5.3	47.9	20.2	17.0	26.6	11.7	10.6	10.6	39.4	37.2	20.2	4.3	1.1	0.0	1.1
60歳代	95	54.7	2.1	30.5	12.6	26.3	22.1	11.6	6.3	12.6	37.9	44.2	22.1	6.3	1.1	1.1	1.1
70歳以上	89	52.8	2.2	22.5	6.7	15.7	27.0	23.6	11.2	9.0	40.4	31.5	33.7	4.5	1.1	1.1	2.2
女　性	575	37.0	8.9	27.8	8.3	21.2	29.2	19.3	11.0	12.7	40.9	37.2	21.4	6.3	0.0	0.3	4.2
20歳代	51	41.2	7.8	19.6	5.9	31.4	21.6	17.6	17.6	7.8	56.9	33.3	15.7	7.8	0.0	2.0	2.0
30歳代	98	40.8	10.2	19.4	6.1	24.5	27.6	24.5	17.3	12.2	45.9	37.8	21.4	4.1	0.0	0.0	1.0
40歳代	80	26.3	13.8	31.3	10.0	13.8	33.8	21.3	7.5	20.0	46.3	42.5	8.8	6.3	0.0	0.0	6.3
50歳代	122	32.0	10.7	34.4	9.0	22.1	26.2	13.1	10.7	9.0	42.6	44.3	23.8	4.9	0.0	0.0	4.1
60歳代	115	41.7	8.7	33.0	8.7	20.0	34.8	18.3	4.3	13.0	33.0	28.7	26.1	6.1	0.0	0.0	6.1
70歳以上	107	40.2	2.8	24.3	9.3	19.6	28.0	21.5	12.1	13.1	30.8	36.4	25.2	9.3	0.0	0.9	4.7

	全体	礼儀作法	家事能力	職業能力	リーダーシップ	協調性	実行力	たくましさ	やさしさ	国際感覚	おもいやり	自立心	忍耐力	男女平等意識	その他	わからない	無回答
全　体	1023	42.0	6.9	28.5	10.8	21.5	27.0	18.2	12.2	12.0	40.8	35.3	22.3	5.6	0.8	0.5	3.3
男　性	431	49.4	4.4	29.5	13.7	21.1	24.4	16.0	13.9	11.4	40.8	32.5	23.7	4.9	1.9	0.7	2.1
自営・自由業	107	48.6	2.8	35.5	20.6	18.7	23.4	15.9	9.3	12.1	37.4	30.8	29.9	3.7	0.0	0.0	2.8
家族従事者	6	66.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
正規雇用	153	49.0	6.5	30.1	15.0	17.0	30.1	17.0	17.0	11.8	41.2	29.4	20.9	4.6	1.3	0.7	1.3
非正規雇用	45	51.1	8.9	26.7	11.1	17.8	13.3	8.9	22.2	15.6	46.7	33.3	17.8	11.1	4.4	0.0	2.2
学生	15	53.3	0.0	20.0	6.7	53.3	20.0	6.7	6.7	20.0	33.3	33.3	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7
無職	91	46.2	1.1	25.3	6.6	28.6	24.2	18.7	8.8	8.8	41.8	37.4	27.5	3.3	2.2	2.2	2.2
女　性	575	37.0	8.9	27.8	8.3	21.2	29.2	19.3	11.0	12.7	40.9	37.2	21.4	6.3	0.0	0.3	4.2
自営・自由業	40	35.0	12.5	32.5	5.0	12.5	17.5	20.0	7.5	17.5	40.0	40.0	27.5	7.5	0.0	0.0	7.5
家族従事者	24	37.5	4.2	41.7	8.3	33.3	29.2	12.5	8.3	8.3	29.2	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	4.2
正規雇用	84	36.9	15.5	28.6	8.3	29.8	23.8	16.7	13.1	16.7	42.9	34.5	16.7	8.3	0.0	0.0	2.4
非正規雇用	132	35.6	7.6	33.3	9.1	22.7	32.6	20.5	9.8	11.4	43.2	37.1	13.6	6.1	0.0	0.0	3.8
学生	8	25.0	12.5	12.5	12.5	12.5	37.5	37.5	0.0	12.5	62.5	50.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
無職	265	37.7	7.5	24.9	8.3	17.4	30.6	18.5	12.1	12.8	40.8	37.0	25.7	6.0	0.0	0.8	4.2

問17　女子につけたい能力

	全体	礼儀作法	家事能力	職業能力	リーダーシップ	協調性	実行力	たくましさ	やさしさ	国際感覚	おもいやり	自立心	忍耐力	男女平等意識	その他	わからない	無回答
全　体	1023	56.3	29.8	12.9	1.3	21.0	7.9	4.5	39.6	8.8	53.7	23.4	13.6	5.0	0.8	0.5	4.7
男　性	431	58.9	28.3	10.2	1.4	20.2	5.8	3.9	47.8	8.4	50.6	18.1	15.3	5.1	1.9	0.7	5.1
20歳代	39	53.8	23.1	12.8	0.0	17.9	12.8	5.1	66.7	12.8	46.2	7.7	10.3	5.1	5.1	0	5.1
30歳代	54	63.0	25.9	7.4	1.9	20.4	3.7	9.3	42.6	11.1	63.0	5.6	11.1	5.6	3.7	1.9	5.6
40歳代	59	64.4	15.3	8.5	1.7	23.7	6.8	1.7	49.2	11.9	61.0	27.1	22.0	1.7	1.7	0	0
50歳代	94	53.2	34.0	19.1	2.1	20.2	5.3	4.3	45.7	7.4	43.6	25.5	12.8	4.3	2.1	0	4.3
60歳代	95	69.5	31.6	7.4	2.1	27.4	2.1	3.2	46.3	7.4	45.3	21.1	11.6	5.3	0	1.1	3.2
70歳以上	89	50.6	31.5	5.6	0.0	11.2	7.9	2.2	46.1	3.4	51.7	13.5	22.5	6.7	1.1	1.1	11.2
女　性	575	54.4	31.3	15.0	1.2	21.0	9.6	5.0	33.2	9.2	55.3	27.3	12.7	5.0	0.0	0.3	4.3
20歳代	51	52.9	19.6	17.6	0.0	33.3	7.8	7.8	29.4	5.9	58.8	35.3	9.8	3.9	0.0	2.0	2.0
30歳代	98	49.0	27.6	12.2	1.0	25.5	15.3	6.1	33.7	9.2	61.2	26.5	14.3	2.0	0.0	0.0	4.1
40歳代	80	41.3	31.3	23.8	2.5	23.8	13.8	5.0	17.5	15.0	60.0	38.8	8.8	3.8	0.0	0.0	3.8
50歳代	122	54.1	32.0	17.2	2.5	20.5	5.7	5.7	28.7	7.4	59.0	32.0	12.3	5.7	0.0	0.0	4.1
60歳代	115	60.9	32.2	13.9	0.9	14.8	7.0	5.2	40.9	8.7	53.9	19.1	13.9	4.3	0.0	0.0	6.1
70歳以上	107	62.6	39.3	8.4	0.0	16.8	8.4	1.9	43.0	9.3	42.1	19.6	14.0	9.3	0.0	0.9	4.7

	全体	礼儀作法	家事能力	職業能力	リーダーシップ	協調性	実行力	たくましさ	やさしさ	国際感覚	おもいやり	自立心	忍耐力	男女平等意識	その他	わからない	無回答
全　体	1023	56.3	29.8	12.9	1.3	21.0	7.9	4.5	39.6	8.8	53.7	23.4	13.6	5.0	0.8	0.5	4.7
男　性	431	58.9	28.3	10.2	1.4	20.2	5.8	3.9	47.8	8.4	50.6	18.1	15.3	5.1	1.9	0.7	5.1
自営・自由業	107	62.6	28.0	10.3	3.7	20.6	3.7	4.7	39.3	10.3	44.9	20.6	22.4	4.7	0	0	6.5
家族従事者	6	83.3	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7	0	0
正規雇用	153	60.8	23.5	15.0	1.3	22.2	7.8	5.2	49.0	9.2	55.6	16.3	13.1	3.9	1.3	0.7	2.6
非正規雇用	45	60.0	44.4	2.2	0.0	11.1	6.7	0.0	53.3	13.3	44.4	22.2	8.9	6.7	6.7	0	2.2
学生	15	60.0	6.7	13.3	0.0	40.0	13.3	0.0	60.0	13.3	46.7	20.0	0.0	6.7	0	0	6.7
無職	91	50.5	34.1	5.5	0.0	19.8	3.3	4.4	51.6	3.3	50.5	14.3	16.5	5.5	1.1	2.2	7.7
女　性	575	54.4	31.3	15.0	1.2	21.0	9.6	5.0	33.2	9.2	55.3	27.3	12.7	5	0	0.3	4.3
自営・自由業	40	55.0	32.5	12.5	2.5	7.5	5.0	7.5	37.5	15.0	45.0	27.5	15.0	10	0	0	7.5
家族従事者	24	45.8	45.8	16.7	0.0	16.7	4.2	4.2	33.3	8.3	33.3	33.3	8.3	0	0	0	16.7
正規雇用	84	47.6	23.8	25.0	4.8	27.4	8.3	7.1	23.8	13.1	54.8	32.1	7.1	6	0	0	4.8
非正規雇用	132	53.0	26.5	16.7	0.8	26.5	11.4	3.0	28.8	12.1	59.1	31.8	12.9	5.3	0	0	2.3
学生	8	37.5	25.0	25.0	0.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0	87.5	50.0	0.0	12.5	0	0	0
無職	265	58.5	33.6	10.9	0.4	18.9	10.2	4.5	37.7	6.4	56.6	23.8	14.7	4.2	0	0.8	3.8

問18　「女性の人権が尊重されていない」ことだと思うもの

		全体	買春・売春、援助交際	風俗産業	ストーカー（つきまとい）行為	痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪	夫婦等のパートナー間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）	職場などにおけるセクシャル・ハラスメント	募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取扱い	女性のヌードや水着姿の写真を掲載又は使用した雑誌や広告	インターネット上のアダルト向けホームページ	女性の容ぼうを競うミス・コンテスト	「女流○○」、「女史」のように女性だけ用いられる言葉
男　性		431	43.2	38.1	36.2	58.9	44.8	42.7	49.0	14.4	19.5	10.0	8.1
	20歳代	39	28.2	25.6	28.2	59.0	43.6	41.0	64.1	5.1	10.3	7.7	7.7
	30歳代	54	33.3	20.4	35.2	66.7	53.7	59.3	50.0	11.1	14.8	11.1	3.7
	40歳代	59	23.7	27.1	32.2	55.9	33.9	28.8	45.8	5.1	15.3	11.9	8.5
	50歳代	94	40.4	41.5	36.2	58.5	50.0	45.7	48.9	14.9	19.1	9.6	10.6
	60歳代	95	46.3	36.8	34.7	55.8	37.9	36.8	46.3	14.7	17.9	8.4	7.4
	70歳以上	89	67.4	58.4	44.9	59.6	49.4	46.1	46.1	25.8	31.5	10.1	9.0
女　性		575	52.5	46.8	32.9	60.0	52.7	49.6	57.2	24.0	25.4	11.3	9.2
	20歳代	51	45.1	27.5	21.6	62.7	58.8	58.8	70.6	15.7	11.8	3.9	7.8
	30歳代	98	34.7	29.6	23.5	66.3	48.0	54.1	62.2	14.3	20.4	5.1	6.1
	40歳代	80	51.3	45.0	28.8	61.3	60.0	47.5	58.8	21.3	27.5	12.5	8.8
	50歳代	122	54.9	49.2	35.2	57.4	50.0	51.6	59.0	23.8	30.3	11.5	6.6
	60歳代	115	59.1	56.5	34.8	51.3	47.8	37.4	50.4	23.5	27.8	15.7	9.6
	70歳以上	107	63.6	59.8	44.9	64.5	56.1	53.3	50.5	40.2	26.2	15.0	15.9

		全体	伝統行事や文化の中で女性を受け入れないものがあること	その他	特にない	わからない	無回答
男　性		431	27.6	1.4	6.7	3.0	2.1
	20歳代	39	25.6	2.6	7.7	5.1	2.6
	30歳代	54	24.1	1.9	3.7	0.0	3.7
	40歳代	59	28.8	0.0	11.9	1.7	0.0
	50歳代	94	34.0	1.1	6.4	5.3	0.0
	60歳代	95	23.2	1.1	6.3	3.2	3.2
	70歳以上	89	28.1	2.2	5.6	2.2	3.4
女　性		575	26.8	1.6	3.8	4.9	2.1
	20歳代	51	27.5	0.0	2.0	2.0	2.0
	30歳代	98	27.6	4.1	3.1	3.1	0.0
	40歳代	80	20.0	0.0	3.8	0.0	1.3
	50歳代	122	33.6	3.3	4.9	6.6	0.8
	60歳代	115	25.2	0.9	5.2	7.0	4.3
	70歳以上	107	25.2	0.0	2.8	7.5	3.7

		全体	買春・売春、援助交際	風俗産業	ストーカー（つきまとい）行為	痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪	夫婦等のパートナー間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）	職場などにおけるセクシャル・ハラスメント	募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取扱い	女性のヌードや水着姿の写真を掲載又は使用した雑誌や広告	インターネット上のアダルト向けホームページ	女性の容ぼうを競うミス・コンテスト	「女流○○」、「女史」のように女性だけ用いられる言葉
全　体		1023	48.4	42.9	34.2	59.5	49.3	46.5	53.6	19.9	23.0	10.9	8.7
男　性		431	43.2	38.1	36.2	58.9	44.8	42.7	49.0	14.4	19.5	10.0	8.1
	自営・自由業	107	43.9	39.3	40.2	62.6	50.5	44.9	46.7	17.8	18.7	13.1	9.3
	家族従事者	6	83.3	83.3	66.7	66.7	66.7	50.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7
	正規雇用	153	34.6	31.4	30.7	54.2	35.9	41.8	47.1	11.8	15.7	7.2	4.6
	非正規雇用	45	37.8	31.1	33.3	60.0	46.7	26.7	46.7	8.9	20.0	17.8	13.3
	学生	15	26.7	33.3	13.3	46.7	53.3	40.0	66.7	6.7	13.3	0.0	6.7
	無職	91	60.4	50.5	41.8	61.5	50.5	49.5	51.6	18.7	24.2	8.8	8.8
女　性		575	52.5	46.8	32.9	60.0	52.7	49.6	57.2	24.0	25.4	11.3	9.2
	自営・自由業	40	57.5	50.0	32.5	57.5	42.5	47.5	52.5	25.0	27.5	12.5	15.0
	家族従事者	24	66.7	70.8	50.0	58.3	58.3	58.3	58.3	20.8	45.8	20.8	8.3
	正規雇用	84	46.4	36.9	27.4	65.5	54.8	52.4	71.4	21.4	20.2	11.9	8.3
	非正規雇用	132	53.0	40.2	27.3	54.5	52.3	48.5	53.0	18.9	23.5	11.4	8.3
	学生	8	62.5	37.5	12.5	50.0	62.5	50.0	100.0	12.5	12.5	12.5	37.5
	無職	265	53.2	52.5	38.1	61.9	54.0	49.4	55.8	27.9	27.5	10.6	9.1

		全体	伝統行事や文化の中で女性を受け入れないものがあること	その他	特にない	わからない	無回答
全　体		1023	27.1	1.5	5.2	4.2	2.1
男　性		431	27.6	1.4	6.7	3.0	2.1
	自営・自由業	107	29.0	1.9	9.3	1.9	1.9
	家族従事者	6	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
	正規雇用	153	23.5	0.7	7.8	3.3	2.6
	非正規雇用	45	28.9	2.2	4.4	6.7	2.2
	学生	15	33.3	6.7	13.3	6.7	0.0
	無職	91	30.8	1.1	3.3	1.1	2.2
女　性		575	26.8	1.6	3.8	4.9	2.1
	自営・自由業	40	20.0	2.5	7.5	7.5	5.0
	家族従事者	24	29.2	0.0	0.0	0.0	4.2
	正規雇用	84	31.0	1.2	2.4	1.2	1.2
	非正規雇用	132	27.3	2.3	6.1	1.5	0.8
	学生	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	無職	265	27.2	1.1	3.0	6.8	2.3

問19　政策、方針決定の場での男女平等参画するための考え

	全体	男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発	審議会などの女性委員の目標比率を設定し、それを達成する	家庭・地域・職場などの日常的な場での男性優位の意識や実態を解消	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう	女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	男性が男女共同参画について学ぶ講座等の学習機会を充実させる	女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する	女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ	その他	特別な取組は必要ない	わからない	無回答
全　体	1023	38.7	15.3	32.3	33.2	21.4	14.7	17.4	40.7	2.5	4.2	6.1	3.0
男　性	431	39.9	17.6	30.2	25.8	19.7	12.5	15.3	42.0	3.7	7.4	4.2	3.9
20歳代	39	41.0	15.4	35.9	38.5	12.8	12.8	15.4	30.8	5.1	2.6	2.6	5.1
30歳代	54	33.3	22.2	24.1	31.5	16.7	11.1	24.1	42.6	1.9	5.6	7.4	3.7
40歳代	59	37.3	18.6	25.4	22.0	11.9	13.6	8.5	45.8	5.1	11.9	1.7	1.7
50歳代	94	33.0	20.2	29.8	22.3	23.4	6.4	24.5	44.7	2.1	7.4	4.3	3.2
60歳代	95	45.3	20.0	30.5	23.2	17.9	17.9	8.4	47.4	3.2	10.5	2.1	4.2
70歳以上	89	47.2	10.1	34.8	24.7	28.1	13.5	12.4	36.0	4.5	4.5	6.7	5.6
女　性	575	37.7	13.9	34.1	39.3	23.0	16.7	19.3	39.7	1.7	1.7	7.3	1.9
20歳代	51	39.2	7.8	39.2	49.0	29.4	13.7	25.5	43.1	2.0	0.0	2.0	0.0
30歳代	98	26.5	13.3	38.8	43.9	22.4	13.3	24.5	35.7	2.0	2.0	5.1	0.0
40歳代	80	27.5	13.8	41.3	33.8	25.0	22.5	20.0	48.8	5.0	2.5	0.0	1.3
50歳代	122	33.6	18.0	30.3	37.7	18.9	15.6	22.1	36.9	1.6	4.9	11.5	1.6
60歳代	115	47.8	13.0	37.4	42.6	18.3	15.7	14.8	38.3	0.9	0.0	7.0	2.6
70歳以上	107	49.5	14.0	23.4	32.7	29.0	18.7	13.1	38.3	0.0	0.0	13.1	4.7

	全体	男女の意見を等しく政策に反映していくことの大切さを広く啓発	審議会などの女性委員の目標比率を設定し、それを達成する	家庭・地域・職場などの日常的な場での男性優位の意識や実態を解消	家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう	女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる	男性が男女共同参画について学ぶ講座等の学習機会を充実させる	女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する	女性みずから政策・方針を決定する場に参画することに関心を持つ	その他	特別な取組は必要ない	わからない	無回答
全　体	1023	38.7	15.3	32.3	33.2	21.4	14.7	17.4	40.7	2.5	4.2	6.1	3.0
男　性	431	39.9	17.6	30.2	25.8	19.7	12.5	15.3	42.0	3.7	7.4	4.2	3.9
自営・自由業	107	35.5	20.6	24.3	21.5	16.8	14.0	14.0	48.6	1.9	6.5	6.5	6.5
家族従事者	6	33.3	0.0	33.3	16.7	16.7	50.0	16.7	83.3	16.7	0.0	0.0	0.0
正規雇用	153	35.9	21.6	24.8	26.8	16.3	7.8	19.0	41.8	3.9	8.5	2.6	3.3
非正規雇用	45	40.0	11.1	35.6	22.2	28.9	15.6	15.6	35.6	4.4	11.1	2.2	4.4
学生	15	46.7	6.7	40.0	46.7	13.3	6.7	20.0	46.7	13.3	0.0	0.0	0.0
無職	91	50.5	13.2	39.6	29.7	27.5	12.1	9.9	37.4	3.3	7.7	4.4	3.3
女　性	575	37.7	13.9	34.1	39.3	23.0	16.7	19.3	39.7	1.7	1.7	7.3	1.9
自営・自由業	40	32.5	7.5	32.5	47.5	22.5	7.5	15.0	37.5	2.5	0.0	7.5	2.5
家族従事者	24	37.5	20.8	41.7	25.0	12.5	20.8	33.3	50.0	0.0	0.0	12.5	0.0
正規雇用	84	29.8	14.3	42.9	47.6	32.1	17.9	22.6	38.1	6.0	1.2	3.6	0.0
非正規雇用	132	31.1	12.9	38.6	43.9	23.5	18.9	15.2	43.9	0.8	1.5	4.5	1.5
学生	8	37.5	12.5	25.0	37.5	12.5	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無職	265	43.0	15.1	29.8	34.0	20.8	16.6	19.6	37.0	1.1	2.3	9.8	2.6

問20（1）仕事に対する女性の意欲が高まった（高まる）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	43.0	19.7	2.4	21.6	13.2
男　性	431	39.0	22.0	3.2	24.8	10.9
20歳代	39	38.5	17.9	2.6	38.5	2.6
30歳代	54	29.6	27.8	3.7	38.9	0.0
40歳代	59	39.0	30.5	5.1	23.7	1.7
50歳代	94	36.2	30.9	3.2	25.5	4.3
60歳代	95	42.1	17.9	4.2	21.1	14.7
70歳以上	89	44.9	9.0	1.1	14.6	30.3
女　性	575	45.7	18.4	1.7	19.5	14.6
20歳代	51	47.1	25.5	2.0	21.6	3.9
30歳代	98	50.0	25.5	3.1	21.4	0.0
40歳代	80	41.3	27.5	2.5	18.8	10.0
50歳代	122	47.5	23.0	1.6	21.3	6.6
60歳代	115	47.8	10.4	1.7	19.1	20.9
70歳以上	107	39.3	5.6	0.0	15.9	39.3

問20（2）女性の職域（仕事の範囲）が拡大した（する）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	43.9	22.8	1.2	17.6	14.6
男　性	431	47.3	22.5	1.4	18.6	10.2
20歳代	39	43.6	23.1	2.6	28.2	2.6
30歳代	54	44.4	27.8	0.0	27.8	0.0
40歳代	59	47.5	25.4	3.4	20.3	3.4
50歳代	94	53.2	28.7	0.0	14.9	3.2
60歳代	95	50.5	15.8	3.2	18.9	11.6
70歳以上	89	41.6	18.0	0.0	11.2	29.2
女　性	575	41.2	23.5	1.0	16.9	17.4
20歳代	51	51.0	27.5	2.0	17.6	2.0
30歳代	98	46.9	31.6	2.0	18.4	1.0
40歳代	80	43.8	33.8	1.3	12.5	8.8
50歳代	122	45.9	23.8	0.8	21.3	8.2
60歳代	115	33.9	20.9	0.0	18.3	27.0
70歳以上	107	31.8	8.4	0.9	12.1	46.7

020（3）管理職に登用される女性が増えた（増える）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	36.8	25.6	1.1	21.3	15.2
男　性	431	38.7	26.2	1.4	22.3	11.4
20歳代	39	25.6	28.2	2.6	41.0	2.6
30歳代	54	25.9	38.9	0.0	35.2	0.0
40歳代	59	44.1	28.8	3.4	18.6	5.1
50歳代	94	44.7	28.7	0.0	23.4	3.2
60歳代	95	38.9	23.2	3.2	21.1	13.7
70歳以上	89	42.7	16.9	0.0	9.0	31.5
女　性	575	35.5	25.2	0.9	20.7	17.7
20歳代	51	41.2	25.5	3.9	23.5	5.9
30歳代	98	34.7	36.7	2.0	25.5	1.0
40歳代	80	45.0	30.0	0.0	13.8	11.3
50歳代	122	38.5	25.4	0.0	26.2	9.8
60歳代	115	27.8	26.1	0.9	20.0	25.2
70歳以上	107	29.9	10.3	0.0	15.0	44.9

020（4）結婚・出産後も働き続ける女性が増えた（増える）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	57.5	15.8	1.7	12.4	12.6
男　性	431	57.1	17.4	1.4	14.4	9.7
20歳代	39	53.8	15.4	0.0	28.2	2.6
30歳代	54	53.7	20.4	5.6	20.4	0.0
40歳代	59	62.7	13.6	1.7	20.3	1.7
50歳代	94	66.0	21.3	1.1	9.6	2.1
60歳代	95	51.6	18.9	1.1	13.7	14.7
70歳以上	89	53.9	13.5	0.0	6.7	25.8
女　性	575	58.4	14.4	1.9	11.0	14.3
20歳代	51	58.8	21.6	2.0	17.6	0.0
30歳代	98	65.3	21.4	2.0	9.2	2.0
40歳代	80	57.5	21.3	6.3	7.5	7.5
50歳代	122	59.8	16.4	2.5	13.9	7.4
60歳代	115	62.6	7.8	0.0	11.3	18.3
70歳以上	107	45.8	4.7	0.0	8.4	41.1

020（5）男性が仕事をしやすくなった（なる）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	6.8	31.7	10.5	34.3	16.7
男　性	431	8.1	36.0	13.2	30.6	12.1
20歳代	39	7.7	35.9	12.8	41.0	2.6
30歳代	54	7.4	37.0	13.0	42.6	0.0
40歳代	59	6.8	47.5	13.6	28.8	3.4
50歳代	94	6.4	43.6	13.8	33.0	3.2
60歳代	95	6.3	36.8	18.9	22.1	15.8
70歳以上	89	13.5	18.0	6.7	27.0	34.8
女　性	575	5.7	29.0	8.3	37.2	19.7
20歳代	51	5.9	33.3	7.8	49.0	3.9
30歳代	98	5.1	32.7	14.3	46.9	1.0
40歳代	80	2.5	41.3	8.8	37.5	10.0
50歳代	122	7.4	32.0	9.8	40.2	10.7
60歳代	115	7.0	27.0	7.8	29.6	28.7
70歳以上	107	5.6	14.0	0.9	27.1	52.3

020（6）男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	23.1	36.6	2.5	22.3	15.5
男　性	431	23.2	37.4	2.8	25.3	11.4
20歳代	39	38.5	38.5	5.1	15.4	2.6
30歳代	54	20.4	46.3	3.7	29.6	0.0
40歳代	59	16.9	47.5	5.1	27.1	3.4
50歳代	94	26.6	40.4	0.0	28.7	4.3
60歳代	95	18.9	32.6	4.2	28.4	15.8
70歳以上	89	23.6	25.8	1.1	19.1	30.3
女　性	575	23.0	36.3	2.3	20.3	18.1
20歳代	51	23.5	45.1	3.9	25.5	2.0
30歳代	98	12.2	56.1	8.2	21.4	2.0
40歳代	80	20.0	51.3	1.3	17.5	10.0
50歳代	122	27.0	39.3	1.6	23.0	9.0
60歳代	115	27.8	27.8	0.0	17.4	27.0
70歳以上	107	24.3	9.3	0.0	18.7	47.7

問20（1）仕事に対する女性の意欲が高まった（高まる）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	43.0	19.7	2.4	21.6	13.2
男　性	431	39.0	22.0	3.2	24.8	10.9
自営・自由業	107	41.1	16.8	3.7	27.1	11.2
家族従事者	6	50.0	0.0	0.0	16.7	33.3
正規雇用	153	31.4	33.3	4.6	26.8	3.9
非正規雇用	45	46.7	22.2	2.2	20.0	8.9
学生	15	26.7	13.3	0.0	60.0	0.0
無職	91	45.1	13.2	2.2	18.7	20.9
女　性	575	45.7	18.4	1.7	19.5	14.6
自営・自由業	40	52.5	17.5	0.0	15.0	15.0
家族従事者	24	62.5	12.5	4.2	12.5	8.3
正規雇用	84	56.0	26.2	0.0	13.1	4.8
非正規雇用	132	43.9	24.2	3.8	18.9	9.1
学生	8	37.5	0.0	12.5	50.0	0.0
無職	265	42.6	14.7	1.1	21.5	20.0

問20（2）女性の職域（仕事の範囲）が拡大した（する）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	43.9	22.8	1.2	17.6	14.6
男　性	431	47.3	22.5	1.4	18.6	10.2
自営・自由業	107	46.7	21.5	0.9	19.6	11.2
家族従事者	6	33.3	16.7	0.0	33.3	16.7
正規雇用	153	47.7	29.4	2.6	16.3	3.9
非正規雇用	45	53.3	17.8	0.0	17.8	11.1
学生	15	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0
無職	91	46.2	15.4	1.1	18.7	18.7
女　性	575	41.2	23.5	1.0	16.9	17.4
自営・自由業	40	30.0	27.5	2.5	15.0	25.0
家族従事者	24	58.3	12.5	0.0	16.7	12.5
正規雇用	84	53.6	28.6	1.2	13.1	3.6
非正規雇用	132	42.4	31.1	2.3	15.9	8.3
学生	8	62.5	12.5	0.0	25.0	0.0
無職	265	37.7	19.2	0.4	18.5	24.2

020（3）管理職に登用される女性が増えた（増える）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	36.8	25.6	1.1	21.3	15.2
男　性	431	38.7	26.2	1.4	22.3	11.4
自営・自由業	107	41.1	24.3	1.9	22.4	10.3
家族従事者	6	50.0	33.3	0.0	0.0	16.7
正規雇用	153	37.3	36.6	0.7	20.9	4.6
非正規雇用	45	37.8	17.8	4.4	26.7	13.3
学生	15	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
無職	91	36.3	16.5	1.1	23.1	23.1
女　性	575	35.5	25.2	0.9	20.7	17.7
自営・自由業	40	42.5	12.5	0.0	17.5	27.5
家族従事者	24	45.8	25.0	0.0	20.8	8.3
正規雇用	84	44.0	31.0	2.4	17.9	4.8
非正規雇用	132	27.3	38.6	1.5	22.7	9.8
学生	8	62.5	12.5	0.0	25.0	0.0
無職	265	34.3	20.0	0.4	21.5	23.8

020（4）結婚・出産後も働き続ける女性が増えた（増える）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	57.5	15.8	1.7	12.4	12.6
男　性	431	57.1	17.4	1.4	14.4	9.7
自営・自由業	107	60.7	14.0	1.9	15.0	8.4
家族従事者	6	66.7	16.7	0.0	0.0	16.7
正規雇用	153	59.5	22.2	2.0	13.1	3.3
非正規雇用	45	55.6	15.6	0.0	13.3	15.6
学生	15	40.0	20.0	0.0	40.0	0.0
無職	91	52.7	15.4	1.1	14.3	16.5
女　性	575	58.4	14.4	1.9	11.0	14.3
自営・自由業	40	50.0	12.5	5.0	12.5	20.0
家族従事者	24	87.5	4.2	0.0	0.0	8.3
正規雇用	84	54.8	26.2	2.4	14.3	2.4
非正規雇用	132	64.4	15.9	2.3	11.4	6.1
学生	8	75.0	12.5	0.0	12.5	0.0
無職	265	56.6	11.7	1.5	10.2	20.0

020（5）男性が仕事をしやすくなった（なる）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	6.8	31.7	10.5	34.3	16.7
男　性	431	8.1	36.0	13.2	30.6	12.1
自営・自由業	107	6.5	31.8	18.7	31.8	11.2
家族従事者	6	33.3	0.0	0.0	50.0	16.7
正規雇用	153	8.5	45.1	11.1	30.7	4.6
非正規雇用	45	6.7	40.0	11.1	28.9	13.3
学生	15	13.3	26.7	6.7	53.3	0.0
無職	91	7.7	26.4	13.2	28.6	24.2
女　性	575	5.7	29.0	8.3	37.2	19.7
自営・自由業	40	5.0	27.5	10.0	27.5	30.0
家族従事者	24	8.3	33.3	12.5	33.3	12.5
正規雇用	84	6.0	32.1	9.5	47.6	4.8
非正規雇用	132	8.3	37.1	9.1	34.8	10.6
学生	8	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0
無職	265	4.9	25.3	6.4	36.6	26.8

020（6）男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）

	全体	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない	無回答
全　体	1023	23.1	36.6	2.5	22.3	15.5
男　性	431	23.2	37.4	2.8	25.3	11.4
自営・自由業	107	29.0	24.3	3.7	32.7	10.3
家族従事者	6	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7
正規雇用	153	15.7	52.9	3.3	23.5	4.6
非正規雇用	45	28.9	33.3	2.2	20.0	15.6
学生	15	40.0	33.3	0.0	26.7	0.0
無職	91	22.0	29.7	2.2	26.4	19.8
女　性	575	23.0	36.3	2.3	20.3	18.1
自営・自由業	40	30.0	25.0	0.0	17.5	27.5
家族従事者	24	37.5	33.3	0.0	16.7	12.5
正規雇用	84	23.8	41.7	6.0	25.0	3.6
非正規雇用	132	24.2	43.9	3.0	18.9	9.8
学生	8	12.5	25.0	0.0	62.5	0.0
無職	265	20.8	34.0	1.5	18.9	24.9

問21　男女共同参画法の認知

	全体	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	法律の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全　体	1023	3.0	15.8	28.8	49.9	2.4
男　性	431	4.9	19.0	30.4	43.6	2.1
20歳代	39	2.6	7.7	23.1	64.1	2.6
30歳代	54	1.9	9.3	14.8	74.1	0.0
40歳代	59	5.1	20.3	30.5	42.4	1.7
50歳代	94	5.3	25.5	30.9	37.2	1.1
60歳代	95	4.2	24.2	34.7	33.7	3.2
70歳以上	89	7.9	16.9	38.2	33.7	3.4
女　性	575	1.6	13.6	27.7	54.8	2.4
20歳代	51	0.0	9.8	25.5	60.8	3.9
30歳代	98	1.0	6.1	16.3	76.5	0.0
40歳代	80	3.8	15.0	25.0	55.0	1.3
50歳代	122	1.6	17.2	30.3	50.0	0.8
60歳代	115	1.7	13.9	34.8	46.1	3.5
70歳以上	107	0.9	16.8	30.8	46.7	4.7

	全体	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	法律の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全　体	1023	3.0	15.8	28.8	49.9	2.4
男　性	431	4.9	19.0	30.4	43.6	2.1
自営・自由業	107	1.9	20.6	31.8	42.1	3.7
家族従事者	6	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0
正規雇用	153	5.2	19.6	28.1	46.4	0.7
非正規雇用	45	6.7	11.1	35.6	42.2	4.4
学生	15	0.0	6.7	26.7	66.7	0.0
無職	91	7.7	18.7	30.8	40.7	2.2
女　性	575	1.6	13.6	27.7	54.8	2.4
自営・自由業	40	0.0	22.5	27.5	47.5	2.5
家族従事者	24	0.0	16.7	41.7	41.7	0.0
正規雇用	84	4.8	13.1	26.2	53.6	2.4
非正規雇用	132	0.0	16.7	20.5	60.6	2.3
学生	8	0.0	12.5	37.5	50.0	0.0
無職	265	1.5	11.7	31.3	53.2	2.3

問22　男女共同参画に期待すること

	全体	自分らしい生き方が自由に選択できる	自分の能力に見合った仕事をすることができる	性別による差別や不利益がなくなる	職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる	男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる	男女がともに参加することで地域活動や生涯学習が活発になる	男女が支え合うことで高齢化を安心して過ごせる	家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける	性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ	何も期待することはない	わからない	無回答
全　体	1023	23.4	27.8	33.2	21.7	41.2	15.3	23.5	20.7	17.7	5.3	7.6	2.1
男　性	431	24.8	28.1	36.0	17.6	44.8	18.8	19.7	13.2	16.9	7.9	6.3	2.3
20歳代	39	25.6	23.1	38.5	25.6	33.3	7.7	5.1	23.1	20.5	5.1	10.3	2.6
30歳代	54	33.3	16.7	29.6	13.0	53.7	16.7	13.0	16.7	22.2	13.0	3.7	1.9
40歳代	59	23.7	32.2	42.4	16.9	35.6	20.3	11.9	11.9	16.9	15.3	6.8	0.0
50歳代	94	33.0	33.0	40.4	19.1	50.0	18.1	12.8	9.6	13.8	4.3	7.4	1.1
60歳代	95	22.1	31.6	31.6	14.7	43.2	27.4	25.3	13.7	17.9	5.3	3.2	3.2
70歳以上	89	14.6	25.8	33.7	19.1	46.1	15.7	37.1	11.2	14.6	7.9	7.9	4.5
女　性	575	22.4	27.7	31.8	24.9	39.0	12.7	25.7	26.6	17.9	3.1	8.7	1.6
20歳代	51	31.4	25.5	51.0	29.4	33.3	5.9	7.8	45.1	17.6	3.9	5.9	0.0
30歳代	98	18.4	22.4	30.6	27.6	39.8	6.1	9.2	36.7	14.3	5.1	10.2	0.0
40歳代	80	25.0	31.3	38.8	26.3	41.3	8.8	16.3	23.8	27.5	2.5	5.0	1.3
50歳代	122	22.1	23.8	28.7	24.6	43.4	15.6	30.3	27.0	17.2	3.3	10.7	0.8
60歳代	115	21.7	32.2	29.6	25.2	44.3	16.5	33.0	21.7	15.7	3.5	5.2	1.7
70歳以上	107	21.5	29.9	25.2	18.7	29.0	16.8	43.0	15.9	17.8	0.9	13.1	4.7

	全体	自分らしい生き方が自由に選択できる	自分の能力に見合った仕事をすることができる	性別による差別や不利益がなくなる	職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる	男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる	男女がともに参加することで地域活動や生涯学習が活発になる	男女が支え合うことで高齢化を安心して過ごせる	家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける	性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ	何も期待することはない	わからない	無回答
全　体	1023	23.4	27.8	33.2	21.7	41.2	15.3	23.5	20.7	17.7	5.3	7.6	2.1
男　性	431	24.8	28.1	36.0	17.6	44.8	18.8	19.7	13.2	16.9	7.9	6.3	2.3
自営・自由業	107	26.2	28.0	32.7	13.1	45.8	20.6	21.5	9.3	17.8	12.1	6.5	0.9
家族従事者	6	16.7	16.7	66.7	33.3	50.0	16.7	50.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
正規雇用	153	24.8	27.5	37.9	19.6	45.8	19.0	12.4	14.4	15.7	9.2	5.2	1.3
非正規雇用	45	26.7	22.2	42.2	15.6	44.4	13.3	22.2	15.6	26.7	6.7	2.2	4.4
学生	15	33.3	33.3	33.3	6.7	40.0	6.7	0.0	33.3	26.7	0.0	20.0	0.0
無職	91	22.0	31.9	29.7	22.0	40.7	20.9	27.5	9.9	11.0	4.4	7.7	5.5
女　性	575	22.4	27.7	31.8	24.9	39.0	12.7	25.7	26.6	17.9	3.1	8.7	1.6
自営・自由業	40	27.5	37.5	25.0	12.5	60.0	10.0	45.0	32.5	20.0	0.0	0.0	2.5
家族従事者	24	12.5	29.2	29.2	16.7	33.3	20.8	29.2	16.7	20.8	4.2	8.3	4.2
正規雇用	84	20.2	21.4	48.8	36.9	39.3	6.0	10.7	34.5	13.1	3.6	7.1	0.0
非正規雇用	132	25.8	32.6	30.3	25.0	40.9	11.4	19.7	26.5	16.7	3.0	9.1	0.8
学生	8	37.5	37.5	62.5	25.0	12.5	0.0	0.0	62.5	25.0	0.0	0.0	0.0
無職	265	21.1	25.3	28.7	24.9	37.0	15.8	30.9	23.8	20.4	3.4	9.4	1.5

問23　「ウィングス京都」の利用経験

		全体	毎週1回以上利用している	月に1～3回程度利用している	年に数回利用している	今までに何回か利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らなかった	無回答
全　体		1023	0.3	1.0	1.1	13.0	43.4	39.3	2.0
男　性		431	0.0	0.0	1.4	10.2	40.8	45.7	1.9
	20歳代	39	0.0	0.0	2.6	7.7	41.0	48.7	0.0
	30歳代	54	0.0	0.0	0.0	9.3	40.7	46.3	3.7
	40歳代	59	0.0	0.0	0.0	13.6	35.6	50.8	0.0
	50歳代	94	0.0	0.0	4.3	11.7	48.9	33.0	2.1
	60歳代	95	0.0	0.0	0.0	10.5	41.1	46.3	2.1
	70歳以上	89	0.0	0.0	1.1	7.9	36.0	52.8	2.2
女　性		575	0.3	1.7	0.9	15.3	45.9	34.3	1.6
	20歳代	51	2.0	3.9	0.0	7.8	51.0	35.3	0.0
	30歳代	98	0.0	1.0	1.0	16.3	44.9	36.7	0.0
	40歳代	80	0.0	1.3	2.5	21.3	52.5	22.5	0.0
	50歳代	122	0.0	0.8	0.0	16.4	46.7	36.1	0.0
	60歳代	115	0.9	3.5	1.7	13.9	46.1	31.3	2.6
	70歳以上	107	0.0	0.9	0.0	14.0	37.4	42.1	5.6

		全体	毎週1回以上利用している	月に1～3回程度利用している	年に数回利用している	今までに何回か利用したことがある	知っているが利用したことはない	知らなかった	無回答
全　体		1023	0.3	1.0	1.1	13.0	43.4	39.3	2.0
男　性		431	0.0	0.0	1.4	10.2	40.8	45.7	1.9
	自営・自由業	107	0.0	0.0	1.9	11.2	43.9	40.2	2.8
	家族従事者	6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	正規雇用	153	0.0	0.0	0.7	11.8	39.2	46.4	2.0
	非正規雇用	45	0.0	0.0	2.2	4.4	44.4	48.9	0.0
	学生	15	0.0	0.0	6.7	20.0	26.7	46.7	0.0
	無職	91	0.0	0.0	1.1	9.9	35.2	51.6	2.2
女　性		575	0.3	1.7	0.9	15.3	45.9	34.3	1.6
	自営・自由業	40	0.0	5.0	2.5	20.0	37.5	32.5	2.5
	家族従事者	24	0.0	4.2	4.2	25.0	45.8	20.8	0.0
	正規雇用	84	0.0	0.0	1.2	23.8	44.0	31.0	0.0
	非正規雇用	132	0.8	1.5	1.5	13.6	50.8	31.1	0.8
	学生	8	0.0	12.5	0.0	12.5	37.5	37.5	0.0
	無職	265	0.4	1.5	0.0	12.5	47.5	36.6	1.5

問24　「ウィングス京都」で今後充実して欲しい事業

		全体	男女共同参画について学ぶ「市民向け講座」	女性学や法律・労働講座をはじめとする「学習・研修」	図書、ビデオ、インターネットなどによる「情報提供」	職業訓練や職業情報の提供などの「就業支援」	男女共同参画に関する「調査・研究」	男女共同参画社会について考える「啓発情報誌の発行」	DVはじめ女性の様々な悩みについての「相談」	自主的な活動等をおこなっている「市民グループに対する支援」	男性の家事能力を高める講座など「男性に対する啓発・研究」	「こころとからだの健康づくり」を進める運動実技やセミナー	会議室、イベントホール、スポーツルームなどの「施設の貸出し」	他の女性センターなど「関係機関との連携・ネットワーク」
全　体		1023	18.7	14.4	14.0	27.3	5.7	6.3	18.3	10.3	12.4	23.3	15.4	2.5
男　性		431	21.6	9.0	13.9	22.5	8.6	8.8	16.2	11.8	13.5	17.4	16.0	1.9
	20歳代	39	17.9	7.7	15.4	20.5	17.9	7.7	33.3	10.3	17.9	10.3	30.8	2.6
	30歳代	54	22.2	7.4	18.5	18.5	11.1	5.6	20.4	9.3	16.7	18.5	14.8	1.9
	40歳代	59	18.6	10.2	8.5	23.7	6.8	5.1	28.8	13.6	11.9	18.6	27.1	3.4
	50歳代	94	17.0	14.9	16.0	30.9	8.5	10.6	16.0	14.9	10.6	10.6	17.0	0.0
	60歳代	95	28.4	7.4	17.9	22.1	5.3	9.5	9.5	10.5	17.9	24.2	12.6	4.2
	70歳以上	89	21.3	5.6	7.9	16.9	7.9	10.1	5.6	11.2	9.0	19.1	4.5	0.0
女　性		575	16.5	18.4	14.1	30.8	3.5	4.3	19.8	9.2	12.0	27.5	15.3	3.1
	20歳代	51	5.9	19.6	29.4	37.3	3.9	2.0	41.2	7.8	21.6	9.8	25.5	2.0
	30歳代	98	8.2	24.5	18.4	42.9	2.0	3.1	26.5	6.1	8.2	20.4	18.4	2.0
	40歳代	80	13.8	30.0	15.0	45.0	5.0	3.8	25.0	8.8	10.0	18.8	22.5	5.0
	50歳代	122	24.6	22.1	13.9	31.1	4.1	2.5	15.6	10.7	16.4	34.4	11.5	2.5
	60歳代	115	17.4	9.6	12.2	20.0	5.2	5.2	14.8	10.4	8.7	40.0	15.7	1.7
	70歳以上	107	21.5	9.3	4.7	16.8	0.9	8.4	9.3	10.3	11.2	27.1	6.5	5.6

		全体	その他	特にない	わからない	無回答
全　体		1023	1.7	12.0	13.6	4.5
男　性		431	1.6	16.5	14.2	4.4
	20歳代	39	5.1	7.7	10.3	0.0
	30歳代	54	0.0	16.7	13.0	7.4
	40歳代	59	1.7	13.6	15.3	1.7
	50歳代	94	1.1	13.8	16.0	2.1
	60歳代	95	0.0	21.1	8.4	4.2
	70歳以上	89	3.4	20.2	20.2	9.0
女　性		575	1.7	8.5	13.4	4.2
	20歳代	51	3.9	5.9	13.7	0.0
	30歳代	98	6.1	5.1	9.2	1.0
	40歳代	80	1.3	7.5	8.8	1.3
	50歳代	122	0.8	11.5	10.7	0.8
	60歳代	115	0.0	8.7	11.3	8.7
	70歳以上	107	0.0	10.3	25.2	10.3

問24　「ウィングス京都」で今後充実して欲しい事業

		全体	男女共同参画について学ぶ「市民向け講座」	女性学や法律・労働講座をはじめとする「学習・研修」	図書、ビデオ、インターネットなどによる「情報提供」	職業訓練や職業情報の提供などの「就業支援」	男女共同参画に関する「調査・研究」	男女共同参画社会について考える「啓発情報誌の発行」	DVはじめ女性の様々な悩みについての「相談」	自主的な活動等をおこなっている「市民グループに対する支援」	男性の家事能力を高める講座など「男性に対する啓発・研究」	「こころとからだの健康づくり」を進める運動実技やセミナー	会議室、イベントホール、スポーツルームなどの「施設の貸出し」	他の女性センターなど「関係機関との連携・ネットワーク」
全　体		1023	18.7	14.4	14.0	27.3	5.7	6.3	18.3	10.3	12.4	23.3	15.4	2.5
男　性		431	21.6	9.0	13.9	22.5	8.6	8.8	16.2	11.8	13.5	17.4	16.0	1.9
	自営・自由業	107	18.7	9.3	10.3	17.8	3.7	5.6	13.1	10.3	16.8	18.7	19.6	1.9
	家族従事者	6	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0
	正規雇用	153	20.9	10.5	12.4	24.8	11.1	9.2	20.9	11.8	12.4	14.4	18.3	2.0
	非正規雇用	45	24.4	6.7	17.8	20.0	6.7	6.7	13.3	20.0	17.8	22.2	17.8	4.4
	学生	15	13.3	20.0	13.3	13.3	33.3	13.3	20.0	6.7	13.3	0.0	26.7	0.0
	無職	91	27.5	6.6	17.6	26.4	7.7	13.2	12.1	11.0	9.9	19.8	5.5	1.1
女　性		575	16.5	18.4	14.1	30.8	3.5	4.3	19.8	9.2	12.0	27.5	15.3	3.1
	自営・自由業	40	15.0	12.5	12.5	22.5	7.5	5.0	17.5	5.0	2.5	27.5	20.0	5.0
	家族従事者	24	20.8	12.5	20.8	25.0	0.0	4.2	25.0	20.8	4.2	25.0	20.8	0.0
	正規雇用	84	11.9	25.0	19.0	34.5	7.1	3.6	28.6	6.0	15.5	25.0	20.2	3.6
	非正規雇用	132	9.8	22.0	13.6	49.2	4.5	5.3	22.0	6.8	15.2	23.5	18.9	3.8
	学生	8	0.0	12.5	12.5	12.5	0.0	0.0	25.0	12.5	25.0	0.0	37.5	0.0
	無職	265	21.1	16.2	12.5	23.4	1.9	4.2	16.2	10.6	10.6	31.7	10.6	3.0

		全体	その他	特にない	わからない	無回答
全　体		1023	1.7	12.0	13.6	4.5
男　性		431	1.6	16.5	14.2	4.4
	自営・自由業	107	0.0	17.8	16.8	6.5
	家族従事者	6	0.0	16.7	0.0	0.0
	正規雇用	153	2.6	17.6	10.5	3.3
	非正規雇用	45	0.0	11.1	15.6	4.4
	学生	15	6.7	13.3	6.7	0.0
	無職	91	2.2	14.3	17.0	4.0
女　性		575	1.7	8.5	13.4	4.2
	自営・自由業	40	0.0	12.5	17.5	5.0
	家族従事者	24	0.0	8.3	12.5	4.2
	正規雇用	84	3.6	7.1	7.1	1.2
	非正規雇用	132	1.5	6.1	6.8	2.3
	学生	8	0.0	12.5	25.0	0.0
	無職	265	1.9	9.1	17.7	5.7

問25　京都市男女共同参画推進条例の認知

		全体	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	条例の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全　体		1023	1.5	8.0	20.2	67.5	2.7
男　性		431	1.9	10.4	20.2	65.4	2.1
	20歳代	39	0.0	2.6	5.1	92.3	0.0
	30歳代	54	1.9	7.4	1.9	85.2	3.7
	40歳代	59	1.7	13.6	13.6	71.2	0.0
	50歳代	94	3.2	9.6	25.5	59.6	2.1
	60歳代	95	2.1	11.6	29.5	54.7	2.1
	70歳以上	89	1.1	13.5	27.0	55.1	3.4
女　性		575	1.2	6.3	20.5	69.2	2.8
	20歳代	51	2.0	0.0	13.7	84.3	0.0
	30歳代	98	0.0	1.0	9.2	89.8	0.0
	40歳代	80	1.3	6.3	26.3	65.0	1.3
	50歳代	122	0.8	7.4	19.7	72.1	0.0
	60歳代	115	1.7	10.4	25.2	59.1	3.5
	70歳以上	107	1.9	8.4	25.2	54.2	10.3

		全体	内容をよく知っている	少しは内容を知っている	条例の名前を聞いたことがある	知らない	無回答
全　体		1023	1.5	8.0	20.2	67.5	2.7
男　性		431	1.9	10.4	20.2	65.4	2.1
	自営・自由業	107	1.9	8.4	26.2	60.7	2.8
	家族従事者	6	0.0	33.3	50.0	16.7	0.0
	正規雇用	153	2.0	11.8	16.3	67.3	2.6
	非正規雇用	45	4.4	4.4	22.2	68.9	0.0
	学生	15	0.0	0.0	6.7	93.3	0.0
	無職	91	1.1	11.0	20.9	64.8	2.2
女　性		575	1.2	6.3	20.5	69.2	2.8
	自営・自由業	40	2.5	7.5	10.0	72.5	7.5
	家族従事者	24	0.0	12.5	25.0	62.5	0.0
	正規雇用	84	1.2	8.3	23.8	66.7	0.0
	非正規雇用	132	0.0	5.3	17.4	75.8	1.5
	学生	8	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無職	265	1.5	6.0	23.4	66.0	3.0

問26　男女共同参画社会の実現に向けて京都市の取組に対する意見　女性

	全体	生涯を通じた「女性の健康対策」を進める	学校などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実	女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める	企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける	企業の「積極的な取組を促進する仕組み」をつくる	政策等の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす	「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する	「女性の意識や能力を高める学習・研修」の機会を増やす	日常生活に男性の参画が進むよう「男性に対して啓発」する	NPOや市民グループなど「市民との連携」を強める	その他
全体	1023	14.0	28.3	21.6	32.9	8.2	15.1	47.7	15.9	11.7	6.4	1.1
男性	431	8.6	30.9	22.5	31.8	11.4	16.9	38.7	13.5	12.3	7.2	1.4
20歳代	39	5.1	25.6	35.9	33.3	17.9	15.4	43.6	12.8	12.8	7.7	2.6
30歳代	54	5.6	25.9	25.9	35.2	9.3	11.1	44.4	14.8	13.0	5.6	0.0
40歳代	59	5.1	28.8	30.5	25.4	15.3	23.7	39.0	11.9	8.5	8.5	0.0
50歳代	94	9.6	26.6	22.3	29.8	16.0	16.0	46.8	16.0	12.8	7.4	2.1
60歳代	95	6.3	38.9	15.8	34.7	8.4	21.1	29.5	12.6	16.8	7.4	1.1
70歳以上	89	15.7	33.7	15.7	32.6	5.6	13.5	34.8	12.4	7.9	6.7	2.2
女性	575	18.1	27.0	20.7	33.7	5.7	13.9	55.3	17.7	11.3	5.6	0.9
20歳代	51	11.8	29.4	19.6	29.4	13.7	9.8	60.8	17.6	21.6	7.8	0.0
30歳代	98	15.3	21.4	24.5	35.7	9.2	11.2	68.4	12.2	11.2	2.0	1.0
40歳代	80	8.8	33.8	23.8	37.5	7.5	13.8	58.8	23.8	15.0	1.3	1.3
50歳代	122	21.3	32.8	18.9	40.2	4.9	18.0	51.6	15.6	9.8	9.8	1.6
60歳代	115	23.5	21.7	20.9	36.5	0.9	13.0	53.9	17.4	12.2	6.1	0.0
70歳以上	107	21.5	24.3	17.8	20.6	3.7	15.0	43.0	21.5	4.7	5.6	0.9

	全体	特にない	わからない	無回答
全体	1023	6.9	8.7	2.9
男性	431	11.1	8.8	2.6
20歳代	39	5.1	7.7	0.0
30歳代	54	11.1	9.3	3.7
40歳代	59	10.2	11.9	0.0
50歳代	94	6.4	9.6	1.1
60歳代	95	15.8	3.2	4.2
70歳以上	89	14.6	12.4	4.5
女性	575	3.8	8.7	2.8
20歳代	51	2.0	9.8	0.0
30歳代	98	0.0	6.1	1.0
40歳代	80	5.0	6.3	1.3
50歳代	122	3.3	10.7	0.0
60歳代	115	5.2	5.2	4.3
70歳以上	107	6.5	14.0	8.4

	全体	生涯を通じた「女性の健康対策」を進める	学校などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実	女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める	企業等に「雇用機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける	企業の「積極的な取組を促進する仕組み」をつくる	政策等の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす	「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する	「女性の意識や能力を高める学習・研修」の機会を増やす	日常生活に男性の参画が進むよう「男性に対して啓発」する	NPOや市民グループなど「市民との連携」を強める	その他
全体	1023	14.0	28.3	21.6	32.9	8.2	15.1	47.7	15.9	11.7	6.4	1.1
男性	431	8.6	30.9	22.5	31.8	11.4	16.9	38.7	13.5	12.3	7.2	1.4
自営・自由業	107	12.1	28.0	21.5	22.4	9.3	13.1	40.2	10.3	12.1	3.7	0.9
家族従事者	6	16.7	66.7	16.7	66.7	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	33.3	0.0
正規雇用	153	5.9	26.1	23.5	32.7	15.0	17.6	40.5	13.7	11.1	5.2	1.3
非正規雇用	45	4.4	35.6	31.1	37.8	6.7	13.3	35.6	20.0	15.6	17.8	0.0
学生	15	6.7	26.7	13.3	40.0	33.3	6.7	53.3	0.0	20.0	6.7	6.7
無職	91	9.9	37.4	17.6	35.2	8.8	24.2	36.3	14.3	12.1	6.6	2.2
女性	575	18.1	27.0	20.7	33.7	5.7	13.9	55.3	17.7	11.3	5.6	0.9
自営・自由業	40	32.5	25.0	27.5	25.0	7.5	17.5	42.5	22.5	5.0	2.5	0.0
家族従事者	24	16.7	37.5	25.0	16.7	4.2	16.7	45.8	20.8	8.3	20.8	0.0
正規雇用	84	13.1	26.2	23.8	48.8	13.1	13.1	53.6	13.1	14.3	2.4	1.2
非正規雇用	132	15.9	27.3	18.2	38.6	6.1	11.4	62.9	21.2	13.6	5.3	0.0
学生	8	0.0	25.0	25.0	37.5	0.0	0.0	37.5	0.0	12.5	12.5	0.0
無職	265	19.6	26.8	19.6	30.6	3.8	15.5	55.5	16.6	10.6	6.0	1.5

	全体	特にない	わからない	無回答
全体	1023	6.9	8.7	2.9
男性	431	11.1	8.8	2.6
自営・自由業	107	18.7	7.5	3.7
家族従事者	6	0.0	0.0	0.0
正規雇用	153	10.5	9.2	2.0
非正規雇用	45	4.4	4.4	4.4
学生	15	6.7	6.7	0.0
無職	91	9.9	11.0	2.2
女性	575	3.8	8.7	2.8
自営・自由業	40	5.0	5.0	5.0
家族従事者	24	0.0	12.5	4.2
正規雇用	84	2.4	6.0	0.0
非正規雇用	132	0.8	6.8	3.8
学生	8	12.5	12.5	0.0
無職	265	5.7	9.4	2.6

Ⅰ　あなたの家庭生活や地域活動について、おうかがいします。

問１　あなたのご家庭では、次のことがらは主にどなたが担当又は決定されていますか。【1つに○】

※配偶者は、あなたの夫または妻、あるいはそれに相当する人を含めるものとします。
※ひとり暮らしで、自分ですべて行っている場合は「自分」としてください。

	自分	7～8割が自分	自分と配偶者が同じくらい	7～8割が配偶者	配偶者	その他の家族（親や子など）
▼食事						
（1）食事のしたく	1	2	3	4	5	6
（2）食事のあとかたづけ	1	2	3	4	5	6
▼家庭の管理と運営						
（1）食料品や日用品の買い物	1	2	3	4	5	6
（2）そうじ	1	2	3	4	5	6
（3）洗濯	1	2	3	4	5	6
（4）ごみ出し	1	2	3	4	5	6
（5）高額な家財道具の購入	1	2	3	4	5	6
（6）住宅の購入	1	2	3	4	5	6
（7）預貯金等の資産の運用	1	2	3	4	5	6
▼子どもと高齢者（子どもや介護の必要な高齢者がおられる場合のみお答えください）						
（1）育児（乳幼児の世話）	1	2	3	4	5	6
（2）子どもの日常的なしつけ	1	2	3	4	5	6
（3）子どもの教育方針（進学など）	1	2	3	4	5	6
（4）高齢者の介護	1	2	3	4	5	6

問２　問１でお答えいただいたことがらのうち、特に、あなたにとって負担であり、家族などの協力や手助けが必要と感じているものはどれですか。【３つまでに○】

1　食事のしたく	7　育児（乳幼児の世話）
2　食事のあとかたづけ	8　子どもの日常的なしつけ
3　食料品や日用品の買物	9　高齢者の介護
4　そうじ	10　特に必要ない
5　洗濯	11　やっていないのでわからない
6　ごみ出し	

問３　あなたは、ここ５～６年の間に、「自治会や町内会などの地域活動」に参加しましたか。【1つに○】

1　役員や世話役を引き受けた（引き受けている）
2　行事（運動会、お祭り、清掃活動など）には参加した
3　参加したことはない　→問５へ
4　自治会や町内会などの組織がない　→問６へ

≪問３で１～２を選ばれた方におうかがいします。≫

問４　あなたが参加した「自治会や町内会などの地域活動」では、次のようなことがありましたか。【３つまでに○】

1　行事などの企画は主に男性が決定している
2　代表者は男性から選ばれる慣例がある
3　だれもが自由に発言できる雰囲気にない
4　女性は責任のある役を引き受けたがらない
5　お茶入れや食事の準備などは女性が担当することになっている
6　会議などにおいて女性は発言しにくい雰囲気がある
7　女性の活動があまり評価されていない
8　名簿上は男性が会員になっているが実際は女性（配偶者）が活動している
9　つきあいで仕方なく参加している人が多い
10　若い人や新規の参加者が少ない
11　その他（具体的に：　　）
12　特に上記のようなことはない
13　わからない

次は、*問6*へお進みください。

≪問３で３を選ばれた方におうかがいします。≫

問５　あなたが「自治会や町内会などの地域活動」に参加されていない理由に近いものはどれですか。

【３つまでに○】

1　仕事が忙しいから
2　家事・育児などで暇がないから
3　健康状態がおもわしくないから
4　人間関係がわずらわしいから
5　自分の意見や地域のニーズが反映されないから
6　意見の反映面において男女が平等に扱われていないから
7　活動の情報が得られないから
8　参加するきっかけがないから
9　自分以外の家族が参加しており必要がないから
10　あまり関心がないから
11　その他（具体的に：　　）

≪すべての方におうかがいします。≫

問６　あなたは、自治会や町内会以外でどのような活動に参加したことがありますか。また、今後参加してみたい活動は何ですか。【１つに○】

	①参加したことがある	②今後参加してみたい	①と②のいずれでもない
（1）ＰＴＡや子ども会などの活動	1	2	3
（2）地域における趣味・スポーツ・学習などの活動	1	2	3
（3）ＮＰＯ（非営利団体）やボランティア等の活動	1	2	3
（4）民生委員など公的な立場での活動	1	2	3

Ⅱ　あなたの仕事について、おうかがいします。

問７　現在のあなたの職業はどれにあたりますか。【1つに○】

自営・自由業など

1　農林漁業者
2　商業・工業・サービス業などの自営業主
3　自由業（開業医、芸術家、宗教家、弁護士など）
4　上記１～３の家族従事者

会社・組織などに雇用されている方など

5　正社員・正職員
6　パート・アルバイト・契約社員
7　派遣社員
8　内職・在宅就業
9　その他（具体的に：　　）

無職・学生の方

10　専業主婦・専業主夫（収入を得る仕事をしていない方）
11　学生（専門学校生、大学生など）　→問11　へ
12　その他の無職（年金生活者、失業中の方など）

≪問７で１～９を選ばれた方におうかがいします。≫

→問８　あなたは平均すると週に何時間ぐらい働いていますか。（残業時間は含みますが、休憩時間は除きます。）また、日数では週に何日働いていますか。（１日１時間でも働いていれば、１日と数えてお答えください。）

週に［　　］時間　　週に［　　］日

次は、問９及び問10へお進みください。

≪問７で１～９を選ばれた方におうかがいします。≫

問９　あなたの昨年１年間の収入（税込み）は、おおよそいくらでしたか。【1つに○】

1　自分名義の収入はない	6　４００万円～５００万円未満
2　１０３万円未満	7　５００万円～７００万円未満
3　１０３万円～２００万円未満	8　７００万円～１，０００万円未満
4　２００万円～３００万円未満	9　１，０００万円以上
5　３００万円～４００万円未満	10　働いていなかったので収入はない

≪問７で１～９を選ばれた方におうかがいします。≫

問10　あなたは、現在の仕事に不満や悩みがあるとしたら、それはどのようなことですか。

【あてはまるものすべてに○】

1　収入が少ない
2　労働時間が長い
3　休暇が取りにくい
4　自分の能力が正当に評価されていない
5　昇進や昇給等で性別による差別的な取扱いがある
6　責任ある仕事をさせてもらえない
7　研修や教育訓練を受ける機会が少ない
8　職場の人間関係がむずかしい
9　職場内に仕事の悩みを聞いてくれるところがない
10　仕事の量や責任が重くなっている
11　先行きに不安（リストラや倒産）がある
12　仕事の後継者がいない
13　仕事と自分の生活との区別がない
14　家庭生活（子育てなど）とうまく両立できない
15　育児休業や短時間勤務等の制度が整備（又は活用）されていない
16　セクシュアル・ハラスメントがある
17　その他（具体的に：　　）
18　特に不満や悩みはない

次は、*問14*へお進みください。

≪問７で10～12を選ばれた方におうかがいします。≫

問11　あなたは、今後、収入を得る仕事につきたいと思いますか。【1つに○】

1　ぜひ、仕事につきたいと思う
2　できれば、仕事につきたいと思う
3　仕事につきたいと思わない
4　わからない

→問 14 へ

≪問11で1～2を選ばれた方におうかがいします。≫

→問12　あなたは、今後、仕事に就くとしたら、どのような働き方を希望しますか。【1つに○】

1　正社員・正職員として働きたい
2　パート・アルバイト・契約社員として働きたい
3　派遣社員として働きたい
4　内職や在宅就業の仕事をしたい
5　自分で事業をしたい
6　その他（具体的に：　　）
7　わからない

≪問11で1～2を選ばれた方におうかがいします。≫

→問13　あなたは、今後、仕事に就くうえで、何かお困りのことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

1　給料・賃金が自分の希望と合わないこと
2　勤務時間や雇用形態が自分の希望と合わないこと
3　自分の資格、能力、適性などにあった仕事の募集・採用が少ない（ない）こと
4　求人募集で年齢や資格などの制限があること
5　自分の能力や健康に不安があること
6　仕事を始めるための資金が不足していること
7　就職に関する情報が得にくいこと
8　賃金や待遇面で男女平等に扱ってくれる仕事が少ないこと
9　介護や看護の必要な家族がいること
10　仕事をするにあたって家族の理解や協力が得られないこと
11　子どもの面倒をみてくれる場（保育所など）や人がないこと
12　その他（具体的に：　　）
13　特に困っていることはない

次は、問 14 へお進みください。

Ⅲ　男女共同参画に関わる社会の動きなどについて、おうかがいします。

問14　あなたは、男女共同参画※1を推進していくことに賛成ですか、反対ですか。【１つに○】

1　賛成	3　どちらかといえば反対	5　わからない
2　どちらかといえば賛成	4　反対	

問15　あなたは、次のそれぞれの分野について、男女は平等になっていると思いますか。【１つに○】

	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
（1）学校教育では	1	2	3	4	5	6
（2）雇用の機会（募集・採用）では	1	2	3	4	5	6
（3）賃金や昇進では	1	2	3	4	5	6
（4）家庭生活では	1	2	3	4	5	6
（5）社会の慣習やしきたりでは	1	2	3	4	5	6
（6）法律や制度のうえでは	1	2	3	4	5	6
（7）政治・経済活動への参加では	1	2	3	4	5	6

問16　あなたは、「男は仕事、女は家事・育児」という考え方についてどう思いますか。【１つに○】

1　賛成	3　どちらかといえば反対
2　どちらかといえば賛成	4　反対

※１　男女共同参画社会……男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を負うべき社会のことで、京都市ではその実現に向けて取り組んでいます。

問17　あなたは、子どもにどのような能力等を身につけさせたいと思いますか。「男子」、「女子」それぞれの場合について、あてはまる番号に○をつけてください。子どもがいない方も、子どもがいると仮定してお答えください。【それぞれ３つまでに○】

	礼儀作法	家事能力	職業能力	リーダーシップ	協調性	実行力	たくましさ	やさしさ	国際感覚	おもいやり	自立心	忍耐力	男女平等意識	その他	わからない
男　子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
女　子	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

問18　次のうち、あなたが「女性の人権が尊重されていない」ことだと思うものはどれですか。【あてはまるものすべてに○】

1　買春・売春、援助交際
2　風俗産業
3　ストーカー（つきまとい）行為
4　痴漢行為や強制わいせつ等の性犯罪
5　夫婦や恋人等のパートナー間での暴力（ドメスティック・バイオレンス）
6　職場などにおけるセクシュアル・ハラスメント
7　募集・採用や昇進・昇給等における性別による差別的な取扱い
8　女性のヌードや水着姿の写真を掲載又は使用した雑誌や広告
9　インターネット上のアダルト向けホームページ
10　女性の容ぼうを競うミス・コンテスト
11　「女流○○」、「○○女史」のように女性にだけ用いられる言葉
12　伝統行事や文化の中で女性を受け入れないものがあること
13　その他（具体的に：　　）
14　特にない
15　わからない

問19　議員や審議会委員などに占める女性の割合は、全国的にみても、依然として低いのが現状です。あなたは、今後、こうした政策・方針を決定する場に男女が平等に参画していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。【3つまでに○】

1　男女の意見を等しく政策・方針に反映していくことの大切さを広く啓発する
2　審議会などの女性委員の目標比率を設定し、それを達成する
3　家庭・地域・職場など日常的な場での男性優位の意識や実態を解消する
4　家事や子育てなど家庭内での責任を男女がバランスよく分かちあう
5　女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる
6　男性が男女共同参画について学ぶ講座等の学習機会を充実させる
7　女性の活動を支援するネットワークづくりを促進する
8　女性みずからが政策・方針を決定する場に参画することに関心や積極性を持つ
9　その他（具体的に：　　）
10　特別な取組は必要ない
11　わからない

問20　これまでに「男女雇用機会均等法※2」、「労働基準法※3」、「育児・介護休業法※4」などの改正が行われてきました。また、2003年（平成15年）7月には「次世代育成支援対策推進法※5」が公布・施行されています。

あなたは、このような制度改正等が企業などの雇用の分野にどのような影響を与えた（与える）と思いますか。【1つに○】　※2～5の項目の説明については別紙を参照してください。

※現在、企業などで働いている方は、あなた自身の職場についてお答えください。	そう思う	そう思わない	むしろ逆だと思う	わからない
（1）仕事に対する女性の意欲が高まった（高まる）	1	2	3	4
（2）女性の職域（仕事の範囲）が拡大した（する）	1	2	3	4
（3）管理職に登用される女性が増えた（増える）	1	2	3	4
（4）結婚・出産後も働き続ける女性が増えた（増える）	1	2	3	4
（5）男性が仕事をしやすくなった（なる）	1	2	3	4
（6）男性の育児や介護への参画が進んだ（進む）	1	2	3	4

問21　男女共同参画社会※6の形成を総合的・計画的に推進することを目的として、1999年 (平成11年) 6月に「男女共同参画社会基本法※7」が施行されましたが、あなたは、この法律のことを知っていますか。【1つに○】

1　内容をよく知っている
2　少しは内容を知っている
3　法律の名前を聞いたことがある
4　知らない

問22　あなたが「男女共同参画社会」に期待することは何ですか。【3つまでに○】

1　自分らしい生き方が自由に選択できる
2　自分の能力に見合った仕事をすることができる
3　性別による差別や不利益がなくなる
4　職場における賃金や待遇面での男女格差がなくなる
5　男女が互いに理解し、尊重しあう関係になる
6　男女がともに参加することで地域活動や生涯学習活動が活発になる
7　男女が支え合うことで高齢期を安心して過ごせる
8　家事や子育てなどを男女で分かちあう家庭が築ける
9　性別にとらわれず子どもが個性豊かに育つ
10　何も期待することはない
11　わからない

※6　**男女共同参画社会**（再掲）……男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を負うべき社会のことで、京都市ではその実現に向けて取り組んでいます。

※7　**男女共同参画社会基本法**……男女共同参画社会を実現していくために、「男女の人権の尊重」など５つの基本理念を掲げ、国・地方公共団体・国民のそれぞれの役割を定めています。

Ⅳ　京都市の取組について、おうかがいします。

問 23　京都市では、女性の自立と社会参画を支援する施設として、1994 年 (平成 6 年) 4 月に女性総合センター「ウィングス京都」（中京区東洞院六角下る）を開設しました。

あなたは、これまで「ウィングス京都」を利用したことがありますか。【1 つに○】

1　毎週１回以上利用している
2　月に１～３回程度利用している
3　年に数回利用している
4　今まで何回か利用したことがある
5　知っているが利用したことはない
6　知らなかった

問 24　「ウィングス京都」では、次のような事業をおこなっています。このうち、あなたが今後充実してほしいと思うものはどれですか。【３つまでに○】

1　男女共同参画について学ぶ**「市民向け講座」**
2　女性学や法律・労働講座をはじめとする**「学習・研修」**
3　図書、ビデオ、インターネットなどによる**「情報提供」**
4　職業訓練や職業情報の提供などの**「就業支援」**
5　男女共同参画に関する**「調査・研究」**
6　男女共同参画社会について考える**「啓発情報誌の発行」**
7　ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）はじめ女性の様々な悩みについての**「相談」**
8　自主的な活動や研究をおこなっている**「市民グループに対する支援」**
9　男性の家事能力を高める講座など**「男性に対する啓発・研修」**
10　**「こころとからだの健康づくり」**を進める運動実技やセミナー
11　会議室、イベントホール、スポーツルームなどの**「施設の貸出し」**
12　他の女性センターなど**「関係機関との連携・ネットワーク」**
13　その他（具体的に：　　）
14　特にない
15　わからない

問25　京都市における男女共同参画を総合的かつ計画的に推進することを目的として、2003年(平成15年)12月に「京都市男女共同参画推進条例※8」が制定されましたが、あなたは、この条例のことを知っていますか。【1つに○】

1　内容をよく知っている	3　条例の名前を聞いたことがある
2　少しは内容を知っている	4　知らない

問26　あなたは、「男女共同参画社会」の実現に向けて、京都市は今後どのようなことに力をいれて取り組むべきだと思いますか。【３つまでに○】

1　生涯を通じた「女性の健康対策」を進める
2　学校や生涯学習施設などで「男女共同参画の理解を深める教育・学習」を充実する
3　女性に対する差別や暴力など「女性の人権侵害への対策」を進める
4　企業や事業主に「雇用の機会や条件の男女格差を解消」するよう働きかける
5　企業の「積極的な取組を促進する仕組み（顕彰制度など）」をつくる
6　政策・方針の決定にかかわる場への「女性の積極的な登用」をうながす
7　「子育てや介護を社会的に支援」する施設・サービスを充実する
8　「女性の意識や能力を高める学習・研修」の機会を増やす
9　家庭や地域など日常生活に男性の参画が進むよう「男性に対して啓発」する
10　ＮＰＯ（民間非営利団体）や市民グループなど「市民との連携」を強める
11　その他（具体的に：　　）
12　特にない
13　わからない

※8　**京都市男女共同参画推進条例**（2003年（平成15年）12月施行）……長い歴史と伝統に育まれた京都の特性を生かし、市民や事業者の方と力を合わせて男女共同参画を総合的かつ計画的に推進するため、京都市が国の「男女共同参画社会基本法」を踏まえ制定したものです。「個人の尊重」、「安心して継続できる職業生活」、「家庭生活における活動と他の活動の両立」、「性の理解・尊重」、「政策等の立案や決定への共同参画」、「国際的協調」の6つの基本理念を定めています。

Ⅴ　最後に、あなた自身やご家族のことについて、おうかがいします。

A　あなたの性別はどちらですか。

1　男性	2　女性

B　あなたの年齢（満年齢）はいくつですか。

満　　歳

C　あなたのお住まいの地域（行政区）はどちらですか。【1つに○】

1　北　区	5　東山区	9　右京区
2　上京区	6　山科区	10　西京区
3　左京区	7　下京区	11　伏見区
4　中京区	8　南区	

D　あなたの世帯構成は、次のうちどれにあたりますか。【1つに○】

1　自分一人だけの世帯（単身世帯）
2　夫婦（事実婚を含む）のみの世帯
3　親と子の世帯
　＊ただし、「子」にあたる方に夫または妻がいる場合は、「4」に○をつけてください。
4　親と子と孫の世帯（3世代世帯）
5　その他（具体的に：　　）

E　<u>あなたの配偶者</u>（夫または妻、あるいはそれに相当する人を含む）は、収入を得る仕事についていますか。【1つに○】

1　仕事についている（自営・自由業、正社員・正職員またはそれに近い就業）
2　仕事についている（家業手伝い・内職、パート・アルバイトまたはそれに近い就業）
3　収入を得る仕事についていない
4　配偶者はいない

F　あなたには、お子さん（同居していないお子さんを含む）がいますか。

1　子どもがいる	2　子どもはいない

≪次のGは、お子さんがいる方（Fで1と回答した方）におたずねします。≫

G　あなたの一番下のお子さん（同居していないお子さんを含む）は、現在、おいくつですか。

満 [　　] 歳

H　あなたは、現在お住まいのところ（小学校区程度の範囲）に、通算して何年間お住まいですか。
【1つに○】

1　生まれてからずっと	5　20 年～30 年未満
2　5年未満	6　30 年～40 年未満
3　5年～10 年未満	7　40 年以上
4　10 年～20 年未満	

I　あなたが生計を共にしている世帯の昨年１年間の総収入（税込み）は、おおよそいくらでしたか。【1 つに○】

1　２００万円未満	6　７００～１，０００万円未満
2　２００～３００万円未満	7　１，０００～１，５００万円未満
3　３００～４００万円未満	8　１，５００万円以上
4　４００～５００万円未満	9　わからない
5　５００～７００万円未満	

最後に、京都市に対して、「男女平等」や「男女共同参画」に関するご意見・ご要望がございましたら、自由にお書きください。

ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

念のため、記入もれがないかどうか、もう一度お確かめください。

男女共同参画に関するアンケート
結 果 報 告 書

平成１８年（２００６年）3月

[事務局]　京都市 文化市民局 共同参画社会推進部 男女共同参画推進課
〒604－8571　京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地
Tel.075-222-3091　Fax.075-222-3223

京都市印刷物　第１７３２１６号

時を超え 美しく
ひと輝く 歴史都市・京都